

CAMPUS LIFE

KEIAI UNIVERSITY

2026

I

学生生活のてびき

学生生活	12
外国人留学生	58

II

履修要項	68
------------	----

III

カリキュラム表	76
---------------	----

IV

副専攻・資格	256
--------------	-----

V

資料編	280
-----------	-----

目次

創立者のことば	5
学園の構成	7
沿革	8
敬愛大学教育憲章	9

I

学生生活の てびき

学生生活

1. 学生証／証明書の発行	12
2. 快適な学生生活のために	17
3. 奨学金・経済支援	42
4. 課外活動	47
5. 施設の上手な利用方法	50

外国人留学生

1. 快適な学生生活のために	58
----------------	----

II

履修要項

1. 履修方法の概要	68
2. 単位の認定等	71

III

カリキュラム表

経済学部

1. 2026年度入学者カリキュラム表	76
2. 2025年度入学者カリキュラム表	96
3. 2024年度入学者カリキュラム表	116
4. 2023年度入学者カリキュラム表	136
5. 学習支援体制	154
6. 2023-2026年度 科目名変更一覧	155

CAMPUS LIFE2026

III

カリキュラム表

国際学部

1. 国際学科2026カリキュラム表 …………… 168
2. 国際学科2025カリキュラム表 …………… 175
3. 国際学科2024カリキュラム表 …………… 182
4. 国際学科2023カリキュラム表 …………… 190
5. 国際学部カリキュラム科目名変更一覧…………… 200

教育学部

1. こども教育学科 2026カリキュラム表 ……… 210
2. こども教育学科 2025カリキュラム表 ……… 218
3. こども教育学科 2023・24カリキュラム表 …… 225
4. こども教育学科 2022カリキュラム表 ……… 230

情報マネジメント学部

1. 2026年度入学者カリキュラム表 …………… 240
2. 2025年度入学者カリキュラム表 …………… 247

IV

副専攻・資格

1. AI・データサイエンス（経済・国際・教育・情報）… 256
2. エアポートNARITA地域産業学（経済・国際・教育・情報）…………… 261
3. 日本語教員養成課程（経済・国際・教育・情報）… 266
4. 小学校英語教育講座（教育）…………… 270
5. 資格「社会調査士」（経済・国際・教育・情報）… 273
6. その他取得できる資格と所属学部との関係…… 275

V

資料編

1. 学則等規則…………… 280
2. キャンパスマップ…………… 301
3. 学園歌…………… 311
4. 2026年度 学事日程 …………… 312

建学の精神



Worship Your Heaven, Love Your Neighbours.

敬天愛人 建学の精神

南洲唱えて 我等に迫れり

豪気堂々 天地を貫く

永遠の校風 我等築かむ

創立者 長戸路政司

本学は「敬天愛人」を建学の精神とする。学園の創立者長戸路政司は、尊敬してきた西郷南洲（隆盛）の精神の根底が敬天愛人にあることを思い建学の精神をここに置いた。

建学の精神「敬天愛人」とは、天地宇宙はいわばわれわれ人間の生みの親、したがって、その天地宇宙を支配する道理を謙虚に追求し、それに随順して生き、人を憎まず、われひと共に成り立ち得る愛の道を実践していくことである。

この建学の精神をモットーに創立以来今日まで堅実でしかも積極性を持つ人格円満な人材育成の場として、清新で明朗な学風のある学園であることを絶えず期している。

創立者のことば

「敬天愛人」の愛人は、人間相互のつながりを、敬天は、宇宙の絶対者と人間の生命的なつながりを、それぞれ本来あるべき姿において示すものであり、窮極の意味において、まさに人類の黄金律というべきものである。本大学の教育方針は、力強くこの目標に向かって前進することである。この土台の上に学生諸君の品性を磨き、人格を高揚せしめ、その深い人間性を発揚せしめようということ。これが本大学の第一の念願とするところである。

(創立者 長戸路 政司)



追記 本学は昭和63年4月、建学の精神「敬天愛人」を端的に表わすため大学の名称を「敬愛大学」と改め、その教育目標に向かって、ますますの発展を期している。

創立者の横顔

本学園の創立者長戸路政司は、明治17年、千葉県の上野原町（現・匝瑳市）に生まれ、長じて旧制第二高等学校をへて、明治43年に東京帝国大学法科大学を卒業した。卒業後ただちに和歌山地方裁判所検事局検事に任官したが、感じるころがあって検事の職を辞し、大正2年東京で弁護士を開業した。

開業後しだいに弁護士としての名声を博しつつあったにもかかわらず、その業務にあきたらず、教育こそ人生にとって最も崇高な事業であるという思いを深めていった。そしてついに大正10年、「敬天愛人」を建学精神とする八日市場女学校を開設したのである。

「敬天愛人」は西郷南洲の遺訓である。創立者は大学在学当時から、『天は人も我も同一に愛し給う故、我を愛する心を以て人を愛するなり』という南洲の訓え（『西郷南洲翁遺訓』第24ヶ条）に深い啓示をうけ、南洲の聖なる人格と高邁な見識に傾倒していた。八日市場女学校が敬天愛人を建学の精神として掲げたのも、『講学の道は敬天愛人を目的とす』という南洲の訓えにならったものである。

八日市場女学校について、千葉市に関東中学（旧制）を開設し、以来、大正末期から昭和初期にかけてのきびしい世相の中で、さらには戦前・戦中の苛烈な時代を通じて、ただひたすら子弟の教育と学校経営に渾身の力をふりしぼってきた。

戦後は荒廃した学園の立て直しに務めるとともに、学制改革の施行にともない、学校法人の設立・八日市場高等女学校及び関東中学の新制高校への編成替え（現 千葉敬愛高等学校）などを行って、新時代に応じた教育を展開するための基礎をかためた。

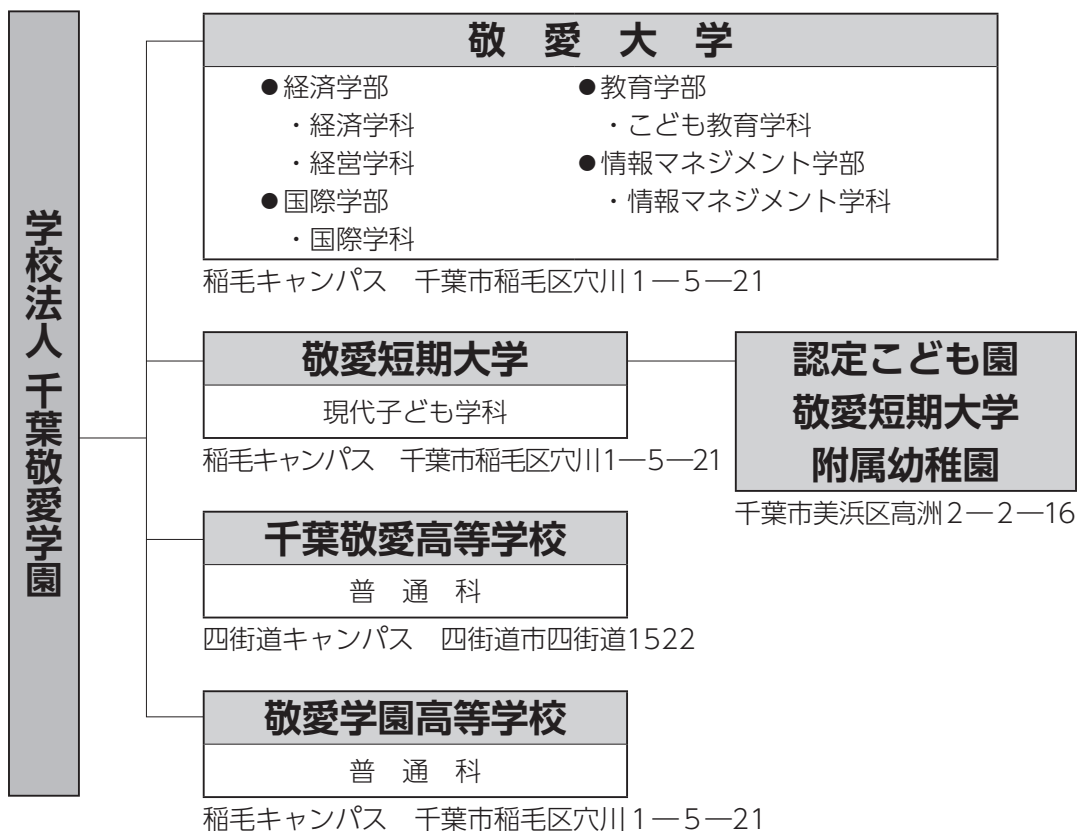
昭和25年には、全国にさきがけて、千葉敬愛短期大学・初等教育科を開設した。これは時代の要請に合致し、以後40余年にわたって、本県はじめ近傍都県の教育需要に大きな貢献を果たした。昭和33年、科学技術時代の到来を予想して工業商業4科を併設する千葉工商高等学校（現 敬愛学園高等学校）を設置。昭和41年には、かねての宿願であった千葉敬愛経済大学を開設した。

今や本学園は、大学・短大・高校2校及び幼稚園を設置し、学生・生徒・園児五千人を擁する学園に発展した。また、姉妹学園の長戸路学園には、敬愛大学八日市場高等学校と横芝敬愛高等学校が設置されている。

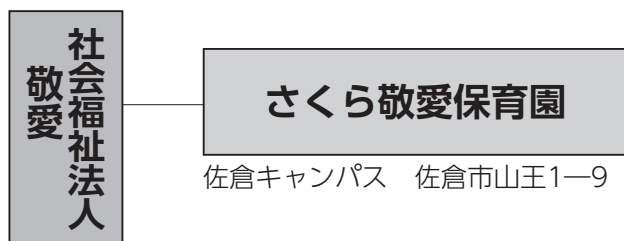
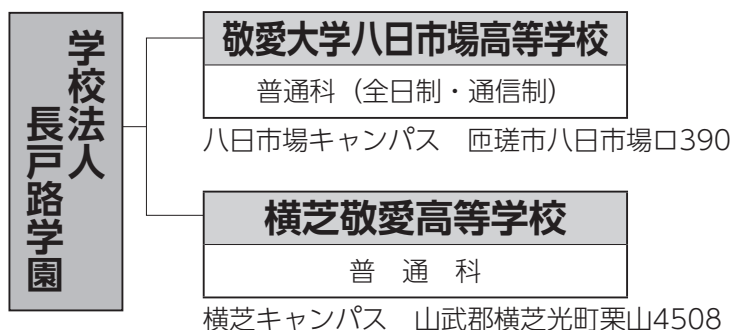
創立者長戸路政司は、教育をおのれの天命と信じ、終始一貫至誠をささげて教育に尽瘁した。明敏な先見性と果敢なたゆむことなき前進は、創立者のきわだった特質であった。一方、温愛あふれた人柄は教職員・父母・子弟の敬慕を集め、その感化はひろい範囲に及んだのである。

創立者はまた、請われていろいろな公職にたずさわった。教育をはじめとする偉大な社会的貢献にたいしてかずかずの栄誉が授与され、昭和55年95才をもってその生涯を閉じたのである。

学園の構成



姉妹組織として、学校法人長戸路学園、社会福祉法人敬愛があります。



沿革

長戸路政司先生が大正10（1921）年4月、現在の匝瑳市八日市場に八日市場女学校を創設したことが本学園の源流である。以来、学園は発展を重ね現在では本学の他に敬愛短期大学、認定こども園敬愛短期大学附属幼稚園、千葉敬愛高等学校及び敬愛学園高等学校を擁する県下最大級の学園となっている。

1921（大正10）年	八日市場女学校（現・敬愛大学八日市場高等学校）開校
1926（大正15）年	財団法人関東中学校（現・千葉敬愛高等学校）開校
1950（昭和25）年	千葉敬愛短期大学 開学
1953（昭和28）年	千葉関東商業高等学校（現・敬愛学園高等学校）開校
1966（昭和41）年	千葉敬愛経済大学（現・敬愛大学）開学 経済学部経済学科を設置
1973（昭和48）年	千葉敬愛短期大学附属幼稚園 開園
1988（昭和63）年	千葉敬愛経済大学を「敬愛大学」に大学名を変更
1997（平成9）年	千葉敬愛短期大学国際教養科を改組し、敬愛大学に国際学部国際協力学科を設置
2003（平成15）年	敬愛大学 公益財団法人大学基準協会・正会員加盟
2007（平成19）年	国際協力学科を国際学科に改称し、国際学専攻と地域こども教育専攻（小学校教員養成課程）の2専攻を設置
2008（平成20）年	稲毛キャンパスに新館（3号館）完成
2009（平成21）年	国際学部を稲毛キャンパスに移転
2011（平成23）年	国際学部国際学科地域こども教育専攻を「こども学科」に昇格
2013（平成25）年	経済学部経済学科現代マネジメント専攻を「経営学科」に昇格
2016（平成28）年	敬愛大学創立50周年、記念式典・祝賀会を举行
2017（平成29）年	こども学科を「こども教育学科」に名称変更
2021（令和3）年	教育学部を設置 国際学部こども教育学科を「教育学部こども教育学科」に改組
2024（令和6）年	稲毛キャンパスに新教育棟（1号館）完成 千葉敬愛短期大学を「敬愛短期大学」と改称し、稲毛キャンパスに移転
2025（令和7）年	情報マネジメント学部情報マネジメント学科を設置

敬愛大学教育憲章

敬愛大学は、西郷南洲の遺訓である「敬天愛人」を建学の精神としている。本学の創立者・長戸路政司は南洲の遺訓に深い啓示をうけて、建学の精神である「敬天愛人」の理念に則った教育の重要性を説き続けた。創立者の訓えは、本学の教育に関わる者及び本学に学ぶ者すべてが、時代を超えて実践していかなければならない普遍性をもつものである。

第1条（趣旨）

敬愛大学は、建学の精神である「敬天愛人」の理念に則り、敬愛大学教育憲章を定めることとする。

第2条（教育の理念）

敬愛大学の教育は、「敬天愛人」の建学理念に基づき、学生一人ひとりの尊厳を重んじ、その可能性を引き出すとともに、社会の発展に積極的に貢献する人材を育成することを基本理念とする。

第3条（教育の目標）

敬愛大学は、教育の理念を具現化するため、きめ細かく丁寧な働きかけによって、以下の教育目標を達成することに努める。

1. 学生を、心身ともに健康で、社会人として必要不可欠な基礎学力と一般常識、考える力をもった人材に育てる。
2. 学生を、勤労を尊び多様な人々とコミュニケーションをとり協働できる人材に育てる。
3. 学生を、正課の授業に加えて学内行事や各種の体験学習の機会等を通じて、総合的な人間力をもった人材に育てる。
4. 学生を、地域社会とわが国および世界の文化と経済、社会の発展に貢献する人材に育てる。

第4条（教育と学修支援の原則）

敬愛大学は、教員と職員が協同して学生の学修支援を行い、学生の学びと人間的成長を促進することに努める。

第5条（全学一体の原則と責任の遂行）

敬愛大学は、全学が一体となって、本学の掲げた教育の理念を理解し、教育目標の達成に取り組むこととする。敬愛大学の教職員と学生は自己の使命を自覚し、それぞれの責任の遂行に努めなければならない。

（平成26年1月28日大学評議会承認・制定）

I

学生生活のてびき 学生生活

1. 学生証／証明書の発行

① 学生証	12
② 証明書・届出	13
③ 学籍の異動	15

2. 快適な学生生活のために

① 健康管理	17
② 相談したいとき	19
③ 自らの安全を守るために	23
④ アルバイト、教習所、アパート等の紹介	25
⑤ 各種保険	27
⑥ 通学定期乗車券と学割	30
⑦ 日常の学生生活を送るにあたって	31
⑧ お問い合わせ先一覧	35
⑨ ハラスメントの防止と相談	38
⑩ 地域連携センターの利用	40

3. 奨学金・経済支援

① 敬愛大学独自の支援制度	42
② 奨学金制度	43
③ 教育ローン制度	45

4. 課外活動

① 学友会・部活・サークル活動	47
② 敬愛大学体育会	49
③ 特別指導組織	49

5. 施設の上手な利用方法

① 食堂・売店	50
② 稲毛キャンパスのスポーツ施設	51
③ 施設利用申請について	51
④ キャリアセンターの利用	52
⑤ 図書館・コミュニケーションラボの利用	53
⑥ 情報システムの利用	54
⑦ 学内設置パソコンの利用	55

1

学生証／証明書の発行

1 学生証

学生証は本学の学生であることを証明するものです。常に携帯し、教職員から請求のあった時にはすぐ呈示できるようにしてなければなりません。

また、学生証内部のICチップは出席管理システムや図書館利用システムで使用します。



- (1) 学生証はICチップ化されています。また学生証は本学卒業まで有効ですので、大切に保管してください。
- (2) 現住所変更時には、新しい裏面のシールを学生支援室から受取ってください。
- (3) 学生証を紛失したり、汚損したりしたとき、表面の記載事項等変更の際は、再発行の手続きが必要となります。再発行手数料は1,000円です。
- (4) 学生証は、卒業または退学・除籍などにより学生の身分を失ったときは、必ず返却しなければなりません。

学籍番号

学生証の学籍番号は、履修届、各種届、試験答案などに必ず記入しなければならない、個人の重要な番号です。

学籍番号の最初の2ケタは入学年度（西暦の末尾2ケタ）を、次の1は経済学部、2は情報マネジメント学部、3は教育学部、4は敬愛短期大学、6・8は国際学部を、また最後の3ケタが個人番号をそれぞれ表しています。

例

2 6 8 3 1 2

2026年度入学

個人番号

- 1 経済学部（経済学科・経営学科）
- 2 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科
- 3 教育学部 こども教育学科
- 4 敬愛短期大学 現代子ども学科
- 6 国際学部 こども教育学科
- 8 国際学部 国際学科
- 9 敬愛大学 正規課程外、敬愛短期大学 訓練生・科目等履修生

2 証明書・届出

公的に必要な諸証明の発行は、証明書自動発行機で即時発行することができます。ただし、証明書の種類によっては、日数のかかるものもあります。

1 証明書自動発行機

- ① 稼働時間
平日 9:00~17:00
- ② 操作方法
音声ガイドにしたがって操作してください。

2 証明書・届出の一覧

【証明書】

	種 類	窓 口	証明書 自動発行機	手数料	備 考
修学 支援 室	1 在 学 証 明 書		○	300円	
	2 在 学 証 明 書【英 文】		○	300円	
	3 成 績 証 明 書		○	300円	
	4 成 績 証 明 書【英 文】		○	300円	
	5 卒 業 見 込 証 明 書		○	300円	4年生のみ※1
	6 単 位 修 得 証 明 書	○		300円	4年生のみ※2
	7 教 育 職 員 免 許 状 取 得 見 込 証 明 書	○		300円	4年生のみ※2
	8 休 学 願	○			
	9 退 学 願	○			
	10 復 学 願	○			
	11 再 入 学 願	○			

※1 単位修得状況により発行できない場合もあります。

※2 所要日数が2日間かかります。(土日祝日・大学の一斉休業を除く)

【届出】

	種 類	窓 口	WEB 申請	証明書 自動発行機	手数料	備 考	
学生支援室	1 氏名・本籍変更届		○			証明する書類を添付	
	2 保証人変更届	○				「保証人変更届 兼 誓約書」添付書類を窓口に提出	
	3 住所・電話番号変更届		○			証明する書類を添付	
	4 施設使用許可願		○				
	5 紛失・盗難届		○				
	6 事故届		○				
	7 試合・学外活動届		○				
	8 バイク通学許可届			○		自賠責保険証を添付	
	9 自転車通学許可届			○		防犯登録カード又はステッカーを添付	
	10 学生証再交付願				○	1,000円	
	11 仮学生証交付願				○	300円	確認試験時に学生証を携行しなかったときは、仮学生証の交付を受けなければ受験できません。
	12 健康診断証明書				○	300円	学内で実施される学生定期健康診断を受診する必要があります。
	13 学生旅客運賃割引証				○		
	14 通学証明書	○					
	15 治癒証明書	○		○			大学ホームページ「感染症に関すること」在学の方 敬愛大学（千葉市稲毛区）」を参照してください。
キャリアセンター	1 希望進路登録			キャリアス UC登録			
	2 内々定(内定)報告			キャリアス UC登録			
	3 決定進路先届			キャリアス UC登録			
	4 履歴書(大学指定)				○	100円 1部10枚入り KCNからもダウンロード可	

証明書自動発行機は、1号館1階事務局前ロビーにあります。

3 WEB申請方法について

各種届出書類の中で、WEB申請の対象になっているものについては、大学ホームページより申請書のフォーマットをダウンロードの上、「届出・申請専用フォーム」から提出をしてください。

大学ホームページ／在学の方

<https://www.u-keiai.ac.jp/for-students/procedure/procedure2024/>



3 学籍の異動

学生の学籍異動については、所定の手続により次のように取り扱われます。

※前期末または後期末を過ぎての学籍異動となる場合は、所定の手続スケジュールについて修学支援室に相談してください。手続が遅れた場合、前期末または後期末での学籍異動が認められない可能性があります。

1 退学

第3条 退学を願い出る者は、次に掲げる区分に応じ、原則として当該期日までに保証人連署による退学願（様式第1号）に学生証を添えて、学長に提出し、学長の許可を得なければならない。

- (1) 前期末に退学を希望する者当該年度の9月の教授会開催日まで
- (2) 後期末に退学を希望する者当該年度の3月の教授会開催日まで
(敬愛大学学籍に関する取扱規定 第3条)

2 休学・復学

●病気及びその他の事由により引き続き3ヶ月以上修学することができないときはその事由を具し、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。

●休学の期間は、その学年の終わり、又は学期の終わりまでとし、特別な事情がある場合は、引き続き1年に限り休学を許可することができる。

●休学の期間は、通算して4年を超えることができない。また在学年数に算入しない。

(学則第16条)

●休学期間中にその事由が消滅したときは、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。また復学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。

(学則第19条)

●休学を願い出る者は、次に掲げる区分に応じ、原則として当該期日までに保証人連署による休学願（様式第3号）にその具体的な事由を記載の上、学長の許可を得なければならない。

- (1) 前期又は1年間の休学を希望するもの
当該年度の4月の教授会開催日まで
- (2) 後期の休学を希望する者
当該年度の9月の教授会開催日まで

(敬愛大学学籍に関する取扱規定 第6条)

3 転学・海外留学

●他の大学へ転学を希望する者は、学長の許可を得なければならない。

(学則第17条)

●外国の大学又は短期大学に留学を希望する者は、学長の許可を得て留学することができる。留学した期間は1年に限り卒業要件の期間に算入する。

(学則第18条)

4 除籍

次のいずれかに該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- 在学年を超えた者
- 休学の期間を超えてなお修学できない者
- 授業料その他の学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- 死亡又は長期間にわたり行方不明の者

(学則第20条)

※再入学、転部、転科等、学籍の異動に関する詳細は、巻末の学則を参照してください。

※入学検定料、学費等納入、学費督促、除籍取扱いについての規程・内規については巻末を参照してください。

知 っ 得 情 報

病気やけがで大学を長く休むときは

大学ホームページ「感染症に関すること | 在学生の方 | 敬愛大学（千葉市稲毛区）」を確認してください。不明点等があれば、保健室へ連絡してください。

■出席停止……インフルエンザ等、学校感染症のとき

学校保健安全法に明記された疾患は、本人の休養や他者への感染および学内での流行を防ぐため、出席停止の措置とします。治癒後に本学書式の「治癒証明書」等の必要書類を提出することで本学公欠区分第2号により公欠対象となります。

■欠席……学校感染症以外の病気や事故等でのけが

学校感染症以外の病気や、事故等によるけがは公欠にはなりません。長く休むことになり出席状況が心配な時は、授業担当教員に事情を説明し、相談してください。この場合診断書等の証明書が必要になる事があります。

保健室直通電話 043-284-2212

知 っ 得 情 報

『感染症』でも出席停止とならない場合がある？！

感染症は学校保健安全法施行規則によって第一種、第二種、第三種感染症に区分されています。しかし、その法律に明記されていない感染症も数多く存在します。例えば、ノロウイルス感染症(感染性胃腸炎)、溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症などもその中に入ります。これらの疾患は、学校保健安全法に「学校において予防すべき感染症」として明記された感染症ではないことから、原則、「公欠」としての取り扱いはしません。(通常見られないような重大な流行時はその限りではありません)

2

快適な学生生活のために

I

学生生活のてびき

2 快適な学生生活のために

1 健康管理

1 保健室

病気や怪我の応急処置・休養、必要に応じた病院の紹介を行います。また心身の健康に関する相談窓口になっています。栄養や健康に関する資料や書籍もありますから、活用してください。

- 時間調整や待ち合わせに保健室は利用できません。
- 元気な人の休養はできません。

(1) 定期健康診断

学校保健安全法により年1回、4月に行います。**全学生が対象です**ので毎年必ず受けてください。

定期健康診断を受けない場合、自費で受診し、結果を保健室へ提出する必要があります。また、実習や就職活動に必要な「健康診断証明書」が発行できません。結果は5月上旬頃よりKCN（学生ポータルサイト）から確認できますので、必ず内容を確認してください。

(2) 健康診断証明書

定期健康診断を受けてから約1カ月程度で自動発行機より健康診断証明書が発行できます（1通300円）。ただし、以下の場合は発行できません。

- ・定期健康診断を受けていない
- ・再検査や精密検査項目がある

該当者には個別対応を行いますので、保健室へご相談ください。

(3) 救急バッグの貸出

学校行事・課外活動・合宿時において携行できる救急バッグを貸出していますので利用してください。

(4) 本学は校医を次の通り委託しています。

医師 茂手木直忠 先生（轟クリニック）

〒263-0021 千葉県稲毛区轟町1-13-3 TEL 043 (306) 8503

(5) 感染症の連絡

インフルエンザ等の感染症にかかった時は、大学ホームページ「感染症に関すること | 在学生の方 | 敬愛大学（千葉県稲毛区）」をご確認ください。

開室時間	平日 8:45~17:00 (祝日・長期休業中は学事日程による)
対象	本学学生および保証人、教職員
担当者	保健師・看護師
直通電話	043-284-2212
メールアドレス	hoken@u-keiai.ac.jp
場所	4号館1階 ※工事後はクラブハウス1階

2 命をつなぐAED

敬愛大学のある稲毛キャンパスにはAED(自動体外式除細動器)が9ヶ所に設置されています。



No.	設置場所	No.	設置場所
①	敬愛アリーナ 1階 エレベータ前	⑥	大学3号館 6階 階段付近
②	大学1号館 1階 高校正門側出入口付近	⑦	高校正門 警備室内 ※警備員巡回時以外、夜間・休日でも使用 できます
③	大学1号館 3階 エレベータホール	⑧	高校本館 1階 事務室前(職員玄関内)
④	大学1号館 7階 エレベータホール	⑨	大学4号館 1階 保健室付近
⑤	大学3号館 1階 正門側出入口付近		

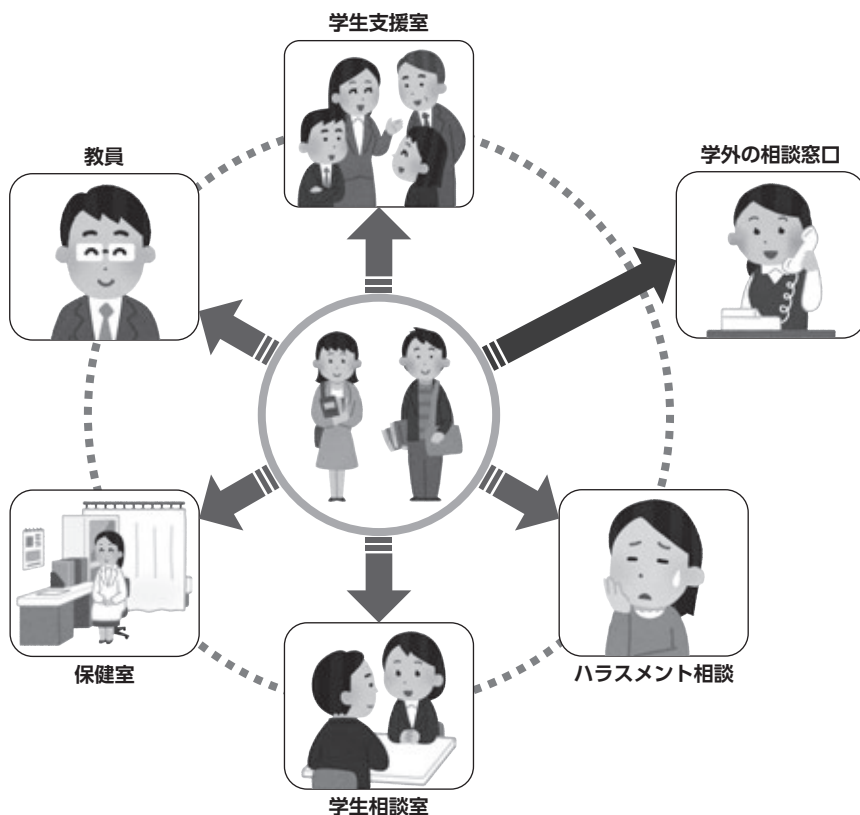


設置されている AED は赤いバッグに入っています。なお使用方法は自動的に日本語でアナウンスされます。使用が必要なときは、落ち着いてアナウンスに従って操作してください。

2 相談したいとき

本学では、みなさんの様々な相談に対応するため、「学生支援室」、「学生相談室」、「保健室」を設置し、相談内容に応じたきめ細かな相談体制を用意しています。

(ハラスメント相談は38ページ 9 ハラスメントの防止と相談を参照してください。)



1 学生支援室

学生生活での困りごとは、学生支援室が受けつけています。

困ったときは学生支援室に来て、気軽に窓口の職員に声をかけてください。

より相談の内容に合った他の窓口のご案内もしています。

窓口受付時間 平日 8:45~17:00
(祝日・長期休業中は学事日程による)

場 所 大学事務局内 (1号館1階)

2 障がいのある学生へのサポート

本学では、障がいのある学生に対し、充実した学生生活が送れるよう、相談に応じています。相談したい方は窓口にお問い合わせください。

窓 □	学生支援室
支援対象	身体等に障がいがあり、障害者手帳を持っている、またはそれに準ずる障がいがあることを示す診断書を有する学生で、本人が支援を受けることを希望し、かつその必要性が認められる学生
支援の概要	学生の状況に対応した適切な支援を行うため、障がいの内容とともに本人の事情、身体的機能的側面の状況など、当事者と話し合いながら、学内教職員の連携により支援を進めています。

サポートの流れ

1. サポートについて知りたい方、興味関心のある方は、まず学生支援室に来てください。担当者が具体的にサポートの流れや方法などを説明します。
2. サポートを希望する場合は、「支援申請書」をお渡しします。必要な内容を記入して、学生支援室に提出してください。書き方がわからない時は気軽に聞いてください。
3. 申請書が提出されたら、必要な支援について担当者と話し合います。

バリアフリーマップ

WC バリアフリートイレ
 EV バリアフリーエレベーター
 S スロープ設置建物
 屋外点字ブロック



敬愛大学・敬愛短期大学における障がい学生支援の基本方針

I

学生生活のてびき

2 快適な学生生活のために

1. 基本理念

敬愛大学又は敬愛短期大学（以下「本学」という。）は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（平成25年法律第65号）に基づき、本学の教育憲章のもと、学生の障がいの有無及びその程度によって分け隔てられることなく、大学に係る全ての者が、相互に人格と個性を尊重し合いながら、ともに学び合う大学として、障がいのある学生支援の充実を目指す。

2. 支援対象

支援の対象となる「障がい学生」とは、「障害者基本法」（昭和45年法律第84号）第2条第1項に規定する障害者（身体障害、知的障害、発達障害、精神障害、その他の心身の機能の障害）であり、それらの障がい及び社会的障壁により、継続的に日常生活または社会生活に相当な制限を受ける状態にある学生をいう。

3. 支援方針

本学は、基本理念に従い、障がいのある学生に対して以下の方針に基づく支援を行うこととし、方針内容については必要に応じて見直すこととする。

- (1)障がいを理由に修学を断念することがないように修学機会の確保に努める。
- (2)障がい学生本人の修学に関する要望に基づいた調整を図るように努める。
- (3)支援の範囲は、入試、授業、試験、課外活動、キャリア形成、その他大学行事への参加等、大学教育に関する事項とする。なお、実習に関しては、本学が規定する実習実施の定めによる。
- (4)「情報保障」「円滑なコミュニケーション」「試験・評価方法」などにおける配慮や考え方を障がいのある学生及びその保証人等に伝え、理解を得よう努める。
- (5)学生が安全かつ円滑に学生生活が送れるよう、点字ブロック、建物入口等のスロープ、多目的トイレなど学内の環境整備に努める。

4. 合理的配慮に基づく支援

本学は、障がいのある学生が本学において教育を受け、学生生活を過ごすにあたり生ずる社会的障壁の除去を希望した場合、その障がいの特性や社会的障壁の具体的内容に応じ、本学と障がいのある学生双方の建設的対話による相互理解を通じて、合理的配慮に基づく支援を可能な限り行う。

5. 支援体制

「敬愛大学・敬愛短期大学障害学生への支援に関する規則」に基づき、「障害学生委員会」を設置し、学内外の関係部署と連携しながら全学的に支援する。

<障がい学生支援に関する本学における相談窓口>

- 障がい学生支援全般に関する相談：学生支援室
- 入試・入学までの相談：アドミッションセンター
- 学生生活に関する相談：学生支援室
- 修学に関する相談：修学支援室
- 進路に関する相談：キャリアセンター
- 健康に関する相談：保健室
- 困りごと・悩みごとに関する相談：学生相談室

6. 理解促進

本学は、この基本方針のもと、障がいのある学生の支援の推進を図るため、学生・教職員の意識啓発及び専門性の向上に努める。

7. 情報公開

本学は、障がい学生に対する支援について、ホームページ等において情報の公開に努める。

以上

令和6年8月1日一部改正

3 学生相談室

困りごとや、何か話したいことがあったらお気軽にご利用ください。原則として秘密は守られますので、安心してください。

対 象	本学学生およびその保証人、本学教職員（学生に関すること）
開室時間	平日 9:00~17:00 (祝日・長期休業中は学事日程による)
担 当 者	臨床心理士及び公認心理師有資格者と相談員
相談場所	2号館1階 ※工事後はクラブハウス1階
予約方法	以下の方法で予約ができます。いずれの場合も開室時間内の受付となります。相談中などですぐに対応できない場合がある旨ご了承ください。 1) 直接来室 2) 電話 (学生相談室 043-284-2483) 3) メール (予約専用アドレス gakuseisoudan@u-keiai.ac.jp) ①学籍番号と名前、②希望日時 (第3希望まで)、③希望する相談方法 (対面・電話・Zoom) を明記してください。その他、担当者の希望の有無や、伝えておきたいこと等があればお知らせください。学生相談室からの返信をもって予約完了となります。



4 保健室

4号館1階 (工事後はクラブハウス1階) の保健室では、保健師・看護師が健康相談や近隣の病院紹介などの支援を行います。

(詳しくは17ページを参照してください。)

3 自らの安全を守るために

1 インターネットサービスは賢く使おう

最近ではスマートフォンやタブレット等の普及により、インターネットによる情報のやりとりが便利になりました。この利点をいかし、インターネットサービスは賢く使しましょう。

特にLINEやX（旧Twitter）、Instagram等のソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を使う際には、以下の点に注意が必要です。

- ◆SNS上の情報は、必ずしも正しいものばかりではない。
- ◆SNS上においても、社会的ルールを守らなければならない。
- ◆SNS上の情報は、世界中に広まるものである。
- ◆匿名であったとしても、責任を伴う発言として取り扱われる。
- ◆SNSでの不用意な発言は、家族や友人にまで被害が及ぶことがある。

2 いわゆるブラックバイトについて

学生アルバイトは対価（バイト代）を得るだけでなく、貴重な社会勉強の場でもあり、大いに経験すべき活動の一つです。しかし学生であるが故に、無理難題を押しつける「ブラックバイト」が問題になっています。以下のようなことで困ったら、学生支援室に相談しましょう。

- ◆販売業等でノルマを課せられ、達成できないと罰を科せられる。
- ◆希望した日・時間を無視してシフトを組まれてしまう。
- ◆希望した日・時間に休んだり、退職したりすることを許可してもらえない。
- ◆販売品や売れ残りの商品の購入を強要される。 等

3 違法薬物

最近は大麻等による事件事故が話題になっていますが、大麻のみならず、様々な違法薬物の所持や使用は、学生生活だけでなく人生を破滅に導くものに他なりません。絶対に関わらないよう、強い気持ちを持って行動しましょう。

4 災害時の対応

大規模地震等の災害が発生した場合は、まず自分の生命を守る行動をとりましょう。

本学の緊急避難場所は、人工芝グラウンドです。避難が必要な際には、校内放送に従って迅速に行動してください。また災害に備えて、日頃から救命技能講習の受講、家族や友人とのコミュニケーションに努めましょう。また有事には助けを必要とする人たちの救援に積極的に力を貸してください。

5 海外渡航時の安全確保

毎年数多くの学生が留学や研修、旅行のために海外へ渡航していますが、現地事情を把握していないために、盗難などの被害に遭うケースが多く見受けられます。このような被害を未然に防ぐために、外務省が「海外安全ホームページ（<http://www.anzen.mofa.go.jp/>）」を通じて随時最新の情報を発信しています。

日本国外へ渡航を考えている学生のみなさんは、本サイトや旅行会社から最新の情報を入手してください。また海外渡航時は「たびレジ（3ヶ月未満の渡航者向け）」「ORRnet（3ヶ月以上の滞在者向け）」への登録を渡航前に必ず行ってください。また外務省「海外安全アプリ」も有効です。



3ヶ月未満の渡航予定者は、「たびレジ」で登録を
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>



3ヶ月以上の滞在予定者は、「ORRnet」で登録を
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

外務省「海外安全アプリ」は、こちらからダウンロードできます。



これらのサービスに登録すると、万一の際に在外公館からの緊急一斉連絡メールや安否確認を受けることができます。

6 学生の安心・安全に関して参考となる各種資料（文部科学省）

学生が安心・安全に大学生活を過ごすために、トラブルの防止・解決の参考となる資料を大学ホームページでお知らせをしています。

学生生活に潜む危険を知り、「自分は大丈夫」と思わず、自分事としてとらえることが大切です。悩みや不安なことがあれば、迷わず各大学等の学生相談窓口や自治体の相談窓口等へご連絡ください。

■記載項目

- ・薬物乱用防止 ・いわゆる「闇バイト」に関する注意喚起
- ・消費者被害防止・消費者教育の推進 ・投資詐欺・トラブル
- ・飲酒事故等防止 ・メンタルヘルスケア ・自殺対策
- ・多様な性の在り方の理解 ・性暴力等への対応
- ・人権・ハラスメントに関する相談 ・学生アルバイト問題・労働法制の指導・啓発
- ・インターネット上のトラブル・誹謗中傷への対応
- ・犯罪被害への対応等 ・「ヤングケアラー」支援 ・女性の健康
- ・依存症対策等 ・過激派対策等

学生の安心・安全に関して参考となる各種資料（公表資料）文部科学省等

大学ホームページ

<https://www.u-keiai.ac.jp/aboutlife/daily-support/news-student/ansinanzen/>



4 アルバイト、教習所、アパート等の紹介

1 アルバイトの紹介

本学では、学生の皆さんが安心・安全に働くことができるアルバイトを厳選して紹介できるよう、(株)ナジック・アイ・サポートの「バイトネット」でアルバイトの紹介を行っています。無料で利用することができますが、会員登録が必要ですので、詳しくは学生支援室に問い合わせてください。

なお窓口や掲示板でのアルバイト情報の提供は、行っていません。



<http://www.aines.net/u-keiai/>

2 教習所（運転免許）の紹介

本学では、以下の教習所と業務提携しています。特別割引特典等が受けられますので、入校手続き時には必ず学生証を持参してください。

詳しくは(株)敬愛サービス（電話：043-306-8964）までお問い合わせ、または下記ホームページを確認ください。

■敬愛サービスHP(自動車教習所斡旋事業)

<https://gakuen.u-keiai.ac.jp/keiai-service/jidousya/>



通 学 型	稲毛自動車教習所	千葉県稲毛区稲毛町5-31-1 http://ids-go.co.jp/	☎043-243-7111
	千葉中央自動車学校	千葉県若葉区加曽利町868 https://chiba-chuou.co.jp/	☎0120-373-629
	ソフィアドライビングスクール四街道	四街道市もねの里2-38-30 http://driving-school.jp/yotsukaido/	☎0120-89-3229
	SBSドライビングスクール稲毛	千葉県稲毛区長沼町341 https://inage.sbs-drivingschool.co.jp/	☎0120-59-6371
	鷹の台ドライビングスクール	千葉県花見川区柏井4-2-1 http://www.takanodai-ds.jp	☎0120-393-984
	佐倉自動車学校	佐倉市岩名957-1 http://www.sakurads.co.jp	☎043-485-1558
合 宿 型	東京エース免許センター	(本社：東京都新宿区) https://menkyodeace.jp/	☎0120-999-785
	アイテックトラベル 合宿免許受付センター	(本社：東京都北区) https://menkyo.aitec-travel.co.jp/	☎03-3909-3221

3 アパート・学生マンション等の紹介

本学では、学生の皆さんがよりよいお部屋探しができるように、(株)敬愛サービス ひとり暮らし相談センターでアパート・マンションの紹介を行っています。問い合わせ時には「敬愛大学の学生である」旨をお伝えください。

(1) 特典

仲介手数料を最低30%引にて紹介します。

(2) 希望物件の決定

物件には、「学生マンション」「アパート・マンションタイプ」「学生会館タイプ」の3種類があります。それぞれの特長を参考にして、好みの物件を見つけましょう。

学生マンション	オートロックなどの防犯設備や室内の設備が充実しております。入居者のほとんどが学生という安心感があり、初めての一人暮らしの方にはオススメです。
アパート・マンションタイプ	アパートは一般的に木造が多数を占めており、全体的に遮音性に乏しい反面、家賃については比較的安価で経済的です。マンションは鉄筋コンクリートや鉄骨構造でアパートタイプに比べて、遮音性・耐震性・断熱性に優れています。アパートタイプと比べて家賃が高めです。
学生会館タイプ	管理人が常駐しており、食事付きの寮が多く、栄養面のサポートも心配なく生活できます。お風呂やトイレは共同の場合もあり、学生同士の交流も多いです。

(3) 問い合わせ先

当センターでは、以下の各提携先から物件情報をお預かりし、在学生・入学予定者からの個別相談を承っております。お気軽にご相談ください。

(株)敬愛サービス ひとり暮らし相談センター

専用電話 0120-749-030 (通話料無料)

※専用パンフレットは(株)敬愛サービスのホームページよりご覧ください <https://gakuen.u-keiai.ac.jp/keiai-service/tintai/>

敬愛大学・敬愛短期大学
公式学生賃貸検索システム



(提携不動産業者)

株式会社学生情報センター津田沼店 (幹事会社)

minimini

共立メンテナンス

【注意】 大学や大学教職員がアパート等賃借時の保証人になることはできません。

知 っ 得 情 報

本学では、上記のほか学生生活を応援する様々なサービスを、(株)敬愛サービスに委託しています。詳しくは直接、(株)敬愛サービスに問い合わせてください。

【提供しているサービスの一例】

- ・教習所の紹介 (25ページ)
- ・卒業式の衣装レンタル幹旋
- ・アパート・学生マンション等の紹介 (26ページ)
- ・就職活動用証明写真撮影サービス 等
- ・学生総合補償制度 (28ページ)
- ・スーツ等の割引購入
- ・自転車・バイク・自動車保険 (29ページ)

【問合せ先】

(株)敬愛サービス 電話043-306-8964 <https://gakuen.u-keiai.ac.jp/keiai-service/>

場所：大学2号館3階エレベーター前



5 各種保険

1 本学が加入している保険制度

本学では、学生の教育研究活動および課外活動に備え、以下の保険制度に加入しています。

- ・ 学生教育研究災害傷害保険（学研災）・・・全学生
- ・ 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）・・・全学生
- ・ スポーツ団体傷害保険・・・運動系クラブ所属学生

(1) 学研災・学研賠について

教育研究活動中の事故等に備えるため、全学生が以下の保険に加入しています。

- ・ 学生教育研究災害傷害保険（学研災）
- ・ 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）

これらは、正課授業・課外活動・通学中等における傷害事故や、他人に損害を与えた場合の賠償責任を補償する制度です。事故が発生した場合は、速やかに学生支援室まで連絡し、手続きを進めてください。補償内容・手続きの詳細は、入学時に配布した「加入者のしおり」をご確認ください。

(2) スポーツ団体傷害保険について

運動系クラブに所属する学生について、課外活動中の事故に備えるため、大学を契約者とする団体傷害保険に加入しています。本保険は、学研災の補償範囲とは別に、課外活動に対応する制度です。

※各制度の対象範囲・手続き等の詳細は、配布資料または学生支援室に確認してください。

2 学生が任意で加入できる保険

学生生活における万一の事故や日常生活上のリスクに備える任意加入の保険制度として、次の制度があります。

(1) 学生総合補償制度

「学生みらいプロテクター」（三井住友海上火災保険）

※日本私立中学高等学校連合会の制度

制度内容や加入手続き等の詳細については、(株)敬愛サービス（電話：043-306-8964）まで問い合わせ、またはホームページを確認してください。

■敬愛サービスHP(保険代理店業)

<https://gakuen.u-keiai.ac.jp/keiai-service/hoken/>



**例えばこのようなとき
お役に立ちます。**

学生生活のみならず日常生活を送るうえで直面する様々な危険を総合的に保障する制度です。

卒業予定時までの長期契約ですので一度のお手続で卒業まで安心です。

保険期間終了まで保管ください

団体割引
30%適用

保護者の皆さまへ
重要なお知らせです

敬愛大学 学生みらいプロテクター

学生・こども総合保険

2026年度(パンフレット)
「学生・こども総合保険(パンフレット資料)」を必ずあわせてお読みください。

ケガ
病気

賠償
責任

育英
費用

学資
費用
(20%)

生活
サポート
サービス

※

旅行
事故
損害

生活
用
財産

借入金
賠償

この保険にご加入いただくと／

- ※各自自治体の条例に対応し(自転車保険等の義務化)
- ※友人のスマートフォンや学校から持ち込まれたノートPC、タブレットを壊すなどして法律上の損害賠償責任を負ってしまったときに!

※ご自身のカバン、メガネ、ノートPCを壊してしまったときなどに!

申込締切日

3/31(火)

なるべく入学手続きと同時に申し手続きください
締切日過ぎても、ご加入は可能です。

日本私立中学高等学校連合会

録画内容も
1分動画で解説!

スマホから
いつでも
チェック!

二次元コードを携帯電話で読み込み、アクセスしてください。
(通信料がかかります。)

(2) 自転車・バイク・自動車等の保険

学生生活や日常生活における事故等に備える保険として、自転車・バイク・自動車に関する保険があります。

特に自転車については、千葉市条例において令和3年4月1日より自転車保険等への加入が義務化されました。千葉市内在住の学生はもとより近隣の市から自転車通学する学生も対象となります。自転車運転中の事故により、加害者となった場合に高額な損害賠償が発生することがあります。万一の事故に備えることが重要です。

〔三井住友海上火災保険〕

- ・ネットで保険@さいくる（自転車）
- ・ネットで保険@とらべる（海外旅行）
- ・1DAY保険（自動車）他

補償内容や加入手続き等の詳細については、(株)敬愛サービス（電話：043-306-8964）まで問い合わせ、またはホームページを確認してください。

■敬愛サービスHP（保険代理店業）

<https://gakuen.u-keiai.ac.jp/keiai-service/hoken/>



6 通学定期乗車券と学割

1 通学定期乗車券

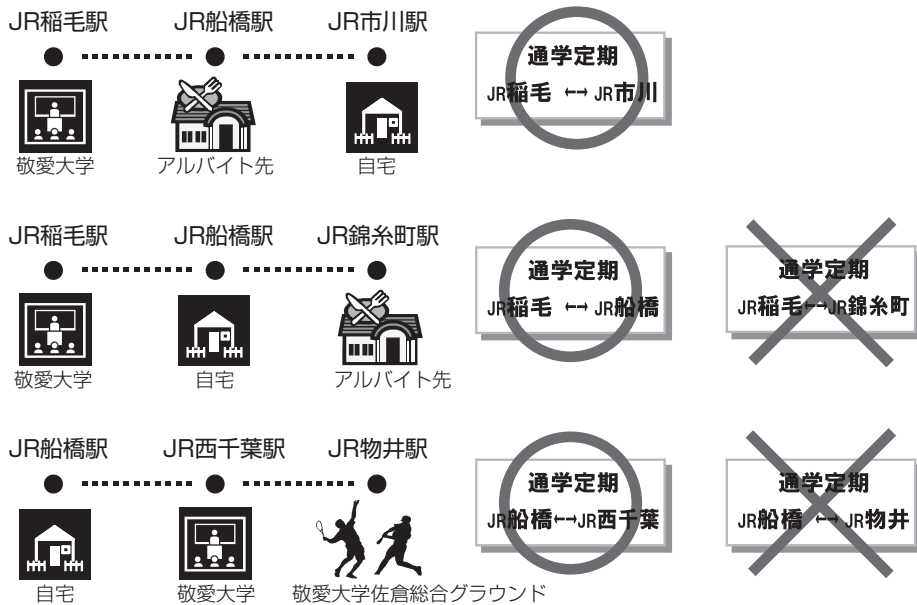
- ① 主な鉄道を利用する場合には、学生証を添えて駅窓口申し込んでください。なおバスなど一部の交通機関では、別途「通学証明書」が必要となる場合があります。事前に交通機関に確認のうえ、学生支援室へ申し出てください。
- ② 通学区間は現住所（住民票または在留カードに記載の住所）最寄駅～大学最寄駅の最短距離でのみ購入することができます。アルバイトなどの目的でこれ以外の区間の通学定期券を購入するのは違法（犯罪）です。このような場合、JRその他の通学定期券を利用する全学生の学割が停止されることもあります。

【大学最寄駅】

JR線：稲毛駅または西千葉駅

京成線：みどり台駅

千葉都市モノレール：天台駅または穴川駅



* インターンシップや教育実習等で「実習用通学定期券」を購入する場合は、修学支援室が定めた期限または使用開始の30日前までに申込書を修学支援室に提出してください。

- ③ 通学以外の目的や通学区間を変更して購入すること、および学生証の現住所が間違っている場合には不正使用となり、相当額の追徴金を徴収され、場合によっては定期券の発行を停止されることがあるので不正に使用してはいけません。不正使用が発覚した場合、学内の規程により処分されます。
- ④ 現住所変更時には、新しい裏面のシールを学生支援室から受取ってください。
- ⑤ 学長印のない裏面シールでは、通学定期券は購入できません。

2 学生旅客運賃割引証（学割証）

旅客鉄道株式会社（JR各社）の営業キロで100キロメートルを超える区間を乗車する際に、学割証を呈示すると運賃を2割引で購入することができます。

学割証は、1号館1階の証明書自動発行機で発行することができます。

7 日常の学生生活を送るにあたって

1 現住所、本籍・氏名等の変更

- ① 現住所や電話番号（本人および保証人等）を変更したいときは、速やかに変更届および根拠書類を添えて届出・申請専用フォームから学生支援室に届け出てください。
- ② 本籍地や氏名等を変更したときは、変更届および住民票や在留カード等の公的機関の発行する資料を添えて届出・申請専用フォームから学生支援室に届け出てください。
- ③ 氏名変更の場合、学生証の再発行が必要です。証明書自動発行機で「学生証再交付願」を発行し、学生支援室窓口へ提出してください。（14ページ参照）

2 保証人、緊急連絡先の変更

保証人変更の場合は、届出様式を印刷して根拠書類と併せて学生支援室窓口まで提出してください。緊急連絡先の変更の場合は、届出・申請専用フォームから学生支援室に届け出てください。

3 教室借用、その他の施設借用

教室等を借用する場合は1週間前までに届出・申請専用フォームから学生支援室に願い出てください。

- ① 借用時間は午前9時から午後9時までです。
- ② 教室内の机、椅子等を移動する場合もその許可を要します。
- ③ 会議室およびパソコン教室の貸出は行いません。

※施設利用申請については、P51を参照してください。

4 学内掲示、印刷物の配布

学内でポスターやチラシ等の掲示・配付を希望するときは、原稿・原物を学生支援室に提出し許可を受けてください。なお掲示をする場合は、A3縦サイズまでとし、原則2週間以内とします。（所定の掲示板を使用）

5 呼び出し・連絡・照会について

保証人等による学生の電話呼び出しの依頼には、緊急の場合を除き、原則として応じません。

なお特別な事由のある場合は、KCNで学生本人を呼び出すことがありますので、日常的に自身のKCN掲示・G-mailを確認しておくことが大切です。

6 遺失物・拾得物・盗難

所持品（特に現金や貴重品）は、必ず自身で責任をもって所持してください。

また学内で忘れ物・落し物をした場合、拾い物をした場合、盗難にあった場合には学生支援室に届け出てください。

遺失物・拾得物は学生支援室窓口で保管しておりますので、心当たりがある場合は、学生証を持参のうえ申し出てください。

なお法定保管期間を過ぎた時は、遺失物法により処分します。

最近の遺失物・拾得物には名前が書かれていない場合が多いので、自分の持ち物に名前を付ける習慣をつけ、物を大切にすることを養ってください。

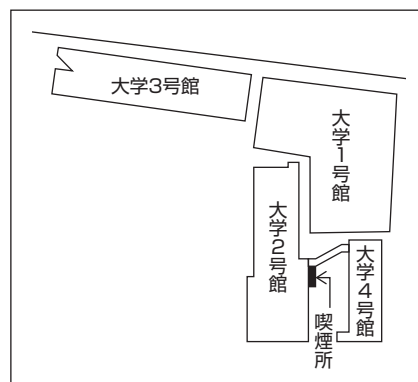
7 禁煙について

敬愛大学キャンパス内で喫煙が可能な場所は記載している喫煙所のみです。

指定された喫煙所以外での喫煙、歩きタバコは健康被害を他者に及ぼし大変迷惑ですので、絶対に行わないでください。

喫煙所以外での喫煙者に対しては、学則による処分を行う場合があります。

また当然ですが、20歳未満の喫煙禁止に関する法律（二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律）により、20歳未満の喫煙・喫煙所への立入りを禁じます。



8 キャンパスへの車両乗り入れ



自転車
登録制



125cc以下のバイク
登録制



125cc超のバイク
利用禁止



自動車
利用禁止

- ① **自転車**……ホームページの届出・申請専用フォームから届出をおこなってください。
届出には**防犯登録**が必要です。
- ② **バイク**……ホームページの届出・申請専用フォームから届出をおこなってください。届出には**自賠責保険証(写)**と**免許証(写)**が必要です。**但しバイクは125cc以下のものに限り**ます。
- ③ **自動車**……**通学時・課外活動時など、いかなる理由でも利用してはいけません。懲戒の対象となります。**
本学はJR、京成、千葉都市モノレールの各駅から近く、徒歩で通える範囲にあります。**通学には、なるべく電車やバス等の公共交通機関を利用してください。**
また駐輪場はマナーを守り、整頓して駐車しましょう。

- 大学周辺の違法駐車により、近隣住民に迷惑をかけるだけでなく周辺の通行を妨げる学生が見受けられます。自動車通学は厳に慎んでください。なお本学周辺は「違法駐車重点取り締め地域」に指定されています。
- 盗難に備えて、大学内に駐輪するときは、**防犯登録**とチェーンロックなどで**ツーロック(二重施錠)**を心がけましょう。
- 最近、自転車運転中に起こした事故により、高額の治療費や損害賠償が求められるケースがあります。自転車も自動車やバイクと同じ「車輛」ですから、運転中は高い交通安全意識が求められます。いざという時に備えて、P28「学生総合補償制度」やP29「自転車・バイク・自動車等の保険」をご覧ください。

知 っ 得 情 報

金銭トラブルにまきこまれないようにしよう！

『簡単に儲かる良い話がある』、『あなただけ特別!』、『チャンスは今だけ』などと気を引く言葉で勧誘を受けたことはありませんか。また、『仮想通貨』などによるマルチ商法の被害に遭われたことはありませんか。

このような契約上、金銭上のトラブル等にまきこまれないためにも、みなさんは甘い誘いにのらず安易な契約をしないよう十分に注意してください。また、本学では学則や学生心得で示しているとおり、社会通念上好ましくない行為や大学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者は断じて認められませんので、十分に注意してください。

困ったときは、千葉県消費者センターまたは市区町村消費生活相談窓口、学生支援室(1号館1階)へ。

千葉県消費者センター TEL 047-434-0999

9 交通機関の運休等に伴う授業の取り扱い

暴風雨、交通ストライキ等により交通機関が運休した場合の授業の取り扱いは、次のとおりとします。
なお、一斉休業の方針が決定した場合には、大学ホームページにて連絡文を掲載するとともに学生に対してKCNより一斉メールを送信します。

(1) 判断基準とする交通機関および区間

JR総武線	(秋葉原駅～千葉駅)
JR総武快速線	(東京駅～千葉駅)
JR総武本線	(成東駅～千葉駅)
JR成田線	(成田駅～千葉駅)
JR外房線	(茂原駅～千葉駅)
JR内房線	(君津駅～千葉駅)
京成線	(県内全線)
京成電鉄 松戸線	

(2) 授業の措置

- ① 午前6時現在、上記の交通機関のうち2路線以上が運休している場合は、午前中の授業を休講とする。
- ② 午前6時すぎから午前10時までの間に運休していた交通機関が運転を再開した場合は、3限目より授業を行う。
- ③ 午前10時をすぎても上記交通機関のうち2路線以上が運休している場合は、終日休講とする。
- ④ 午前6時現在、全ての交通機関が運転をしても、台風の状況等により明らかに荒天する場合は、学長の判断により休講することができる。

10 諸注意

- ① 学生の完全下校時刻は、午後9時です。
- ② 休日・休業中の来校にあたっては、事前に学生支援室に届け出をしてください。
- ③ 学内外で事故・災害等にあった場合は、遅滞なく学生支援室に連絡してください。
- ④ 過失によって本学の施設、設備、備品等を破損した場合は、速やかに学生支援室に届け出てください。なお事情によっては弁償してもらう場合があります。

3 お問い合わせ先一覧

窓口受付時間 平日/8:45~17:00 ※電話対応も同様です

問い合わせの際には必ず「学籍番号」「氏名」をお知らせください。

また、メールには件名も記入するようお願いいたします。例) ○○に関するお問い合わせ

大学運営室（主に総務に関すること）

1. 授業料、学生納付金および寄付金等に関すること

電話番号	043-251-6363
E-mail	daigaku-unei@u-keiai.ac.jp

修学支援室（主に教務に関すること）

1. 休学、復学、退学などに関すること
2. 授業時間割・休講・補講・教室変更に関すること
3. 各年度履修科目および履修登録に関すること
4. 単位・成績に関すること
5. 試験関係（確認試験・その他）などに関すること
6. 教室および教材の借用願受理、許可に関すること
7. 各種証明書の発行に関すること（在学生・卒業生）

電話番号	043-284-2253
E-mail	kyohmu@u-keiai.ac.jp

学生支援室（主に学生生活に関すること）

1. 学生生活に関すること
2. 学生相談に関すること
3. 集会、行事、学内掲示、出版物および印刷物に関すること
4. 奨学金に関すること
5. 学生の福利・厚生に関すること
6. 入寮・アパートの相談に関すること
7. 学友会、学生の文化団体・体育団体に関すること
8. 学生証、旅客運賃割引証に関すること
9. クラブ合宿等の実施許可願の受理に関すること
10. 外国人留学生に関すること

電話番号	043-284-2381（直通）
E-mail	gakusei@u-keiai.ac.jp

情報システム室（主に学内情報システムの利用に関すること）

1. 学内ネットワーク・システムの利用に関すること
2. パソコン・情報機器の利用に関すること
3. ICT サポート・情報セキュリティに関すること

電話番号	043-307-2690
E-mail	joho@u-keiai.ac.jp

キャリアセンター（主に就職や進路に関すること）

1. 就職指導・相談業務に関すること
2. 就職斡旋・紹介業務に関すること
3. 求人に関すること

電話番号	043-284-8333
E-mail	carm-s@u-keiai.ac.jp

地域連携センター（主に地域連携や生涯学習講座、ボランティアに関すること）

1. 地域・社会貢献及び産官学連携に関すること
2. 生涯学習・公開講座に関すること
3. ボランティア活動等に関すること
4. 地域連携に関わる大学内の連絡調整及び窓口業務に関すること

電話番号	043-251-6364（直通）
E-mail	crc@u-keiai.ac.jp

図書館（主に図書館の利用に関すること）

1. 図書の貸出・返却に関すること
2. 図書館施設の利用に関すること
3. レファレンスサービスに関すること

電話番号	043-284-2307
E-mail	keiai_lib@u-keiai.ac.jp

知 っ 得 情 報

資格・検定取得者に対する補助制度

大学在学中に「敬愛大学教育後援会」が認める資格・検定に合格した場合、3,000円の金券を受験料の一部として贈呈します。

(ただし学生1人あたり1年間に申請できるのは、2つの資格・検定までとします)

■対象となる資格・検定

- ・MOS (Word、Excel、PowerPoint、Access) のうち、情報システム室にて申請した者
- ・宅地建物取引士
- ・行政書士
- ・秘書技能検定 (2級以上)
- ・日商簿記検定 (2級以上)
- ・FP技能検定 (3級以上) ※日本FP協会、金融財政事情研究会のいずれも可
- ・ビジネス実務法務検定 (3級以上)
- ・ITパスポート
- ・日本語能力試験 N1
- ・国内旅行業務取扱管理者
- ・マナー・プロトコール検定 (3級以上)

I

学 生 生 活 の て び き

2 快 適 な 学 生 生 活 の た め に

知 っ 得 情 報

20歳になったら、国民年金。

国民年金制度では、20歳から60歳までの40年間加入することにより、65歳から満額の老齢基礎年金が受けられる仕組みになっています。

なお、学生については、これまで加入が任意とされていたため、加入していない場合、次のような問題が生じてきます。

- ① 在学中にけがや病気、交通事故などで障害が生じても、障害基礎年金が受けられない。
- ② 満額の老齢基礎年金が受けられない。

そこで、平成3年4月から、学生も20歳になったら、国民年金に必ず加入するように法律が改正されました。

しかし、一般的に学生は収入がありませんので、学生本人の所得が一定の基準以下である場合は、申請により保険料の納付が猶予されます。

加入手続きや、保険料の猶予申請は、住民登録をしている市区町村役場の国民年金担当窓口で行っていますのでお問い合わせください。

なお届出はご父母の方が代理ですることできます。まだ、届出をされていない20歳以上の学生は、すぐ手続きを行ってください。

9 ハラスメントの防止と相談

敬愛大学はハラスメントを許しません！

■ハラスメントとは

ハラスメントとは「嫌がらせ」のことです。つまり誰かがあなたに対して、あなたが望まない言葉や態度により精神的苦痛や不快感を与える行為をいいます。学内においては、学生同士ではもちろん教職員・学生間も含まれます。

その言動を受け手がどう受け取ったかがポイントです。「そんなつもりではなかった」は通用しません。意図的な行為であったかどうかに関係なく、受け手が不快に感じ、それにより適切な修学や就業が妨げられれば、それはハラスメント行為であり、恥ずべき人権侵害行為だと認識しなければなりません。

学生に関する主なハラスメント



A：セクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせ）の例

性的言動	<ul style="list-style-type: none">● 交際や性的関係を強要する● 必要なくむやみに身体に触れる● 異性関係についてしつこく聞く● つきまとう（電話・メール等を含む）● 個人の性的な噂を流す
環境型セクハラ	<ul style="list-style-type: none">● パソコン画面等に性的な画像を表示する● 講義内容に直接関係のない卑猥な話をしたり、学生に性的な事柄を質問したりする● 周囲に異性がいるにも関わらず性的な冗談を話す
対価型セクハラ	<ul style="list-style-type: none">● 成績や進路斡旋などをほのめかし、交際や性的要求に従うことを強要する● 性的要求等を拒んだ人に対し、指導や助言しないなど不利益や精神的苦痛を与える
ジェンダーセクハラ	<ul style="list-style-type: none">● 「掃除・お茶くみ・お酌は女性の役割」だと女性に求める● 「女のくせに心配りがない」「男のくせに根性がない」と言って非難する● 「女は能力が劣るくせに」「女はトラブルを作るから厄介だ」と女性の参加を拒む● 「男だったら裸踊りくらいできなくてどうする」と強要する

B：アカデミック・ハラスメント（アカハラ）、パワー・ハラスメント（パワハラ）とその例

教職員や職場において優越的な地位にある者が、その指導・監督を受ける者に対して立場の優位性を背景に行う嫌がらせ行為。一般的には学内においてはアカハラ、社会全般ではパワハラと呼ばれます。

アカハラの例	<ul style="list-style-type: none">●多数の前で特定の学生を叱責・批判●深夜休日に学生を呼んで指導を強要●合理的な理由なく講義への参加を拒んだり、提出物などを受理しなかったりする●学生のプライバシーを暴露する●退学・留年勸奨、指導拒否
パワハラの例	<ul style="list-style-type: none">●アルバイト先での残業強要、給与不当未払い、不当解雇など●就職活動での不合理な呼び出し、不要不急の呼び出し、内定取消のちらつかせ など

C：アルコール・ハラスメント（アルハラ）とその例

飲み会などの席で、仲間や先輩が無理矢理アルコール飲料を飲ませる嫌がらせ行為。

アルハラの例	<ul style="list-style-type: none">●飲酒の強要●「イッキ飲み」の強要●意図的な酔いつぶし●飲酒できない人への配慮を欠く行為●酔った上での迷惑行為
--------	---

ハラスメント被害に遭ったと感じたら

- いやだと思ったら、相手にはっきりとNOの意思表示をする勇気を持ちましょう。
- 信頼できる先生や友人、相談窓口などに相談し、一人で抱え込まないようにしましょう。
- 被害の記録をとりましょう。（いつ、どこで、誰から、どんなことがあったのかなど）
- 身の危険を感じるときは、警察に連絡しましょう。

相談したいときは

学内にはハラスメント相談員が複数名おります。どの相談員にも相談できます。

相談員は相談者のプライバシーを守り、あなたの同意なく知り得た情報を他者にもらすことはありません。

ハラスメントに関する相談員は、下記のとおりです。

ハラスメント相談員

経済学部：和田 良子 教授、脇黒丸 慎太郎 専任講師

国際学部：織井 啓介 教授、プロミニツ 林 ララ 准教授

教育学部：畑中 千晶 教授、田中 未央 准教授

情報マネジメント学部：三幣 真理 教授、丁 明 准教授

10 地域連携センターの利用

本学は、ボランティア活動や地域連携・社会貢献活動の窓口として、「地域連携センター」を設けています。

1 ボランティア活動

ボランティア活動には様々なものがありますが、自分の持つ技能や時間、なにより「自発的に他人や社会に貢献しようとする心」が大切です。成績や単位に関係なく、活動を通じて「自己有用感」（自分が社会の中で役に立っていると感じる気持ち）を高めることができます。

地域連携センターでは本学に届く多くの情報の中から特に学生に有益と思われる活動を、メール配信等を通じて紹介しています。

(1) 教育支援 ボランティア	「教育の敬愛」の強みを活かし、主に小中学校における授業補助や行事補助、補習支援等の活動があります。市区町村の教育委員会単位のほか、個々の学校等で募集しているものもあります。（修学支援室が担当します。）
(2) 地域活性化 ボランティア	町内自治会や商店街等が開催する地域行事（盆踊り大会、夏祭り等）の様々な行事に学生が積極的に参加し、近隣住民の方々から学ばせていただいています。
(3) 災害復興支援 ボランティア	大地震や台風などの災害により被災した地域を支援するボランティアで、体力を使うものから被災された方の心に寄り添うもの、産業復興を応援するもの等、様々な活動があります。
(4) 大学横断型 ボランティア	近隣の様々な大学の学生が集まり、市道の緑化活動等や市内の様々な催事に協働で取り組む活動を行っています。
(5) 大学内 ボランティア	敬愛大学・敬愛短期大学の学生を対象としたボランティア活動で、大学事務局の各部署や学生ボランティアサークル等によって行われています。
(6) 幼保系 ボランティア	幼稚園や保育所、認定こども園等で行われる、未就学児童を対象とした保育ボランティア活動です。主に保育者をめざす短期大学生が対象ですが、活動によっては大学生も参加することができます。



2 街づくり支援、地域貢献

地域連携センターは、学生・教職員と稲毛の街や千葉市を繋ぎ、行政や商店街、町内自治会、イベントの実行委員会等と協力して様々な取り組みを行っています。

(1) 稲毛の街を盛りあげ隊	本学のある稲毛の街を盛りあげるのも、敬愛大学・敬愛短期大学の大きな使命の一つです。7月のせんげん通りまつり、11月のあかり祭「夜灯」は、特に敬愛生の腕の見せどころ。また各町内会の夏祭りや盆踊り、餅つき大会等にも学生たちが駆けつけ、様々な学びを得ています。
(2) パラスポーツの普及、パラリンピックのレガシー	千葉県・千葉市などと連携して、「パラスポーツフェスタちば」や「いなげポッチャカップ」等を通じて引き続きパラスポーツの普及・振興に協力します。また東京2020パラリンピックでのボランティア経験を発展させた新競技「ソフトパラフェンシング」にも取り組んでいます。
(3) 産学官連携による取り組み	千葉市域の私立11大学・短大が参画する「ちば産学官連携プラットフォーム」、産学官団体が参画する「ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム」などを通じて他大学の学生や県・市職員、産業界とともに、街の活性化事業に取り組んでいます。



3 生涯学習講座

「学ぶ」の語源は「真似（まね）ぶ」とも言われています。様々な知識・経験・技術を持つ方の真似をしながら自分自身を高めていくために行うことが、「学ぶ」ことだと言えます。最近ではVUCA(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の頭文字をとった造語)の時代と言われるほど、世の中は目まぐるしく変化する「予測困難な」状況にあります。このような時代に生きるからこそ、私たちは生涯にわたって学び続けることが求められています。

敬愛大学では2006年から生涯学習講座を開設し、「人生100年時代」の学びの種を多数提供しています。学生の皆さんは全ての講座を半額の受講料で受講することができますから、授業の空き時間や前後にぜひ活用してください。

受講の相談・申込は、地域連携センター（1号館1階）で受け付けています。

3

奨学金・経済支援

1 敬愛大学独自の支援制度

1 長戸路記念奨学金

この奨学金は、本学園創設者である長戸路政司先生の功績を記念して設けられた給付奨学金です。敬天愛人講座を受講し、建学の精神「敬天愛人」を具現可能な学生であり、次のいずれかにあたる者を対象とします。

対象者

- ① 成績が優秀な者（自薦不可）
- ② 課外活動等により、学園の発展および社会に貢献をした者（学内公募）
（ボランティアやスポーツ等を通じて明るく豊かで活力に満ちた社会の実現に寄与し他の模範となる者）
ア) 学内外の団体活動において、企画・立案し、精力的に活動した結果、顕著な成果を上げた者
イ) 全国規模の大会等において優勝相当の成績を修め、かつ個人においても顕著な成績を修めた者
ウ) 全国規模において、文化活動・教育活動で顕著な成績を修めた者

申し込み

例年10月に募集要項を公表し、受付（学生支援室）を行います。

給付金額

1人当たり20万円以内（※本奨学金の受給は在学中1回を原則とする。）

2 敬愛大学の経済的に修学困難な学生に対する経済援助

この制度は、「敬愛大学・敬愛短期大学の経済的に修学困難な学生に対する経済援助に関する規程」に基づき、修学意欲が旺盛にもかかわらず、家計の急変により修学困難な者に対して奨学金を給付することにより経済的に援助し、有為な人材を育成することを目的としています。

対象者

- ① 生計維持者の死亡
- ② 生計維持者の非自発的失職
- ③ 罹災
- ④ その他、相応の事情による者

※日本学生支援機構給付奨学金【修学支援新制度】の支援区分が第Ⅰ区分および多子世帯となっている学生は、①～④のいずれかに該当していたとしても対象となりません。

支援内容

給付金20万円

当該年度1回の申請とし、在学中最大4回まで申請することができる。

2 奨学金制度

1 日本学生支援機構給付奨学金【高等教育の修学支援新制度】(授業料の減免および給付奨学金の支給) ※留学生は対象外

この制度は、「給付奨学金」及び「授業料等減免」2つの支援を同時に受けることができます。申請を希望する学生は、家計(所得・資産)に係る基準や学業等に係る基準、その他の要件をみたしていることが必要です。

毎年、大学で行われる定期採用の一次募集(4月頃)及び二次募集(10月頃)において、奨学生の募集を行います。希望する学生は、定期採用説明会に必ず出席をしてください。

※説明会の開催日時は、KCNメール及び掲示等を通じてお知らせします。見落とし等により申込みの機会を逃さないように注意してください。

給付額及び減免額に関する「支援区分」について

世帯の経済状況に基づき支援区分が定められます。収入の基準は、日本学生支援機構がマイナンバーにより修得した前年(1/1~12/31)の収入に基づく今年度の住民税情報に基づき算出された支給額算定基準額が収入基準に該当するか判定します。

支援区分の見直しについて

採用後は年1回、日本学生支援機構による「適格認定【家計】(10月以降の支援区分の見直し)」があります。給付奨学生が毎年4月に行う「在籍報告」で報告された生計維持者および奨学生本人の経済状況(マイナンバー)に基づき、支援区分を決定します。奨学生は、スカラネット・パーソナルを通じて必ず区分の確認を行う必要があります。

多子世帯支援について

子ども3人以上の世帯で、生計維持者の扶養する子どもが3人以上いる世帯が対象です。子ども3人以上同時に扶養している間、所得制限なく国が定める一定の額まで大学等の授業料・入学金が減免されます。※申請時における実際のきょうだい数等ではなく、確定済みの前年以前の税情報(マイナンバー)により確認します。

※減免支援においては、上限額が定められており、完全に授業料が無償化される支援ではありません。

※入学金減免は、1年生で前期に採用(予約採用者または、定期採用一次募集採用者)された学生が対象です。

給付奨学金及び授業料等減免				
区分名称	給付奨学金(月額)	授業料減免(年額)	条件	年収目安
第Ⅰ区分	38,300	700,000	・学業等に係る基準 ・家計に係る基準 ・1子、2子世帯	~270万円
第Ⅱ区分	25,600	466,700		~300万円
第Ⅲ区分	12,800	233,400		~380万円
第Ⅰ区分(多子世帯)	38,300	700,000	・学業等に係る基準 ・家計に係る基準 ・多子世帯	~270万円
第Ⅱ区分(多子世帯)	25,600			~300万円
第Ⅲ区分(多子世帯)	12,800			~380万円
第Ⅳ区分(多子世帯)	9,600			~600万円
多子世帯	0			600万円~

※年収目安の金額は上限額ではなく家族構成によって変動します。目安の金額として参照してください。

文部科学省「高等教育の修学支援制度」ホームページ
<https://www.mext.go.jp/kyufu/student/daigaku.html>



日本学生支援機構ホームページ「奨学金の制度（給付型）」
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>



2 日本学生支援機構 貸与奨学金（留学生は対象外）

日本学生支援機構 貸与奨学金は、大学・短期大学等で学ぶ人を対象とした、国が実施する奨学金です。申請を希望する学生は、家庭の経済状況や人生・生活設計に基づき、奨学金の貸与を受ける必要性、返還時の負担などを十分に考慮し、学資として必要となる適切な金額を選んで申し込んでください。貸与奨学金は、学生本人が「借りる」ものであり、大学卒業後の返還義務も本人にあります。

(1) 貸与奨学金の種類について

貸与奨学金は、以下の3種類があります。なお、第一種と第二種の併用貸与も可能であり、給付奨学金【高等教育の修学支援新制度】も併せて受けることができます。入学時特別増額貸与奨学金は、第一種・第二種の初回振込時に増額して入学時の1回だけ振込まれます。

- ・第一種奨学金（利息なし）
注）給付奨学金【高等教育の修学支援新制度】と併用した場合、支援の区分によって貸与月額が調整されます。
- ・第二種奨学金（利息あり 年3%を上限としています）
- ・入学時特別増額貸与奨学金（利息あり）※入学時特別増額貸与奨学金のみの申込はできません。

(2) 貸 与 額

	第一種奨学金		第二種奨学金	
	自宅通学者	自宅外通学者		
最高月額	54,000円	64,000円	20,000円	80,000円
最高月額以外の月額		50,000円	30,000円	90,000円
	40,000円	40,000円	40,000円	100,000円
	30,000円	30,000円	50,000円	110,000円
	20,000円	20,000円	60,000円	120,000円
		70,000円	※1万円単位で選択	

※最高月額は、併用貸与の家計基準に該当する場合のみ利用できます。

(3) 採用後の提出（入力）、手続きについて

奨学生として採用された後も以下の提出（入力）や手続きが求められます。大学（学生支援室）からの指示に従い、説明会の出席やインターネットを通じての提出（入力）を必ず行ってください。

- **継続願（適格認定）** ……対象：1～3年生 毎年1回（12月～1月）
来年度も継続を希望するかどうかを、日本学生支援機構に提出する必要があります。適格認定では「人物」「学業」「経済状況」の要素に基づき審査が行われます。
- **返還について【口座振替加入申込書（リレー口座）】**
卒業6か月経過後から口座振替により月賦返還を行います。口座振替加入申込書（リレー口座）は原則、スカラネット・パーソナルから加入できます。
※次の場合は、スカラネット・パーソナルからの手続きができないため、「口座振替（リレー口座）加入申込書」で手続きを行ってください。
①スカラネット・パーソナルの取扱対象外の金融機関の場合
②奨学生本人名義以外の口座の場合

➤ **在学届（在学猶予願）**

貸与奨学金において廃止又は、辞退後も在学する場合は、在学届（在学猶予願）を提出する必要があります。本届出をすることで、奨学金の返還が卒業まで猶予されます。

※在学届（在学猶予願）はスカラネット・パーソナルから提出可能です。

3 その他、共通事項【給付奨学金（高等教育の修学支援新制度）・貸与奨学金】

- **スカラネット・パーソナルの登録**：奨学生は、必ず登録を行ってください。
- **異動の手続き**：事由ごとに所定の用紙がありますので必ず学生支援室へ申し出てください。

改氏名、住所変更、連帯保証人・保証人・本人以外の連絡先の変更、奨学金の辞退、退学/除籍など

大学ホームページ/奨学金に関すること/国による奨学金制度

<https://www.u-keiai.ac.jp/shogakukin/jasso/>

3 教育ローン制度

1 教育ローン利子補給

この制度は、「当該年度の納付金を一括納入する」入学予定者及び在学生の保証人に対して、銀行と証書貸付による教育ローン契約をしていただき、契約額（当該年度の学納金を上限とします）の利息（上限3%相当額）を支援するものです。（利息が自己負担率3%未満の場合は、自己負担率までの利息とします。）

- (1) **申し込み** この制度を利用して教育ローンを締結する場合は、事前に学生支援室までお申し出ください。ご連絡を頂ければ申込用紙など詳しい資料をお渡しします。なお指定銀行等はありませんので、大学から承認を得て事前に申し出た銀行（支店・窓口）で契約事務を進めてください。
- (2) **支給** 年1回まとめて支払います。年度分（3月31日）時点の利息をまとめ、翌年度（4月10日）までに申請することにより、5月末頃に利子補給します。

※詳細は学生支援室に相談してください。また教育ローン契約についての問い合わせは、各金融機関にお願いします。

2 国の教育ローン

日本政策金融公庫の教育ローンです。低金利で350万円までの入学時・在学中にかかる費用の融資が受けられます。詳細は直接、教育ローンコールセンター（電話 0570-008656）に問い合わせてください。

※この教育ローンは、利子補給制度の対象とはなっていません。

3 提携教育ローン

本学は以下2社と提携しています。詳細はホームページをご確認ください。

□(株)オリエントコーポレーション

詳細は直接、サポートデスク（電話0120-517-325）にお問い合わせください。

□(株)ジャックス

詳細は直接、ジャックスコンシューマーデスク（電話0120-338-817）にお問い合わせください。

大学ホームページ/ホーム > 奨学金に関すること > 教育ローン

<https://www.u-keiai.ac.jp/shogakukin/loan/>



4

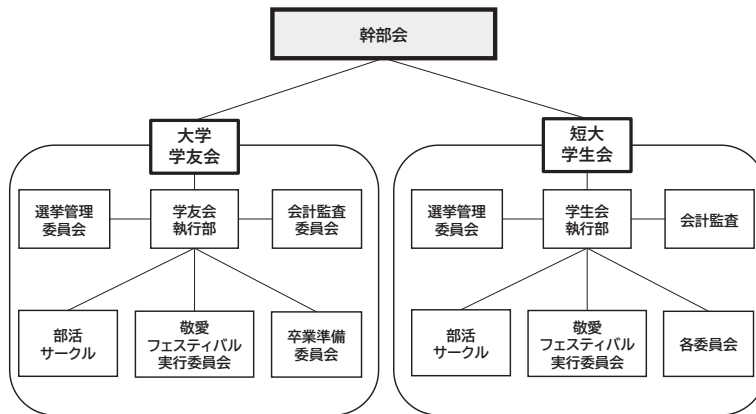
課外活動

1 学友会・部活・サークル活動

大学は、教育・研究という「学問の府」として存在するばかりではありません。学生が主体となって運営する自治的な活動、自主的な研究会活動、正課外活動としてのクラブ活動、社会的なボランティア活動等に積極的に参加しましょう。

1 学友会

学友会は、本学学生全員が会員となって運営されている自治組織です。学友会は、学生の社会性の育成とキャンパス・ライフの活性化のために必要な組織ですが、会員である学生諸君の正しい認識と積極的な協力によってはじめて全員の意思が反映されるので、その自覚をもって活動されることを望みます。



2 クラブハウス

学生諸君の学友会・クラブ活動をはじめとする課外活動全般の活性化を援助するためにクラブハウスが設置されています。クラブハウス内には、学友会執行部室をはじめ部活・サークルの部室があります。

尚、クラブハウスは学友会によって運営されています。

3 学友会承認団体

活動するにあたり、以下の2点を遵守するようお願いいたします。

- 1) スポーツ系団体（主にスポーツ活動を行う団体）には、課外活動中の不慮の災害事故に対して「スポーツ団体傷害保険」に加入してもらいます。保険の内容は27ページを参照してください。
加入手続きは団体の部長を通じてお知らせします。
- 2) 学外で活動を行う団体は、事前に学生支援室に届け出るとともに、必要な手続（保険、各種予約等）を遅滞なく行ってください。

現在、活動している承認団体は次のとおりです。

		団体名	保険加入 (P27)	体育会 (P49)	
部活動	スポーツ系	硬式野球部	●	●	
		女子バレーボール部	●	●	
		男子バレーボール部	●		
		少林寺拳法部	●	●	
		硬式テニス部	●	●	
		バスケットボール部	●	●	
		サッカー部	●		
		ふれあいスポーツ部	●		
	文化系	音楽部			
		軽音楽部			
		教育ボランティアIris部			
		卓上ゲーム部			
	サークル	スポーツ系	ダンスサークルKDC	●	
			剣道サークル	●	
ピククルボールサークル			●		
セパタクローサークル			●		
文化系		ボランティアLove&Action			
		ちばくりん敬愛支部			
		アニメ研究会サークル			

サークル新設の申請・相談は学友会執行部で受け付けています。

希望する学生は、積極的に担当者に相談してください。

2 敬愛大学体育会

敬愛大学体育会は、体育系の部の育成及び活性化を図り、スポーツを通じて、皆さんの心身の健全な発達に資することを大きな目標に掲げています。体育会所属団体は各種目の大学連盟に加盟し、その主催する大会での活躍を目指すことができます。

各団体の活躍の様子や活動の詳細は「敬愛大学体育会」サイトをご覧ください。

<https://www.u-keiai.ac.jp/sports/>



野球部



バレーボール部



少林寺拳法部



硬式テニス部



バスケットボール部

3 特別指導組織

学習意欲のある学生諸君が自主的に運営する団体です。専任の先生が顧問として対応し、直接指導・支援をしますので、卒業後の希望進路に応じてより専門的な指導を受けることができます。

主に資格取得を目指すために、定期的な学習会・勉強会、夏季・冬季休業中に合宿勉強会をおこなっています。詳細については、担当教員に問い合わせてください。

また、各指導室の担当教員は修学支援室に確認をしてください。

- ・教職指導室
- ・公務員指導室
- ・金融研究会
- ・オープンキャンパスチューター

5

施設の上手な利用方法

1 食堂・売店

1 食堂

おしゃれなカフェのように明るく、広々としたスペースの食堂です。リラックスしながらゆっくり食事をし、午後の授業に向けてエネルギーを再充填できます。

1号館3階 営業時間11:30～13:30



2 ヤマザキYショップ

3号館1階の売店「ヤマザキYショップ」では、文房具やソフトドリンク、スナック類等を販売しています。



Yショップ 営業時間 10:00～16:00 (月～金)

3 教科書販売

教科書など教材用書籍は、前期・後期ともインターネットで販売します。詳細はガイダンスでお知らせいたします。

2 稲毛キャンパスのスポーツ施設

グラウンド・敬愛アリーナ・トレーニングルーム

稲毛キャンパスのグラウンドは敬愛学園高校との取り決めにより使用できる時間が決まっています。

*大体育館は使用できません。人工芝グラウンドは高校が使用していない時間に限り、使用できます。

●敬愛大学生の使用できる施設

敬愛アリーナ（平日16：00～21：00）

トレーニングルーム（開室時間 平日8：45～17：00）

（高校生にも開放していますが、大学生の使用を優先しています。）

*敬愛アリーナは、体育会および使用するサークルの代表により予め使用する時間帯が定められます。なお、個人での使用はできません。

*大学の授業や各種行事があるときは使用できません。

*トレーニングルーム使用時は、トレーニング用ウェア・シューズを着用ください。



敬愛アリーナ



トレーニングルーム

3 施設利用申請について

施設利用許可申請書を「届出・申請書 提出フォーム」にて提出をしてください。

利用可否を確認後、KCNにて回答します。なお、承認まで1週間程時間を要しますので、借用の1週間前までに申請書の提出をしてください。

また、使用日が土日・祝日の場合は、承認を受けた後、申請書のコピーを警備室に届けること。

【利用上の注意】

- 使用者は終了後、清掃および備品等を復元すること。
- 授業時間中に使用を希望する場合は、修学支援室で予め確認の上で申請すること。
- 学生への会議室およびパソコン教室の貸出は行いません。
- 学生の完全下校時刻は、午後9時です。

4 キャリアセンターの利用

1 就職活動スケジュール

日程	2年次5月～			3年次2月～						
就職活動の流れ	自己分析	業界研究	職種・企業研究	合同企業説明会・企業説明会	書類選考・履歴書提出	筆記試験（SPI試験）	グループディスカッション	面接	内々定	
	インターンシップ									
大学内就職講座	就職活動セミナー（2年次）									
				就職フェア（3年次12月）						
				学内企業説明会・選考会（3年次3月～）						

2 大学内就職活動関連講座

- ① 就職活動本番に備え、自己分析や業界・職種研究、SPI試験対策など各種セミナーを実施しています。また、昨今の就職活動の早期化に対応すべく、2、3年生に対し早い段階から就活準備支援を実施しています。
- ② 個別面談（3年次）
- ③ 就職フェア（学内合同企業説明会）（3年次）
敬愛大学で開催する最大規模の就職活動イベントです。約50社の企業・団体をお招きし、人事担当者と学生が直接面談します。将来の就職先企業に巡り合える絶好の機会です。

3 キャリア教育

自分の将来を見据え、大学生活の送り方を考えることから職業選択や業界・企業選びまで、1年次から4年次まで段階的に展開しています。そして、キャリア教育としては「多様性の理解と協働性の実践」、即ち、「多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる人材」の育成に注力しています。例えば「企業の魅力発見」授業では、様々な業界の企業の方に講演を頂き、就職活動に役立つ業界・業種・職種研究を行います。また、「プレインターンシップ」&「インターンシップ」&「ポストインターンシップ」授業は、就業体験を通じて職業観を育成する内容となっています。

4 その他

キャリアセンターではその他、就職相談、求人紹介、履歴書添削、面接練習、個人面談、SPI対策講座、希望進路ガイダンス等を実施し、学生の就職をサポートしています。

5 図書館・コミュニケーションラボの利用

図書などの資料提供サービスは図書館、コミュニケーションラボおよび学内情報システムの管理は情報システム室が行っています。

図書やノートPCの貸出、ミーティングブース等の利用には、学生証が必要です。

利用方法等については、Webサイトにも掲載していますので確認してください。

URL : <https://www.u-keiai.ac.jp/kulir/>

1 図書館（1号館2階／1階・えほんのもり）

■図書館開館時間

月曜日～金曜日 9:00～18:30（2階）／9:00～17:00（1階・えほんのもり）

土・日・祝日・学事日程による休講日等は休館です。

※臨時閉館および開館時間変更等についてはその都度お知らせします。

■貸出冊数・期間

資料の種類	貸出冊数	貸出期間
図書・雑誌	10冊以内	2週間以内（雑誌最新号は貸出できません）
絵本・コミック		1週間以内
視聴覚資料	1本	館内閲覧のみ・CDは原則として貸出可能

※長期休業中・教育/保育実習中・卒業論文作成時等の特別貸出については、その都度お知らせします。

2 コミュニケーションラボ（3号館2階）

■開館時間

月曜日～金曜日 9:00～18:00

土・日・祝日・長期休業期間・学事日程による休講日等は休館です。

※臨時閉館および開館時間変更等についてはその都度お知らせします。

■利用可能な設備・機器

コミュニケーションラボには以下の設備・機器が設置されています。

授業で利用している場合を除き、原則として自学自習に利用できます。大いに活用してください。

パソコン・オンライン学習ブース・ミーティングブース（6人程度の座席とパソコン）

テーブル・可動式テーブル椅子24セット・パーティション15

天板ホワイトボードテーブル6台・電子黒板・大型モニター

6 情報システムの利用

Webサイトで最新情報を確認

紙面の都合で、掲載内容は限られます。実際に利用する場合にはWebサイトで詳細を確認してください。

URL : <https://www.u-keiai.ac.jp/for-students/system/>

1 Keiai Campus Navigator (KCN) の利用

Webブラウザ上で利用する、キャンパスライフを送るために必須となるシステムです。シラバス確認、履修登録等の各種手続き、休講等のお知らせ、授業における課題のやりとりやテスト、在学中の活動を記録するマイステップ、アンケートなど様々な機能があります。

ユーザID : ki***** ([ki] +各自の学籍番号)

パスワード : 各自のパスワード

2 e-mail (Gmail) の利用

Gmailのシステムを利用しています。PCのWebブラウザや、スマートフォンのアプリを利用してメールの送受信ができます。KCN等学校からのお知らせはこのメールに送信されますので必ず確認できるようにしてください。

メールアドレス : ki*****@u-keiai.ac.jp ([*****] は各自の学籍番号)

パスワード : 各自のパスワード

3 moodleの利用

Webブラウザ上で利用する、e-ラーニングシステムです。一部授業で利用します。

ユーザ名 : ki***** ([ki] +各自の学籍番号)

パスワード : 各自のパスワード

4 インターネット接続認証

■学内設置パソコンからのインターネット利用

学内設置パソコンからインターネットを利用するためには、情報システム室が実施する「情報セキュリティ試験」に合格しなければなりません。不合格者は1年生の後期からインターネット接続禁止になり、授業に多大な影響があるため、前期中に確実に合格してください。

■学内無線LANの利用

個人のパソコンやスマートフォンを学内の無線LANアクセスポイント (Wi-Fi) に接続できます。利用するためには、「情報セキュリティ試験」に合格する必要があります。詳しい利用方法はWebサイトを確認してください。

URL : <https://www.u-keiai.ac.jp/kulir/pc/wlan/>

5 Microsoft365の利用

在学中利用可能なOffice製品のMicrosoft365を無償提供しています。

詳しくはWebサイトを確認してください。

URL : <https://www.u-keiai.ac.jp/kulir/pc/office365/>

6 印刷

学内での印刷は、ポイント消費制となっています。下記の表を確認してください。ポイントがなくなった場合は有償でのポイント購入になります。ポイントを翌年度に繰り越すことはできません。

■印刷ポイント数

期間	1年生～3年生	4年生
4/1～3/31	300ポイント	400ポイント
	モノクロ：1枚1ポイント、カラー：1枚4ポイント	

ポイントの追加
50ポイント毎に200円

7 学内設置パソコンの利用

1 キャンパス内のパソコンルーム

キャンパス内には資料調査やレポート作成などに利用できるパソコンが約200台整備されています。

パソコンが使用できる教室は、講義中でなければ自由に使うことができます。利用できる時間は、教室の掲示等で確認してください。学内行事等で利用できない場合も事前に掲示します。

2 パソコンへのログイン方法

学内に設置したパソコンを利用するにはログインが必要です。

ユーザー名：ki***** ([ki] +各自の学籍番号)

パスワード：各自のパスワード

3 ファイルの保存

学内に設置したパソコンでファイルを保持する場合には、ホームディレクトリ、デスクトップ、ドキュメントフォルダ内に保存してください。それ以外の場所に保存しても、電源OFFで消去されます。

ファイルの最大保存容量は200MBです。それ以上の容量を必要とする場合は各自でUSBメモリ等を用意してください。



2024年度以降の入学生のみさんへ

2024年度入学生からBYODを実施しています。ご自身のパソコンでのログイン方法、ファイルの保存場所は、学内設置パソコンとは異なりますので注意してください。



自分のパスワードの管理はしっかりとしましょう！

I

学生生活のてびき 外国人留学生

1. 快適な学生生活のために

① 外国人留学生の心得	58
② 学生支援室	59
③ 外国人留学生を対象とした奨学制度	60
④ 在留のための手続き	62
⑤ 行政書士によるビザ無料相談	64
⑥ 留学生に関する連絡先等	64
⑦ 留学生の違反行為への対応	65

1

快適な学生生活のために

1 外国人留学生の心得

敬愛大学は、建学の精神「敬天愛人」に基づいた人間形成に努めることを目標にしています。留学生のみなさんにも、他者を思いやり、自分に厳しくあってほしいと思います。

母語のみの使用や同じ国の学生だけでグループを作ることは控え、「異なる考え方や生き方」を認め合うことの大切さを学びましょう。

また次のことに特に留意して有意義な学生生活になるように切望します。

- ① 日本に留学した目的を忘れず、自分の夢の実現に努めること
- ② 日本で学ぶ機会を得たことに感謝し、わずかな時間でも学習に努めること
- ③ 規則正しい生活に努めること
- ④ 日本の法律および敬愛大学の学則をしっかりと守ること
- ⑤ 日本語能力の向上に努め、早い時期に日本語能力試験N1に合格すること

外国人留学生に関することは、主に学生支援室が担当しています。

授業がある日は、必ず学生支援室に来室して出校簿にサインをすると同時に、連絡事項などを確認してください。



2 学生支援室

学生支援室は全ての学生の生活支援を担当します。外国人留学生に関する事務も、主に学生支援室が担当しています。

1 留学生に関する主な業務内容

- ① 出校状況、成績状況の把握
- ② 奨学金などの情報提供とその手続き
- ③ 授業料減免手続き
- ④ 在留資格に関する手続き（パスポート、在留カードなど）
- ⑤ 学生相談（生活に関すること、ビザに関することなど）

2 出校簿について

大学に来たら、必ず学生支援室で出校簿に自筆でサインをしてください。
代理サインや記入日虚偽は授業料減免停止となります。

3 学生支援室に提出するもの

変更や更新した場合も提出してください。

- ① 授業料減免申請書・減免調査票・氏名、家賃及び共益費が分かる書類（賃貸借契約書など）
- ② パスポート
- ③ 在留カード
- ④ 日本語能力認定書（日本語能力試験に合格した場合）

*②～④は学生支援室窓口で原本を提示してください。確認後コピーして返却します。

【注意】書類の不備や期限切れの場合、在留期間更新申請書の発行や授業料減免、奨学金申請に応じられない場合があります。

4 学生支援室に届出をするもの

変更した場合も届出が必要になります。

- ① 住所・電話番号、保証人、緊急連絡先の変更
- ② 出国（日本国外に出国する時）
- ③ アルバイト先

5 長期欠席について

体調不良や家庭都合等で長期にわたる欠席が必要な場合は、予め学生支援室に相談してください。長期にわたり連絡なく欠席していると、退学処分になる可能性があります。

6 学生支援室以外が担当するもの

- ① 学費納入に関すること……………大学運営室
- ② 履修登録・講義・試験・成績に関すること……………修学支援室
- ③ 就職指導に関すること……………キャリアセンター
- ④ 入試に関すること……………アドミッションセンター
- ⑤ 図書館の利用に関すること……………図書館
- ⑥ 情報システムの利用に関すること……………情報システム室
- ⑦ ボランティア活動等に関すること……………地域連携センター

3 外国人留学生を対象とした奨学制度

1 敬愛大学私費外国人留学生授業料等減免制度

学部正規課程に在学する私費外国人留学生の経済的負担を軽減し、学業の継続を支援する制度です。

留学生ガイダンスで配布する授業料減免の「申請書」と「調査票」、「貸借契約書」の写し（名前・家賃・共益費の分かる書類）を期日までに提出してください。選考の結果は年度末のガイダンスで通知します。

- (1) **減 免 額** 授業料の3割相当額
- (2) **条 件** 本学に在籍する留学生で以下の①および②の条件を満たす者
 - ①経済的に恵まれない
 - ・アパート等の住居費は8万円以下
 - ・仕送りは平均月額10万円以下
 - ・在日扶養者の年収は500万円未満
 - ②学業継続の意思がある
 - ・出校日数が出校すべき授業実施日の75.0%以上
※病気・出産のために休む場合は欠席扱いとなる。
 - ・学年度末における修得単位数が、1年次は32単位以上、2、3年次は30単位以上（認定単位は含めない）であること。
ただし3年次終了時に100単位以上修得し、かつ必修科目を全て修得している場合は、3年次の修得単位が30単位未満でも4年次の減免は認める。
- (3) **授業料減免を取り消される例**
 - ① 出校日数不足、単位不足の場合
 - ② 学則等に違反して、処分を受けた場合
 - ③ 休学または退学をした場合
 - ④ 「留学」の在留資格を失った場合
 - ⑤ 本学の学生として相応しくないと認められる場合 など

※1年生～3年生は、次年度の減免が取り消されます。
4年生は、その年度が取り消しになります。
※原則として、授業料減免期間は4年間とします。

2 その他奨学金制度

奨学金については、その都度、詳細を掲示・メール等で公開します。応募書類を作成し期限までに提出してください。

- (1) **特待留学生** 本学に在学する留学生のうち、前年度の学業成績が優秀な者に対して特待留学生として奨学金を支給する、本学独自の制度です。

●選考時期

毎年10月～11月ごろに決定します。

●給付金額

授業料の2割相当額

- (2) **文部科学省外国人留学生学習奨励費（就職支援特別枠）**

日本政府が、私費外国人留学生の学びを推奨するために設けている給付奨学金です。卒業後に日本国内での就職を希望している者で、早期より就職関係の説明会、ガイダンス等に参加している者を対象とします。学業・人物ともに優れ、なおかつ成績・出校率を考慮の上、推薦者を決定します。

●応募期間

毎年4月に募集します。

●給付金額

月額48,000円が支給されます。（年により変更の可能性があります。）

- (3) **その他 民間奨学金**

- ・一般財団法人 小貫基金
- ・公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
- ・公益財団法人 平和中島財団
- ・公益財団法人 岡本国際奨学交流財団
- ・公益財団法人 日本国際教育支援協会
- ・公益財団法人 ダイオーズ記念財団
- ・公益財団法人 東京YMCA 等

※もし、このような奨学金を個人で受けている（予定も含む）場合は、学生支援室まで申し出てください。

4 在留のための手続き

日本に在留するには、日本の法律に従って手続きをすることが必要です。学生支援室や出入国在留管理庁のホームページなどで、常に最新の情報を確認するようにしてください。

1 在留ビザの期間更新

【在留資格期間更新】

在留ビザは、期限が切れる3か月前から申請することができます。在留資格期間更新の手続きには、下記の書類が必要です。早めに学生支援室に申請書類の交付を申し込んでください。

年間取得単位が25単位未満の者、出校率が7割未満の者、資格外活動許可違反（稼働時間超過等）の場合は、留学ビザの期間更新に、多くの書類を必要とします。

なお、申請後に出入国在留管理局から手紙等連絡があった場合は、速やかに学生支援室に報告してください。

必要書類

- ① 在留期間更新許可申請書（3枚）+所属機関作成用（2枚） ※学生支援室で受け取ってください
- ② 資格外活動許可申請書（希望者のみ）
- ③ パスポート
- ④ 在留カード
- ⑤ 学生証
- ⑥ 在学証明書
- ⑦ 成績証明書（新入生は入学直前の学校の成績証明書+卒業証明書）
- ⑧ 経費支弁に関する書類（学費及び生活費）
預金通帳のコピー、送金証明書、奨学金受給証明書、アルバイト給与明細書 等
- ⑨ 各種確認書（日本語能力試験の確認）

【在留資格変更】

他の在留資格から「留学」に変更する場合、または「留学」から他の在留資格に変更する場合は、必ず学生支援室へ相談してください。必要書類をお渡しします。

就職に伴う在留資格の変更は、内定をもって12月から申請することができます。行政書士によるビザに関する無料相談会（64ページ参照）を利用するなどし、早めに準備してください。

【在留カード】

在留カードは、常に所持することが義務づけられています。入国審査官や警察官が提示を求めた場合は、提示しなくてはなりません、拒否した場合1年以下の懲役または20万円以下の罰金が課されます。

2 資格外活動許可

アルバイトをする場合には必要です。在留資格の更新・変更時に同時に申し込むことができます。

必要書類（在留資格申請と同様の書類です）

- ① 資格外活動申請書（学生支援室で受け取ってください）
- ② パスポート
- ③ 在留カード
- ④ 学生証

注意事項

時間超過などの違反により、ビザ更新・変更が不許可になる可能性があります。法律では、違反した場合は強制退去及び300万円以下の罰金または3年以下の懲役もしくは禁固と決められています。

- ① アルバイトは1週間28時間以内（大学の定める長期休業期間は1日8時間以内）
- ② 風俗営業または風俗営業関連のアルバイトは認められない
- ③ アルバイトについては、変更の都度学生支援室に届け出なければならない

3 住民登録・国民健康保険・国民年金

【住民登録】

中長期滞在者（留学生）は、住民登録が必要です。在留カードに記載されている市区町村の市役所に、氏名・生年月日・住居地・国民健康保険加入歴などが登録されます。引っ越しや新規入国時に、14日以内に手続きをしてください。

【国民健康保険】

マイナンバーカードが健康保険証として使われる仕組み（マイナ保険証）に変わりました。

マイナンバーカードの申請方法はデジタル庁の「マイナンバーカード総合サイト」から、「外国人住民の方へマイナンバー制度について」のページをご覧ください。または、市区町村の窓口でも説明してもらえます。

なお2026年6月14日より、在留カードとマイナンバーカードが一つになった「特定在留カード」が導入予定です。

【国民年金】

住民登録をしている市（区）役所・町村役場の国民年金担当窓口へ申請をしてください。

5 行政書士によるビザ無料相談

下記の行政書士と業務提携し、無料相談会を提供します。ビザの更新・変更の他、卒業式に家族を呼ぶ場合などの相談に個別に対応します。

予約を優先しますが当日受付も行います。また、その他各種申請を、割引料金で依頼することができます。

(1) 2026年度 ビザ無料相談会開催日 (会場：1号館1階学生面談室/時間：12:10~13:40)

4月			5月			6月			7月			10月		11月		12月		1月	
22 (水)	14 (木)	27 (水)	11 (木)	24 (水)	16 (木)	22 (水)	8 (木)	22 (木)	5 (木)	19 (木)	3 (木)	17 (木)	14 (木)	28 (木)					

全15回

(2) 担当 片平法務経営事務所
行政書士 片平勇介先生



6 留学生に関する連絡先等

■敬愛大学 学生支援室

〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21

TEL：043-284-2381 (直通)

FAX：043-251-6407 (代表)

MAIL：gakusei@u-keiai.ac.jp

*深夜早朝および土日祝日は、大学の代表番号に電話してください。守衛が伝言を受けます。

TEL：043-251-6363 (代表)

■東京出入国在留管理局

〒108-8255 東京都港区港南5-5-30

TEL：0570-034259 (IP電話・海外から：03-5796-7234)

受付時間：午前9時~午後4時 (平日のみ)

■東京出入国在留管理局 千葉出張所

〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町1-35 千葉ポートスクエア内 千葉ポートサイドタワー3階

TEL：043-242-6597

受付時間：午前9時~午後4時 (平日のみ)

■外国人在留総合インフォメーションセンター

TEL：0570-013904

03-5796-7112 (IP電話・PHS・海外からの方)

■片平法務経営事務所 (行政書士 片平勇介先生)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-12-7 ニューハイツ高田馬場2階

TEL：03-6908-5129

業務時間 平日：午前10時~午後7時/土日祝：休 (応相談)

7 留学生の違反行為への対応

快適な学生生活を送るため、規則違反につながる行為をしないよう注意しましょう。

行為	内容	処分
法律違反	窃盗（万引き等）、自転車でスマートフォン使用やイヤホンをつけての運転などの道路交通違反、刃物の携帯 等、その他	入管・裁判所の処分 退学・停学
	ビザの期限を超えて滞在した	
	【資格外活動違反】 ・「資格外活動許可」がなくアルバイトをした ・時間をオーバーした ・禁止されている業務内容をした	
	在留カードの不携帯	入管・裁判所の処分
学則違反	学費未納	除籍
	行方不明 電話・メール不通	退学
	学生の本分に反する行為 その他不正行為	退学・停学
	試験での不正行為（カンニング）	停学
	車での通学	停学・戒告
	【通学定期の不正】 通学区間以外の購入 友人との不正使用（貸し借り）	停学・戒告・嚴重注意 次年度の授業料減免停止 （4年生は当該年度）
	出校簿虚偽（代理サイン等）	
届出なし	無断帰国 長期欠席 ビザ・パスポート等の更新 住所・電話番号の変更 アルバイト先変更 出国届	□頭・文書による指導 次年度授業料減免停止の可能性 （4年生は当該年度）
	義務違反	

II

履修要項

敬愛大学 2026年度「履修要項」 利用について

履修要項は、皆さんがこれから学び修得していく知識の全容です。

学生の皆さんにとっては、これからの進路や興味にあわせて授業科目を選択したり、予習・復習をするとき、研究や卒業論文を作成するときの指針になります。いつも携帯し、有効に活用してください。

1. 履修方法の概要 68
2. 単位の認定等 71

敬愛大学学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

敬愛大学教育憲章で示された「敬天愛人」の建学の精神に基づく総合的人間力を持つ人材として、所定の単位を修得し、以下の到達目標実現のための努力を惜しまない学生に対して卒業を認定し、学士の学位を授与する。

知識と教養

専門性に基づく思考力・判断力

多様性の理解と協働性の向上

1 履修方法の概要

1 授 業

本学では、学生が自ら選んで作った履修計画により、各授業担当教員の許可を得て、予習・復習を含めた学習に努め、試験に合格すれば単位を授与します。その結果、所定の科目及び単位が充足すれば卒業となります。

2 授業時間

敬愛大学では前期・後期の2期制（セメスター）であり、授業期間は前期15週、後期15週となります。授業時間は原則として次のとおりです。

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:30~18:00

3 授業運営について

授業運営については下記のとおりとなります。

【Aパターン】 15回対面授業 【Bパターン】 1回目オンデマンド授業、2回目以降が対面授業

【Cパターン】 15回オンデマンド型オンライン授業

【Aパターン】 15回対面授業

・履修者数が確定している科目（ゼミや必修科目等）や一部指定科目は1回目から対面授業。

【Bパターン】 1回目オンデマンド授業、2回目以降が対面授業

・曜日時限の指定があり、1回目はオンデマンド授業、2回目から対面授業。

【Cパターン】 15回オンデマンド型オンデマンド授業

・曜日時限に「集中」と表記があり、OD(オンデマンド)と記入されている場合は、15回オンデマンド授業。

4 単位の計算方法

単位の算定は、大学設置基準の定めにより、「1単位の授業時間を45時間の学修（各自が行う自習時間を含む）を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効

果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、各大学において定めること」とされています。

本学では、原則として、講義の科目については15時間の授業、30時間の予習・復習をもって1単位と定めています。

授業の単位計算

講義及び演習の単位計算	実験・実習及び実技の単位計算
授業15時間＋自習30時間	授業30時間
45時間＝1単位	1単位

2単位の講義等考え方例

- ①2単位の講義科目＝90時間の学修が必要
- ②45分の授業を1時間とみなす。90分の授業＝2時間
- ③授業時間は、週1回2時間×15週＝30時間
- ④2単位あたりの事前・事後学修は、90時間（2単位修得に必要な学修時間）－30時間（授業時間）＝60時間
- ⑤1週あたりの事前・事後学修は、60時間÷15週＝4時間

授業へ出席するだけでなく、予習、復習、調査、資料収集などの教室外の学修が必要です。そのため、授業時間だけ出席をし、単位の修得のみを望むということは単位制度の趣旨に反することになります。

5 年間履修登録単位

- (1) 1年間に履修できる単位数は以下の通りです。

年間履修登録単位の上限（CAP制）

学年	単位数			
	経済学部	国際学部	教育学部	情報マネジメント学部
4年生	46 (30)	46 (30)	42 (26)	42 (26)
3年生	42 (26)	42 (26)	42 (26)	42 (26)
2年生	42 (26)	42 (26)	42 (26)	42 (26)
1年生	42 (26)	42 (26)	42 (26)	42 (26)

※（ ）内は半期での履修登録単位の上限

※前期に履修登録し成績が「不可」「除外」となった単位分は、後期履修登録の上限に加算することは出来ませんので注意をしてください。あくまでも、履修単位数となり、取得単位数ではありません。

- (2) 「教職及び教科に関する科目」の単位数は年間の履修登録単位数に含まず、履修上限の単位数を超えて履修することができます。（教職課程履修者のみ）

6 履修科目の登録

- (1) 履修科目の登録手続きは前期と後期の学期始めに行います。
- (2) 履修科目の登録は、指定された日時までに学内のコンピューター等を利用して、KCN (Keiai Campus Navigator) から登録します。
- (3) 前期登録期間は、前期・集中科目を登録し、後期登録期間は後期・集中科目を履修登録します。
- (4) 履修科目の登録は必ず本人が行います。特別な理由で登録が遅れる場合は必ず「理由書」(病気の場

- 合は診断書など)を修学支援室に提出してください。
- (5) 履修科目の登録が行われなければ、授業を受けることはできません。
- (6) わからないことは勝手に判断せず、必ず修学支援室に相談してください。

大学で定められた正規の登録期間内に履修登録を行わず、期間外に登録を申し出た場合

履修登録期間後の指定された「履修登録確認期間」内に必ず修学支援室窓口で申請してください。「履修登録確認期間」後の追加登録は認めません。

※注意事項（全体）

- ① 前期または後期のみを担当されている科目、隔年開講の科目があるので履修計画作成の際に注意してください。
- ② 次のような履修は認められません。
 - ・配当年次が上位学年の科目
 - ・単位修得をした科目の再履修
 - ・同一時に担当された2つ以上の科目の履修

7 CAP制の緩和について

・本学では、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生について、定める履修単位数の上限を超えて履修登録することを認めています。

基準：

- (1) 所定の単位を優れた成績をもって修得した学生は、定める上限単位の2単位を超えて履修科目を認めます。
- (2) 履修登録前の前（後）期の成績（入学からの通算GPA）で判断し、履修登録期間内に履修登録を行います。
- (3) 前（後）期で2単位とします。（前後期該当者は4単位）

※判定基準は次の通りとなります。

1年後期終了時、2年前期終了時、2年後期終了時、3年前期終了時の計4回

・該当者には、修学支援室より個別に連絡を行い、履修登録の確認を行っています。履修登録の時期に連絡を行いますので、KCNのメール及び掲示は各自確認をするようにしてください。

8 履修者の著しく少ない科目の取り扱いについて

履修登録確定後、一般講義科目（教職科目等を除く）のうち履修者数が5名未満の科目は当該年度、休講となる場合があります。

具体的な休講科目がある場合には掲示により周知します。

2 単位の認定等

1 確認試験について

履修した科目は確認試験（筆記試験、論文レポート、試問、その他の方法）に合格した場合に単位が与えられます。受験基準は次のとおりとします。

- ① 授業日数の3分の2以上出席がない者は確認試験を受けることができず、単位の認定が行われません。
- ② 学生証を携帯していない者は確認試験を受けることができません。
- ③ 授業料を納付しない者は確認試験を受けることができず、評価を受けることができません。

想定される確認試験実施スケジュール

第14回	第15回	その他
授業	確認試験→授業	
授業	授業→確認試験	
授業→確認試験	授業	
授業	授業	
授業	授業	レポート等

注意事項

想定される確認試験実施スケジュールが全ての授業科目に当てはまるとは限りません。

確認試験は原則、全て担当教員から授業内で連絡（実施日時、持ち込み許可物等について）があります。不明な点があれば、KCNIにログインし、授業QAを活用し、必ず担当教員に確認をしてください。

2 試験不正行為取扱いについて

- (1) 試験は厳正に実施します。
- (2) 学生諸君は「受験心得」を守らなければなりません。
- (3) 試験時にカンニング等の不正行為を行ったときは、「試験不正行為取扱いについての内規」にもとづき厳正に処分します。

3 授業の公欠に関する取扱いについて

- ① 「公欠」とは相当の理由により授業に出席することができない学生に対して、欠席の取扱いをしないことを指します。
- ② 「公欠」に該当する事由により授業に出席することができない場合、別に定める公欠電子申請を行うことにより、公欠扱いとすることができます。

詳細については、299ページ 授業の公欠に関する取扱い を確認してください。

4 成績評価・GPA制度

評価
[秀]
[優]
[良]
[可]
[不可]とし、単位の取得が認められない。
[除外]とし、出席不良、確認試験放棄等により成績評価ができない。

- (1) GPA (Grade Point Average) とは、授業科目の成績評価に対して点数 (Grade Point) を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、履修登録した科目の総単位数で割って算出した平均値のことを指します。そのため、不合格の科目もGPA算出の対象となるため、試験を放棄した場合にはGPAの値は低くなります。

このGPAは、各人の学修への取り組み状況が把握できるため、4年間の学修計画を具体的に策定する際の指針となります。

- (2) 成績評価と計算方法

確認試験の成績は100点満点とし、90点以上を秀、89点から80点までを優、79点から70点までを良、69点から60点までを可とし、可以上を合格とします。59点以下を不可として不合格とします。

成績	成績標記	GP(グレードポイント)
90～100点	秀	4.0
80～89点	優	3.0
70～79点	良	2.0
60～69点	可	1.0
59点以下	標記せず (不可)	0
除外	標記せず (除外)	0

評価対象科目は、教職科目を含めた全ての科目です。

なお、評価対象外科目は、本学以外の大学等で修得した単位 (1年次入学・編入学前の認定単位、単位互換科目の単位、海外留学における修得認定単位)、教育実習、インターンシップなどとなります。

〈GPAの計算方法〉

$$\frac{4 \times \text{秀の修得単位数} + 3 \times \text{優の修得単位数} + 2 \times \text{良の修得単位数} + 1 \times \text{可の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数}}$$

- (3) 通知方法

成績表にGPAを記載します。記載されるGPAは、入学時からの通算です。

5 成績発表

学年成績は前期末及び後期末にWeb (KCN) 上での公開により通知します。

6 卒業再試験制度

主な概要は以下のとおりです。

- (1) 対象学年：4年生

- (2) 実施時期：8月（前期末卒業対象者※過年度生のみ対象）2月（後期末卒業対象者）
- (3) 可能科目及び単位：2科目4単位まで
- (4) 時間：50分（ペーパー試験やレポート課題等）
- (5) 費用：1科目3,000円
- (6) 単位認定：再試験合格科目は、60点（可）評価
- (7) 受験条件：以下①～③のとおり
 - ① 卒業要件充足に対して、2科目4単位以内であること。
 - ② 当該年度判定期に希望科目を履修登録していること。
 - ③ 評価で不可（0点～59点）となった科目であること。

※卒業再試験未該当科目があります（教育実習等の実習科目や演習（ゼミ）等）。

※卒業再試験制度は(7)に該当する学生が制度を利用することが出来ますが、前提として卒業再試験該当者とならないように履修登録している科目は、単位認定されるよう取り組むようにしてください。

7 退学勧告・退学処分について

修得単位数、GPA、授業出席状況等の修学状況が継続して一定の基準を下回る学生、また「修学の意欲が見られない」、「修学状況の改善が見込まれない」、「管轄委員会による特別修学指導後も改善が見込まれない」学生に対しては、管轄委員会の議を経て退学勧告や退学処分をする場合があります。

8 単位互換

- (1) 学則第27条第1項に基づき放送大学及び千葉県内の大学及び短期大学（単位互換締結大学のみ）と単位互換を実施します。
- (2) 同条第2項に基づき修得した単位は60単位を超えない範囲で、本学の卒業単位として認定します。
- (3) 放送大学の科目を履修できるのは2年次以上とし、4年次については放送大学の2学期の出願は認めません。その他の大学の科目を履修する場合はこの限りではありません。
- (4) 単位互換の履修単位は年次別履修単位数に関する内規に定める単位に含みます。従って、履修届には互換科目名を記載し単位数を加えなければなりません。
- (5) 放送大学に出願するにあたり履修科目は単位認定試験日程に注意して選定してください。また、出願後の科目変更・取消はできません。
- (6) 所定の出願手続きを経て当該大学の特別聴講学生として受け入れ決定後、各大学の要項を参照してください。
- (7) 放送大学の学費は教材及び学生証の受領上、本学が一括納入しますが、当該学生は履修届提出後、指定の期日までに必ず納入してください。
- (8) 放送大学の学費は一旦当該学生が全額納入し、単位修得後本学が1/4を補助します。その他の大学については全て本人負担とします。
- (9) 単位互換で履修できる科目は本学で教育上有益と認めた科目とします。

9 長期留学における単位認定の取扱いについて

海外提携校への長期留学をする場合は学生諸君の留学を支援するために次のとおり取扱います。

- (1) 読み替え可能な科目についてはできる限り読み替え、その他の科目については、原則、自由選択科目群に一括認定とします。
- (2) 4年次より留学する学生は卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文のみで卒業要件を充足することを条件とし、卒業論文を指導教員に提出し、単位の認定を受けた場合、当該年度の卒業を許可します。
ただし、上記による混乱を避けるため、なるべく2・3年次に留学することをおすすめします。

なお、長期留学の申し込みは、前期開始：前年度7月末、後期開始：前年度2月末となります。国内外の情勢によっては実施できないこともあります。詳しくは、修学支援室へ問い合わせてください。

III

カリキュラム表 経済学部

経済学部

1. 2026年度入学者カリキュラム表	76
2. 2025年度入学者カリキュラム表	96
3. 2024年度入学者カリキュラム表	116
4. 2023年度入学者カリキュラム表	136
5. 学習支援体制	154
6. 2023-2026年度 科目名変更一覧	155

1

2026年度入学者カリキュラム表

1 教育課程の編成方針と概要

1. 「敬愛大学学則」及び「経済学部規程」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業に必要な単位数を124以上と定めています。
2. 経済学部では、「敬天愛人」の建学の精神のもとに「人間性と創造性豊かな経済人」の育成を図ることを目的として、「経済学科」と「経営学科」の2つの教育課程を編成しています。
3. 経済学部では2年次学科選択制を導入しています。1年次は学科に所属せず、学部共通の基礎科目の履修を経て2年次への進級時に卒業までの3年間所属する学科を決定することになります。なお、学科には定員があります。定員を超える希望者がいた場合は前期終了時の成績や授業出席状況等の修学状況を参考にして、所属学科を決定します。
従って、1年次は経済・経営に関する基礎となる科目を履修しながら、各自が経済学・経営学に対する興味・関心・または将来の目指す進路を見据えて、経済・経営いずれの学科に所属するかを検討する期間になります。「経済学科」は3つ、「経営学科」は4つの専門的な学習コースがあり、コースの選択は2年次前期の履修登録時にあわせて行います。2年次以降は自分の学習意欲や将来の進路・目標にもとづき、各自が選択した学科・コースの科目を具体的・体系的に履修していきます。
4. 1年次のゼミはあらかじめ大学側で担当教員を指定しますが、2年次からの所属ゼミは、みなさんの希望にもとづく選考により決定します。ゼミは2年次からの所属学科が決定した後、所属する学科から選択します。従って、2年次から経済学科に所属する場合、2年ゼミも経済学科のゼミから選択することになります。
5. 経済学部の教育課程には、学部共通科目を基礎として、基礎科目群、必修言語科目群、教養科目群、情報科目群、キャリア科目群を配しており、「経済学科」・「経営学科」の専門分野にあっては、基本科目群、専門科目群、展開科目群、演習科目で構成しています。
また、基礎科目を、必修科目もしくは選択科目として1年次に多く配置し、よりスムーズに高度な専門分野へ移行できる段階的な教育を実践しています。
6. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目及び集中講義によって行います。
ただし、「I・II」科目の「II」の履修にあっては、条件付科目があるので、確認が必要です。
7. 教職課程履修者は卒業必要単位のほかに、教育職員免許法に定める所定の単位を修得することが必要です。
8. 本学では、特色のある教育活動として「敬愛プログラム」科目を配置しています。この「敬愛プログラム」は、学生（個人またはグループ）の自主的・自発的な発想による活動の支援を目的とする制度です。学生は、ボランティア活動、クラブ活性化活動、イベントの企画・実施、商店街や事業所の調査等、学内外における活動のテーマを設定し、事前に達成目標や段取りを明記した企画書を作成したうえで、当該年度に成果の発表を行います。その成果が評価に値するものと認定されれば、活動そのものが卒業単位として認められ、さらに支援金の支給を受けることができます。

2 コースの概要

経済学科（3コース）

公共経済コース

政府や地方自治体から見た経済の仕組みや課題を学び、主に公共サービスに従事できる人材を育成します。

主な進路

公務員、消防士・警察官、各種団体職員、一般企業（各種全般）など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）／行政書士など

金融経済コース

銀行や証券の仕組みや金融が経済にもたらす影響を学び、主に金融業界で活躍できる人材を育成します。

主な進路

銀行、信用金庫、証券会社、保険会社、一般企業（各種全般）など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）

ファイナンシャル・プランナー／

Microsoft® Office Specialist／など

現代経済コース

経済学を体系的に学び、実社会で活躍するために必要な幅広い知識と教養を身に付け、現代社会の中核となる人材を育成します。

主な進路

一般企業（各業種全般）、教員など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）／など

2 コースの概要

経営学科（4コース）

企業経営コース

経営の基礎から応用に加え、地域産業や業種の特徴とその経営・管理を学び、企業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の人事、経営企画、事業統括など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定／ITパスポート／高等学校教諭一種免許（商業）など

商業・会計コース

品物やお金の流れの視点から地域産業の実態や業種の特徴とビジネス手法を学び、地域経済の活性化に貢献できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の商品企画、営業、経理・財務など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／税理士／日商簿記検定／ビジネス能力検定／高等学校教諭一種免許（商業）など

スポーツビジネスコース

経営知識と健康運動科学・スポーツ実技を学び、地域に密着したスポーツビジネス産業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

健康・スポーツ関連企業など

取得できる免許・資格

各種スポーツライセンス／日商簿記検定／ビジネス能力検定
高等学校教諭一種免許（商業）など

地域・起業コース

千葉などの地域に密着した産業・企業経営のあり方や起業の方法を学び、起業をめざす地域活性化人材を育成します。

主な進路

県内企業への就職、起業、地域金融機関、各種団体職員、
経営コンサルタント

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定
旅行業務取扱管理者／高等学校教諭一種免許（商業）など

3-1 科目区分および卒業要件単位略図(2026年度入学者)

科目区分		履修区分	卒業要件単位数	
学部共通科目	基礎科目	必修科目	22	
	言語科目 (日本人学生は英語・留学生は日本語)	必修科目	4	
	教養科目	選択科目	16	
	情報科目	選択科目	2	
	キャリア科目	選択科目	2	
	小計			46
専門科目	基本科目A	必修科目	10	
	基本科目B	選択科目	20	
	経済学科 コース科目 (いずれか1コース)	公共経済コース 現代経済コース 金融経済コース	選択科目	10
	経営学科 コース科目 (いずれか1コース)	企業経営コース 商業・会計コース スポーツビジネスコース 地域・起業コース		
	展開科目		選択科目	16
	演習科目		必修科目	8
	自由選択科目		選択科目	14
	小計			78
卒業要件単位数			124	

3-2 教育課程の具体的履修方法（2026）

1 学部共通科目

学部共通科目においては共通カリキュラムの下、基礎科目、言語科目、教養科目、情報科目ならびにキャリア科目を含めて合計46単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

- (1) 基礎科目
基礎科目は必修科目であり、全科目を履修し、1年次で合計22単位を修得する必要があります。
- (2) 言語科目
言語科目は必修科目であり、全科目を履修し、1年次で4単位を修得する必要があります。
- (3) 教養科目
教養科目は選択科目であり、この科目群の中から4年間で16単位以上を修得する必要があります。
なお、経済学科の教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目（※印の科目のみ）」の単位を教養科目の単位として充当することができます。
- (4) 情報科目
情報科目は選択科目であり、この科目群の中から4年間で2単位以上を修得する必要があります。
- (5) キャリア科目
キャリア科目は選択科目であり、2年次より卒業までに2単位以上を修得する必要があります。

2 経済学科専門科目

2年次から経済学科に所属する学生は基本科目A・B、コース科目（3つあるコースの中から1つのコースを選択）、展開科目、演習科目、自由選択科目を含めて合計78単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

- (1) 基本科目A
基本科目Aは必修科目であり、「経済理論A・B」2科目4単位、「日本経済史I・II」または「西洋経済史I・II」いずれか2科目4単位（日本経済史と西洋経済史の組み合わせは不可）を履修し、さらに2年次に開講される「フィールドワーク入門」を履修し、合計10単位を1・2年次で修得する必要があります。
- (2) 基本科目B
基本科目Bは選択科目であり、この科目の中から2・3年次に20単位以上を修得する必要があります。
- (3) コース科目
コース科目（3コース）は選択科目であり、各コースに属する者は、その科目群の中から2年次より卒業までに10単位以上を修得する必要があります。
- (4) 展開科目
展開科目は選択科目であり、この科目群から2年次より卒業までに16単位以上を修得する必要があります。また、経済学科専門科目の各区分（基本科目A・B、コース科目）で定める卒業要件単位を超えて修得した単位分を展開科目の単位として充当することができます。
- (5) 演習項目
演習科目は必修科目であり、2年次から卒業までに各学年において、2単位（前期1単位、後期1単位）さらに4年次の「卒業論文」（2単位）を含めて合計8単位を修得する必要があります。

2年次からは原則、希望制により所属ゼミを選択し、専門分野を学ぶ上での導入と位置付けられている「専門導入演習」を履修します。さらに3年次は「専門演習」、4年次は「卒業演習」を履修し、より専門的にその分野を修得すべく、深くより高度な内容が展開されます。また、4年次はあわせて卒業論文の指導を受けることになります。

(6) 自由選択科目

自由選択科目は各科目区分の必要単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、コース科目、展開科目、経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科の科目の中から自由に選択して、14単位以上修得する必要があります。

なお、教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目」（※印の科目を除く）の単位を自由選択科目の単位として充当することができます。

他大学・他学部・大学単位互換科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業単位とします。

3 経営学科専門科目

2年次から経営学科に所属する学生は基本科目A・B、コース科目（4つあるコースの中から1つのコースを選択、展開科目、演習科目、自由選択科目を含めて合計78単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

(1) 基本科目A

基本科目Aは必修科目であり、1・2年次で合計10単位を修得する必要があります。

(2) 基本科目B

基本科目Bは選択科目であり、この科目の中から2・3年次に20単位以上を修得する必要があります。

(3) コース科目

コース科目（4コース）は選択科目であり、各コースに属する者は、その科目群の中から2年次より卒業までに10単位以上を修得する必要があります。

(4) 展開科目

展開科目は選択科目であり、この科目群から2年次より卒業までに16単位以上を修得する必要があります。また、経営学科専門科目の各区分（基本科目B、コース科目）で定める卒業要件単位を超えて修得した単位分を展開科目の単位として充当することができます。

(5) 演習項目

演習科目は必修科目であり、2年次から卒業までに各学年において、2単位（前期1単位、後期1単位）さらに4年次の「卒業論文・卒業研究」（2単位）を含めて合計8単位を修得する必要があります。

2年次からは原則、希望制により所属ゼミを選択し、専門分野を学ぶ上での導入と位置付けられている「専門導入演習」を履修します。さらに3年次は「専門演習」、4年次は「卒業演習」を履修し、より専門的にその分野を修得すべく、深くより高度な内容が展開されます。また、4年次はあわせて卒業論文の指導を受けることになります。

(6) 自由選択科目

自由選択科目は各科目区分の必要単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、コース科目、展開科目、経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科の科目の中から自由に選択して、14単位以上を修得する必要があります。

なお、教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目」の単位を自由選択科目の単位として充当することができます。

他大学・他学部・大学単位互換科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業単位とします。

4 2026年度入学者卒業要件概念図 経済学科

科目区分		1年次	2年次	3年	
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアデザインを学ぶ、キャリアプランニング、AI・DSへのいざない、健康科学、情報基礎Ⅰ、情報基礎Ⅱ、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ		
	言語科目	必修	英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、日本語Ⅰ、日本語Ⅱ		
	教養科目	選択	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、応用中国語Ⅰ・Ⅱ、時事英語Ⅰ・Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ・講座Ⅰ・Ⅱ、SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、ListeningⅠ・Ⅱ、DebateⅠ・Ⅱ、English Conversation(オム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、中国文化Ⅰ・Ⅱ、文学、日本語学、言語学、環境科学、ボランティア活動、金融リテラシー、税の基礎知識)		
	情報科目	選択	情報概論、データサイエンス総論、英語で学ぶPython	アルゴリズム論、プレゼンテーション論、情報セキュリティ論、AI概論、プログラミング	AI・データサイエンス
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアディベロップメント、企業の魅力発見	実践的キャリア演習演習Ⅱ、プレインターンシップ、ポストイン
経済学科専門科目	基本科目A	必修	経済理論A・B、日本経済史Ⅰ・Ⅱ、西洋経済史Ⅰ・Ⅱ	フィールドワーク入門	
	基本科目B	選択		ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済政策Ⅰ・Ⅱ、経Ⅱ、国際経済論Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計概論Ⅰ・Ⅱ、会計学Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰ・	
	公共経済コース	選択	進路支援講座A・B(数的リテラシー)	公共経済学、公共選択論、地方財政論Ⅰ・Ⅱ、地方自治論Ⅰ・Ⅱ、企業法、会社法、経済統計Ⅰ・Ⅱ、進路支援講座C・D・E・講座Ⅰ・J(教職)	
	金融経済コース	選択	進路支援講座A・B(数的リテラシー)	証券経済論Ⅰ・Ⅱ、銀行論Ⅰ・Ⅱ、国際金融論Ⅰ・Ⅱ、企業金会社法、経済統計Ⅰ・Ⅱ、進路支援講座C・D・E・F(公務員)、	
	現代経済コース	選択	進路支援講座A・B(数的リテラシー)	日本経済論Ⅰ・Ⅱ、日本経済地理、世界経済地理、アメリカ経済論、国際貿易論、労働経済論Ⅰ・Ⅱ、労働法、経済統計Ⅰ・H(日経新聞を読む)、進路支援講座Ⅰ・J(教職)	
	展開科目	選択		経済学史Ⅰ・Ⅱ、社会思想史Ⅰ・Ⅱ、金融経済の基礎知識、計量農業政策、経済数学Ⅰ・Ⅱ、経営学Ⅰ・Ⅱ、国際地域論Ⅰ・Ⅱ、地ビジネス論、産業組織論Ⅰ・Ⅱ	
	演習科目	必修		専門導入演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ
自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科開講科目や国際学部国際学科開講科目、大学単位互換教職課程履修者は「教職及び強化に関する科目」(※印の科目を除く)の単位を自由選択科目の単位として			

教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ)	選択	日本史概論Ⅰ・Ⅱ、世界史概論Ⅰ・Ⅱ、地理学概論Ⅰ・Ⅱ、地誌学Ⅰ・Ⅱ、哲学概論Ⅰ・Ⅱ、比較政治学、社会学概論、
	選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教育法規、Ⅱ、地理歴史科指導法・社会科・公民科指導法Ⅰ・Ⅱ、公民科指導法、道徳教育指導法、総合的な学習の時間教職実践演習、教育実習指導、中学校教育実習、高等学校教育実習

次	4年次	単位	備考
		22	全科目22単位を修得する必要があります。
		4	日本人学生は英語、留学生は日本語4単位を修得する必要があります。
	II、Basic Grammar I・II、コリア語 I・II、TOEIC向上 オンライン英会話) I・II、敬天愛人講座、敬愛プログラ 法学、憲法、政治学、社会学、数学 I・II、統計学 I・II、	16	16単位以上を修得する必要があります。
ス実践		2	2単位以上を修得する必要があります。
I、実践的キャリア ンシップ、インター ターンシップ		2	2単位以上を修得する必要があります。
		10	経済理論A・B2科目4単位、日本経済史I・IIまたは西洋経済史I・IIいずれか2 科目4単位、フィールドワーク入門2単位、合計10単位修得する必要があります。 (ただし日本経済史と西洋経済史の組み合わせは不可)
済学特論 I・II、社会政策 I・II、財政学 I・II、金融論 I・ II、統計学総論 I・II、知的財産権論、情報マネジメント		20	20単位以上を修得する必要があります。
II、社会保障論 I・II、社会福祉論、福祉経済論、行政法 I・ F(公務員)、進路支援講座G・H(日経新聞を読む)、進路支援		10	各コースに属するものは、コース科目区分の中から10単位以上を修得する必 要があります。
融論 I・II、保険論、金融事情 I・II、有価証券法、企業法、 進路支援講座G・H(日経新聞を読む)、進路支援講座I・J(教職)		10	
済論 I・II、ヨーロッパ経済論 I・II、中東経済論、アジア II、進路支援講座C・D・E・F(公務員)、進路支援講座G・		10	
経済学 I・II、環境経済学 I・II、地域経済論、食料経済論、 域産業論、経営立地論、交通論、ビジネスデータ解析、情報		16	16単位以上を修得する必要があります。経済学科専門科目区分(基本科目A・ B、コース科目)で定める卒業要件単位数を超えて修得した単位分を展開科 目の単位として充当することができます。
	卒業演習I・II、卒業論文	8	全科目8単位を修得する必要があります。
科目、展開科目から14単位以上修得する必要があります。 科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業要件とします。 充当することができます。		14	14単位以上を修得する必要があります。
自然地理学I・II、			修得した単位は教養科目の卒業単位とします。
教育方法・技術論、教育とICT活用、社会科・地歴科指導法I・ の指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、			修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。

5 経済学科 2026カリキュラム表 (2026年度入学者)

経済学科DP		DP1. 社会科学を機軸とした幅広い教養を深めるとともに、経済学の知識を基に社会の発展に活かす良識を身につける。 DP2. 経済社会の問題に関する情報を主体的に収集、分析し、問題の解決策を論理的に述べられる表現力・コミュニケーション能力を身につける。 DP3. 経済学を体系的に理解し、数値データをもとに経済の現状を捉える手法を修得することで、経済的な思考にもとづく適切な判断力を身につける。 DP4. 社会問題への関心と想像力を涵養し、未知の課題に立ち向かうことができ、様々な人々と協調して経済活動を行う力を身につける。									
到達目標		公共経済コース 公共部門（国、地方自治体）において、経済計画、都市計画などの各種政策策定に必要な経済学的分析力、応用力、展開力を身につける	金融経済コース 銀行・証券・保険などの金融業界および、その関連業界において、経済動向や経営状況の判断に必要な知識や分析力を身につける	現代経済コース 社会が直面する様々な経済問題を、歴史や理論から探求し、日本や世界の経済について考察する力を身につける							
科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	○必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)	卒業要件等					
学部共通科目	基礎科目 必修科目	文章表現	2	1年～	22単位	○	○	全科目22単位必修			
		口頭表現	2	1年～		○	○				
		基礎数学	2	1年～		○					
入門経済学		2	1年～	○		○					
入門経営学		2	1年～	○							
キャリアデザインを学ぶ		2	1年～	○			○				
キャリアプランニング		2	1年～	○			○				
AI・DSへのいざない		2	1年～	○		○					
健康科学		2	1年～	○							
情報基礎Ⅰ		1	1年～	○		○			○		
情報基礎Ⅱ	1	1年～	○	○		○					
基礎演習Ⅰ	1	1年～	○	○	○						
基礎演習Ⅱ	1	1年～	○	○	○						
言語科目 必修科目	英語ⅠA	1	1年～	4単位	○	○	☆	日本人は、英語4単位必修			
	英語ⅠB	1	1年～		○	○	☆				
	英語ⅡA	1	1年～		○	○	☆				
	英語ⅡB	1	1年～		○	○	☆				
	日本語Ⅰ	2	1年～		○	○	☆		留学生は、日本語4単位必修		
	日本語Ⅱ	2	1年～		○	○	☆				
	学芸科目 教養科目 選択科目	フランス語Ⅰ	1		1年～	16単位	○		○	☆	16単位以上選択
		フランス語Ⅱ	1		1年～		○		○	☆	
		ドイツ語Ⅰ	1		1年～		○		○	☆	
		ドイツ語Ⅱ	1		1年～		○		○	☆	
中国語Ⅰ		1	1年～	○	○		☆				
中国語Ⅱ		1	1年～	○	○		☆				
応用中国語Ⅰ		1	2年～	○	○		☆				
応用中国語Ⅱ		1	2年～	○	○		☆				
時事英語Ⅰ		1	2年～	○	○		☆				
時事英語Ⅱ		1	2年～	○	○		☆				
ビジネス英語Ⅰ		1	2年～	○	○		☆				
ビジネス英語Ⅱ		1	2年～	○	○		☆				
Basic GrammarⅠ		1	1年～		☆						
Basic GrammarⅡ		1	1年～		☆						
コリア語Ⅰ		1	1年～		☆						
コリア語Ⅱ		1	1年～		☆						
TOEIC向上講座Ⅰ		2	2年～		☆						
TOEIC向上講座Ⅱ		2	2年～		☆						
SpeakingⅠ		1	2年～		☆						
SpeakingⅡ		1	2年～		☆						
WritingⅠ		1	2年～		☆						
WritingⅡ		1	2年～		☆						
ListeningⅠ		1	2年～		☆						
ListeningⅡ		1	2年～		☆						
DebateⅠ		1	2年～		☆						
DebateⅡ		1	2年～		☆						
English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ		1	1年～		○		☆				
English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ		1	1年～		○		☆				
敬天愛人講座	2	1年～		○		○					
敬愛プログラム	2	1年～		○	○	☆	☆				
スポーツ教育Ⅰ	1	1年～		○							
スポーツ教育Ⅱ	1	1年～		○							
哲学	2	1年～		○							

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	
学部共通科目 教養科目	心理学	2	1年～	16単位	○				16単位以上選択
	社会心理学	2	1年～		○				
	歴史学	2	1年～		○				
	中国文化Ⅰ	2	1年～		○				
	中国文化Ⅱ	2	1年～		○				
	文学	2	1年～		○				
	日本語学	2	1年～		☆				
	言語学	2	1年～		☆				
	法学	2	1年～		○				
	憲法	2	1年～		○				
	政治学	2	1年～		○				
	社会学	2	1年～		○				
	数学Ⅰ	2	1年～		◎		○		
	数学Ⅱ	2	1年～		◎		○		
	統計学Ⅰ	2	1年～		◎		○		
	統計学Ⅱ	2	1年～		◎		○		
環境科学	2	1年～	○						
ボランティア活動	2	1年～	○			☆			
金融リテラシー	2	1年～	○						
税の基礎知識	2	1年～	○						
情報科目	情報概論	2	1年～	2単位	○	○			2単位以上選択
	データサイエンス総論	2	1年～		○	○			
	英語で学ぶPython	2	1年～		☆				
	アルゴリズム論	2	2年～			○			
	プレゼンテーション論	2	2年～			○			
	情報セキュリティ論	2	2年～			○			
	AI概論	2	2年～			○			
	プログラミング	2	2年～			○			
キャリア科目	AI・データサイエンス実践	2	3年～		○	○		2単位以上選択	
	実践会話Ⅰ	2	2年～		○				
	実践会話Ⅱ	2	2年～		○				
	キャリアディベロップメント	2	2年～				○		
	企業の魅力発見	2	2年～		○		○		
	実践的キャリア演習Ⅰ	2	3年～		○		○		
	実践的キャリア演習Ⅱ	2	3年～		○		○		
	プレインターンシップ	2	3年～		○		○		
インターンシップ	1	3年～		○		○			
ポストインターンシップ	2	3年～		○		○			
基本科目A	経済理論A	2	1年～	10単位	◎		◎	○	※経済理論4単位必修 フィールドワーク入門2単位必修 ※経済史4単位必修 日本経済史、西洋経済史のいずれかを選択すること。両者のⅠ・Ⅱの組み合わせは不可
	経済理論B	2	1年～		◎		◎	○	
	日本経済史Ⅰ	2	1年～		○		○	○	
	日本経済史Ⅱ	2	1年～		○		○	○	
	西洋経済史Ⅰ	2	1年～		○		○	○	
	西洋経済史Ⅱ	2	1年～		○		○	○	
	フィールドワーク入門	2	2年～			◎		◎	
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～				◎	○	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2年～				◎	○	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2年～				◎	○	
マクロ経済学Ⅱ	2	2年～			◎	○			
経済学科専門科目 基本科目B	経済政策Ⅰ	2	2年～	20単位			◎	○	20単位以上選択
	経済政策Ⅱ	2	2年～				◎	○	
	経済学特論Ⅰ	2	2年～				◎	○	
	経済学特論Ⅱ	2	2年～				◎	○	
	社会政策Ⅰ	2	2年～				◎	○	
	社会政策Ⅱ	2	2年～				◎	○	
	財政学Ⅰ	2	2年～				◎	○	
	財政学Ⅱ	2	2年～				◎	○	
	金融論Ⅰ	2	2年～				◎	○	
	金融論Ⅱ	2	2年～				◎	○	
	国際経済論Ⅰ	2	2年～				◎	○	
	国際経済論Ⅱ	2	2年～				◎	○	
	簿記・会計概論Ⅰ	2	2年～		◎	☆		○	
	簿記・会計概論Ⅱ	2	2年～		◎	☆		○	
	会計学Ⅰ	2	2年～		◎	☆		○	
	会計学Ⅱ	2	2年～		◎	☆		○	
	民法Ⅰ	2	2年～		○			○	
	民法Ⅱ	2	2年～		○			○	
	統計学総論Ⅰ	2	2年～		○		◎	○	
	統計学総論Ⅱ	2	2年～		○		◎	○	
知的財産権論	2	2年～	☆			☆			
情報マネジメント	2	2年～	☆			☆			

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)			卒業要件等		
					DP1	DP2	DP3		DP4	
公共経済コース科目	コース科目	公共経済学	2	2年～			◎	☆	10単位以上選択	
		公共選択論	2	2年～			○	☆		
		地方財政論Ⅰ	2	2年～			◎	☆		
		地方財政論Ⅱ	2	2年～			◎	☆		
		地方自治論Ⅰ	2	2年～			○	☆		
		地方自治論Ⅱ	2	2年～			○	☆		
		社会保障論Ⅰ	2	2年～			○	☆		
		社会保障論Ⅱ	2	2年～			○	☆		
		社会福祉論	2	2年～			○	☆		
		福祉経済論	2	2年～			○	☆		
		行政法Ⅰ	2	2年～		○		☆		
		行政法Ⅱ	2	2年～		○		☆		
		企業法	2	2年～		○		☆		
		会社法	2	2年～		○		☆		
		経済統計Ⅰ	2	2年～				◎		☆
	経済統計Ⅱ	2	2年～				◎	☆		
	進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1年～		○		○		
		進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1年～		○		○		
		進路支援講座C(公務員)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座D(公務員)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座E(公務員)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座F(公務員)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座I(教職)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座J(教職)	2	2年～		○		○		
		経済学科専門科目	コース科目	証券経済論Ⅰ	2	2年～				○
証券経済論Ⅱ				2	2年～			○	☆	
銀行論Ⅰ	2			2年～			◎	☆		
銀行論Ⅱ	2			2年～			◎	☆		
国際金融論Ⅰ	2			2年～			◎	☆		
国際金融論Ⅱ	2			2年～			◎	☆		
企業金融論Ⅰ	2			2年～			○	☆		
企業金融論Ⅱ	2			2年～			○	☆		
保険論	2			2年～			○	☆		
金融事情Ⅰ	2			2年～			☆	○	☆	
金融事情Ⅱ	2			2年～			☆	○	☆	
有価証券法	2			2年～		○		☆		
企業法	2			2年～		○		☆		
会社法	2			2年～		○		☆		
経済統計Ⅰ	2			2年～				◎	☆	
経済統計Ⅱ	2		2年～				◎	☆		
進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)		2	1年～		○		○		
	進路支援講座B(数的リテラシー)		2	1年～		○		○		
	進路支援講座C(公務員)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座D(公務員)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座E(公務員)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座F(公務員)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座G(日経新聞を読む)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座H(日経新聞を読む)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座I(教職)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座J(教職)		2	2年～		○		○		
	現代経済コース科目		コース科目	日本経済論Ⅰ	2	2年～			◎	☆
		日本経済論Ⅱ		2	2年～			◎	☆	
日本経済地理		2		2年～		○		☆		
世界経済地理		2		2年～		○		☆		
アメリカ経済論Ⅰ		2		2年～			○	☆		
アメリカ経済論Ⅱ		2		2年～			○	☆		
ヨーロッパ経済論Ⅰ		2		2年～			○	☆		
ヨーロッパ経済論Ⅱ		2		2年～			○	☆		
中東経済論		2		2年～			○	☆		
アジア経済論		2		2年～			○	☆		
国際貿易論		2		2年～			○	☆		
労働経済論Ⅰ		2		2年～			○	☆		
労働経済論Ⅱ		2		2年～			○	☆		
労働法		2		2年～		○		☆		
経済統計Ⅰ		2		2年～				◎	☆	
経済統計Ⅱ	2	2年～				◎	☆			

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(免展科目)				卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	
現代経済コース科目 進路支援科目 選択科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1年～	10単位	○			○	10単位以上選択
	進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1年～		○			○	
	進路支援講座C(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座D(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座E(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座F(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座I(教職)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座J(教職)	2	2年～		○			○	
経済学科専門科目 展開科目 選択科目	経済学史Ⅰ	2	2年～	16単位			○		16単位以上選択
	経済学史Ⅱ	2	2年～				○		
	社会思想史Ⅰ	2	2年～		○				
	社会思想史Ⅱ	2	2年～		○				
	金融経済の基礎知識	2	2年～		◎				
	計量経済学Ⅰ	2	2年～				◎	☆	
	計量経済学Ⅱ	2	2年～				◎	☆	
	環境経済学Ⅰ	2	2年～				○		
	環境経済学Ⅱ	2	2年～				○		
	地域経済論	2	2年～				○		
	食料経済論	2	2年～				○		
	農業政策	2	2年～				○		
	経済数学Ⅰ	2	2年～				◎		
	経済数学Ⅱ	2	2年～				◎		
	経営学Ⅰ	2	2年～		○				
	経営学Ⅱ	2	2年～		○				
	国際地域論Ⅰ	2	2年～		○				
	国際地域論Ⅱ	2	2年～		○				
	地域産業論	2	2年～				○		
	経営立地論	2	2年～				○		
交通論	2	2年～			○				
ビジネスデータ解析	2	2年～			○				
情報ビジネス論	2	3年～			○				
産業組織論Ⅰ	2	2年～			◎				
産業組織論Ⅱ	2	2年～			◎				
演習科目 必修科目	専門導入演習Ⅰ	1	2年～	8単位	○	◎	○	☆	全科目8単位必修
	専門導入演習Ⅱ	1	2年～		○	◎	○	☆	
	専門演習Ⅰ	1	3年～		○	◎	◎	◎	
	専門演習Ⅱ	1	3年～		○	◎	◎	◎	
	卒業演習Ⅰ	1	4年～		○	◎	◎	◎	
	卒業演習Ⅱ	1	4年～		○	◎	◎	◎	
卒業論文	2	4年～	○	◎	◎	◎			
自由選択科目	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経済学科科目のカリキュラムに掲載されていない経営学科科目や国際学部国際学科の科目を履修した場合も当欄で単位を認定する。教職課程履修者は教職及び教料に関する科目からの履修も可。								14単位以上選択
教職及び科目に関する科目	※日本史概論Ⅰ	2	1年～						教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。
	※日本史概論Ⅱ	2	1年～						
	※世界史概論Ⅰ	2	1年～						
	※世界史概論Ⅱ	2	1年～						
	※地理学概論Ⅰ	2	1年～						
	※地理学概論Ⅱ	2	1年～						
	※地誌学Ⅰ	2	1年～						
	※地誌学Ⅱ	2	1年～						
	※哲学概論Ⅰ	2	1年～						
	※哲学概論Ⅱ	2	1年～						
	※比較政治学	2	1年～						
	※社会学概論	2	1年～						
	※自然地理学Ⅰ	2	1年～						
	※自然地理学Ⅱ	2	1年～						
	◎教育原論	2	1年～						
	◎教育課程論	2	1年～						
	◎発達心理学	2	1年～						
◎教育心理学	2	1年～							
◎特別支援教育概論	2	2年～							
◎教職概論	2	1年～							
◎教育行政	2	2年～							

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	
教職及び教科に関する科目	◎教育法規	2	2年～						教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。
	◎教育方法・技術論	2	2年～						
	◎教育とICT活用	2	2年～						
	◎社会科・地歴科指導法Ⅰ	2	2年～						
	◎社会科・地歴科指導法Ⅱ	2	2年～						
	◎地理歴史科指導法	2	2年～						
	◎社会科・公民科指導法Ⅰ	2	2年～						
	◎社会科・公民科指導法Ⅱ	2	2年～						
	◎公民科指導法	2	2年～						
	◎道徳教育指導法	2	2年～						
	◎総合的な学習の時間の指導法	2	2年～						
	◎特別活動指導法	2	2年～						
	◎生徒・進路指導論	2	2年～						
	◎教育相談	2	2年～						
	◎教職実践演習	2	4年～						
	◎教育実習指導	1	3年～						
◎中学校教育実習	4	4年～							
◎高等学校教育実習	2	4年～							
卒業要件単位数				124単位					

6 2026年度入学者卒業要件概念図 経営学科

科目区分		1年次	2年次	3年	
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアデザインを学ぶ、キャリアプランニング、AI・DSへのいざない、健康科学、情報基礎Ⅰ、情報基礎Ⅱ、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ		
	言語科目	必修	英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、日本語Ⅰ、日本語Ⅱ		
	教養科目	選択	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、応用中国語Ⅰ・Ⅱ、時事英語Ⅰ・Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ・講座Ⅰ・Ⅱ、SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、ListeningⅠ・Ⅱ、DebateⅠ・Ⅱ、English Conversation(オム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、中国文化Ⅰ・Ⅱ、文学、日本語学、言語学、環境科学、ボランティア活動、金融リテラシー、税の基礎知識		
	情報科目	選択	情報概論、データサイエンス総論、英語で学ぶPython	アルゴリズム論、プレゼンテーション論、情報セキュリティ論、AI概論、プログラミング	AI・データサイエンス
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアディベロップメント、企業の魅力発見	実践的キャリア演習Ⅱ、プレインターンシップ、ポストイン
経営学科専門科目	基本科目A	必修	経営学Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計概論Ⅰ・Ⅱ		実地調査入門
	基本科目B	選択		経営戦略論Ⅰ・Ⅱ、経営組織論Ⅰ・Ⅱ、経営財務論Ⅰ・Ⅱ、マーケティングリサーチⅠ・Ⅱ、流通論、原価計算論Ⅰ・Ⅱ、経営史Ⅰ・Ⅱ、国際報ビジネス論(3年～)	
	企業経営コース	選択		コーポレートガバナンス論、企業と社会論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、経営立地論、地域産業論、情報マネジメント、知的財産権論、界経済地理、ホテル・ビジネス論	
	商業・会計コース	選択		会計学Ⅰ・Ⅱ、簿記原理Ⅰ・Ⅱ、管理会計論、税務会計論Ⅰ・Ⅱ、地域営論、消費者行動論、サービスマーケティング論、Marketing地域産業論	
	スポーツビジネスコース	選択		スポーツビジネス論、スポーツ産業論、スポーツマーケティング概論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、地域企業経営論、サービスマーケティング動論、企業法、会社法、観光事業論Ⅰ・Ⅱ	
	地域・起業コース	選択		千葉学、入門ツーリズムⅠ・Ⅱ、ベンチャービジネス論、地域事域企業経営論、経営立地論、地域産業論、千葉県の産業と行政、	
	展開科目	選択		経済理論Ⅰ・Ⅱ、ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済政策論Ⅰ・Ⅱ、労働法、国際法Ⅰ・Ⅱ、経済統計Ⅰ・Ⅱ、日本経済論Ⅰ・Ⅱ、	
	演習科目	必修		専門導入演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ
自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科開講科目や国際学部国際学科開講科目、大学単位互換教職課程履修者は「教職及び強化に関する科目」(※印の科目を除く)の単位を自由選択科目の単位として			

教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ)	選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教育法規、合的な学習の時間の指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、教職実践演習、キャリア教育・
-----------------------------	----	--

次	4年次	単位	備考
		22	全科目22単位を修得する必要があります。
		4	日本人学生は英語、留学生は日本語4単位を修得する必要があります。
	II、Basic Grammar I・II、コリア語 I・II、TOEIC向上 オンライン英会話) I・II、敬天愛人講座、敬愛プログラ 法学、憲法、政治学、社会学、数学 I・II、統計学 I・II、	16	16単位以上を修得する必要があります。
ス実践		2	2単位以上を修得する必要があります。
I、実践的キャリア ンシップ、インター ターンシップ		2	2単位以上を修得する必要があります。
		10	全科目10単位を修得する必要があります。
	ング論、経営分析I・II、人的資源管理I・II、産業論、マーケティ ビジネス論、生産管理、民法I・II、ビジネスデータ解析、情	20	20単位以上を修得する必要があります。
	国際産業組織論、多国籍企業論、国際貿易論、経営心理学、 経営シミュレーション、企業法、会社法、日本経済地理、世	10	各コースに属するものは、コース科目区分の中から10単位以上を修得する必 要があります。
	企業会計論、金融商品取引法、会社法、流通情報論、流通経 Management、観光マーケティング調査、経営立地論、地	10	
	グ論、スポーツ文化論、生涯スポーツ実習I・II、スポーツ科 ング論、Marketing Management、経営心理学、消費者行	10	
	業創造論、中小企業論I・II、アントレプレナーシップ論、地 観光事業論I・II	10	
	I・II、金融論I・II、有価証券法、統計学総論I・II、企業金融 銀行論I・II、経済学特論I・II	16	16単位以上を修得する必要があります。経済学科専門科目区分(基本科目A・ B、コース科目)で定める卒業要件単位数を超えて修得した単位分を展開科 目の単位として充当することができます。
	卒業演習I・II、卒業論文	8	全科目8単位を修得する必要があります。
	科目、展開科目から14単位以上修得する必要があります。 科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業要件とします。 充当することができます。	14	14単位以上を修得する必要があります。
	教育方法・技術論、教育とICT活用、商業科指導法I・II、総 職業指導I・II、教育実習指導、高等学校教育実習		修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。

7 経営学科 2026カリキュラム表 (2026年度入学者)

経営学科DP		DP1. 社会人として必要かつ健全な倫理観と一般的教養を身につけ行動できる DP2. 経営学の基礎的知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP3. コースごとに設置された専門分野の知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP4. 思考・判断・実績する力を身に付けた企業人として変化に対応する力を身につける。 DP5. 多様性を理解し高いコミュニケーション力で、協働して目的を達成する力を身につける。					
到達目標		企業経営コース	商業・会計コース	スポーツビジネスコース	地域・起業コース		
科目区分		経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	卒業要件等	
学部共通科目	基礎科目 必修科目	文章表現	2	1年～	22 単位	◎	全科目22単位必修
		口頭表現	2	1年～		◎	
		基礎数学	2	1年～		◎	
		入門経済学	2	1年～		◎	
		入門経営学	2	1年～		◎	
		キャリアデザインを学ぶ	2	1年～		◎	
		キャリアプランニング	2	1年～		◎	
		AI・DSへのいざない	2	1年～		◎	
		健康科学	2	1年～		◎	
		情報基礎Ⅰ	1	1年～		◎	
		情報基礎Ⅱ	1	1年～		◎	
		基礎演習Ⅰ	1	1年～		○	
	基礎演習Ⅱ	1	1年～	○	◎		
	言語科目 必修科目	英語ⅠA	1	1年～	4 単位	◎	日本人は、英語4単位必修
		英語ⅠB	1	1年～		◎	
		英語ⅡA	1	1年～		◎	
		英語ⅡB	1	1年～		◎	
		日本語Ⅰ	2	1年～		○	
		日本語Ⅱ	2	1年～		○	
	教養科目 選択科目	フランス語Ⅰ	1	1年～	16 単位	○	16単位以上選択
		フランス語Ⅱ	1	1年～		○	
		ドイツ語Ⅰ	1	1年～		○	
		ドイツ語Ⅱ	1	1年～		○	
		中国語Ⅰ	1	1年～		○	
		中国語Ⅱ	1	1年～		○	
		応用中国語Ⅰ	1	2年～		○	
		応用中国語Ⅱ	1	2年～		○	
		時事英語Ⅰ	1	2年～		○	
		時事英語Ⅱ	1	2年～		○	
		ビジネス英語Ⅰ	1	2年～		○	
		ビジネス英語Ⅱ	1	2年～		○	
		Basic GrammarⅠ	1	1年～		☆	
		Basic GrammarⅡ	1	1年～		☆	
		コリア語Ⅰ	1	1年～		☆	
		コリア語Ⅱ	1	1年～		☆	
		TOEIC向上講座Ⅰ	2	2年～		☆	
TOEIC向上講座Ⅱ		2	2年～	☆			
SpeakingⅠ		1	2年～	☆			
SpeakingⅡ		1	2年～	☆			
WritingⅠ		1	2年～	☆			
WritingⅡ		1	2年～	☆			
ListeningⅠ		1	2年～	☆			
ListeningⅡ		1	2年～	☆			
DebateⅠ	1	2年～	☆				
DebateⅡ	1	2年～	☆				
English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	1	1年～	☆				
English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	1	1年～	☆				
敬天愛人講座	2	1年～	○				
敬愛プログラム	2	1年～	○	○	○		
スポーツ教育Ⅰ	1	1年～	☆				
スポーツ教育Ⅱ	1	1年～	☆				
哲学	2	1年～	☆				
心理学	2	1年～	○				
社会心理学	2	1年～	○				

科目区分		経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					卒業要件等
						DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
学部共通科目	教養科目 選択科目	歴史学	2	1年～	16単位	○					16単位以上選択
		中国文化Ⅰ	2	1年～		○					
		中国文化Ⅱ	2	1年～		○					
		文学	2	1年～		○					
		日本語学	2	1年～		☆					
		言語学	2	1年～		☆					
		法学	2	1年～		○					
		憲法	2	1年～		☆					
		政治学	2	1年～		☆					
		社会学	2	1年～		☆					
		数学Ⅰ	2	1年～		☆					
		数学Ⅱ	2	1年～		☆					
		統計学Ⅰ	2	1年～		○					
		統計学Ⅱ	2	1年～		○					
	環境科学	2	1年～	☆							
	ボランティア活動	2	1年～	☆							
	金融リテラシー	2	1年～	○							
	税の基礎知識	2	1年～	○							
	情報科目 選択科目	情報概論	2	1年～	2単位	○					2単位以上選択
		データサイエンス総論	2	1年～		○					
		英語で学ぶPython	2	1年～		☆					
		アルゴリズム論	2	2年～		○					
		プレゼンテーション論	2	2年～		☆					
		情報セキュリティ論	2	2年～		○					
		AI概論	2	2年～		○					
		プログラミング	2	2年～		○					
	キャリア科目 選択科目	AI・データサイエンス実践	2	3年～	2単位	○					2単位以上選択
		実践会話Ⅰ	2	2年～		☆					
		実践会話Ⅱ	2	2年～		☆					
		キャリアディベロップメント	2	2年～		○				☆	
		企業の魅力発見	2	2年～		○					
		実践的キャリア演習Ⅰ	2	3年～		○					
		実践的キャリア演習Ⅱ	2	3年～		○					
		プレインターンシップ	2	3年～		○					
インターンシップ	1	3年～	○								
経営学科専門科目	基本科目A 必修科目	経営学Ⅰ	2	1年～	10単位		◎				全科目必修 10単位
		経営学Ⅱ	2	1年～		◎					
		簿記・会計概論Ⅰ	2	1年～		◎					
		簿記・会計概論Ⅱ	2	1年～		◎					
	基本科目B 選択科目	実地調査入門	2	2年～	20単位	◎		○	○		20単位以上選択
		経営戦略論Ⅰ	2	2年～		◎					
		経営戦略論Ⅱ	2	2年～		◎					
		経営組織論Ⅰ	2	2年～		◎					
		経営組織論Ⅱ	2	2年～		◎					
		経営財務論Ⅰ	2	2年～		◎					
		経営財務論Ⅱ	2	2年～		◎					
		マーケティング論	2	2年～		◎					
		経営分析Ⅰ	2	2年～		○					
		経営分析Ⅱ	2	2年～		○					
		人的資源管理Ⅰ	2	2年～		○					
		人的資源管理Ⅱ	2	2年～		○					
		産業論	2	2年～		○					
		マーケティングリサーチⅠ	2	2年～		○					
		マーケティングリサーチⅡ	2	2年～		○					
		流通論	2	2年～		○					
原価計算論Ⅰ	2	2年～	☆								
原価計算論Ⅱ	2	2年～	☆								
経営史Ⅰ	2	2年～	☆								
経営史Ⅱ	2	2年～	☆								
国際ビジネス論	2	2年～	○								
生産管理	2	2年～	☆								
民法Ⅰ	2	2年～	☆								
民法Ⅱ	2	2年～	☆								
ビジネスデータ解析	2	2年～	○								
情報ビジネス論	2	3年～	☆								
企業経営 コース科目 選択科目	コーポレートガバナンス論	2	2年～	10単位			○			10単位以上選択	
	企業と社会論	2	2年～				○				
	中小企業論Ⅰ	2	2年～				○				

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
経営学科専門科目	企業経営コース科目 選択科目	中小企業論Ⅱ	2	2年～			○			10単位以上選択
		国際産業組織論	2	2年～			○			
		多国籍企業論	2	2年～			○			
		国際貿易論	2	2年～			○			
		経営心理学	2	2年～			○			
		経営立地論	2	2年～			○			
		地域産業論	2	2年～			○			
		情報マネジメント	2	2年～			○			
		知的財産権論	2	2年～			○			
		経営シミュレーション	2	2年～			○			
		企業法	2	2年～			○			
		会社法	2	2年～			○			
		日本経済地理	2	2年～			○			
	世界経済地理	2	2年～			○				
	ホテル・ビジネス論	2	2年～			○				
	会計学Ⅰ	2	2年～			○			10単位以上選択	
	会計学Ⅱ	2	2年～			○				
	簿記原理Ⅰ	2	2年～			○				
	簿記原理Ⅱ	2	2年～			○				
	管理会計論	2	2年～			○				
	税務会計論Ⅰ	2	2年～			☆				
	税務会計論Ⅱ	2	2年～			☆				
	地域企業会計論	2	2年～			☆				
	金融商品取引法	2	2年～			☆				
	会社法	2	2年～			☆				
	流通情報論	2	2年～			○				
	流通経営論	2	2年～			○				
	消費者行動論	2	2年～			○				
	サービスマーケティング論	2	2年～			○				
	Marketing Management	2	2年～			☆				
	観光マーケティング調査	2	2年～			☆				
	経営立地論	2	2年～			○				
	地域産業論	2	2年～			○				
	スポーツビジネス論	2	2年～			○			10単位以上選択	
スポーツ産業論	2	2年～			○					
スポーツマーケティング論	2	2年～			○					
スポーツ文化論	2	2年～			○					
生涯スポーツ実習Ⅰ	1	2年～			○					
生涯スポーツ実習Ⅱ	1	2年～			○					
スポーツ科学概論	2	2年～			○					
中小企業論Ⅰ	2	2年～			○					
中小企業論Ⅱ	2	2年～			○					
地域企業経営論	2	2年～			○					
サービスマーケティング論	2	2年～			○					
Marketing Management	2	2年～			☆					
経営心理学	2	2年～			○					
消費者行動論	2	2年～			○					
企業法	2	2年～			○					
会社法	2	2年～			○					
観光事業論Ⅰ	2	2年～			☆					
観光事業論Ⅱ	2	2年～			☆					
千葉学	2	1年～			○			10単位以上選択		
入門ツーリズムⅠ	2	1年～			○					
入門ツーリズムⅡ	2	1年～			○					
ベンチャービジネス論	2	2年～			○					
地域事業創造論	2	2年～			○					
中小企業論Ⅰ	2	2年～			○					
中小企業論Ⅱ	2	2年～			○					
アントレプレナーシップ論	2	2年～			○					
地域企業経営論	2	2年～			○					
管理会計論	2	2年～			☆					
地域企業会計論	2	2年～			○					
経営立地論	2	2年～			○					
地域産業論	2	2年～			○					
千葉県の産業と行政	2	2年～			○					
旅行ビジネス論	2	2年～			○					
地域観光論	2	2年～			○					
観光事業論Ⅰ	2	2年～			○					
観光事業論Ⅱ	2	2年～			○					

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目（最重要科目） ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目（発展科目）					卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
経営学科専門科目 展開科目 選択科目	経済理論Ⅰ	2	2年～	16 単位			☆			16単位以上選択
	経済理論Ⅱ	2	2年～				☆			
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～				☆			
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2年～				☆			
	マクロ経済学Ⅰ	2	2年～				☆			
	マクロ経済学Ⅱ	2	2年～				☆			
	経済政策Ⅰ	2	2年～				☆			
	経済政策Ⅱ	2	2年～				☆			
	金融論Ⅰ	2	2年～				☆			
	金融論Ⅱ	2	2年～				☆			
	有価証券法	2	2年～				○			
	統計学総論Ⅰ	2	2年～				○			
	統計学総論Ⅱ	2	2年～				○			
	企業金融論Ⅰ	2	2年～				☆			
	企業金融論Ⅱ	2	2年～				☆			
	労働法	2	2年～				☆			
	国際法Ⅰ	2	2年～				☆			
	国際法Ⅱ	2	2年～				☆			
	経済統計Ⅰ	2	2年～				☆			
	経済統計Ⅱ	2	2年～				☆			
日本経済論Ⅰ	2	2年～			☆					
日本経済論Ⅱ	2	2年～			☆					
銀行論Ⅰ	2	2年～			☆					
銀行論Ⅱ	2	2年～			☆					
経済学特論Ⅰ	2	2年～			○					
経済学特論Ⅱ	2	2年～			○					
演習科目 必修科目	専門導入演習Ⅰ	1	2年～	8 単位		○	○	○	○	全科目必修8単位
	専門導入演習Ⅱ	1	2年～			○	○	○	○	
	専門演習Ⅰ	1	3年～			○	○	○	○	
	専門演習Ⅱ	1	3年～			○	○	○	○	
	卒業演習Ⅰ	1	4年～			○	○	○	○	
	卒業演習Ⅱ	1	4年～			○	○	○	○	
	卒業論文・卒業研究	2	4年～			◎	◎	◎	◎	
自由選択科目	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科科目や国際学部国際学科の科目を履修した場合、エアポートNARITA地域産業学開講科目も当欄で単位認定する。教職課程履修者は教職及び教員に関する科目からの履修も可。									14単位以上選択
教職及び教員に関する科目	◎教育原論	2	1年～							教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は◎印の科目を修得することで、自由選択科目の単位に充当することができる。
	◎教育課程論	2	1年～							
	◎発達心理学	2	1年～							
	◎教育心理学	2	1年～							
	◎特別支援教育概論	2	2年～							
	◎教職概論	2	1年～							
	◎教育行政	2	2年～							
	◎教育法規	2	2年～							
	◎教育方法・技術論	2	2年～							
	◎教育とICT活用	2	2年～							
	◎商業科指導法Ⅰ	2	2年～							
	◎商業科指導法Ⅱ	2	2年～							
	◎総合的な学習の時間の指導法	2	2年～							
	◎特別活動指導法	2	2年～							
	◎生徒・進路指導論	2	2年～							
	◎教育相談	2	2年～							
	◎教職実践演習	2	4年～							
	◎キャリア教育・職業指導Ⅰ	2	2年～							
	◎キャリア教育・職業指導Ⅱ	2	2年～							
◎教育実習指導	1	3年～								
◎高等学校教育実習	2	4年～								
卒業要件単位数				124単位						

2

2025年度入学者カリキュラム表

1 教育課程の編成方針と概要

1. 「敬愛大学学則」及び「経済学部規程」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業に必要な単位数を124以上と定めています。
2. 経済学部では、「敬天愛人」の建学の精神のもとに「人間性と創造性豊かな経済人」の育成を図ることを目的として、「経済学科」と「経営学科」の2つの教育課程を編成しています。
3. 経済学部では2年次学科選択制を導入しています。1年次は学科に所属せず、学部共通の基礎科目の履修を経て2年次への進級時に卒業までの3年間所属する学科を決定することになります。なお、学科には定員があります。定員を超える希望者がいた場合は前期終了時の成績や授業出席状況等の修学状況を参考にして、所属学科を決定します。
従って、1年次は経済・経営に関する基礎となる科目を履修しながら、各自が経済学・経営学に対する興味・関心・または将来の目指す進路を見据えて、経済・経営いずれの学科に所属するかを検討する期間になります。「経済学科」は3つ、「経営学科」は4つの専門的な学習コースがあり、コースの選択は2年次前期の履修登録時にあわせて行います。2年次以降は自分の学習意欲や将来の進路・目標にもとづき、各自が選択した学科・コースの科目を具体的・体系的に履修していきます。
4. 1年次のゼミはあらかじめ大学側で担当教員を指定しますが、2年次からの所属ゼミは、みなさんの希望にもとづく選考により決定します。ゼミは2年次からの所属学科が決定した後、所属する学科から選択します。従って、2年次から経済学科に所属する場合、2年ゼミも経済学科のゼミから選択することになります。
5. 経済学部の教育課程には、学部共通科目を基礎として、基礎科目群、必修言語科目群、教養科目群、情報科目群、キャリア科目群を配しており、「経済学科」・「経営学科」の専門分野にあっては、基本科目群、専門科目群、展開科目群、演習科目で構成しています。
また、基礎科目を、必修科目もしくは選択科目として1年次に多く配置し、よりスムーズに高度な専門分野へ移行できる段階的な教育を実践しています。
6. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目及び集中講義によって行います。
ただし、「I・II」科目の「II」の履修にあっては、条件付科目があるので、確認が必要です。
7. 教職課程履修者は卒業必要単位のほかに、教育職員免許法に定める所定の単位を修得することが必要です。
8. 本学では、特色のある教育活動として「敬愛プログラム」科目を配置しています。この「敬愛プログラム」は、学生（個人またはグループ）の自主的・自発的な発想による活動の支援を目的とする制度です。学生は、ボランティア活動、クラブ活性化活動、イベントの企画・実施、商店街や事業所の調査等、学内外における活動のテーマを設定し、事前に達成目標や段取りを明記した企画書を作成したうえで、当該年度に成果の発表を行います。その成果が評価に値するものと認定されれば、活動そのものが卒業単位として認められ、さらに支援金の支給を受けることができます。

2 コースの概要

経済学科（3コース）

公共経済コース

政府や地方自治体から見た経済の仕組みや課題を学び、主に公共サービスに従事できる人材を育成します。

主な進路

公務員、消防士・警察官、各種団体職員、一般企業（各種全般）など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）／行政書士など

金融経済コース

銀行や証券の仕組みや金融が経済にもたらす影響を学び、主に金融業界で活躍できる人材を育成します。

主な進路

銀行、信用金庫、証券会社、保険会社、一般企業（各種全般）など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）

ファイナンシャル・プランナー／

Microsoft® Office Specialist／など

現代経済コース

経済学を体系的に学び、実社会で活躍するために必要な幅広い知識と教養を身に付け、現代社会の中核となる人材を育成します。

主な進路

一般企業（各業種全般）、教員など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）／など

2 コースの概要

経営学科（4コース）

企業経営コース

経営の基礎から応用に加え、地域産業や業種の特徴とその経営・管理を学び、企業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の人事、経営企画、事業統括など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定／ITパスポート／高等学校教諭一種免許（商業）など

商業・会計コース

品物やお金の流れの視点から地域産業の実態や業種の特徴とビジネス手法を学び、地域経済の活性化に貢献できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の商品企画、営業、経理・財務など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／税理士／日商簿記検定／ビジネス能力検定／高等学校教諭一種免許（商業）など

スポーツビジネスコース

経営知識と健康運動科学・スポーツ実技を学び、地域に密着したスポーツビジネス産業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

健康・スポーツ関連企業など

取得できる免許・資格

各種スポーツライセンス／日商簿記検定／ビジネス能力検定
高等学校教諭一種免許（商業）など

地域・起業コース

千葉などの地域に密着した産業・企業経営のあり方や起業の方法を学び、起業をめざす地域活性化人材を育成します。

主な進路

県内企業への就職、起業、地域金融機関、各種団体職員、
経営コンサルタント

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定
旅行業務取扱管理者／高等学校教諭一種免許（商業）など

3-1 科目区分および卒業要件単位略図(2025年度入学者)

科目区分		履修区分	卒業要件単位数	
学部共通科目	基礎科目	必修科目	22	
	言語科目 (日本人学生は英語・留学生は日本語)	必修科目	4	
	教養科目	選択科目	16	
	情報科目	選択科目	2	
	キャリア科目	選択科目	2	
	小計			46
専門科目	基本科目A	必修科目	10	
	基本科目B	選択科目	20	
	経済学科 コース科目 (いずれか1コース)	公共経済コース 現代経済コース 金融経済コース	選択科目	10
	経営学科 コース科目 (いずれか1コース)	企業経営コース 商業・会計コース スポーツビジネスコース 地域・起業コース		
	展開科目		選択科目	16
	演習科目		必修科目	8
	自由選択科目		選択科目	14
	小計			78
卒業要件単位数			124	

3-2 教育課程の具体的履修方法（2025）

1 学部共通科目

学部共通科目においては共通カリキュラムの下、基礎科目、言語科目、教養科目、情報科目ならびにキャリア科目を含めて合計46単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

- (1) 基礎科目
基礎科目は必修科目であり、全科目を履修し、1年次で合計22単位を修得する必要があります。
- (2) 言語科目
言語科目は必修科目であり、全科目を履修し、1年次で4単位を修得する必要があります。
- (3) 教養科目
教養科目は選択科目であり、この科目群の中から4年間で16単位以上を修得する必要があります。
なお、経済学科の教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目（※印の科目のみ）」の単位を教養科目の単位として充当することができます。
- (4) 情報科目
情報科目は選択科目であり、この科目群の中から4年間で2単位以上を修得する必要があります。
- (5) キャリア科目
キャリア科目は選択科目であり、2年次より卒業までに2単位以上を修得する必要があります。

2 経済学科専門科目

2年次から経済学科に所属する学生は基本科目A・B、コース科目（3つあるコースの中から1つのコースを選択）、展開科目、演習科目、自由選択科目を含めて合計78単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

- (1) 基本科目A
基本科目Aは必修科目であり、「経済理論A・B」2科目4単位、「日本経済史I・II」または「西洋経済史I・II」いずれか2科目4単位（日本経済史と西洋経済史の組み合わせは不可）を履修し、さらに2年次に開講される「フィールドワーク入門」を履修し、合計10単位を1・2年次で修得する必要があります。
- (2) 基本科目B
基本科目Bは選択科目であり、この科目の中から2・3年次に20単位以上を修得する必要があります。
- (3) コース科目
コース科目（3コース）は選択科目であり、各コースに属する者は、その科目群の中から2年次より卒業までに10単位以上を修得する必要があります。
- (4) 展開科目
展開科目は選択科目であり、この科目群から2年次より卒業までに16単位以上を修得する必要があります。また、経済学科専門科目の各区分（基本科目A・B、コース科目）で定める卒業要件単位を超えて修得した単位分を展開科目の単位として充当することができます。
- (5) 演習項目
演習科目は必修科目であり、2年次から卒業までに各学年において、2単位（前期1単位、後期1単位）さらに4年次の「卒業論文」（2単位）を含めて合計8単位を修得する必要があります。

2年次からは原則、希望制により所属ゼミを選択し、専門分野を学ぶ上での導入と位置付けられている「専門導入演習」を履修します。さらに3年次は「専門演習」、4年次は「卒業演習」を履修し、より専門的にその分野を修得すべく、深くより高度な内容が展開されます。また、4年次はあわせて卒業論文の指導を受けることになります。

(6) 自由選択科目

自由選択科目は各科目区分の必要単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、コース科目、展開科目、経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科の科目の中から自由に選択して、14単位以上修得する必要があります。

なお、教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目」（※印の科目を除く）の単位を自由選択科目の単位として充当することができます。

他大学・他学部・大学単位互換科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業単位とします。

3 経営学科専門科目

2年次から経営学科に所属する学生は基本科目A・B、コース科目（4つあるコースの中から1つのコースを選択、展開科目、演習科目、自由選択科目を含めて合計78単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

(1) 基本科目A

基本科目Aは必修科目であり、1・2年次で合計10単位を修得する必要があります。

(2) 基本科目B

基本科目Bは選択科目であり、この科目の中から2・3年次に20単位以上を修得する必要があります。

(3) コース科目

コース科目（4コース）は選択科目であり、各コースに属する者は、その科目群の中から2年次より卒業までに10単位以上を修得する必要があります。

(4) 展開科目

展開科目は選択科目であり、この科目群から2年次より卒業までに16単位以上を修得する必要があります。また、経営学科専門科目の各区分（基本科目B、コース科目）で定める卒業要件単位を超えて修得した単位分を展開科目の単位として充当することができます。

(5) 演習項目

演習科目は必修科目であり、2年次から卒業までに各学年において、2単位（前期1単位、後期1単位）さらに4年次の「卒業論文・卒業研究」（2単位）を含めて合計8単位を修得する必要があります。

2年次からは原則、希望制により所属ゼミを選択し、専門分野を学ぶ上での導入と位置付けられている「専門導入演習」を履修します。さらに3年次は「専門演習」、4年次は「卒業演習」を履修し、より専門的にその分野を修得すべく、深くより高度な内容が展開されます。また、4年次はあわせて卒業論文の指導を受けることになります。

(6) 自由選択科目

自由選択科目は各科目区分の必要単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、コース科目、展開科目、経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科の科目の中から自由に選択して、14単位以上を修得する必要があります。

なお、教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目」の単位を自由選択科目の単位として充当することができます。

他大学・他学部・大学単位互換科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業単位とします。

4 2025年度入学者卒業要件概念図 経済学科

科目区分		1年次	2年次	3年	
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアデザインを学ぶ、キャリアプランニング、AI・DSへのいざない、健康科学、情報基礎Ⅰ、情報基礎Ⅱ、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ		
	言語科目	必修	英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、日本語Ⅰ、日本語Ⅱ		
	教養科目	選択	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、応用中国語Ⅰ・Ⅱ、時事英語Ⅰ・Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ・講座Ⅰ・Ⅱ、SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、ListeningⅠ・Ⅱ、DebateⅠ・Ⅱ、English Conversation(オム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、中国文化Ⅰ・Ⅱ、文学、日本語学、言語学、環境科学、ボランティア活動)		
	情報科目	選択	情報概論、データサイエンス総論、英語で学ぶPython	アルゴリズム論、プレゼンテーション論、情報セキュリティ論、AI概論、プログラミング	AI・データサイエンス
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアディベロップメント、企業の魅力発見	実践的キャリア演習演習Ⅱ、プレインターンシップ、ポストイン
経済学科専門科目	基本科目A	必修	経済理論A・B、日本経済史Ⅰ・Ⅱ、西洋経済史Ⅰ・Ⅱ	フィールドワーク入門	
	基本科目B	選択		ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済政策Ⅰ・Ⅱ、経Ⅱ、国際経済論Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計概論Ⅰ・Ⅱ、会計学Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰ・	
	公共経済コース	選択	進路支援講座A・B(数的リテラシー)	公共経済学、公共選択論、地方財政論Ⅰ・Ⅱ、地方自治論Ⅰ・Ⅱ、企業法、会社法、経済統計Ⅰ・Ⅱ、進路支援講座C・D・E・講座Ⅰ・J(教職)	
	金融経済コース	選択	進路支援講座A・B(数的リテラシー)	証券経済論Ⅰ・Ⅱ、銀行論Ⅰ・Ⅱ、国際金融論Ⅰ・Ⅱ、企業金会社法、経済統計Ⅰ・Ⅱ、進路支援講座C・D・E・F(公務員)、	
	現代経済コース	選択	進路支援講座A・B(数的リテラシー)	日本経済論Ⅰ・Ⅱ、日本経済地理、世界経済地理、アメリカ経済論、国際貿易論、労働経済論Ⅰ・Ⅱ、労働法、経済統計Ⅰ・H(日経新聞を読む)、進路支援講座Ⅰ・J(教職)	
	展開科目	選択		経済学史Ⅰ・Ⅱ、社会思想史Ⅰ・Ⅱ、金融経済の基礎知識、計量農業政策、経済数学Ⅰ・Ⅱ、経営学Ⅰ・Ⅱ、国際地域論Ⅰ・Ⅱ、地ビジネス論	
	演習科目	必修		専門導入演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ
自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科開講科目や国際学部国際学科開講科目、大学単位互換教職課程履修者は「教職及び強化に関する科目」(※印の科目を除く)の単位を自由選択科目の単位として			

教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ)	選択	日本史概論Ⅰ・Ⅱ、世界史概論Ⅰ・Ⅱ、地理学概論Ⅰ・Ⅱ、地誌学Ⅰ・Ⅱ、哲学概論Ⅰ・Ⅱ、比較政治学、社会学概論、
	選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教育法規、Ⅱ、地理歴史科指導法・社会科・公民科指導法Ⅰ・Ⅱ、公民科指導法、道徳教育指導法、総合的な学習の時間教職実践演習、教育実習指導、中学校教育実習、高等学校教育実習

次	4年次	単位	備考
		22	全科目22単位を修得する必要があります。
		4	日本人学生は英語、留学生は日本語4単位を修得する必要があります。
	II、Basic Grammar I・II、コリア語 I・II、TOEIC向上 オンライン英会話) I・II、敬天愛人講座、敬愛プログラ 法学、憲法、政治学、社会学、数学 I・II、統計学 I・II、	16	16単位以上を修得する必要があります。
ス実践		2	2単位以上を修得する必要があります。
I、実践的キャリア ンシップ、インター ターンシップ		2	2単位以上を修得する必要があります。
		10	経済理論A・B2科目4単位、日本経済史I・IIまたは西洋経済史I・IIいずれか2 科目4単位、フィールドワーク入門2単位、合計10単位修得する必要があります。 (ただし日本経済史と西洋経済史の組み合わせは不可)
済学特論 I・II、社会政策 I・II、財政学 I・II、金融論 I・ II、統計学総論 I・II、知的財産権論、情報マネジメント		20	20単位以上を修得する必要があります。
II、社会保障論 I・II、社会福祉論、福祉経済論、行政法 I・ F(公務員)、進路支援講座G・H(日経新聞を読む)、進路支援		10	各コースに属するものは、コース科目区分の中から10単位以上を修得する必 要があります。
融論 I・II、保険論、金融事情 I・II、有価証券法、企業法、 進路支援講座G・H(日経新聞を読む)、進路支援講座I・J(教職)		10	
済論 I・II、ヨーロッパ経済論 I・II、中東経済論、アジア II、進路支援講座C・D・E・F(公務員)、進路支援講座G・		10	
経済学 I・II、環境経済学 I・II、地域経済論、食料経済論、 域産業論、経営立地論、交通論、ビジネスデータ解析、情報		16	16単位以上を修得する必要があります。経済学科専門科目区分(基本科目A・ B、コース科目)で定める卒業要件単位数を超えて修得した単位分を展開科 目の単位として充当することができます。
	卒業演習I・II、卒業論文	8	全科目8単位を修得する必要があります。
科目、展開科目から14単位以上修得する必要があります。 科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業要件とします。 充当することができます。		14	14単位以上を修得する必要があります。
自然地理学I・II、			修得した単位は教養科目の卒業単位とします。
教育方法・技術論、教育とICT活用、社会科・地歴科指導法I・ の指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、			修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。

5 経済学科 2025カリキュラム表 (2025年度入学者)

経済学科DP		DP1. 社会科学を機軸とした幅広い教養を深めるとともに、経済学の知識を基に社会の発展に活かす良識を身につける。 DP2. 経済社会の問題に関する情報を主体的に収集、分析し、問題の解決策を論理的に述べられる表現力・コミュニケーション能力を身につける。 DP3. 経済学を体系的に理解し、数値データをもとに経済の現状を捉える手法を修得することで、経済的な思考にもとづく適切な判断力を身につける。 DP4. 社会問題への関心と想像力を涵養し、未知の課題に立ち向かうことができ、様々な人々と協調して経済活動を行う力を身につける。									
到達目標		公共経済コース 公共部門（国、地方自治体）において、経済計画、都市計画などの各種政策策定に必要な経済学的分析力、応用力、展開力を身につける	金融経済コース 銀行・証券・保険などの金融業界および、その関連業界において、経済動向や経営状況の判断に必要な知識や分析力を身につける	現代経済コース 社会が直面する様々な経済問題を、歴史や理論から探求し、日本や世界の経済について考察する力を身につける							
科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等		
					DP1	DP2	DP3	DP4			
基礎科目	必修科目	文章表現	2	1年～	22単位	○	○			全科目22単位必修	
		口頭表現	2	1年～		○	○				
		基礎数学	2	1年～		○		○			
		入門経済学	2	1年～		○		○			
		入門経営学	2	1年～		○					
		キャリアデザインを学ぶ	2	1年～		○			○		
		キャリアプランニング	2	1年～		○			○		
		AI・DSへのいざない	2	1年～		○	○				
		健康科学	2	1年～		○					
		情報基礎Ⅰ	1	1年～		○	○		○		
情報基礎Ⅱ	1	1年～	○	○		○					
基礎演習Ⅰ	1	1年～	○	○	○						
基礎演習Ⅱ	1	1年～	○	○	○						
言語科目	必修科目	英語ⅠA	1	1年～	4単位	○	○		☆	日本人は、英語4単位必修	
		英語ⅠB	1	1年～		○	○		☆		
		英語ⅡA	1	1年～		○	○		☆		
		英語ⅡB	1	1年～		○	○		☆		
		日本語Ⅰ	2	1年～		○	○		☆		
		日本語Ⅱ	2	1年～		○	○		☆		
学部共通科目	教養科目	選択科目	フランス語Ⅰ	1	1年～	16単位	○	○		☆	16単位以上選択
			フランス語Ⅱ	1	1年～		○	○		☆	
			ドイツ語Ⅰ	1	1年～		○	○		☆	
			ドイツ語Ⅱ	1	1年～		○	○		☆	
			中国語Ⅰ	1	1年～		○	○		☆	
			中国語Ⅱ	1	1年～		○	○		☆	
			応用中国語Ⅰ	1	2年～		○	○		☆	
			応用中国語Ⅱ	1	2年～		○	○		☆	
			時事英語Ⅰ	1	2年～		○	○		☆	
			時事英語Ⅱ	1	2年～		○	○		☆	
			ビジネス英語Ⅰ	1	2年～		○	○		☆	
			ビジネス英語Ⅱ	1	2年～		○	○		☆	
			Basic GrammarⅠ	1	1年～			☆			
			Basic GrammarⅡ	1	1年～			☆			
			コリア語Ⅰ	1	1年～			☆			
			コリア語Ⅱ	1	1年～			☆			
		TOEIC向上講座Ⅰ	2	2年～		☆					
		TOEIC向上講座Ⅱ	2	2年～		☆					
		SpeakingⅠ	1	2年～		☆					
		SpeakingⅡ	1	2年～		☆					
		WritingⅠ	1	2年～		☆					
		WritingⅡ	1	2年～		☆					
		ListeningⅠ	1	2年～		☆					
		ListeningⅡ	1	2年～		☆					
		DebateⅠ	1	2年～		☆					
		DebateⅡ	1	2年～		☆					
		English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	1	1年～			○		☆		
		English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	1	1年～			○		☆		
		敬天愛人講座	2	1年～		○			○		
		敬愛プログラム	2	1年～		○	○	☆	☆		
		スポーツ教育Ⅰ	2	1年～		○					
		スポーツ教育Ⅱ	2	1年～		○					
哲学	2	1年～		○							

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等	
					DP1	DP2	DP3	DP4		
教養科目 選択科目	心理学	2	1年～	16単位	○				16単位以上選択	
	社会心理学	2	1年～		○					
	歴史学	2	1年～		○					
	中国文化Ⅰ	2	1年～		○					
	中国文化Ⅱ	2	1年～		○					
	文学	2	1年～		○					
	日本語学	2	1年～		☆					
	言語学	2	1年～		☆					
	法学	2	1年～		○					
	憲法	2	1年～		○					
	政治学	2	1年～		○					
	社会学	2	1年～		○					
	数学Ⅰ	2	1年～		◎		○			
	数学Ⅱ	2	1年～		◎		○			
	統計学Ⅰ	2	1年～		◎		○			
統計学Ⅱ	2	1年～	◎		○					
環境科学	2	1年～	○							
ボランティア活動	2	1年～	○			☆				
金融リテラシー										
情報科目 選択科目	情報概論	2	1年～	2単位		○			2単位以上選択	
	データサイエンス総論	2	1年～		○	○				
	英語で学ぶPython	2	1年～		☆					
	アルゴリズム論	2	2年～			○				
	プレゼンテーション論	2	2年～			○				
	情報セキュリティ論	2	2年～			○				
	AI概論	2	2年～			○	○			
	プログラミング	2	2年～			○	○			
	AI・データサイエンス実践	2	3年～			○	○			
キャリア科目 選択科目	実践会話Ⅰ	2	2年～	2単位		○			2単位以上選択	
	実践会話Ⅱ	2	2年～			○				
	キャリアディベロップメント	2	2年～			○		○		
	企業の魅力発見	2	2年～			○		○		
	実践的キャリア演習Ⅰ	2	3年～			○		○		
	実践的キャリア演習Ⅱ	2	3年～			○		○		
	プレインターンシップ	2	3年～			○		○		
	インターンシップ	1	3年～			○		○		
	ポストインターンシップ	2	3年～			○		○		
基本科目A 選択必修科目	経済理論A	2	1年～	10単位	◎		◎	○	※経済理論4単位必修 フィールドワーク入門2単位必修 ※経済史4単位必修 日本経済史、西洋経済史のいずれかを選択すること。両者のⅠ・Ⅱの組み合わせは不可	
	経済理論B	2	1年～		◎		◎	○		
	日本経済史Ⅰ	2	1年～		○		○	○		
	日本経済史Ⅱ	2	1年～		○		○	○		
	西洋経済史Ⅰ	2	1年～		○		○	○		
	西洋経済史Ⅱ	2	1年～		○		○	○		
	フィールドワーク入門	2	2年～			◎		◎		
	基本科目B 選択科目	ミクロ経済学Ⅰ	2		2年～	20単位				◎
ミクロ経済学Ⅱ		2	2年～				◎	○		
マクロ経済学Ⅰ		2	2年～				◎	○		
マクロ経済学Ⅱ		2	2年～				◎	○		
経済政策Ⅰ		2	2年～				◎	○		
経済政策Ⅱ		2	2年～				◎	○		
経済学特論Ⅰ		2	2年～				◎	○		
経済学特論Ⅱ		2	2年～				◎	○		
社会政策Ⅰ		2	2年～				◎	○		
社会政策Ⅱ		2	2年～				◎	○		
財政学Ⅰ		2	2年～				◎	○		
財政学Ⅱ		2	2年～				◎	○		
金融論Ⅰ		2	2年～				◎	○		
金融論Ⅱ		2	2年～				◎	○		
国際経済論Ⅰ		2	2年～				◎	○		
国際経済論Ⅱ		2	2年～				◎	○		
簿記・会計概論Ⅰ		2	2年～	◎	☆			○		
簿記・会計概論Ⅱ		2	2年～	◎	☆			○		
会計学Ⅰ		2	2年～	◎	☆			○		
会計学Ⅱ		2	2年～	◎	☆			○		
民法Ⅰ		2	2年～	○				○		
民法Ⅱ		2	2年～	○				○		
統計学総論Ⅰ		2	2年～	○			◎	○		
統計学総論Ⅱ	2	2年～	○		◎	○				
知的財産権論	2	2年～	☆			☆				
情報マネジメント	2	2年～	☆			☆				

2025年度
カリキュラム表

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)			卒業要件等		
					DP1	DP2	DP3		DP4	
公共経済コース科目	コース科目	公共経済学	2	2年～			◎	☆	10単位以上選択	
		公共選択論	2	2年～			○	☆		
		地方財政論Ⅰ	2	2年～			◎	☆		
		地方財政論Ⅱ	2	2年～			◎	☆		
		地方自治論Ⅰ	2	2年～			○	☆		
		地方自治論Ⅱ	2	2年～			○	☆		
		社会保障論Ⅰ	2	2年～			○	☆		
		社会保障論Ⅱ	2	2年～			○	☆		
		社会福祉論	2	2年～			○	☆		
		福祉経済論	2	2年～			○	☆		
		行政法Ⅰ	2	2年～		○		☆		
		行政法Ⅱ	2	2年～		○		☆		
		企業法	2	2年～		○		☆		
		会社法	2	2年～		○		☆		
		経済統計Ⅰ	2	2年～				◎		☆
	経済統計Ⅱ	2	2年～				◎	☆		
	進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1年～		○		○		
		進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1年～		○		○		
		進路支援講座C(公務員)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座D(公務員)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座E(公務員)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座F(公務員)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座I(教職)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座J(教職)	2	2年～		○		○		
		経済学科専門科目	コース科目	証券経済論Ⅰ	2	2年～				○
証券経済論Ⅱ				2	2年～			○	☆	
銀行論Ⅰ	2			2年～			◎	☆		
銀行論Ⅱ	2			2年～			◎	☆		
国際金融論Ⅰ	2			2年～			◎	☆		
国際金融論Ⅱ	2			2年～			◎	☆		
企業金融論Ⅰ	2			2年～			○	☆		
企業金融論Ⅱ	2			2年～			○	☆		
保険論	2			2年～			○	☆		
金融事情Ⅰ	2			2年～			☆	○	☆	
金融事情Ⅱ	2			2年～			☆	○	☆	
有価証券法	2			2年～		○		☆		
企業法	2			2年～		○		☆		
会社法	2			2年～		○		☆		
経済統計Ⅰ	2			2年～				◎	☆	
経済統計Ⅱ	2		2年～				◎	☆		
進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)		2	1年～		○		○		
	進路支援講座B(数的リテラシー)		2	1年～		○		○		
	進路支援講座C(公務員)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座D(公務員)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座E(公務員)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座F(公務員)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座G(日経新聞を読む)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座H(日経新聞を読む)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座I(教職)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座J(教職)		2	2年～		○		○		
	現代経済コース科目		コース科目	日本経済論Ⅰ	2	2年～			◎	☆
		日本経済論Ⅱ		2	2年～			◎	☆	
日本経済地理		2		2年～		○		☆		
世界経済地理		2		2年～		○		☆		
アメリカ経済論Ⅰ		2		2年～			○	☆		
アメリカ経済論Ⅱ		2		2年～			○	☆		
ヨーロッパ経済論Ⅰ		2		2年～			○	☆		
ヨーロッパ経済論Ⅱ		2		2年～			○	☆		
中東経済論		2		2年～			○	☆		
アジア経済論		2		2年～			○	☆		
国際貿易論		2		2年～			○	☆		
労働経済論Ⅰ		2		2年～			○	☆		
労働経済論Ⅱ		2		2年～			○	☆		
労働法		2		2年～		○		☆		
経済統計Ⅰ		2		2年～				◎	☆	
経済統計Ⅱ	2	2年～				◎	☆			

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(免展科目)				卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	
現代経済コース科目 進路支援科目 選択科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1年～	10単位	○			○	10単位以上選択
	進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1年～		○			○	
	進路支援講座C(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座D(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座E(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座F(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座I(教職)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座J(教職)	2	2年～		○			○	
経済学科専門科目 展開科目 選択科目	経済学史Ⅰ	2	2年～	16単位			○		16単位以上選択
	経済学史Ⅱ	2	2年～				○		
	社会思想史Ⅰ	2	2年～		○				
	社会思想史Ⅱ	2	2年～		○				
	金融経済の基礎知識	2	2年～		◎				
	計量経済学Ⅰ	2	2年～				◎	☆	
	計量経済学Ⅱ	2	2年～				◎	☆	
	環境経済学Ⅰ	2	2年～				○		
	環境経済学Ⅱ	2	2年～				○		
	地域経済論	2	2年～				○		
	食料経済論	2	2年～				○		
	農業政策	2	2年～				○		
	経済数学Ⅰ	2	2年～				◎		
	経済数学Ⅱ	2	2年～				◎		
	経営学Ⅰ	2	2年～		○				
	経営学Ⅱ	2	2年～		○				
	国際地域論Ⅰ	2	2年～		○				
	国際地域論Ⅱ	2	2年～		○				
	地域産業論	2	2年～				○		
	経営立地論	2	2年～				○		
交通論	2	2年～			○				
ビジネスデータ解析	2	2年～			○				
情報ビジネス論	2	3年～			○				
演習科目 必修科目	専門導入演習Ⅰ	1	2年～	8単位	○	◎	○	☆	全科目8単位必修
	専門導入演習Ⅱ	1	2年～		○	◎	○	☆	
	専門演習Ⅰ	1	3年～		○	◎	◎	◎	
	専門演習Ⅱ	1	3年～		○	◎	◎	◎	
	卒業演習Ⅰ	1	4年～		○	◎	◎	◎	
	卒業演習Ⅱ	1	4年～		○	◎	◎	◎	
	卒業論文	2	4年～		○	◎	◎	◎	
自由選択科目	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経済学科科目のカリキュラムに掲載されていない経済学科科目や国際学部国際学科の科目を履修した場合も当欄で単位を認定する。教職課程履修者は教職及び教科に関する科目からの履修も可。								14単位以上選択
に教職及び教科 に関する科目	※日本史概論Ⅰ	2	1年～						教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。
	※日本史概論Ⅱ	2	1年～						
	※世界史概論Ⅰ	2	1年～						
	※世界史概論Ⅱ	2	1年～						
	※地理学概論Ⅰ	2	1年～						
	※地理学概論Ⅱ	2	1年～						
	※地誌学Ⅰ	2	1年～						
	※地誌学Ⅱ	2	1年～						
	※哲学概論Ⅰ	2	1年～						
	※哲学概論Ⅱ	2	1年～						
	※比較政治学	2	1年～						
	※社会学概論	2	1年～						
	※自然地理学Ⅰ	2	1年～						
	※自然地理学Ⅱ	2	1年～						
	◎教育原論	2	1年～						
	◎教育課程論	2	1年～						
	◎発達心理学	2	1年～						
	◎教育心理学	2	1年～						
	◎特別支援教育概論	2	2年～						
	◎教職概論	2	1年～						
	◎教育行政	2	2年～						
	◎教育法規	2	2年～						
◎教育方法・技術論	2	2年～							

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	
教職及び 教科に関する科目	◎教育とICT活用	2	2年～						教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。
	◎社会科・地歴科指導法Ⅰ	2	2年～						
	◎社会科・地歴科指導法Ⅱ	2	2年～						
	◎地理歴史科指導法	2	2年～						
	◎社会科・公民科指導法Ⅰ	2	2年～						
	◎社会科・公民科指導法Ⅱ	2	2年～						
	◎公民科指導法	2	2年～						
	◎道徳教育指導法	2	2年～						
	◎総合的な学習の時間の指導法	2	2年～						
	◎特別活動指導法	2	2年～						
	◎生徒・進路指導論	2	2年～						
	◎教育相談	2	2年～						
	◎教職実践演習	2	4年～						
	◎教育実習指導	1	3年～						
	◎中学校教育実習	4	4年～						
◎高等学校教育実習	2	4年～							
卒業要件単位数					124単位				

6 2025年度入学者卒業要件概念図 経営学科

科目区分		1年次	2年次	3年次	
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアデザインを学ぶ、キャリアプランニング、AI・DSへのいざない、健康科学、情報基礎Ⅰ、情報基礎Ⅱ、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ		
	言語科目	必修	英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、日本語Ⅰ、日本語Ⅱ		
	教養科目	選択	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、応用中国語Ⅰ・Ⅱ、時事英語Ⅰ・Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ・講座Ⅰ・Ⅱ、SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、ListeningⅠ・Ⅱ、DebateⅠ・Ⅱ、English Conversation(オム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、中国文化Ⅰ・Ⅱ、文学、日本語学、言語学、環境科学、ボランティア活動)		
	情報科目	選択	情報概論、データサイエンス総論、英語で学ぶPython	アルゴリズム論、プレゼンテーション論、情報セキュリティ論、AI概論、プログラミング	AI・データサイエンス
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアディベロップメント、企業の魅力発見	実践的キャリア演習Ⅱ、プレインターンシップ、ポストイン
経営学科専門科目	基本科目A	必修	経営学Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計概論Ⅰ・Ⅱ	実地調査入門	
	基本科目B	選択		経営戦略論Ⅰ・Ⅱ、経営組織論Ⅰ・Ⅱ、経営財務論Ⅰ・Ⅱ、マーケティングリサーチⅠ・Ⅱ、流通論、原価計算論Ⅰ・Ⅱ、経営史Ⅰ・Ⅱ、国際報ビジネス論(3年～)	
	企業経営コース	選択		コーポレートガバナンス論、企業と社会論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、経営立地論、地域産業論、情報マネジメント、知的財産権論、界経済地理、ホテル・ビジネス論	
	商業・会計コース	選択		会計学Ⅰ・Ⅱ、簿記原理Ⅰ・Ⅱ、管理会計論、税務会計論Ⅰ・Ⅱ、地域論、消費者行動論、サービスマーケティング論、Marketing地域産業論	
	スポーツビジネスコース	選択		スポーツビジネス論、スポーツ産業論、スポーツマーケティング概論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、地域企業経営論、サービスマーケティング論、企業法、会社法、観光事業論Ⅰ・Ⅱ	
	地域・起業コース	選択		千葉学、入門ツーリズムⅠ・Ⅱ、ベンチャービジネス論、地域事域企業経営論、経営立地論、地域産業論、千葉県の産業と行政、	
	展開科目	選択		経済理論Ⅰ・Ⅱ、ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済政策論Ⅰ・Ⅱ、労働法、国際法Ⅰ・Ⅱ、経済統計Ⅰ・Ⅱ、日本経済論Ⅰ・Ⅱ、	
	演習科目	必修		専門導入演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ
自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科開講科目や国際学部国際学科開講科目、大学単位互換教職課程履修者は「教職及び強化に関する科目」(※印の科目を除く)の単位を自由選択科目の単位として			

教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ)	選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教育法規、合的な学習の時間の指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、教職実践演習、キャリア教育・
-----------------------------	----	--

次	4年次	単位	備考
		22	全科目22単位を修得する必要があります。
		4	日本人学生は英語、留学生は日本語4単位を修得する必要があります。
	II、Basic Grammar I・II、コリア語 I・II、TOEIC向上 オンライン英会話) I・II、敬天愛人講座、敬愛プログラ 法学、憲法、政治学、社会学、数学 I・II、統計学 I・II、	16	16単位以上を修得する必要があります。
ス実践		2	2単位以上を修得する必要があります。
I、実践的キャリア ンシップ、インター ターンシップ		2	2単位以上を修得する必要があります。
		10	全科目10単位を修得する必要があります。
	ング論、経営分析I・II、人的資源管理I・II、産業論、マーケティ ビジネス論、生産管理、民法I・II、ビジネスデータ解析、情	20	20単位以上を修得する必要があります。
	国際産業組織論、多国籍企業論、国際貿易論、経営心理学、 経営シミュレーション、企業法、会社法、日本経済地理、世	10	各コースに属するものは、コース科目区分の中から10単位以上を修得する必 要があります。
	企業会計論、金融商品取引法、会社法、流通情報論、流通経 Management、観光マーケティング調査、経営立地論、地	10	
	グ論、スポーツ文化論、生涯スポーツ実習I・II、スポーツ科 ング論、Marketing Management、経営心理学、消費者行	10	
	業創造論、中小企業論I・II、アントレプレナーシップ論、地 観光事業論I・II	10	
	I・II、金融論I・II、有価証券法、統計学総論I・II、企業金融 銀行論I・II、経済学特論I・II	16	16単位以上を修得する必要があります。経済学科専門科目区分(基本科目A・ B、コース科目)で定める卒業要件単位数を超えて修得した単位分を展開科 目の単位として充当することができます。
	卒業演習I・II、卒業論文	8	全科目8単位を修得する必要があります。
	科目、展開科目から14単位以上修得する必要があります。 科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業要件とします。 充当することができます。	14	14単位以上を修得する必要があります。
	教育方法・技術論、教育とICT活用、商業科指導法I・II、総 職業指導I・II、教育実習指導、高等学校教育実習		修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。

7 経営学科 2025カリキュラム表 (2025年度入学者)

経営学科DP		DP1. 社会人として必要かつ健全な倫理観と一般的教養を身につけ行動できる DP2. 経営学の基礎的知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP3. コースごとに設置された専門分野の知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP4. 思考・判断・実績する力を身に付けた企業人として変化に対応する力を身につける。 DP5. 多様性を理解し高いコミュニケーション力で、協働して目的を達成する力を身につける。											
		企業経営コース		商業・会計コース		スポーツビジネスコース		地域・起業コース					
到達目標		企業経営全般に関する応用的知識と考え方の修得		商業や会計に関する応用的知識と考え方の修得		スポーツビジネスに関する応用的知識と考え方の修得		地域（特に千葉県）に密着した産業特性と、個々の経営特性を修得し、起業家的能力を修得					
科目区分		経営学科設置科目名		単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目（最重要科目） ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目（発展科目）					卒業要件等	
							DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
学部共通科目	基礎科目	必修科目	文章表現	2	1年～	22単位	○						全科目22単位必修
			口頭表現	2	1年～		○						
			基礎数学	2	1年～		○						
			入門経済学	2	1年～		○						
			入門経営学	2	1年～		○						
			キャリアデザインを学ぶ	2	1年～		○						
			キャリアプランニング	2	1年～		○						
			AI・DSへのいざない	2	1年～		○						
			健康科学	2	1年～		○						
			情報基礎Ⅰ	1	1年～		○						
			情報基礎Ⅱ	1	1年～		○						
			基礎演習Ⅰ	1	1年～		○					○	
	基礎演習Ⅱ	1	1年～	○					○				
	言語科目	必修科目	英語ⅠA	1	1年～	4単位	○						日本人は、英語4単位必修
			英語ⅠB	1	1年～		○						
			英語ⅡA	1	1年～		○						
			英語ⅡB	1	1年～		○						
			日本語Ⅰ	2	1年～		○						
			日本語Ⅱ	2	1年～		○						
	教養科目	選択科目	フランス語Ⅰ	1	1年～	16単位	○						16単位以上選択
			フランス語Ⅱ	1	1年～		○						
			ドイツ語Ⅰ	1	1年～		○						
			ドイツ語Ⅱ	1	1年～		○						
			中国語Ⅰ	1	1年～		○						
			中国語Ⅱ	1	1年～		○						
			応用中国語Ⅰ	1	2年～		○						
			応用中国語Ⅱ	1	2年～		○						
			時事英語Ⅰ	1	2年～		○						
			時事英語Ⅱ	1	2年～		○						
			ビジネス英語Ⅰ	1	2年～		○						
			ビジネス英語Ⅱ	1	2年～		○						
			Basic GrammarⅠ	1	1年～		☆						
			Basic GrammarⅡ	1	1年～		☆						
			コリア語Ⅰ	1	1年～		☆						
			コリア語Ⅱ	1	1年～		☆						
			TOEIC向上講座Ⅰ	2	2年～		☆						
TOEIC向上講座Ⅱ			2	2年～	☆								
SpeakingⅠ			1	2年～	☆								
SpeakingⅡ			1	2年～	☆								
WritingⅠ			1	2年～	☆								
WritingⅡ			1	2年～	☆								
ListeningⅠ			1	2年～	☆								
ListeningⅡ			1	2年～	☆								
DebateⅠ	1	2年～	☆										
DebateⅡ	1	2年～	☆										
English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	1	1年～	☆										
English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	1	1年～	☆										
敬愛人講座	2	1年～	○										
敬愛プログラム	2	1年～	○			○	○						
スポーツ教育Ⅰ	2	1年～	☆										
スポーツ教育Ⅱ	2	1年～	☆										
哲学	2	1年～	☆										
心理学	2	1年～	○										
社会心理学	2	1年～	○										

科目区分		経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					卒業要件等		
						DP1	DP2	DP3	DP4	DP5			
学部共通科目	教養科目 選択科目	歴史学	2	1年～	16単位	○						16単位以上選択	
		中国文化Ⅰ	2	1年～		○							
		中国文化Ⅱ	2	1年～		○							
		文学	2	1年～		○							
		日本語学	2	1年～		☆							
		言語学	2	1年～		☆							
		法学	2	1年～		○							
		憲法	2	1年～		☆							
		政治学	2	1年～		○							
		社会学	2	1年～		☆							
		数学Ⅰ	2	1年～		☆							
		数学Ⅱ	2	1年～		☆							
		統計学Ⅰ	2	1年～		○							
		統計学Ⅱ	2	1年～		○							
		環境科学	2	1年～		☆							
ボランティア活動	2	1年～	☆										
金融リテラシー													
学部共通科目	情報科目 選択科目	情報概論	2	1年～	2単位	○						2単位以上選択	
		データサイエンス総論	2	1年～		○							
		英語で学ぶPython	2	1年～		☆							
		アルゴリズム論	2	2年～		○							
		プレゼンテーション論	2	2年～		☆							
		情報セキュリティ論	2	2年～		○							
		AI概論	2	2年～		○							
		プログラミング	2	2年～		○							
		AI・データサイエンス実践	2	3年～		○							
学部共通科目	キャリア科目 選択科目	実践会話Ⅰ	2	2年～	2単位	☆						2単位以上選択	
		実践会話Ⅱ	2	2年～		☆							
		キャリアディベロップメント	2	2年～		○				☆			
		企業の魅力発見	2	2年～		○							
		実践的キャリア演習Ⅰ	2	3年～		○							
		実践的キャリア演習Ⅱ	2	3年～		○							
		ブレインターンシップ	2	3年～		○							
		インターンシップ	1	3年～		○							
		ポストインターンシップ	2	3年～		○							
経営学科専門科目	基本科目A 必修科目	経営学Ⅰ	2	1年～	10単位		◎					全科目必修 10単位	
		経営学Ⅱ	2	1年～			◎						
		簿記・会計概論Ⅰ	2	1年～			◎						
		簿記・会計概論Ⅱ	2	1年～			◎						
		実地調査入門	2	2年～			◎		○	○			
		経営戦略論Ⅰ	2	2年～			◎						
		経営戦略論Ⅱ	2	2年～			◎						
		経営組織論Ⅰ	2	2年～			◎						
		経営組織論Ⅱ	2	2年～			◎						
		経営財務論Ⅰ	2	2年～			◎						
経営財務論Ⅱ	2	2年～		◎									
経営学科専門科目	基本科目B 選択科目	マーケティング論	2	2年～	20単位	○						20単位以上選択	
		経営分析Ⅰ	2	2年～		○							
		経営分析Ⅱ	2	2年～		○							
		人的資源管理Ⅰ	2	2年～		○							
		人的資源管理Ⅱ	2	2年～		○							
		産業論	2	2年～		○							
		マーケティングリサーチⅠ	2	2年～		○							
		マーケティングリサーチⅡ	2	2年～		○							
		流通論	2	2年～		○							
		原価計算論Ⅰ	2	2年～		☆							
		原価計算論Ⅱ	2	2年～		☆							
		経営史Ⅰ	2	2年～		☆							
		経営史Ⅱ	2	2年～		☆							
		国際ビジネス論	2	2年～		○							
		生産管理	2	2年～		☆							
		民法Ⅰ	2	2年～		☆							
		民法Ⅱ	2	2年～		☆							
		ビジネスデータ解析	2	2年～		○							
		情報ビジネス論	2	3年～		☆							
経営学科専門科目	企業経営Ⅰ 選択科目	コーポレートガバナンス論	2	2年～	10単位			○				10単位以上選択	
		企業と社会論	2	2年～				○					
		中小企業論Ⅰ	2	2年～				○					
		中小企業論Ⅱ	2	2年～				○					
		国際産業組織論	2	2年～				○					

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目（最重要科目） ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目（発展科目）					卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
企業経営コース科目	選択科目	多国籍企業論	2	2年～			○			10単位以上選択
		国際貿易論	2	2年～			○			
		経営心理学	2	2年～			○			
		経営立地論	2	2年～			○			
		地域産業論	2	2年～			○			
		情報マネジメント	2	2年～			○			
		知的財産権論	2	2年～			○			
		経営シミュレーション	2	2年～			○			
		企業法	2	2年～			○			
		会社法	2	2年～			○			
		日本経済地理	2	2年～			○			
		世界経済地理	2	2年～			○			
		ホテル・ビジネス論	2	2年～			○			
商業・会計コース科目	選択科目	会計学Ⅰ	2	2年～			○			10単位以上選択
		会計学Ⅱ	2	2年～			○			
		簿記原理Ⅰ	2	2年～			○			
		簿記原理Ⅱ	2	2年～			○			
		管理会計論	2	2年～			○			
		税務会計論Ⅰ	2	2年～			☆			
		税務会計論Ⅱ	2	2年～			☆			
		地域企業会計論	2	2年～			☆			
		金融商品取引法	2	2年～			☆			
		会社法	2	2年～			☆			
		流通情報論	2	2年～			○			
		流通経営論	2	2年～			○			
		消費者行動論	2	2年～			○			
		サービスマーケティング論	2	2年～			○			
		Marketing Management	2	2年～			☆			
観光マーケティング調査	2	2年～			☆					
経営立地論	2	2年～			○					
地域産業論	2	2年～			○					
スポーツビジネスコース科目	選択科目	スポーツビジネス論	2	2年～			○			10単位以上選択
		スポーツ産業論	2	2年～			○			
		スポーツマーケティング論	2	2年～			○			
		スポーツ文化論	2	2年～			○			
		生涯スポーツ実習Ⅰ	1	2年～			○			
		生涯スポーツ実習Ⅱ	1	2年～			○			
		スポーツ科学概論	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅰ	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅱ	2	2年～			○			
		地域企業経営論	2	2年～			○			
		サービスマーケティング論	2	2年～			○			
		Marketing Management	2	2年～			☆			
		経営心理学	2	2年～			○			
		消費者行動論	2	2年～			○			
		企業法	2	2年～			○			
会社法	2	2年～			○					
観光事業論Ⅰ	2	2年～			☆					
観光事業論Ⅱ	2	2年～			☆					
地域・起業コース科目	選択科目	千葉学	2	1年～			○			10単位以上選択
		入門ツーリズムⅠ	2	1年～			○			
		入門ツーリズムⅡ	2	1年～			○			
		ベンチャービジネス論	2	2年～			○			
		地域事業創造論	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅰ	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅱ	2	2年～			○			
		アントレプレナーシップ論	2	2年～			○			
		地域企業経営論	2	2年～			○			
		管理会計論	2	2年～			☆			
		地域企業会計論	2	2年～			○			
		経営立地論	2	2年～			○			
		地域産業論	2	2年～			○			
		千葉県の産業と行政	2	2年～			○			
		旅行ビジネス論	2	2年～			○			
地域観光論	2	2年～			○					
観光事業論Ⅰ	2	2年～			○					
観光事業論Ⅱ	2	2年～			○					
科目展開	選択科目	経済理論Ⅰ	2	2年～			☆			
		経済理論Ⅱ	2	2年～			☆			

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
展開科目 選択科目	ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～	16 単位			☆			16単位以上選択
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2年～				☆			
	マクロ経済学Ⅰ	2	2年～				☆			
	マクロ経済学Ⅱ	2	2年～				☆			
	経済政策Ⅰ	2	2年～				☆			
	経済政策Ⅱ	2	2年～				☆			
	金融論Ⅰ	2	2年～				☆			
	金融論Ⅱ	2	2年～				☆			
	有価証券法	2	2年～				○			
	統計学総論Ⅰ	2	2年～				○			
	統計学総論Ⅱ	2	2年～				○			
	企業金融論Ⅰ	2	2年～				☆			
	企業金融論Ⅱ	2	2年～				☆			
	労働法	2	2年～				☆			
	国際法Ⅰ	2	2年～				☆			
	国際法Ⅱ	2	2年～				☆			
	経済統計Ⅰ	2	2年～				☆			
	経済統計Ⅱ	2	2年～				☆			
	日本経済論Ⅰ	2	2年～				☆			
	日本経済論Ⅱ	2	2年～				☆			
銀行論Ⅰ	2	2年～			☆					
銀行論Ⅱ	2	2年～			☆					
経済学特論Ⅰ	2	2年～			○					
経済学特論Ⅱ	2	2年～			○					
演習科目 必修科目	専門導入演習Ⅰ	1	2年～	8 単位	○	○	○	○	○	全科目必修8単位
	専門導入演習Ⅱ	1	2年～		○	○	○	○	○	
	専門演習Ⅰ	1	3年～		○	○	○	○	○	
	専門演習Ⅱ	1	3年～		○	○	○	○	○	
	卒業演習Ⅰ	1	4年～		○	○	○	○	○	
	卒業演習Ⅱ	1	4年～		○	○	○	○	○	
	卒業論文・卒業研究	2	4年～		○	○	○	○	○	
自由選択科目	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科科目や国際学部国際学科の科目を履修した場合、エアポートNARITA地域産業学開講科目も当欄で単位認定する。教職課程履修者は教職及び教科に関する科目からの履修も可。									14単位以上選択
教職及び教科に関する科目	◎教育原論	2	1年～							教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は◎印の科目を修得することで、自由選択科目の単位に充当することができる。
	◎教育課程論	2	1年～							
	◎発達心理学	2	1年～							
	◎教育心理学	2	1年～							
	◎特別支援教育概論	2	2年～							
	◎教職概論	2	1年～							
	◎教育行政	2	2年～							
	◎教育法規	2	2年～							
	◎教育方法・技術論	2	2年～							
	◎教育とICT活用	2	2年～							
	◎商業科指導法Ⅰ	2	2年～							
	◎商業科指導法Ⅱ	2	2年～							
	◎総合的な学習の時間の指導法	2	2年～							
	◎特別活動指導法	2	2年～							
	◎生徒・進路指導論	2	2年～							
	◎教育相談	2	2年～							
	◎教職実践演習	2	4年～							
◎キャリア教育・職業指導Ⅰ	2	2年～								
◎キャリア教育・職業指導Ⅱ	2	2年～								
◎教育実習指導	1	3年～								
◎高等学校教育実習	2	4年～								
卒業要件単位数				124単位						

3

2024年度入学者カリキュラム表

1 教育課程の編成方針と概要

1. 「敬愛大学学則」及び「経済学部規程」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業に必要な単位数を124以上と定めています。
2. 経済学部では、「敬天愛人」の建学の精神のもとに「人間性と創造性豊かな経済人」の育成を図ることを目的として、「経済学科」と「経営学科」の2つの教育課程を編成しています。
3. 経済学部では2年次学科選択制を導入しています。1年次は全員学科に所属せず「経済学部未所属学科生」として共通カリキュラムの下での科目履修を経て、1年次後期に2年次以降卒業までの3年間所属する学科を選択することになります。なお、学科には定員があります。定員を超える希望者がいた場合は前期終了時の成績や授業出席状況等の修学状況を参考にして、所属学科を決定します。従って、1年次は経済・経営に関する基礎となる科目を履修しながら、各自が経済学・経営学に対する興味・関心・または将来の目指す進路を見据えて、経済・経営いずれの学科に所属するかを検討する期間になります。「経済学科」は3つ、「経営学科」は4つの専門的な学習コースがあり、コースの選択は2年次前期の履修登録時にあわせて行います。2年次以降は自分の学習意欲や将来の進路・目標にもとづき、各自が選択した学科・コースの科目を具体的・体系的に履修していきます。
4. 1年次のゼミはあらかじめ大学側で担当教員を指定しますが、2年次からの所属ゼミは原則、みなさんの希望により決定します。ゼミは2年次からの所属学科が決定した後、所属する学科から選択します。従って、2年次から経済学科に所属する場合、2年ゼミも経済学科のゼミから選択することになります。
5. 経済学部の教育課程には、学部共通科目を基礎として、基礎科目群、必修言語科目群、教養科目群、情報科目群、キャリア科目群を配しており、「経済学科」・「経営学科」の専門分野にあっては、基本科目群、専門科目群、展開科目群、演習科目で構成しています。また、基礎科目を、必修科目もしくは選択科目として1年次に多く配置し、よりスムーズに高度な専門分野へ移行できる段階的な教育を実践しています。
6. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目及び集中講義によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修にあっては、条件付科目があるので、確認が必要です。
7. 教職課程履修者は卒業必要単位のほかに、教育職員免許法に定める所定の単位を修得することが必要です。
8. 本学では、特色のある教育活動として「敬愛プログラム」科目を配置しています。この「敬愛プログラム」は、学生（個人またはグループ）の自主的・自発的な発想による活動の支援を目的とする制度です。学生は、ボランティア活動、クラブ活性化活動、イベントの企画・実施、商店街や事業所の調査等、学内外における活動のテーマを設定し、事前に達成目標や段取りを明記した企画書を作成したうえで、当該年度に成果の発表を行います。その成果が評価に値するものと認定されれば、活動そのものが卒業単位として認められ、さらに支援金の支給を受けることができます。

2 コースの概要

経済学科（3コース）

公共経済コース

政府や地方自治体から見た経済の仕組みや課題を学び、主に公共サービスに従事できる人材を育成します。

主な進路

公務員、消防士・警察官、各種団体職員、一般企業（各種全般）など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）／行政書士など

金融経済コース

銀行や証券の仕組みや金融が経済にもたらす影響を学び、主に金融業界で活躍できる人材を育成します。

主な進路

銀行、信用金庫、証券会社、保険会社、一般企業（各種全般）など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）

ファイナンシャル・プランナー／

Microsoft® Office Specialist／など

現代経済コース

経済学を体系的に学び、実社会で活躍するために必要な幅広い知識と教養を身に付け、現代社会の中核となる人材を育成します。

主な進路

一般企業（各業種全般）、教員など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）／など

2 コースの概要

経営学科（4コース）

企業経営コース

経営の基礎から応用に加え、地域産業や業種の特徴とその経営・管理を学び、企業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の人事、経営企画、事業統括など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定／ITパスポート／高等学校教諭一種免許（商業）など

商業・会計コース

品物やお金の流れの視点から地域産業の実態や業種の特徴とビジネス手法を学び、地域経済の活性化に貢献できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の商品企画、営業、経理・財務など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／税理士／日商簿記検定／ビジネス能力検定／高等学校教諭一種免許（商業）など

スポーツビジネスコース

経営知識と健康運動科学・スポーツ実技を学び、地域に密着したスポーツビジネス産業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

健康・スポーツ関連企業など

取得できる免許・資格

各種スポーツライセンス／日商簿記検定／ビジネス能力検定
高等学校教諭一種免許（商業）など

地域・起業コース

地元である千葉の産業・企業を学び、千葉での就職や起業をめざす地域活性化人材を育成します。

主な進路

県内企業への就職、起業、地域金融機関、各種団体職員、
経営コンサルタント

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定
旅行業務取扱管理者／高等学校教諭一種免許（商業）など

3-1 科目区分および卒業要件単位略図(2024年度入学者)

科目区分		履修区分	卒業要件単位数	
学部共通科目	基礎科目	必修科目	22	
	言語科目 (日本人学生は英語・留学生は日本語)	必修科目	4	
	教養科目	選択科目	16	
	情報科目	選択科目	2	
	キャリア科目	選択科目	2	
	小計		46	
専門科目	基本科目A	必修科目	10	
	基本科目B	選択科目	20	
	経済学科 コース科目 (いずれか1コース)	公共経済コース 現代経済コース 金融経済コース	選択科目	10
	経営学科 コース科目 (いずれか1コース)	企業経営コース 商業・会計コース スポーツビジネスコース 地域・起業コース		
	展開科目	選択科目	16	
	演習科目	必修科目	8	
	自由選択科目	選択科目	14	
	小計		78	
卒業要件単位数			124	

3-2 教育課程の具体的履修方法（2024）

1 学部共通科目

学部共通科目においては共通カリキュラムの下、基礎科目、言語科目、教養科目、情報科目ならびにキャリア科目を含めて合計46単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

- (1) 基礎科目
基礎科目は必修科目であり、全科目を履修し、1年次で合計22単位を修得する必要があります。
- (2) 言語科目
言語科目は必修科目であり、全科目を履修し、1年次で4単位を修得する必要があります。
- (3) 教養科目
教養科目は選択科目であり、この科目群の中から4年間で16単位以上を修得する必要があります。
なお、経済学科の教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目（※印の科目のみ）」の単位を教養科目の単位として充当することができます。
- (4) 情報科目
情報科目は選択科目であり、この科目群の中から4年間で2単位以上を修得する必要があります。
- (5) キャリア科目
キャリア科目は選択科目であり、2年次より卒業までに2単位以上を修得する必要があります。

2 経済学科専門科目

2年次から経済学科に所属する学生は基本科目A・B、コース科目（3つあるコースの中から1つのコースを選択）、展開科目、演習科目、自由選択科目を含めて合計78単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

- (1) 基本科目A
基本科目Aは必修科目であり、「経済理論A・B」2科目4単位、「日本経済史I・II」または「西洋経済史I・II」いずれか2科目4単位（日本経済史と西洋経済史の組み合わせは不可）を履修し、さらに2年次に開講される「フィールドワーク入門」を履修し、合計10単位を1・2年次で修得する必要があります。
- (2) 基本科目B
基本科目Bは選択科目であり、この科目の中から2・3年次に20単位以上を修得する必要があります。
- (3) コース科目
コース科目（3コース）は選択科目であり、各コースに属する者は、その科目群の中から2年次より卒業までに10単位以上を修得する必要があります。
- (4) 展開科目
展開科目は選択科目であり、この科目群から2年次より卒業までに16単位以上を修得する必要があります。また、経済学科専門科目の各区分（基本科目A・B、コース科目）で定める卒業要件単位を超えて修得した単位分を展開科目の単位として充当することができます。
- (5) 演習項目
演習科目は必修科目であり、2年次から卒業までに各学年において、2単位（前期1単位、後期1単位）さらに4年次の「卒業論文」（2単位）を含めて合計8単位を修得する必要があります。

2年次からは原則、希望制により所属ゼミを選択し、専門分野を学ぶ上での導入と位置付けられている「専門導入演習」を履修します。さらに3年次は「専門演習」、4年次は「卒業演習」を履修し、より専門的にその分野を修得すべく、深くより高度な内容が展開されます。また、4年次はあわせて卒業論文の指導を受けることになります。

(6) 自由選択科目

自由選択科目は各科目区分の必要単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、コース科目、展開科目、経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科の科目の中から自由に選択して、14単位以上修得する必要があります。

なお、教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目」（※印の科目を除く）の単位を自由選択科目の単位として充当することができます。

他大学・他学部・大学単位互換科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業単位とします。

3 経営学科専門科目

2年次から経営学科に所属する学生は基本科目A・B、コース科目（4つあるコースの中から1つのコースを選択、展開科目、演習科目、自由選択科目を含めて合計78単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

(1) 基本科目A

基本科目Aは必修科目であり、1・2年次で合計10単位を修得する必要があります。

(2) 基本科目B

基本科目Bは選択科目であり、この科目の中から2・3年次に20単位以上を修得する必要があります。

(3) コース科目

コース科目（4コース）は選択科目であり、各コースに属する者は、その科目群の中から2年次より卒業までに10単位以上を修得する必要があります。

(4) 展開科目

展開科目は選択科目であり、この科目群から2年次より卒業までに16単位以上を修得する必要があります。また、経営学科専門科目の各区分（基本科目B、コース科目）で定める卒業要件単位を超えて修得した単位分を展開科目の単位として充当することができます。

(5) 演習項目

演習科目は必修科目であり、2年次から卒業までに各学年において、2単位（前期1単位、後期1単位）さらに4年次の「卒業論文・卒業研究」（2単位）を含めて合計8単位を修得する必要があります。

2年次からは原則、希望制により所属ゼミを選択し、専門分野を学ぶ上での導入と位置付けられている「専門導入演習」を履修します。さらに3年次は「専門演習」、4年次は「卒業演習」を履修し、より専門的にその分野を修得すべく、深くより高度な内容が展開されます。また、4年次はあわせて卒業論文の指導を受けることになります。

(6) 自由選択科目

自由選択科目は各科目区分の必要単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、コース科目、展開科目、経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科の科目の中から自由に選択して、14単位以上を修得する必要があります。

なお、教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目」の単位を自由選択科目の単位として充当することができます。

他大学・他学部・大学単位互換科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業単位とします。

4 2024年度入学者卒業要件概念図 経済学科

科目区分		1年次	2年次	3年次	
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアデザインを学ぶ、キャリアプランニング、AI・DSへのいざない、健康科学、情報基礎Ⅰ、情報基礎Ⅱ、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ		
	言語科目	必修	英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、日本語Ⅰ、日本語Ⅱ		
	教養科目	選択	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、応用中国語Ⅰ・Ⅱ、時事英語Ⅰ・Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ・講座Ⅰ・Ⅱ、SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、ListeningⅠ・Ⅱ、DebateⅠ・Ⅱ、English Conversation(オム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、中国文化Ⅰ・Ⅱ、文学、日本語学、言語学、環境科学、ボランティア活動)		
	情報科目	選択	情報概論、データサイエンス総論、英語で学ぶPython	アルゴリズム論、プレゼンテーション論、情報セキュリティ論、AI概論、プログラミング	AI・データサイエンス
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアディベロップメント、企業の魅力発見	実践的キャリア演習Ⅱ、プレインターンシップ、ポストイン
経済学科専門科目	基本科目A	必修	経済理論A・B、日本経済史Ⅰ・Ⅱ、西洋経済史Ⅰ・Ⅱ	フィールドワーク入門	
	基本科目B	選択		ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済政策Ⅰ・Ⅱ、経政学Ⅰ・Ⅱ、金融論Ⅰ・Ⅱ、国際経済論Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計概論Ⅰ・Ⅱ、統計学総論Ⅰ・Ⅱ、知的財産権論、情報マネジメント	
	公共経済コース	選択	進路支援講座A・B(数的リテラシー)	公共経済学、公共選択論、地方財政論Ⅰ・Ⅱ、地方自治論Ⅰ・Ⅱ、企業法、会社法、経済統計Ⅰ・Ⅱ、進路支援講座C・D・E・講座I・J(教職)	
	金融経済コース	選択	進路支援講座A・B(数的リテラシー)	証券経済論Ⅰ・Ⅱ、銀行論Ⅰ・Ⅱ、国際金融論Ⅰ・Ⅱ、企業金会社法、経済統計Ⅰ・Ⅱ、進路支援講座C・D・E・F(公務員)	
	現代経済コース	選択	進路支援講座A・B(数的リテラシー)	日本経済論Ⅰ・Ⅱ、日本経済地理、世界経済地理、アメリカ経済論、国際貿易論、労働経済論Ⅰ・Ⅱ、労働法、経済統計Ⅰ・Ⅱ(日経新聞を読む)、進路支援講座I・J(教職)	
	展開科目	選択		経済学史Ⅰ・Ⅱ、社会思想史Ⅰ・Ⅱ、金融経済の基礎知識、計量農業政策、経済数学Ⅰ・Ⅱ、経営学Ⅰ・Ⅱ、国際地域論Ⅰ・Ⅱ、地ビジネス論	
	演習科目	必修		専門導入演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ
自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科開講科目や国際学部国際学科開講科目、大学単位互換教職課程履修者は「教職及び強化に関する科目」(※印の科目を除く)の単位を自由選択科目の単位として			
教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ)	選択	日本史概論Ⅰ・Ⅱ、世界史概論Ⅰ・Ⅱ、地理学概論Ⅰ・Ⅱ、地誌学Ⅰ・Ⅱ、哲学概論Ⅰ・Ⅱ、比較政治学、社会学概論、教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教育法規、II、地理歴史科指導法・社会科・公民科指導法Ⅰ・Ⅱ、公民科指導法、道徳教育指導法、総合的な学習の時間			
	選択	教職実践演習、教育実習指導、中学校教育実習、高等学校教育実習			

次	4年次	単位	備考
		22	全科目22単位を修得する必要があります。
		4	日本人学生は英語、留学生は日本語4単位を修得する必要があります。
	Ⅱ、Basic Grammar I・Ⅱ、コリア語 I・Ⅱ、TOEIC向上 オンライン英会話) I・Ⅱ、敬天愛人講座、敬愛プログラ 法学、憲法、政治学、社会学、数学 I・Ⅱ、統計学 I・Ⅱ、	16	16単位以上を修得する必要があります。
ス実践		2	2単位以上を修得する必要があります。
I、実践的キャリ ンシップ、インター ターンシップ		2	2単位以上を修得する必要があります。
		10	経済理論A・B2科目4単位、日本経済史I・IIまたは西洋経済史I・IIいずれか2 科目4単位、フィールドワーク入門2単位、合計10単位修得する必要があります。 (ただし日本経済史と西洋経済史の組み合わせは不可)
経済特論 I・II、社会政策 I・II、財 II、会計学 I・II、民法 I・II、		20	20単位以上を修得する必要があります。
II、社会保障論 I・II、社会福祉論、福祉経済論、行政法 I・ F(公務員)、進路支援講座G・H(日経新聞を読む)、進路支援		10	各コースに属するものは、コース科目区分の中から10単位以上を修得する必 要があります。
融論 I・II、保険論、金融事情 I・II、有価証券法、企業法、 進路支援講座G・H(日経新聞を読む)、進路支援講座I・J(教職)		10	
済論 I・II、ヨーロッパ経済論 I・II、中東経済論、アジア II、進路支援講座C・D・E・F(公務員)、進路支援講座G・		10	
経済学 I・II、環境経済学 I・II、地域経済論、食料経済論、 域産業論、経営立地論、交通論、ビジネスデータ解析、情報		16	16単位以上を修得する必要があります。経済学科専門科目区分(基本科目A・ B、コース科目)で定める卒業要件単位数を超えて修得した単位分を展開科 目の単位として充当することができます。
	卒業演習I・II、卒業論文	8	全科目8単位を修得する必要があります。
科目、展開科目から14単位以上修得する必要があります。 科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業要件とします。 充当することができます。		14	14単位以上を修得する必要があります。
自然地理学I・II、			修得した単位は教養科目の卒業単位とします。
教育方法・技術論、教育とICT活用、社会科・地歴科指導法I・ の指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、			修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。

5 経済学科 2024カリキュラム表 (2024年度入学者)

経済学科DP		DP1. 社会科学を機軸とした幅広い教養を深めるとともに、経済学の知識を基に社会の発展に活かす良識を身につける。 DP2. 経済社会の問題に関する情報を主体的に収集、分析し、問題の解決策を論理的に述べられる表現力・コミュニケーション能力を身につける。 DP3. 経済学を体系的に理解し、数値データをもとに経済の現状を捉える手法を修得することで、経済的な思考にもとづく適切な判断力を身につける。 DP4. 社会問題への関心と想像力を涵養し、未知の課題に立ち向かうことができ、様々な人々と協調して経済活動を行う力を身につける。									
到達目標		公共経済コース 公共部門（国、地方自治体）において、経済計画、都市計画などの各種政策策定に必要な経済学的分析力、応用力、展開力を身につける	金融経済コース 銀行・証券・保険などの金融業界および、その関連業界において、経済動向や経営状況の判断に必要な知識や分析力を身につける	現代経済コース 社会が直面する様々な経済問題を、歴史や理論から探求し、日本や世界の経済について考察する力を身につける							
科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	○必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)	卒業要件等					
					DP1 DP2 DP3 DP4						
基礎科目	必修科目	文章表現	2	1年～	22単位	○	○		全科目22単位必修		
		口頭表現	2	1年～		○	○				
		基礎数学	2	1年～		○		○			
		入門経済学	2	1年～		○		○			
		入門経営学	2	1年～		○					
		キャリアデザインを学ぶ	2	1年～		○		○			
		キャリアプランニング	2	1年～		○		○			
		AI・DSへのいざない	2	1年～		○	○				
		健康科学	2	1年～		○					
		情報基礎Ⅰ	1	1年～		○	○			○	
情報基礎Ⅱ	1	1年～	○	○		○					
基礎演習Ⅰ	1	1年～	○	○	○						
基礎演習Ⅱ	1	1年～	○	○	○						
言語科目	必修科目	英語ⅠA	1	1年～	4単位	○	○		日本人は、英語4単位必修		
		英語ⅠB	1	1年～		○	○			☆	
		英語ⅡA	1	1年～		○	○			☆	
		英語ⅡB	1	1年～		○	○			☆	
		日本語Ⅰ	2	1年～		○	○			☆	
		日本語Ⅱ	2	1年～		○	○			☆	
学部共通科目	教養科目	選択科目	フランス語Ⅰ	1	1年～	16単位	○	○		16単位以上選択	
			フランス語Ⅱ	1	1年～		○	○			☆
			ドイツ語Ⅰ	1	1年～		○	○			☆
			ドイツ語Ⅱ	1	1年～		○	○			☆
			中国語Ⅰ	1	1年～		○	○			☆
			中国語Ⅱ	1	1年～		○	○			☆
			応用中国語Ⅰ	1	2年～		○	○			☆
			応用中国語Ⅱ	1	2年～		○	○			☆
			時事英語Ⅰ	1	2年～		○	○			☆
			時事英語Ⅱ	1	2年～		○	○			☆
			ビジネス英語Ⅰ	1	2年～		○	○			☆
			ビジネス英語Ⅱ	1	2年～		○	○			☆
			Basic GrammarⅠ	1	1年～			☆			
			Basic GrammarⅡ	1	1年～			☆			
			コリア語Ⅰ	1	1年～			☆			
			コリア語Ⅱ	1	1年～			☆			
		TOEIC向上講座Ⅰ	2	2年～		☆					
		TOEIC向上講座Ⅱ	2	2年～		☆					
		SpeakingⅠ	1	2年～		☆					
		SpeakingⅡ	1	2年～		☆					
		WritingⅠ	1	2年～		☆					
		WritingⅡ	1	2年～		☆					
		ListeningⅠ	1	2年～		☆					
		ListeningⅡ	1	2年～		☆					
		DebateⅠ	1	2年～		☆					
		DebateⅡ	1	2年～		☆					
		English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	1	1年～			○	☆			
		English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	1	1年～			○	☆			
		敬天愛人講座	2	1年～		○		○			
		敬愛プログラム	2	1年～		○	○	☆	☆		
		スポーツ教育Ⅰ	2	1年～		○					
		スポーツ教育Ⅱ	2	1年～		○					
哲学	2	1年～		○							

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等	
					DP1	DP2	DP3	DP4		
学部共通科目	教養科目 選択科目	心理学	2	1年～					16単位以上選択	
		社会心理学	2	1年～						
		歴史学	2	1年～						
		中国文化Ⅰ	2	1年～						
		中国文化Ⅱ	2	1年～						
		文学	2	1年～						
		日本語学	2	1年～						
		言語学	2	1年～						
		法学	2	1年～						
		憲法	2	1年～						
		政治学	2	1年～						
		社会学	2	1年～						
		数学Ⅰ	2	1年～						
		数学Ⅱ	2	1年～						
統計学Ⅰ	2	1年～								
統計学Ⅱ	2	1年～								
環境科学	2	1年～								
ボランティア活動	2	1年～					☆			
学部共通科目	情報科目 選択科目	情報概論	2	1年～		○			2単位以上選択	
		データサイエンス総論	2	1年～		○				
		英語で学ぶPython	2	1年～		☆				
		アルゴリズム論	2	2年～			○			
		プレゼンテーション論	2	2年～			○			
		情報セキュリティ論	2	2年～			○			
		AI概論	2	2年～			○			
		プログラミング	2	2年～			○			
AI・データサイエンス実践	2	3年～			○	○				
学部共通科目	キャリア科目 選択科目	実践会話Ⅰ	2	2年～		○			2単位以上選択	
		実践会話Ⅱ	2	2年～		○				
		キャリアディベロップメント	2	2年～			○	○		
		企業の魅力発見	2	2年～			○	○		
		実践的キャリア演習Ⅰ	2	3年～			○	○		
		実践的キャリア演習Ⅱ	2	3年～			○	○		
		プレインターンシップ	2	3年～			○	○		
		インターンシップ	1	3年～			○	○		
		ポストインターンシップ	2	3年～			○	○		
		経済理論A	2	1年～		◎		◎		○
経済理論B	2	1年～		◎	◎	○	○			
日本経済史Ⅰ	2	1年～		○	○	○	○			
日本経済史Ⅱ	2	1年～		○	○	○	○			
西洋経済史Ⅰ	2	1年～		○	○	○	○			
西洋経済史Ⅱ	2	1年～		○	○	○	○			
フィールドワーク入門	2	2年～			◎		◎			
経済学科専門科目	基本科目B 選択科目	ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～			◎	○	20単位以上選択	
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2年～			◎	○		
		マクロ経済学Ⅰ	2	2年～			◎	○		
		マクロ経済学Ⅱ	2	2年～			◎	○		
		経済政策Ⅰ	2	2年～			◎	○		
		経済政策Ⅱ	2	2年～			◎	○		
		経済学特論Ⅰ	2	2年～			◎	○		
		経済学特論Ⅱ	2	2年～			◎	○		
		社会政策Ⅰ	2	2年～			◎	○		
		社会政策Ⅱ	2	2年～			◎	○		
		財政学Ⅰ	2	2年～			◎	○		
		財政学Ⅱ	2	2年～			◎	○		
		金融論Ⅰ	2	2年～			◎	○		
		金融論Ⅱ	2	2年～			◎	○		
		国際経済論Ⅰ	2	2年～				◎		○
		国際経済論Ⅱ	2	2年～				◎		○
		簿記・会計概論Ⅰ	2	2年～		◎	☆			○
		簿記・会計概論Ⅱ	2	2年～		◎	☆			○
		会計学Ⅰ	2	2年～		◎	☆			○
		会計学Ⅱ	2	2年～		◎	☆			○
		民法Ⅰ	2	2年～		○				○
		民法Ⅱ	2	2年～		○				○
		統計学総論Ⅰ	2	2年～		○		◎		○
		統計学総論Ⅱ	2	2年～		○		◎		○
知的財産権論	2	2年～		☆			☆			
情報マネジメント	2	2年～		☆			☆			

2024年度
カリキュラム表

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等			
					DP1	DP2	DP3	DP4				
公共経済コース科目	コース科目	公共経済学	2	2年～			◎	☆	10単位以上選択			
		公共選択論	2	2年～			○	☆				
		地方財政論Ⅰ	2	2年～			◎	☆				
		地方財政論Ⅱ	2	2年～			◎	☆				
		地方自治論Ⅰ	2	2年～			○	☆				
		地方自治論Ⅱ	2	2年～			○	☆				
		社会保障論Ⅰ	2	2年～			○	☆				
		社会保障論Ⅱ	2	2年～			○	☆				
		社会福祉論	2	2年～			○	☆				
		福祉経済論	2	2年～			○	☆				
		行政法Ⅰ	2	2年～		○		☆				
		行政法Ⅱ	2	2年～		○		☆				
		企業法	2	2年～		○		☆				
		会社法	2	2年～		○		☆				
		経済統計Ⅰ	2	2年～				◎		☆		
	経済統計Ⅱ	2	2年～				◎	☆				
	進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1年～		○		○				
		進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1年～		○		○				
		進路支援講座C(公務員)	2	2年～		○		○				
		進路支援講座D(公務員)	2	2年～		○		○				
		進路支援講座E(公務員)	2	2年～		○		○				
		進路支援講座F(公務員)	2	2年～		○		○				
		進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2年～		○		○				
		進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2年～		○		○				
		進路支援講座I(教職)	2	2年～		○		○				
		進路支援講座J(教職)	2	2年～		○		○				
		経済学科専門科目	コース科目	証券経済論Ⅰ	2	2年～				○	☆	10単位以上選択
				証券経済論Ⅱ	2	2年～				○	☆	
				銀行論Ⅰ	2	2年～				◎	☆	
				銀行論Ⅱ	2	2年～				◎	☆	
				国際金融論Ⅰ	2	2年～				◎	☆	
				国際金融論Ⅱ	2	2年～				◎	☆	
				企業金融論Ⅰ	2	2年～				○	☆	
企業金融論Ⅱ				2	2年～			○	☆			
保険論	2			2年～			○	☆				
金融事情Ⅰ	2			2年～			☆	○	☆			
金融事情Ⅱ	2			2年～			☆	○	☆			
有価証券法	2			2年～		○		☆				
企業法	2			2年～		○		☆				
会社法	2			2年～		○		☆				
経済統計Ⅰ	2			2年～				◎	☆			
経済統計Ⅱ	2		2年～				◎	☆				
進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)		2	1年～		○		○				
	進路支援講座B(数的リテラシー)		2	1年～		○		○				
	進路支援講座C(公務員)		2	2年～		○		○				
	進路支援講座D(公務員)		2	2年～		○		○				
	進路支援講座E(公務員)		2	2年～		○		○				
	進路支援講座F(公務員)		2	2年～		○		○				
	進路支援講座G(日経新聞を読む)		2	2年～		○		○				
	進路支援講座H(日経新聞を読む)		2	2年～		○		○				
	進路支援講座I(教職)		2	2年～		○		○				
	進路支援講座J(教職)		2	2年～		○		○				
	現代経済コース科目		コース科目	日本経済論Ⅰ	2	2年～			◎	☆	10単位以上選択	
				日本経済論Ⅱ	2	2年～			◎	☆		
				日本経済地理	2	2年～		○		☆		
				世界経済地理	2	2年～		○		☆		
				アメリカ経済論Ⅰ	2	2年～			○	☆		
				アメリカ経済論Ⅱ	2	2年～			○	☆		
				ヨーロッパ経済論Ⅰ	2	2年～			○	☆		
		ヨーロッパ経済論Ⅱ		2	2年～			○	☆			
中東経済論		2		2年～			○	☆				
選択科目		アジア経済論	2	2年～			○	☆				
		国際貿易論	2	2年～			○	☆				
		労働経済論Ⅰ	2	2年～			○	☆				
		労働経済論Ⅱ	2	2年～			○	☆				
		労働法	2	2年～		○		☆				
		経済統計Ⅰ	2	2年～				◎	☆			
		経済統計Ⅱ	2	2年～				◎	☆			

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(免履科目)				卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	
現代経済コース科目 進路支援科目 選択科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1年～	10単位	○			○	10単位以上選択
	進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1年～		○			○	
	進路支援講座C(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座D(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座E(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座F(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座I(教職)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座J(教職)	2	2年～		○			○	
経済学科専門科目 展開科目 選択科目	経済学史 I	2	2年～	16単位			○		16単位以上選択
	経済学史 II	2	2年～				○		
	社会思想史 I	2	2年～		○				
	社会思想史 II	2	2年～		○				
	金融経済の基礎知識	2	2年～		◎				
	計量経済学 I	2	2年～				◎	☆	
	計量経済学 II	2	2年～				◎	☆	
	環境経済学 I	2	2年～				○		
	環境経済学 II	2	2年～				○		
	地域経済論	2	2年～				○		
	食料経済論	2	2年～				○		
	農業政策	2	2年～				○		
	経済数学 I	2	2年～				◎		
	経済数学 II	2	2年～				◎		
	経営学 I	2	2年～		○				
	経営学 II	2	2年～		○				
	国際地域論 I	2	2年～		○				
	国際地域論 II	2	2年～		○				
	地域産業論	2	2年～				○		
	経営立地論	2	2年～				○		
交通論	2	2年～			○				
ビジネスデータ解析	2	2年～			○				
情報ビジネス論	2	3年～			○				
演習科目 必修科目	専門導入演習 I	1	2年～	8単位	○	◎	○	☆	全科目8単位必修
	専門導入演習 II	1	2年～		○	◎	○	☆	
	専門演習 I	1	3年～		○	◎	◎	◎	
	専門演習 II	1	3年～		○	◎	◎	◎	
	卒業演習 I	1	4年～		○	◎	◎	◎	
	卒業演習 II	1	4年～		○	◎	◎	◎	
卒業論文	2	4年～	○	◎	◎	◎			
自由選択科目	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目 A・B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経済学科科目のカリキュラムに掲載されていない経済学科科目や国際学部国際学科の科目を履修した場合も当欄で単位を認定する。教職課程履修者は教職及び教科に関する科目からの履修も可。								14単位以上選択
に教職及び科目	※日本史概論 I	2	1年～						教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。
	※日本史概論 II	2	1年～						
	※世界史概論 I	2	1年～						
	※世界史概論 II	2	1年～						
	※地理学概論 I	2	1年～						
	※地理学概論 II	2	1年～						
	※地誌学 I	2	1年～						
	※地誌学 II	2	1年～						
	※哲学概論 I	2	1年～						
	※哲学概論 II	2	1年～						
	※比較政治学	2	1年～						
	※社会学概論	2	1年～						
	※自然地理学 I	2	1年～						
	※自然地理学 II	2	1年～						
	◎教育原論	2	1年～						
	◎教育課程論	2	1年～						
	◎発達心理学	2	1年～						
	◎教育心理学	2	1年～						
	◎特別支援教育概論	2	2年～						
	◎教職概論	2	1年～						
◎教育行政	2	2年～							
◎教育法規	2	2年～							
◎教育方法・技術論	2	2年～							

2024年度
カリキュラム表

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	
教職及び 教科に関する科目	◎教育とICT活用	2	2年～						教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。
	◎社会科・地歴科指導法Ⅰ	2	2年～						
	◎社会科・地歴科指導法Ⅱ	2	2年～						
	◎地理歴史科指導法	2	2年～						
	◎社会科・公民科指導法Ⅰ	2	2年～						
	◎社会科・公民科指導法Ⅱ	2	2年～						
	◎公民科指導法	2	2年～						
	◎道徳教育指導法	2	2年～						
	◎総合的な学習の時間の指導法	2	2年～						
	◎特別活動指導法	2	2年～						
	◎生徒・進路指導論	2	2年～						
	◎教育相談	2	2年～						
	◎教職実践演習	2	4年～						
	◎教育実習指導	1	3年～						
◎中学校教育実習	4	4年～							
◎高等学校教育実習	2	4年～							
卒業要件単位数					124単位				

6 2024年度入学者卒業要件概念図 経営学科

科目区分		1年次	2年次	3年	
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアデザインを学ぶ、キャリアプランニング、AI・DSへのいざない、健康科学、情報基礎Ⅰ、情報基礎Ⅱ、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ		
	言語科目	必修	英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、日本語Ⅰ、日本語Ⅱ		
	教養科目	選択	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、応用中国語Ⅰ・Ⅱ、時事英語Ⅰ・Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ・講座Ⅰ・Ⅱ、SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、ListeningⅠ・Ⅱ、DebateⅠ・Ⅱ、English Conversation(オム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、中国文化Ⅰ・Ⅱ、文学、日本語学、言語学、環境科学、ボランティア活動		
	情報科目	選択	情報概論、データサイエンス総論、英語で学ぶPython	アルゴリズム論、プレゼンテーション論、情報セキュリティ論、AI概論、プログラミング	AI・データサイエンス
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアディベロップメント、企業の魅力発見	実践的キャリア演習Ⅲ、プレインターンシップ、ポストイン
経営学科専門科目	基本科目A	必修	経営学Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計概論Ⅰ・Ⅱ	実地調査入門	
	基本科目B	選択		経営戦略論Ⅰ・Ⅱ、経営組織論Ⅰ・Ⅱ、経営財務論Ⅰ・Ⅱ、マーケティング管理Ⅰ・Ⅱ、産業論、マーケティングリサーチⅠ・Ⅱ、流通論、原ビジネス論、生産管理、民法Ⅰ・Ⅱ、ビジネスデータ解析、情報	
	企業経営コース	選択		コーポレートガバナンス論、企業と社会論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、経営立地論、地域産業論、情報マネジメント、知的財産権論、界経済地理、ホテル・ビジネス論	
	商業・会計コース	選択		会計学Ⅰ・Ⅱ、簿記原理Ⅰ・Ⅱ、管理会計論、税務会計論Ⅰ・Ⅱ、地域社法、流通情報論、流通経営論、消費者行動論、サービスマーケティング調査、経営立地論、地域産業論	
	スポーツビジネスコース	選択		スポーツビジネス論、スポーツ産業論、スポーツマーケティング概論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、地域企業経営論、サービスマーケティング動論、企業法、会社法、観光事業論Ⅰ・Ⅱ	
	地域・起業コース	選択		千葉学、入門ツーリズムⅠ・Ⅱ、ベンチャービジネス論、地域事域企業経営論、経営立地論、地域産業論、千葉県の産業と行政、	
	展開科目	選択		経済理論Ⅰ・Ⅱ、ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済政策論Ⅰ・Ⅱ、労働法、国際法Ⅰ・Ⅱ、経済統計Ⅰ・Ⅱ、日本経済論Ⅰ・Ⅱ、	
	演習科目	必修		専門導入演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ
自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科開講科目や国際学部国際学科開講科目、大学単位互換教職課程履修者は「教職及び強化に関する科目」(※印の科目を除く)の単位を自由選択科目の単位として			
教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ)	選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教育法規、総合的な学習の時間の指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、教職実践演習、キャリア教育・			

次	4年次	単位	備考
		22	全科目22単位を修得する必要があります。
		4	日本人学生は英語、留学生は日本語4単位を修得する必要があります。
	II、Basic Grammar I・II、コリア語I・II、TOEIC向上 オンライン英会話) I・II、敬天愛人講座、敬愛プログラ 法学、憲法、政治学、社会学、数学I・II、統計学I・II、	16	16単位以上を修得する必要があります。
ス実践		2	2単位以上を修得する必要があります。
I、実践的キャリ ンシップ、インター ターンシップ		2	2単位以上を修得する必要があります。
		10	全科目10単位を修得する必要があります。
ング論、経営分析I・II、人的資源 価計算論I・II、経営史I・II、国際 ビジネス論(3年～)		20	20単位以上を修得する必要があります。
国際産業組織論、多国籍企業論、国際貿易論、経営心理学、 経営シミュレーション、企業法、会社法、日本経済地理、世		10	各コースに属するものは、コース科目区分の中から10単位以上を修得する必 要があります。
企業会計論、金融商品取引法、会 ケティング論、Marketing Management、観光マーケティ		10	
グ論、スポーツ文化論、生涯スポーツ実習I・II、スポーツ科 ング論、Marketing Management、経営心理学、消費者行		10	
業創造論、中小企業論I・II、アントレプレナーシップ論、地 観光事業論I・II		10	
I・II、金融論I・II、有価証券法、統計学総論I・II、企業金融 銀行論I・II、経済学特論I・II		16	16単位以上を修得する必要があります。経済学科専門科目区分(基本科目A・ B、コース科目)で定める卒業要件単位数を超えて修得した単位分を展開科 目の単位として充当することができます。
	卒業演習I・II、卒業論文	8	全科目8単位を修得する必要があります。
科目、展開科目から14単位以上修得する必要があります。 科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業要件とします。 充当することができます。		14	14単位以上を修得する必要があります。
教育方法・技術論、教育とICT活用、商業科指導法I・II、総 職業指導I・II、教育実習指導、高等学校教育実習			修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。

7 経営学科 2024カリキュラム表 (2024年度入学者)

経営学科DP		DP1. 社会人として必要かつ健全な倫理観と一般的教養を身につけ行動できる DP2. 経営学の基礎的知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP3. コースごとに設置された専門分野の知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP4. 思考・判断・実績する力を身に付けた企業人として変化に対応する力を身につける。 DP5. 多様性を理解し高いコミュニケーション力で、協働して目的を達成する力を身につける。				
到達目標		企業経営コース 企業経営全般に関する応用的知識と考え方の修得	商業・会計コース 商業や会計に関する応用的知識と考え方の修得	スポーツビジネスコース スポーツビジネスに関する応用的知識と考え方の修得	地域・起業コース 地域（特に千葉県）に密着した産業特性と、個々の経営特性を修得し、起業家的能力を修得	
科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目（最重要科目） ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目（発展科目）	卒業要件等
学部共通科目	基礎科目 必修科目	文章表現	2	1年～	◎	全科目22単位必修
		口頭表現	2	1年～	◎	
		基礎数学	2	1年～	◎	
入門経済学		2	1年～	◎		
入門経営学		2	1年～	◎		
キャリアデザインを学ぶ		2	1年～	◎		
キャリアプランニング		2	1年～	◎		
AI・DSへのいざない		2	1年～	◎		
健康科学		2	1年～	◎		
情報基礎Ⅰ		1	1年～	◎		
情報基礎Ⅱ	1	1年～	◎			
基礎演習Ⅰ	1	1年～	○	◎		
基礎演習Ⅱ	1	1年～	○	◎		
言語科目 必修科目	英語ⅠA	1	1年～	◎	日本人は、英語4単位必修	
	英語ⅠB	1	1年～	◎		
	英語ⅡA	1	1年～	◎		
	英語ⅡB	1	1年～	◎		
	日本語Ⅰ	2	1年～	○		
	日本語Ⅱ	2	1年～	○		
教養科目 選択科目	フランス語Ⅰ	1	1年～	○	16単位以上選択	
	フランス語Ⅱ	1	1年～	○		
	ドイツ語Ⅰ	1	1年～	○		
	ドイツ語Ⅱ	1	1年～	○		
	中国語Ⅰ	1	1年～	○		
	中国語Ⅱ	1	1年～	○		
	応用中国語Ⅰ	1	2年～	○		
	応用中国語Ⅱ	1	2年～	○		
	時事英語Ⅰ	1	2年～	○		
	時事英語Ⅱ	1	2年～	○		
	ビジネス英語Ⅰ	1	2年～	○		
	ビジネス英語Ⅱ	1	2年～	○		
	Basic GrammarⅠ	1	1年～	☆		
	Basic GrammarⅡ	1	1年～	☆		
	コリア語Ⅰ	1	1年～	☆		
	コリア語Ⅱ	1	1年～	☆		
	TOEIC向上講座Ⅰ	2	2年～	☆		
	TOEIC向上講座Ⅱ	2	2年～	☆		
	SpeakingⅠ	1	2年～	☆		
	SpeakingⅡ	1	2年～	☆		
	WritingⅠ	1	2年～	☆		
	WritingⅡ	1	2年～	☆		
	ListeningⅠ	1	2年～	☆		
	ListeningⅡ	1	2年～	☆		
	DebateⅠ	1	2年～	☆		
	DebateⅡ	1	2年～	☆		
	English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	1	1年～	☆		
	English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	1	1年～	☆		
敬天愛人講座	2	1年～	○			
敬愛プログラム	2	1年～	○	○		
スポーツ教育Ⅰ	1	1年～	☆			
スポーツ教育Ⅱ	1	1年～	☆			
哲学	2	1年～	☆			
心理学	2	1年～	○			
社会心理学	2	1年～	○			

科目区分		経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					卒業要件等	
						DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
学部共通科目	教養科目	歴史学	2	1年～	16単位	○					16単位以上選択	
		中国文化Ⅰ	2	1年～		○						
		中国文化Ⅱ	2	1年～		○						
		文学	2	1年～		○						
		日本語学	2	1年～		☆						
		言語学	2	1年～		☆						
		法学	2	1年～		○						
		憲法	2	1年～		☆						
		政治学	2	1年～		○						
		社会学	2	1年～		☆						
		数学Ⅰ	2	1年～		☆						
		数学Ⅱ	2	1年～		☆						
		統計学Ⅰ	2	1年～		○						
		統計学Ⅱ	2	1年～		○						
		環境科学	2	1年～		☆						
	ボランティア活動	2	1年～	☆								
	情報科目	選択科目	情報概論	2	1年～	2単位	○					2単位以上選択
			データサイエンス総論	2	1年～		○					
			英語で学ぶPython	2	1年～		☆					
			アルゴリズム論	2	2年～		○					
			プレゼンテーション論	2	2年～		☆					
			情報セキュリティ論	2	2年～		○					
			AI概論	2	2年～		○					
			プログラミング	2	2年～		○					
			AI・データサイエンス実践	2	3年～		○					
			実践会話Ⅰ	2	2年～		☆					
			実践会話Ⅱ	2	2年～		☆					
			キャリアディベロップメント	2	2年～		○				☆	
			企業の魅力発見	2	2年～		○					
			実践的キャリア演習Ⅰ	2	3年～		○					
実践的キャリア演習Ⅱ			2	3年～	○							
プレインターンシップ	2	3年～	○									
インターンシップ	1	3年～	○									
ポストインターンシップ	2	3年～	○									
経営学科専門科目	基本科目A	経営学Ⅰ	2	1年～	10単位		◎				全科目必修 10単位	
		経営学Ⅱ	2	1年～			◎					
		簿記・会計概論Ⅰ	2	1年～			◎					
		簿記・会計概論Ⅱ	2	1年～			◎					
		実地調査入門	2	2年～			◎		○	○		
	基本科目B	選択科目	経営戦略論Ⅰ	2	2年～	20単位		◎				20単位以上選択
			経営戦略論Ⅱ	2	2年～			◎				
			経営組織論Ⅰ	2	2年～			◎				
			経営組織論Ⅱ	2	2年～			◎				
			経営財務論Ⅰ	2	2年～			◎				
			経営財務論Ⅱ	2	2年～			◎				
			マーケティング論	2	2年～			○				
			経営分析Ⅰ	2	2年～			○				
			経営分析Ⅱ	2	2年～			○				
			人的資源管理Ⅰ	2	2年～			○				
			人的資源管理Ⅱ	2	2年～			○				
			産業論	2	2年～			○				
			マーケティングリサーチⅠ	2	2年～			○				
			マーケティングリサーチⅡ	2	2年～			○				
			流通論	2	2年～			○				
			原価計算論Ⅰ	2	2年～			☆				
			原価計算論Ⅱ	2	2年～			☆				
			経営史Ⅰ	2	2年～			☆				
			経営史Ⅱ	2	2年～			☆				
			国際ビジネス論	2	2年～			○				
			生産管理	2	2年～			☆				
			民法Ⅰ	2	2年～			☆				
			民法Ⅱ	2	2年～			☆				
			ビジネスデータ解析	2	2年～			○				
			情報ビジネス論	2	3年～			☆				
企業経営Ⅰ	選択科目	コーポレートガバナンス論	2	2年～	10単位			○			10単位以上選択	
		企業と社会論	2	2年～				○				
		中小企業論Ⅰ	2	2年～				○				
		中小企業論Ⅱ	2	2年～				○				
		国際産業組織論	2	2年～				○				

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
企業経営コース科目	選択科目	多国籍企業論	2	2年～			○			10単位以上選択
		国際貿易論	2	2年～			○			
		経営心理学	2	2年～			○			
		経営立地論	2	2年～			○			
		地域産業論	2	2年～			○			
		情報マネジメント	2	2年～			○			
		知的財産権論	2	2年～			○			
		経営シミュレーション	2	2年～			○			
		企業法	2	2年～			○			
		会社法	2	2年～			○			
		日本経済地理	2	2年～			○			
		世界経済地理	2	2年～			○			
		ホテル・ビジネス論	2	2年～			○			
商業・会計コース科目	選択科目	会計学Ⅰ	2	2年～			○			10単位以上選択
		会計学Ⅱ	2	2年～			○			
		簿記原理Ⅰ	2	2年～			○			
		簿記原理Ⅱ	2	2年～			○			
		管理会計論	2	2年～			○			
		税務会計論Ⅰ	2	2年～			☆			
		税務会計論Ⅱ	2	2年～			☆			
		地域企業会計論	2	2年～			☆			
		金融商品取引法	2	2年～			☆			
		会社法	2	2年～			☆			
		流通情報論	2	2年～			○			
		流通経営論	2	2年～			○			
		消費者行動論	2	2年～			○			
		サービスマーケティング論	2	2年～			○			
		Marketing Management	2	2年～			☆			
		観光マーケティング調査	2	2年～			☆			
		経営立地論	2	2年～			○			
地域産業論	2	2年～			○					
スポーツビジネスコース科目	選択科目	スポーツビジネス論	2	2年～			○			10単位以上選択
		スポーツ産業論	2	2年～			○			
		スポーツマーケティング論	2	2年～			○			
		スポーツ文化論	2	2年～			○			
		生涯スポーツ実習Ⅰ	1	2年～			○			
		生涯スポーツ実習Ⅱ	1	2年～			○			
		スポーツ科学概論	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅰ	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅱ	2	2年～			○			
		地域企業経営論	2	2年～			○			
		サービスマーケティング論	2	2年～			○			
		Marketing Management	2	2年～			☆			
		経営心理学	2	2年～			○			
		消費者行動論	2	2年～			○			
		企業法	2	2年～			○			
会社法	2	2年～			○					
観光事業論Ⅰ	2	2年～			☆					
観光事業論Ⅱ	2	2年～			☆					
地域・起業コース科目	選択科目	千葉学	2	1年～			○			10単位以上選択
		入門ツーリズムⅠ	2	1年～			○			
		入門ツーリズムⅡ	2	1年～			○			
		ベンチャービジネス論	2	2年～			○			
		地域事業創造論	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅰ	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅱ	2	2年～			○			
		アントレプレナーシップ論	2	2年～			○			
		地域企業経営論	2	2年～			○			
		管理会計論	2	2年～			☆			
		地域企業会計論	2	2年～			○			
		経営立地論	2	2年～			○			
		地域産業論	2	2年～			○			
		千葉県の産業と行政	2	2年～			○			
		旅行ビジネス論	2	2年～			○			
地域観光論	2	2年～			○					
観光事業論Ⅰ	2	2年～			○					
観光事業論Ⅱ	2	2年～			○					

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
経営学科専門科目 展開科目 選択科目	経済理論Ⅰ	2	2年～	16 単位			☆			16単位以上選択
	経済理論Ⅱ	2	2年～				☆			
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～				☆			
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2年～				☆			
	マクロ経済学Ⅰ	2	2年～				☆			
	マクロ経済学Ⅱ	2	2年～				☆			
	経済政策Ⅰ	2	2年～				☆			
	経済政策Ⅱ	2	2年～				☆			
	金融論Ⅰ	2	2年～				☆			
	金融論Ⅱ	2	2年～				☆			
	有価証券法	2	2年～				○			
	統計学総論Ⅰ	2	2年～				○			
	統計学総論Ⅱ	2	2年～				○			
	企業金融論Ⅰ	2	2年～				☆			
	企業金融論Ⅱ	2	2年～				☆			
	労働法	2	2年～				☆			
	国際法Ⅰ	2	2年～				☆			
	国際法Ⅱ	2	2年～				☆			
	経済統計Ⅰ	2	2年～				☆			
	経済統計Ⅱ	2	2年～				☆			
	日本経済論Ⅰ	2	2年～				☆			
	日本経済論Ⅱ	2	2年～				☆			
	銀行論Ⅰ	2	2年～				☆			
銀行論Ⅱ	2	2年～			☆					
経済学特論Ⅰ	2	2年～			○					
経済学特論Ⅱ	2	2年～			○					
展開科目 必修科目	専門導入演習Ⅰ	1	2年～	8 単位		○	○	○	○	全科目必修8単位
	専門導入演習Ⅱ	1	2年～			○	○	○	○	
	専門演習Ⅰ	1	3年～			○	○	○	○	
	専門演習Ⅱ	1	3年～			○	○	○	○	
	卒業演習Ⅰ	1	4年～			○	○	○	○	
	卒業演習Ⅱ	1	4年～			○	○	○	○	
	卒業論文・卒業研究	2	4年～			◎	◎	◎	◎	
自由選択科目	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科科目や国際学部国際学科の科目を履修した場合、エアポートNARITA地域産業学開講科目も当欄で単位認定する。教職課程履修者は教職及び教員に関する科目からの履修も可。									14単位以上選択
教職及び教員に関する科目	◎教育原論	2	1年～							教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は◎印の科目を修得することで、自由選択科目の単位に充当することができる。
	◎教育課程論	2	1年～							
	◎発達心理学	2	1年～							
	◎教育心理学	2	1年～							
	◎特別支援教育概論	2	2年～							
	◎教職概論	2	1年～							
	◎教育行政	2	2年～							
	◎教育法規	2	2年～							
	◎教育方法・技術論	2	2年～							
	◎教育とICT活用	2	2年～							
	◎商業科指導法Ⅰ	2	2年～							
	◎商業科指導法Ⅱ	2	2年～							
	◎総合的な学習の時間の指導法	2	2年～							
	◎特別活動指導法	2	2年～							
	◎生徒・進路指導論	2	2年～							
	◎教育相談	2	2年～							
	◎教職実践演習	2	4年～							
	◎キャリア教育・職業指導Ⅰ	2	2年～							
	◎キャリア教育・職業指導Ⅱ	2	2年～							
◎教育実習指導	1	3年～								
◎高等学校教育実習	2	4年～								
卒業要件単位数				124単位						

2023年度入学者カリキュラム表

1 教育課程の編成方針と概要

1. 「敬愛大学学則」及び「経済学部規程」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業に必要な単位数を124以上と定めています。
2. 経済学部では、「敬天愛人」の建学の精神のもとに「人間性と創造性豊かな経済人」の育成を図ることを目的として、「経済学科」と「経営学科」の2つの教育課程を編成しています。
3. 経済学部では2年次学科選択制を導入しています。1年次は全員学科に所属せず「経済学部未所属学科生」として共通カリキュラムの下での科目履修を経て、1年次後期に2年次以降卒業までの3年間所属する学科を選択することになります。なお、学科には定員があります。定員を超える希望者がいた場合は前期終了時の成績や授業出席状況等の修学状況を参考にして、所属学科を決定します。従って、1年次は経済・経営に関する基礎となる科目を履修しながら、各自が経済学・経営学に対する興味・関心・または将来の目指す進路を見据えて、経済・経営いずれの学科に所属するかを検討する期間になります。「経済学科」は3つ、「経営学科」は4つの専門的な学習コースがあり、コースの選択は2年次前期の履修登録時にあわせて行います。2年次以降は自分の学習意欲や将来の進路・目標にもとづき、各自が選択した学科・コースの科目を具体的・体系的に履修していきます。
4. 1年次のゼミはあらかじめ大学側で担当教員を指定しますが、2年次からの所属ゼミは原則、みなさんの希望により決定します。ゼミは2年次からの所属学科が決定した後、所属する学科から選択します。従って、2年次から経済学科に所属する場合、2年ゼミも経済学科のゼミから選択することになります。
5. 経済学部の教育課程には、学部共通科目を基礎として、基礎科目群、必修言語科目群、教養科目群、情報科目群、キャリア科目群を配しており、「経済学科」・「経営学科」の専門分野にあっては、基本科目群、専門科目群、展開科目群、演習科目で構成しています。また、基礎科目を、必修科目もしくは選択科目として1年次に多く配置し、よりスムーズに高度な専門分野へ移行できる段階的な教育を実践しています。
6. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目及び集中講義によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修にあっては、条件付科目があるので、確認が必要です。
7. 教職課程履修者は卒業必要単位のほかに、教育職員免許法に定める所定の単位を修得することが必要です。
8. 本学では、特色のある教育活動として「敬愛プログラム」科目を配置しています。この「敬愛プログラム」は、学生（個人またはグループ）の自主的・自発的な発想による活動の支援を目的とする制度です。学生は、ボランティア活動、クラブ活性化活動、イベントの企画・実施、商店街や事業所の調査等、学内外における活動のテーマを設定し、事前に達成目標や段取りを明記した企画書を作成したうえで、当該年度に成果の発表を行います。その成果が評価に値するものと認定されれば、活動そのものが卒業単位として認められ、さらに支援金の支給を受けることができます。

2 コースの概要

経済学科（3コース）

公共経済コース

政府や地方自治体から見た経済の仕組みや課題を学び、主に公共サービスに従事できる人材を育成します。

主な進路

公務員、消防士・警察官、各種団体職員、一般企業（各種全般）など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）／行政書士など

金融経済コース

銀行や証券の仕組みや金融が経済にもたらす影響を学び、主に金融業界で活躍できる人材を育成します。

主な進路

銀行、信用金庫、証券会社、保険会社、一般企業（各種全般）など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）

ファイナンシャル・プランナー／

Microsoft® Office Specialist／など

現代経済コース

経済学を体系的に学び、実社会で活躍するために必要な幅広い知識と教養を身に付け、現代社会の中核となる人材を育成します。

主な進路

一般企業（各業種全般）、教員など

取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許（社会）／

高等学校教諭一種免許（地理歴史、公民）／など

2 コースの概要

経営学科（4コース）

企業経営コース

経営の基礎から応用に加え、地域産業や業種の特徴とその経営・管理を学び、企業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の人事、経営企画、事業統括など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定／ITパスポート／高等学校教諭一種免許（商業）など

商業・会計コース

品物やお金の流れの視点から地域産業の実態や業種の特徴とビジネス手法を学び、地域経済の活性化に貢献できる人材を育成します。

主な進路

一般企業の商品企画、営業、経理・財務など

取得できる免許・資格

中小企業診断士／税理士／日商簿記検定／ビジネス能力検定／高等学校教諭一種免許（商業）など

スポーツビジネスコース

経営知識と健康運動科学・スポーツ実技を学び、地域に密着したスポーツビジネス産業で活躍できる人材を育成します。

主な進路

健康・スポーツ関連企業など

取得できる免許・資格

各種スポーツライセンス／日商簿記検定／ビジネス能力検定
高等学校教諭一種免許（商業）など

地域・起業コース

地元である千葉の産業・企業を学び、千葉での就職や起業をめざす地域活性化人材を育成します。

主な進路

県内企業への就職、起業、地域金融機関、各種団体職員、
経営コンサルタント

取得できる免許・資格

中小企業診断士／日商簿記検定／ビジネス能力検定
旅行業務取扱管理者／高等学校教諭一種免許（商業）など

3-1 科目区分および卒業要件単位略図(2023年度入学者)

科目区分		履修区分	卒業要件単位数	
学部共通科目	基礎科目	必修科目	22	
	言語科目(日本人学生は英語・留学生は日本語)	必修科目	4	
	教養科目	選択科目	16	
	情報科目	選択科目	2	
	キャリア科目	選択科目	2	
	小計		46	
専門科目	基本科目A	必修科目	10	
	基本科目B	選択科目	20	
	経済学科 コース科目 (いずれか1コース)	公共経済コース 現代経済コース 金融経済コース	選択科目	10
	経営学科 コース科目 (いずれか1コース)	企業経営コース 商業・会計コース スポーツビジネスコース 地域・起業コース		
	展開科目	選択科目	16	
	演習科目	必修科目	8	
	自由選択科目	選択科目	14	
	小計		78	
卒業要件単位数			124	

3-2 教育課程の具体的履修方法（2023）

1 学部共通科目

学部共通科目においては共通カリキュラムの下、基礎科目、言語科目、教養科目、情報科目ならびにキャリア科目を含めて合計46単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

- (1) 基礎科目
基礎科目は必修科目であり、全科目を履修し、1年次で合計22単位を修得する必要があります。
- (2) 言語科目
言語科目は必修科目であり、全科目を履修し、1年次で4単位を修得する必要があります。
- (3) 教養科目
教養科目は選択科目であり、この科目群の中から4年間で16単位以上を修得する必要があります。
なお、経済学科の教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目（※印の科目のみ）」の単位を教養科目の単位として充当することができます。
- (4) 情報科目
情報科目は選択科目であり、この科目群の中から4年間で2単位以上を修得する必要があります。
- (5) キャリア科目
キャリア科目は選択科目であり、2年次より卒業までに2単位以上を修得する必要があります。

2 経済学科専門科目

2年次から経済学科に所属する学生は基本科目A・B、コース科目（3つあるコースの中から1つのコースを選択）、展開科目、演習科目、自由選択科目を含めて合計78単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

- (1) 基本科目A
基本科目Aは必修科目であり、「経済理論A・B」2科目4単位、「日本経済史I・II」または「西洋経済史I・II」いずれか2科目4単位（日本経済史と西洋経済史の組み合わせは不可）を履修し、さらに2年次に開講される「フィールドワーク入門」を履修し、合計10単位を1・2年次で修得する必要があります。
- (2) 基本科目B
基本科目Bは選択科目であり、この科目の中から2・3年次に20単位以上を修得する必要があります。
- (3) コース科目
コース科目（3コース）は選択科目であり、各コースに属する者は、その科目群の中から2年次より卒業までに10単位以上を修得する必要があります。
- (4) 展開科目
展開科目は選択科目であり、この科目群から2年次より卒業までに16単位以上を修得する必要があります。また、経済学科専門科目の各区分（基本科目A・B、コース科目）で定める卒業要件単位を超えて修得した単位分を展開科目の単位として充当することができます。
- (5) 演習項目
演習科目は必修科目であり、2年次から卒業までに各学年において、2単位（前期1単位、後期1単位）さらに4年次の「卒業論文」（2単位）を含めて合計8単位を修得する必要があります。

2年次からは原則、希望制により所属ゼミを選択し、専門分野を学ぶ上での導入と位置付けられている「専門導入演習」を履修します。さらに3年次は「専門演習」、4年次は「卒業演習」を履修し、より専門的にその分野を修得すべく、深くより高度な内容が展開されます。また、4年次はあわせて卒業論文の指導を受けることになります。

(6) 自由選択科目

自由選択科目は各科目区分の必要単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、コース科目、展開科目、経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科の科目の中から自由に選択して、14単位以上修得する必要があります。

なお、教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目」（※印の科目を除く）の単位を自由選択科目の単位として充当することができます。

他大学・他学部・大学単位互換科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業単位とします。

3 経営学科専門科目

2年次から経営学科に所属する学生は基本科目A・B、コース科目（4つあるコースの中から1つのコースを選択、展開科目、演習科目、自由選択科目を含めて合計78単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

(1) 基本科目A

基本科目Aは必修科目であり、1・2年次で合計10単位を修得する必要があります。

(2) 基本科目B

基本科目Bは選択科目であり、この科目の中から2・3年次に20単位以上を修得する必要があります。

(3) コース科目

コース科目（4コース）は選択科目であり、各コースに属する者は、その科目群の中から2年次より卒業までに10単位以上を修得する必要があります。

(4) 展開科目

展開科目は選択科目であり、この科目群から2年次より卒業までに16単位以上を修得する必要があります。また、経営学科専門科目の各区分（基本科目B、コース科目）で定める卒業要件単位を超えて修得した単位分を展開科目の単位として充当することができます。

(5) 演習項目

演習科目は必修科目であり、2年次から卒業までに各学年において、2単位（前期1単位、後期1単位）さらに4年次の「卒業論文・卒業研究」（2単位）を含めて合計8単位を修得する必要があります。

2年次からは原則、希望制により所属ゼミを選択し、専門分野を学ぶ上での導入と位置付けられている「専門導入演習」を履修します。さらに3年次は「専門演習」、4年次は「卒業演習」を履修し、より専門的にその分野を修得すべく、深くより高度な内容が展開されます。また、4年次はあわせて卒業論文の指導を受けることになります。

(6) 自由選択科目

自由選択科目は各科目区分の必要単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、コース科目、展開科目、経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科の科目の中から自由に選択して、14単位以上を修得する必要があります。

なお、教職課程履修者は「教職及び教科に関する科目」の単位を自由選択科目の単位として充当することができます。

他大学・他学部・大学単位互換科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業単位とします。

4 2023年度入学者卒業要件概念図 経済学科

科目区分		1年次	2年次	3年次
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアデザインを学ぶ、キャリアプランニング、AI・DSへのいざない、健康科学、情報基礎Ⅰ、情報基礎Ⅱ、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ	
	言語科目	必修	英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、日本語ⅠA、日本語ⅠB、日本語ⅡA、日本語ⅡB	
	教養科目	選択	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、応用中国語Ⅰ・Ⅱ、時事英語Ⅰ・Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ・講座Ⅰ・Ⅱ、SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、ListeningⅠ・Ⅱ、DebateⅠ・Ⅱ、English Conversation(オム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、中国文化Ⅰ・Ⅱ、文学、日本語学、言語学、環境科学、ボランティア活動)	
	情報科目	選択	情報概論、データサイエンス総論、英語で学ぶPython	アルゴリズム論、プレゼンテーション論、情報セキュリティ論、AI概論、プログラミング
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアディベロップメント、企業の魅力発見
経済学科専門科目	基本科目A	必修	経済理論A・B、日本経済史Ⅰ・Ⅱ、西洋経済史Ⅰ・Ⅱ	フィールドワーク入門
	基本科目B	選択		ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済政策Ⅰ・Ⅱ、経営学Ⅰ・Ⅱ、金融論Ⅰ・Ⅱ、国際経済論Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計概論Ⅰ・統計学総論Ⅰ・Ⅱ、知的財産権論、情報マネジメント
	公共経済コース	選択	進路支援講座A・B(数的リテラシー)	公共経済学、公共選択論、地方財政論Ⅰ・Ⅱ、地方自治論Ⅰ・Ⅱ、企業法、会社法、経済統計Ⅰ・Ⅱ、進路支援講座C・D・E・講座I・J(教職)
	金融経済コース	選択	進路支援講座A・B(数的リテラシー)	証券経済論Ⅰ・Ⅱ、銀行論Ⅰ・Ⅱ、国際金融論Ⅰ・Ⅱ、企業金会社法、経済統計Ⅰ・Ⅱ、進路支援講座C・D・E・F(公務員)
	現代経済コース	選択	進路支援講座A・B(数的リテラシー)	日本経済論Ⅰ・Ⅱ、日本経済地理、世界経済地理、アメリカ経済論、国際貿易論、労働経済論Ⅰ・Ⅱ、労働法、経済統計Ⅰ・Ⅱ(日経新聞を読む)、進路支援講座I・J(教職)
	展開科目	選択		経済学史Ⅰ・Ⅱ、社会思想史Ⅰ・Ⅱ、金融経済の基礎知識、計量農業政策、経済学Ⅰ・Ⅱ、経営学Ⅰ・Ⅱ、国際地域論Ⅰ・Ⅱ、地ビジネス論
	演習科目	必修		専門導入演習Ⅰ・Ⅱ
自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科開講科目や国際学部国際学科開講科目、大学単位互換教職課程履修者は「教職及び強化に関する科目」(※印の科目を除く)の単位を自由選択科目の単位として		
教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ)		選択	日本史概論Ⅰ・Ⅱ、世界史概論Ⅰ・Ⅱ、地理学概論Ⅰ・Ⅱ、地誌学Ⅰ・Ⅱ、哲学概論Ⅰ・Ⅱ、比較政治学、社会学概論、	
		選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教育法規、Ⅱ、地理歴史科指導法・社会科・公民科指導法Ⅰ・Ⅱ、公民科指導法、道徳教育指導法、総合的な学習の時間教職実践演習、教育実習指導、中学校教育実習、高等学校教育実習	

次	4年次	単位	備考
		22	全科目22単位を修得する必要があります。
		4	日本人学生は英語、留学生は日本語4単位を修得する必要があります。
	II、Basic Grammar I・II、コリア語I・II、TOEIC向上 オンライン英会話) I・II、敬天愛人講座、敬愛プログラ 法学、憲法、政治学、社会学、数学I・II、統計学I・II、	16	16単位以上を修得する必要があります。
ス実践		2	2単位以上を修得する必要があります。
I、実践的キャリ ンシップ、インター ターンシップ		2	2単位以上を修得する必要があります。
		10	経済理論I・II科目4単位、日本経済史I・IIまたは西洋経済史I・IIいずれか2科 目4単位、フィールドワーク入門2単位、合計10単位修得する必要があります。 (ただし日本経済史と西洋経済史の組み合わせは不可)
済学特論I・II、社会政策I・II、財 II、会計学I・II、民法I・II、		20	20単位以上を修得する必要があります。
II、社会保障論I・II、社会福祉論、福祉経済論、行政法I・ F(公務員)、進路支援講座G・H(日経新聞を読む)、進路支援		10	各コースに属するものは、コース科目区分の中から10単位以上を修得する必 要があります。
融論I・II、保険論、金融事情I・II、有価証券法、企業法、 進路支援講座G・H(日経新聞を読む)、進路支援講座I・J(教職)		10	
済論I・II、ヨーロッパ経済論I・II、中東経済論、アジア II、進路支援講座C・D・E・F(公務員)、進路支援講座G・		10	
経済学I・II、環境経済学I・II、地域経済論、食料経済論、 域産業論、経営立地論、交通論、ビジネスデータ解析、情報		16	16単位以上を修得する必要があります。経済学科専門科目区分(基本科目A・ B、コース科目)で定める卒業要件単位数を超えて修得した単位分を展開科 目の単位として充当することができます。
	卒業演習I・II、卒業論文	8	全科目8単位を修得する必要があります。
科目、展開科目から14単位以上修得する必要があります。 科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業要件とします。 充当することができます。		14	14単位以上を修得する必要があります。
自然地理学I・II、			修得した単位は教養科目の卒業単位とします。
教育方法・技術論、教育とICT活用、社会科・地歴科指導法I・ の指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、			修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。

5 経済学科 2023カリキュラム表 (2023年度入学者)

経済学科DP		DP1. 社会科学を機軸とした幅広い教養を深めるとともに、経済学の知識を基に社会の発展に活かす良識を身につける。 DP2. 経済社会の問題に関する情報を主体的に収集、分析し、問題の解決策を論理的に述べられる表現力・コミュニケーション能力を身につける。 DP3. 経済学を体系的に理解し、数値データをもとに経済の現状を捉える手法を修得することで、経済的な思考にもとづく適切な判断力を身につける。 DP4. 社会問題への関心と想像力を涵養し、未知の課題に立ち向かうことができ、様々な人々と協調して経済活動を行う力を身につける。							
到達目標		公共経済コース 公共部門（国、地方自治体）において、経済計画、都市計画などの各種政策策定に必要な経済学的分析力、応用力、展開力を身につける	金融経済コース 銀行・証券・保険などの金融業界および、その関連業界において、経済動向や経営状況の判断に必要な知識や分析力を身につける	現代経済コース 社会が直面する様々な経済問題を、歴史や理論から探求し、日本や世界の経済について考察する力を身につける					
科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)	卒業要件等			
					DP1	DP2	DP3	DP4	
学部共通科目	基礎科目 必修科目	文章表現	2	1年～	22単位	○	○		
		口頭表現	2	1年～		○	○		
		基礎数学	2	1年～		○		○	
		入門経済学	2	1年～		○		○	
		入門経営学	2	1年～		○			
		キャリアデザインを学ぶ	2	1年～		○			○
		キャリアプランニング	2	1年～		○			○
		AI・DSへのいざない	2	1年～		○	○		
		健康科学	2	1年～		○			
		情報基礎Ⅰ	1	1年～		○	○		○
	情報基礎Ⅱ	1	1年～	○	○		○		
	基礎演習Ⅰ	1	1年～	○	○	○			
	基礎演習Ⅱ	1	1年～	○	○	○			
	言語科目 必修科目	英語ⅠA	1	1年～	4単位	○	○		☆
		英語ⅠB	1	1年～		○	○		☆
		英語ⅡA	1	1年～		○	○		☆
		英語ⅡB	1	1年～		○	○		☆
		日本語Ⅰ	2	1年～		○	○		☆
		日本語Ⅱ	2	1年～		○	○		☆
	教養科目 選択科目	フランス語Ⅰ	1	1年～	16単位	○	○		☆
		フランス語Ⅱ	1	1年～		○	○		☆
		ドイツ語Ⅰ	1	1年～		○	○		☆
		ドイツ語Ⅱ	1	1年～		○	○		☆
		中国語Ⅰ	1	1年～		○	○		☆
		中国語Ⅱ	1	1年～		○	○		☆
		応用中国語Ⅰ	1	2年～		○	○		☆
		応用中国語Ⅱ	1	2年～		○	○		☆
		時事英語Ⅰ	1	2年～		○	○		☆
		時事英語Ⅱ	1	2年～		○	○		☆
		ビジネス英語Ⅰ	1	2年～		○	○		☆
		ビジネス英語Ⅱ	1	2年～		○	○		☆
		Basic GrammarⅠ	1	1年～			☆		
		Basic GrammarⅡ	1	1年～			☆		
コリア語Ⅰ		1	1年～			☆			
コリア語Ⅱ		1	1年～			☆			
TOEIC向上講座Ⅰ		2	2年～			☆			
TOEIC向上講座Ⅱ		2	2年～			☆			
SpeakingⅠ		1	2年～			☆			
SpeakingⅡ		1	2年～			☆			
WritingⅠ		1	2年～			☆			
WritingⅡ		1	2年～			☆			
ListeningⅠ		1	2年～			☆			
ListeningⅡ	1	2年～		☆					
DebateⅠ	1	2年～		☆					
DebateⅡ	1	2年～		☆					
English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	1	1年～			○		☆		
English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	1	1年～			○		☆		
敬天愛人講座	2	1年～		○			○		
敬愛プログラム	2	1年～		○	○	☆	☆		
スポーツ教育Ⅰ	2	1年～		○					
スポーツ教育Ⅱ	2	1年～		○					
哲学	2	1年～		○					

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	
学部共通科目	教養科目 選択科目	心理学	2	1年～					16単位以上選択
		社会心理学	2	1年～					
		歴史学	2	1年～					
		中国文化Ⅰ	2	1年～					
		中国文化Ⅱ	2	1年～					
		文学	2	1年～					
		日本語学	2	1年～					
		言語学	2	1年～					
		法学	2	1年～					
		憲法	2	1年～					
		政治学	2	1年～					
		社会学	2	1年～					
		数学Ⅰ	2	1年～					
		数学Ⅱ	2	1年～					
	統計学Ⅰ	2	1年～						
	統計学Ⅱ	2	1年～						
	環境科学	2	1年～						
	ボランティア活動	2	1年～					☆	
	情報科目 選択科目	情報概論	2	1年～		○			2単位以上選択
		データサイエンス総論	2	1年～		○	○		
		英語で学ぶPython	2	1年～		☆			
		アルゴリズム論	2	2年～			○		
		プレゼンテーション論	2	2年～			○		
		情報セキュリティ論	2	2年～			○		
		AI概論	2	2年～			○		
	プログラミング	2	2年～			○			
	AI・データサイエンス実践	2	3年～			○	○		
	キャリア科目 選択科目	実践会話Ⅰ	2	2年～		○			2単位以上選択
		実践会話Ⅱ	2	2年～		○			
		キャリアディベロップメント	2	2年～		○		○	
		企業の魅力発見	2	2年～		○		○	
		実践的キャリア演習Ⅰ	2	3年～		○		○	
		実践的キャリア演習Ⅱ	2	3年～		○		○	
プレインターンシップ		2	3年～		○		○		
インターンシップ		1	3年～		○		○		
ポストインターンシップ		2	3年～		○		○		
基本科目A 選択必修科目	経済理論A	2	1年～		◎	◎	○	※経済理論4単位必修 フィールドワーク入門2単位必修 ※経済史4単位必修 日本経済史、西洋経済史のいずれかを選択すること。両者の1・Ⅱの組み合わせは不可	
	経済理論B	2	1年～		◎	◎	○		
	日本経済史Ⅰ	2	1年～		○	○	○		
	日本経済史Ⅱ	2	1年～		○	○	○		
	西洋経済史Ⅰ	2	1年～		○	○	○		
	西洋経済史Ⅱ	2	1年～		○	○	○		
	フィールドワーク入門	2	2年～		◎		◎		
経済学科専門科目 基本科目B 選択科目	ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～			◎	○	20単位以上選択	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2年～			◎	○		
	マクロ経済学Ⅰ	2	2年～			◎	○		
	マクロ経済学Ⅱ	2	2年～			◎	○		
	経済政策Ⅰ	2	2年～			◎	○		
	経済政策Ⅱ	2	2年～			◎	○		
	経済学特論Ⅰ	2	2年～			◎	○		
	経済学特論Ⅱ	2	2年～			◎	○		
	社会政策Ⅰ	2	2年～			◎	○		
	社会政策Ⅱ	2	2年～			◎	○		
	財政学Ⅰ	2	2年～			◎	○		
	財政学Ⅱ	2	2年～			◎	○		
	金融論Ⅰ	2	2年～			◎	○		
	金融論Ⅱ	2	2年～			◎	○		
	国際経済論Ⅰ	2	2年～			◎	○		
	国際経済論Ⅱ	2	2年～			◎	○		
	簿記・会計概論Ⅰ	2	2年～		◎	☆	○		
	簿記・会計概論Ⅱ	2	2年～		◎	☆	○		
	会計学Ⅰ	2	2年～		◎	☆	○		
	会計学Ⅱ	2	2年～		◎	☆	○		
	民法Ⅰ	2	2年～		○		○		
	民法Ⅱ	2	2年～		○		○		
統計学総論Ⅰ	2	2年～		○		◎			
統計学総論Ⅱ	2	2年～		○		◎			
知的財産権論	2	2年～		☆		☆			
情報マネジメント	2	2年～		☆		☆			

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等	
					DP1	DP2	DP3	DP4		
公共経済コース科目	コース科目	公共経済学	2	2年～			◎	☆	10単位以上選択	
		公共選択論	2	2年～			○	☆		
		地方財政論Ⅰ	2	2年～			◎	☆		
		地方財政論Ⅱ	2	2年～			◎	☆		
		地方自治論Ⅰ	2	2年～			○	☆		
		地方自治論Ⅱ	2	2年～			○	☆		
		社会保障論Ⅰ	2	2年～			○	☆		
		社会保障論Ⅱ	2	2年～			○	☆		
		社会福祉論	2	2年～			○	☆		
		福祉経済論	2	2年～			○	☆		
		行政法Ⅰ	2	2年～		○		☆		
		行政法Ⅱ	2	2年～		○		☆		
		企業法	2	2年～		○		☆		
		会社法	2	2年～		○		☆		
		経済統計Ⅰ	2	2年～				◎		☆
	経済統計Ⅱ	2	2年～				◎	☆		
	進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1年～		○		○		
		進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1年～		○		○		
		進路支援講座C(公務員)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座D(公務員)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座E(公務員)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座F(公務員)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座I(教職)	2	2年～		○		○		
		進路支援講座J(教職)	2	2年～		○		○		
		経済学科専門科目	コース科目	証券経済論Ⅰ	2	2年～				○
証券経済論Ⅱ				2	2年～			○	☆	
銀行論Ⅰ	2			2年～			◎	☆		
銀行論Ⅱ	2			2年～			◎	☆		
国際金融論Ⅰ	2			2年～			◎	☆		
国際金融論Ⅱ	2			2年～			◎	☆		
企業金融論Ⅰ	2			2年～			○	☆		
企業金融論Ⅱ	2			2年～			○	☆		
保険論	2			2年～			○	☆		
金融事情Ⅰ	2			2年～			☆	○	☆	
金融事情Ⅱ	2			2年～			☆	○	☆	
有価証券法	2			2年～		○		☆		
企業法	2			2年～		○		☆		
会社法	2			2年～		○		☆		
経済統計Ⅰ	2			2年～				◎	☆	
経済統計Ⅱ	2		2年～				◎	☆		
進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)		2	1年～		○		○		
	進路支援講座B(数的リテラシー)		2	1年～		○		○		
	進路支援講座C(公務員)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座D(公務員)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座E(公務員)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座F(公務員)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座G(日経新聞を読む)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座H(日経新聞を読む)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座I(教職)		2	2年～		○		○		
	進路支援講座J(教職)		2	2年～		○		○		
	現代経済コース科目		コース科目	日本経済論Ⅰ	2	2年～			◎	☆
		日本経済論Ⅱ		2	2年～			◎	☆	
日本経済地理		2		2年～		○		☆		
世界経済地理		2		2年～		○		☆		
アメリカ経済論Ⅰ		2		2年～			○	☆		
アメリカ経済論Ⅱ		2		2年～			○	☆		
ヨーロッパ経済論Ⅰ		2		2年～			○	☆		
ヨーロッパ経済論Ⅱ		2		2年～			○	☆		
中東経済論		2		2年～			○	☆		
アジア経済論		2		2年～			○	☆		
国際貿易論		2		2年～			○	☆		
労働経済論Ⅰ		2		2年～			○	☆		
労働経済論Ⅱ		2		2年～			○	☆		
労働法		2		2年～		○		☆		
経済統計Ⅰ		2		2年～				◎	☆	
経済統計Ⅱ	2	2年～				◎	☆			

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(免履科目)			卒業要件等	
					DP1	DP2	DP3		DP4
現代経済コース科目 進路支援科目 選択科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1年～	10単位	○			○	10単位以上選択
	進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1年～		○			○	
	進路支援講座C(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座D(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座E(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座F(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座I(教職)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座J(教職)	2	2年～		○			○	
経済学科専門科目 展開科目 選択科目	経済学史 I	2	2年～	16単位			○		16単位以上選択
	経済学史 II	2	2年～				○		
	社会思想史 I	2	2年～		○				
	社会思想史 II	2	2年～		○				
	金融経済の基礎知識	2	2年～		◎		○		
	計量経済学 I	2	2年～				◎	☆	
	計量経済学 II	2	2年～				◎	☆	
	環境経済学 I	2	2年～				○		
	環境経済学 II	2	2年～				○		
	地域経済論	2	2年～				○		
	食料経済論	2	2年～				○		
	農業政策	2	2年～				○		
	経済数学 I	2	2年～				◎		
	経済数学 II	2	2年～				◎		
	経営学 I	2	2年～		○				
	経営学 II	2	2年～		○				
	国際地域論 I	2	2年～		○				
	国際地域論 II	2	2年～		○				
	地域産業論	2	2年～				○		
	経営立地論	2	2年～				○		
交通論	2	2年～			○				
ビジネスデータ解析	2	2年～			○				
情報ビジネス論	2	3年～			○				
演習科目 必修科目	専門導入演習 I	1	2年～	8単位	○	◎	○	☆	全科目8単位必修
	専門導入演習 II	1	2年～		○	◎	○	☆	
	専門演習 I	1	3年～		○	◎	◎	◎	
	専門演習 II	1	3年～		○	◎	◎	◎	
	卒業演習 I	1	4年～		○	◎	◎	◎	
	卒業演習 II	1	4年～		○	◎	◎	◎	
卒業論文	2	4年～	○	◎	◎	◎			
自由選択科目	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目 A・B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経済学科科目のカリキュラムに掲載されていない経済学科科目や国際学部国際学科の科目を履修した場合も当欄で単位を認定する。教職課程履修者は教職及び教科に関する科目からの履修も可。								14単位以上選択
に教職及び教科	※日本史概論 I	2	1年～						教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。
	※日本史概論 II	2	1年～						
	※世界史概論 I	2	1年～						
	※世界史概論 II	2	1年～						
	※地理学概論 I	2	1年～						
	※地理学概論 II	2	1年～						
	※地誌学 I	2	1年～						
	※地誌学 II	2	1年～						
	※哲学概論 I	2	1年～						
	※哲学概論 II	2	1年～						
	※比較政治学	2	1年～						
	※社会学概論	2	1年～						
	※自然地理学 I	2	1年～						
	※自然地理学 II	2	1年～						
	◎教育原論	2	1年～						
	◎教育課程論	2	1年～						
	◎発達心理学	2	1年～						
	◎教育心理学	2	1年～						
	◎特別支援教育概論	2	2年～						
	◎教職概論	2	1年～						
◎教育行政	2	2年～							
◎教育法規	2	2年～							
◎教育方法・技術論	2	2年～							

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	
教職及び 教科に関する科目	◎教育とICT活用	2	2年～						教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は※印の科目を単位修得した場合、教養科目の卒業単位とする。◎印の科目を単位修得した場合、自由選択科目の卒業単位とする。
	◎社会科・地歴科指導法Ⅰ	2	2年～						
	◎社会科・地歴科指導法Ⅱ	2	2年～						
	◎地理歴史科指導法	2	2年～						
	◎社会科・公民科指導法Ⅰ	2	2年～						
	◎社会科・公民科指導法Ⅱ	2	2年～						
	◎公民科指導法	2	2年～						
	◎道徳教育指導法	2	2年～						
	◎総合的な学習の時間の指導法	2	2年～						
	◎特別活動指導法	2	2年～						
	◎生徒・進路指導論	2	2年～						
	◎教育相談	2	2年～						
	◎教職実践演習	2	4年～						
	◎教育実習指導	1	3年～						
	◎中学校教育実習	4	4年～						
◎高等学校教育実習	2	4年～							
卒業要件単位数					124単位				

6 2023年度入学者卒業要件概念図 経営学科

科目区分		1年次	2年次	3年次
学部共通科目	基礎科目	必修	文章表現、口頭表現、基礎数学、入門経済学、入門経営学、キャリアデザインを学ぶ、キャリアプランニング、AI・DSへのいざない、健康科学、情報基礎Ⅰ、情報基礎Ⅱ、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ	
	言語科目	必修	英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、日本語ⅠA、日本語ⅠB、日本語ⅡA、日本語ⅡB	
	教養科目	選択	フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、応用中国語Ⅰ・Ⅱ、時事英語Ⅰ・Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ・講座Ⅰ・Ⅱ、SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、ListeningⅠ・Ⅱ、DebateⅠ・Ⅱ、English Conversation(オム、スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ、哲学、心理学、社会心理学、歴史学、中国文化Ⅰ・Ⅱ、文学、日本語学、言語学、環境科学、ボランティア活動	
	情報科目	選択	情報概論、データサイエンス総論、英語で学ぶPython	アルゴリズム論、プレゼンテーション論、情報セキュリティ論、AI概論、プログラミング
	キャリア科目	選択		実践会話Ⅰ・Ⅱ、キャリアディベロップメント、企業の魅力発見
経営学科専門科目	基本科目A	必修	経営学Ⅰ・Ⅱ、簿記・会計概論Ⅰ・Ⅱ	実地調査入門
	基本科目B	選択		経営戦略論Ⅰ・Ⅱ、経営組織論Ⅰ・Ⅱ、経営財務論Ⅰ・Ⅱ、マーケティング管理Ⅰ・Ⅱ、産業論、マーケティングリサーチⅠ・Ⅱ、流通論、原ビジネス論、生産管理、民法Ⅰ・Ⅱ、ビジネスデータ解析、情報
	企業経営コース	選択		コーポレートガバナンス論、企業と社会論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、経営立地論、地域産業論、情報マネジメント、知的財産権論、界経済地理、ホテル・ビジネス論
	商業・会計コース	選択		会計学Ⅰ・Ⅱ、簿記原理Ⅰ・Ⅱ、管理会計論、税務会計論Ⅰ・Ⅱ、地域社法、流通情報論、流通経営論、消費者行動論、サービスマーケティング調査、経営立地論、地域産業論
	スポーツビジネスコース	選択		スポーツビジネス論、スポーツ産業論、スポーツマーケティング概論、中小企業論Ⅰ・Ⅱ、地域企業経営論、サービスマーケティング動論、企業法、会社法、観光事業論Ⅰ・Ⅱ
	地域・起業コース	選択		千葉学、入門ツーリズムⅠ・Ⅱ、ベンチャービジネス論、地域事域企業経営論、経営立地論、地域産業論、千葉県の産業と行政、
	展開科目	選択		経済理論Ⅰ・Ⅱ、ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済政策論Ⅰ・Ⅱ、労働法、国際法Ⅰ・Ⅱ、経済統計Ⅰ・Ⅱ、日本経済論Ⅰ・Ⅱ、
	演習科目	必修		専門導入演習Ⅰ・Ⅱ
自由選択科目	選択	各科目区分で定める卒業要件単位数以外に教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科開講科目や国際学部国際学科開講科目、大学単位互換教職課程履修者は「教職及び強化に関する科目」(※印の科目を除く)の単位を自由選択科目の単位として		

教職及び教科に関する科目 (教職課程履修者のみ)	選択	教育原論、教育課程論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育概論、教職概論、教育行政、教育法規、合的な学習の時間の指導法、特別活動指導法、生徒・進路指導論、教育相談、教職実践演習、キャリア教育・
-----------------------------	----	--

次	4年次	単位	備考
		22	全科目22単位を修得する必要があります。
		4	日本人学生は英語、留学生は日本語4単位を修得する必要があります。
	Ⅱ、Basic Grammar I・Ⅱ、コリア語 I・Ⅱ、TOEIC向上 オンライン英会話) I・Ⅱ、敬天愛人講座、敬愛プログラ 法学、憲法、政治学、社会学、数学 I・Ⅱ、統計学 I・Ⅱ、	16	16単位以上を修得する必要があります。
ス実践		2	2単位以上を修得する必要があります。
I、実践的キャリ ンシップ、インター ターンシップ		2	2単位以上を修得する必要があります。
		10	全科目10単位を修得する必要があります。
ング論、経営分析I・Ⅱ、人的資源 価計算論I・Ⅱ、経営史I・Ⅱ、国際 ビジネス論 (3年～)		20	20単位以上を修得する必要があります。
国際産業組織論、多国籍企業論、国際貿易論、経営心理学、 経営シミュレーション、企業法、会社法、日本経済地理、世		10	各コースに属するものは、コース科目区分の中から10単位以上を修得する必 要があります。
企業会計論、金融商品取引法、会 ケティング論、Marketing Management、観光マーケティ		10	
グ論、スポーツ文化論、生涯スポーツ実習I・Ⅱ、スポーツ科 ング論、Marketing Management、経営心理学、消費者行		10	
業創造論、中小企業論I・Ⅱ、アントレプレナーシップ論、地 観光事業論I・Ⅱ		10	
I・Ⅱ、金融論I・Ⅱ、有価証券法、統計学総論I・Ⅱ、企業金融 銀行論I・Ⅱ、経済学特論I・Ⅱ		16	16単位以上を修得する必要があります。経済学科専門科目区分(基本科目A・ B、コース科目)で定める卒業要件単位数を超えて修得した単位分を展開科 目の単位として充当することができます。
	卒業演習I・Ⅱ、卒業論文	8	全科目8単位を修得する必要があります。
科目、展開科目から14単位以上修得する必要があります。 科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業要件とします。 充当することができます。		14	14単位以上を修得する必要があります。
教育方法・技術論、教育とICT活用、商業科指導法I・Ⅱ、総 職業指導I・Ⅱ、教育実習指導、高等学校教育実習			修得した単位は自由選択科目の卒業単位とします。

7 経営学科 2023カリキュラム表 (2023年度入学者)

経営学科DP		DP1. 社会人として必要かつ健全な倫理観と一般的教養を身につけ行動できる DP2. 経営学の基礎的知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP3. コースごとに設置された専門分野の知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP4. 思考・判断・実績する力を身に付けた企業人として変化に対応する力を身につける。 DP5. 多様性を理解し高いコミュニケーション力で、協働して目的を達成する力を身につける。											
		企業経営コース		商業・会計コース		スポーツビジネスコース		地域・起業コース					
到達目標		企業経営全般に関する応用的知識と考え方の修得		商業や会計に関する応用的知識と考え方の修得		スポーツビジネスに関する応用的知識と考え方の修得		地域（特に千葉県）に密着した産業特性と、個々の経営特性を修得し、起業家的能力を修得					
科目区分		経営学科設置科目名		単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目（最重要科目） ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目（発展科目）					卒業要件等	
							DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
学部共通科目	基礎科目	必修科目	文章表現	2	1年～	22単位	○						全科目22単位必修
			口頭表現	2	1年～		○						
			基礎数学	2	1年～		○						
			入門経済学	2	1年～		○						
			入門経営学	2	1年～		○						
			キャリアデザインを学ぶ	2	1年～		○						
			キャリアプランニング	2	1年～		○						
			AI・DSへのいざない	2	1年～		○						
			健康科学	2	1年～		○						
			情報基礎Ⅰ	1	1年～		○						
			情報基礎Ⅱ	1	1年～		○						
			基礎演習Ⅰ	1	1年～		○					○	
	基礎演習Ⅱ	1	1年～	○					○				
	言語科目	必修科目	英語ⅠA	1	1年～	4単位	○						日本人は、英語4単位必修
			英語ⅠB	1	1年～		○						
			英語ⅡA	1	1年～		○						
			英語ⅡB	1	1年～		○						
			日本語Ⅰ	2	1年～		○						
			日本語Ⅱ	2	1年～		○						
	教養科目	選択科目	フランス語Ⅰ	1	1年～	16単位	○						16単位以上選択
			フランス語Ⅱ	1	1年～		○						
			ドイツ語Ⅰ	1	1年～		○						
			ドイツ語Ⅱ	1	1年～		○						
			中国語Ⅰ	1	1年～		○						
			中国語Ⅱ	1	1年～		○						
			応用中国語Ⅰ	1	2年～		○						
			応用中国語Ⅱ	1	2年～		○						
			時事英語Ⅰ	1	2年～		○						
			時事英語Ⅱ	1	2年～		○						
			ビジネス英語Ⅰ	1	2年～		○						
			ビジネス英語Ⅱ	1	2年～		○						
			Basic GrammarⅠ	1	1年～		☆						
			Basic GrammarⅡ	1	1年～		☆						
			コリア語Ⅰ	1	1年～		☆						
			コリア語Ⅱ	1	1年～		☆						
			TOEIC向上講座Ⅰ	2	2年～		☆						
TOEIC向上講座Ⅱ			2	2年～	☆								
SpeakingⅠ			1	2年～	☆								
SpeakingⅡ			1	2年～	☆								
WritingⅠ			1	2年～	☆								
WritingⅡ			1	2年～	☆								
ListeningⅠ			1	2年～	☆								
ListeningⅡ			1	2年～	☆								
DebateⅠ	1	2年～	☆										
DebateⅡ	1	2年～	☆										
English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	1	1年～	☆										
English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	1	1年～	☆										
敬愛愛人講座	2	1年～	○										
敬愛プログラム	2	1年～	○			○	○						
スポーツ教育Ⅰ	1	1年～	☆										
スポーツ教育Ⅱ	1	1年～	☆										
哲学	2	1年～	☆										
心理学	2	1年～	○										
社会心理学	2	1年～	○										

科目区分		経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					卒業要件等				
						DP1	DP2	DP3	DP4	DP5					
学部共通科目	教養科目	歴史学	2	1年～	16単位	○					16単位以上選択				
		中国文化Ⅰ	2	1年～		○									
		中国文化Ⅱ	2	1年～		○									
		文学	2	1年～		○									
		日本語学	2	1年～		☆									
		言語学	2	1年～		☆									
		法学	2	1年～		○									
		憲法	2	1年～		☆									
		政治学	2	1年～		☆									
		社会学	2	1年～		☆									
		数学Ⅰ	2	1年～		☆									
		数学Ⅱ	2	1年～		☆									
		統計学Ⅰ	2	1年～		○									
		統計学Ⅱ	2	1年～		○									
		環境科学	2	1年～		☆									
	ボランティア活動	2	1年～	☆											
	情報科目	選択科目	情報概論	2	1年～	2単位	○					2単位以上選択			
			データサイエンス総論	2	1年～		○								
			英語で学ぶPython	2	1年～		☆								
			アルゴリズム論	2	2年～		○								
			プレゼンテーション論	2	2年～		☆								
			情報セキュリティ論	2	2年～		○								
			AI概論	2	2年～		○								
			プログラミング	2	2年～		○								
			AI・データサイエンス実践	2	3年～		○								
			実践会話Ⅰ	2	2年～		☆								
	キャリア科目	選択科目	実践会話Ⅱ	2	2年～	2単位	☆					2単位以上選択			
			キャリアディベロップメント	2	2年～		○			☆					
			企業の魅力発見	2	2年～		○								
			実践的キャリア演習Ⅰ	2	3年～		○								
			実践的キャリア演習Ⅱ	2	3年～		○								
			プレインターンシップ	2	3年～		○								
			インターンシップ	1	3年～		○								
ポストインターンシップ			2	3年～	○										
基本科目A	必修科目	経営学Ⅰ	2	1年～	10単位		◎				全科目必修 10単位				
		経営学Ⅱ	2	1年～			◎								
		簿記・会計概論Ⅰ	2	1年～			◎								
		簿記・会計概論Ⅱ	2	1年～			◎								
		実地調査入門	2	2年～			◎		○	○					
		経営学科専門科目	基本科目B	経営戦略論Ⅰ		2	2年～	20単位		◎					20単位以上選択
				経営戦略論Ⅱ		2	2年～			◎					
				経営組織論Ⅰ		2	2年～			◎					
				経営組織論Ⅱ		2	2年～			◎					
				経営財務論Ⅰ		2	2年～			◎					
経営財務論Ⅱ	2			2年～		◎									
マーケティング論	2			2年～		○									
経営分析Ⅰ	2			2年～		○									
経営分析Ⅱ	2			2年～		○									
人的資源管理Ⅰ	2			2年～		○									
人的資源管理Ⅱ	2		2年～		○										
産業論	2		2年～		○										
マーケティングリサーチⅠ	2		2年～		○										
マーケティングリサーチⅡ	2		2年～		○										
流通論	2		2年～		○										
原価計算論Ⅰ	2		2年～		☆										
原価計算論Ⅱ	2		2年～		☆										
経営史Ⅰ	2		2年～		☆										
経営史Ⅱ	2		2年～		☆										
国際ビジネス論	2		2年～		○										
生産管理	2	2年～		☆											
民法Ⅰ	2	2年～		☆											
民法Ⅱ	2	2年～		☆											
ビジネスデータ解析	2	2年～		○											
情報ビジネス論	2	3年～		☆											
企業経営コース	選択科目	コーポレートガバナンス論	2	2年～	10単位			○			10単位以上選択				
		企業と社会論	2	2年～			○								
		中小企業論Ⅰ	2	2年～			○								
		中小企業論Ⅱ	2	2年～			○								
		国際産業組織論	2	2年～			○								

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目（最重要科目） ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目（発展科目）					卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
企業経営コース科目	選択科目	多国籍企業論	2	2年～			○			10単位以上選択
		国際貿易論	2	2年～			○			
		経営心理学	2	2年～			○			
		経営立地論	2	2年～			○			
		地域産業論	2	2年～			○			
		情報マネジメント	2	2年～			○			
		知的財産権論	2	2年～			○			
		経営シミュレーション	2	2年～			○			
		企業法	2	2年～			○			
		会社法	2	2年～			○			
		日本経済地理	2	2年～			○			
		世界経済地理	2	2年～			○			
		ホテル・ビジネス論	2	2年～			○			
商業・会計コース科目	選択科目	会計学Ⅰ	2	2年～			○			10単位以上選択
		会計学Ⅱ	2	2年～			○			
		簿記原理Ⅰ	2	2年～			○			
		簿記原理Ⅱ	2	2年～			○			
		管理会計論	2	2年～			○			
		税務会計論Ⅰ	2	2年～			☆			
		税務会計論Ⅱ	2	2年～			☆			
		地域企業会計論	2	2年～			☆			
		金融商品取引法	2	2年～			☆			
		会社法	2	2年～			☆			
		流通情報論	2	2年～			○			
		流通経営論	2	2年～			○			
		消費者行動論	2	2年～			○			
		サービスマーケティング論	2	2年～			○			
		Marketing Management	2	2年～			☆			
観光マーケティング調査	2	2年～			☆					
経営立地論	2	2年～			○					
地域産業論	2	2年～			○					
スポーツビジネスコース科目	選択科目	スポーツビジネス論	2	2年～			○			10単位以上選択
		スポーツ産業論	2	2年～			○			
		スポーツマーケティング論	2	2年～			○			
		スポーツ文化論	2	2年～			○			
		生涯スポーツ実習Ⅰ	1	2年～			○			
		生涯スポーツ実習Ⅱ	1	2年～			○			
		スポーツ科学概論	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅰ	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅱ	2	2年～			○			
		地域企業経営論	2	2年～			○			
		サービスマーケティング論	2	2年～			○			
		Marketing Management	2	2年～			☆			
		経営心理学	2	2年～			○			
		消費者行動論	2	2年～			○			
		企業法	2	2年～			○			
会社法	2	2年～			○					
観光事業論Ⅰ	2	2年～			☆					
観光事業論Ⅱ	2	2年～			☆					
地域・起業コース科目	選択科目	千葉学	2	1年～			○			10単位以上選択
		入門ツーリズムⅠ	2	1年～			○			
		入門ツーリズムⅡ	2	1年～			○			
		ベンチャービジネス論	2	2年～			○			
		地域事業創造論	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅰ	2	2年～			○			
		中小企業論Ⅱ	2	2年～			○			
		アントレプレナーシップ論	2	2年～			○			
		地域企業経営論	2	2年～			○			
		管理会計論	2	2年～			☆			
		地域企業会計論	2	2年～			○			
		経営立地論	2	2年～			○			
		地域産業論	2	2年～			○			
		千葉県の産業と行政	2	2年～			○			
		旅行ビジネス論	2	2年～			○			
地域観光論	2	2年～			○					
観光事業論Ⅰ	2	2年～			○					
観光事業論Ⅱ	2	2年～			○					
経済理論	経済理論Ⅰ	2	2年～			☆				
	経済理論Ⅱ	2	2年～			☆				

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目 ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					卒業要件等			
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5				
経営学科専門科目	展開科目 選択科目	ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～			☆			16単位以上選択			
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2年～			☆						
		マクロ経済学Ⅰ	2	2年～			☆						
		マクロ経済学Ⅱ	2	2年～			☆						
		経済政策Ⅰ	2	2年～			☆						
		経済政策Ⅱ	2	2年～			☆						
		金融論Ⅰ	2	2年～			☆						
		金融論Ⅱ	2	2年～			☆						
		有価証券法	2	2年～			○						
		統計学総論Ⅰ	2	2年～			○						
		統計学総論Ⅱ	2	2年～			○						
		企業金融論Ⅰ	2	2年～			☆						
		企業金融論Ⅱ	2	2年～			☆						
		労働法	2	2年～			☆						
		国際法Ⅰ	2	2年～			☆						
		国際法Ⅱ	2	2年～			☆						
		経済統計Ⅰ	2	2年～			☆						
		経済統計Ⅱ	2	2年～			☆						
		日本経済論Ⅰ	2	2年～			☆						
		日本経済論Ⅱ	2	2年～			☆						
		銀行論Ⅰ	2	2年～			☆						
		銀行論Ⅱ	2	2年～			☆						
		経済学特論Ⅰ	2	2年～			○						
		経済学特論Ⅱ	2	2年～			○						
		演習科目	必修科目	専門導入演習Ⅰ	1	2年～		○	○		○	○	全科目必修8単位
				専門導入演習Ⅱ	1	2年～		○	○		○	○	
				専門演習Ⅰ	1	3年～		○	○		○	○	
専門演習Ⅱ	1			3年～		○	○	○	○				
卒業演習Ⅰ	1			4年～		○	○	○	○				
卒業演習Ⅱ	1			4年～		○	○	○	○				
卒業論文・卒業研究	2			4年～		○	○	○	○				
自由選択科目	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科科目や国際学部国際学科の科目を履修した場合、エアポートNARITA地域産業学開講科目も当欄で単位認定する。教職課程履修者は教職及び教科に関する科目からの履修も可。								14単位以上選択				
教職及び教科に関する科目	◎教育原論	2	1年～						教職課程履修者のみ履修可 教職課程履修者は◎印の科目を修得することで、自由選択科目の単位に充当することができる。				
	◎教育課程論	2	1年～										
	◎発達心理学	2	1年～										
	◎教育心理学	2	1年～										
	◎特別支援教育概論	2	2年～										
	◎教職概論	2	1年～										
	◎教育行政	2	2年～										
	◎教育法規	2	2年～										
	◎教育方法・技術論	2	2年～										
	◎教育とICT活用	2	2年～										
	◎商業科指導法Ⅰ	2	2年～										
	◎商業科指導法Ⅱ	2	2年～										
	◎総合的な学習の時間の指導法	2	2年～										
	◎特別活動指導法	2	2年～										
	◎生徒・進路指導論	2	2年～										
	◎教育相談	2	2年～										
	◎教職実践演習	2	4年～										
◎キャリア教育・職業指導Ⅰ	2	2年～											
◎キャリア教育・職業指導Ⅱ	2	2年～											
◎教育実習指導	1	3年～											
◎高等学校教育実習	2	4年～											
卒業要件単位数				124単位									

5

学習支援体制

1 経済学常識試験

- (1) 経済学部では、経済学科の2・3年生を対象として「経済学常識試験」を実施しています。
- (2) この「経済学常識試験」は、経済学科生として理解しておくことが望ましい経済学の概念や歴史などの基礎的知識から、理論や経済政策の専門知識など経済学全般にわたって出題されます。
- (3) この試験の結果は、各自の経済学理解のポートフォリオとなります。学生間で点数を競ったり、合否の判定を行ったりするものではありません。
- (4) また、経済学科の教員は出題分野ごとの平均点などの情報を共有し、授業改善の材料としています。

6

2023-2026年度 科目名変更一覧

①経済学科開講科目

		2026年度入学者の科目名	2025年度入学者の科目名	2024・2023年度入学者の科目名	
学 部 共 通 教 養 科 目	基 礎 科 目	文章表現	文章表現	文章表現	
		口頭表現	口頭表現	口頭表現	
		基礎数学	基礎数学	基礎数学	
		入門経済学	入門経済学	入門経済学	
		入門経営学	入門経営学	入門経営学	
		キャリアデザインを学ぶ キャリアプランニング	キャリアデザインを学ぶ キャリアプランニング	キャリアデザインを学ぶ キャリアプランニング	
		AI・DS へのいざない	AI・DS へのいざない	AI・DS へのいざない	
		健康科学	健康科学	健康科学	
		情報基礎 I	情報基礎 I	情報基礎 I	
		情報基礎 II	情報基礎 II	情報基礎 II	
		基礎演習 I	基礎演習 I	基礎演習 I	
		基礎演習 II	基礎演習 II	基礎演習 II	
	言 語 科 目	英語 I A	英語 I A	英語 I A	
		英語 I B	英語 I B	英語 I B	
		英語 II A	英語 II A	英語 II A	
		英語 II B	英語 II B	英語 II B	
		日本語 I	日本語 I	日本語 I	
		日本語 II	日本語 II	日本語 II	
		教 養 言 語 科 目	フランス語 I	フランス語 I	フランス語 I
			フランス語 II	フランス語 II	フランス語 II
			ドイツ語 I	ドイツ語 I	ドイツ語 I
			ドイツ語 II	ドイツ語 II	ドイツ語 II
			中国語 I	中国語 I	中国語 I
			中国語 II	中国語 II	中国語 II
	応用中国語 I		応用中国語 I		
	応用中国語 II		応用中国語 II		
	時事英語 I		時事英語 I	時事英語 I	
時事英語 II	時事英語 II		時事英語 II		
ビジネス英語 I	ビジネス英語 I		ビジネス英語 I		
ビジネス英語 II	ビジネス英語 II		ビジネス英語 II		
教 養 言 語 科 目	Basic Grammar I	Basic Grammar I	Basic Grammar I		
	Basic Grammar II	Basic Grammar II	Basic Grammar II		
	TOE I C®向上講座 I	TOE I C®向上講座 I	TOEIC®向上講座 I		
	TOE I C®向上講座 II	TOE I C®向上講座 II	TOEIC®向上講座 II		
	コリア語 I	コリア語 I	コリア語 I		
	コリア語 II	コリア語 II	コリア語 II		
	Speaking I	Speaking I	Speaking I		
	Speaking II	Speaking II	Speaking II		
	Writing I	Writing I	Writing I		
	Writing II	Writing II	Writing II		
	Listening I	Listening I	Listening I		
	Listening II	Listening II	Listening II		
教 養 言 語 科 目	Debate I	Debate I	Debate I		
	Debate II	Debate II	Debate II		
	English Conversation (オンライン英会話) I	English Conversation (オンライン英会話) I			
	English Conversation (オンライン英会話) II	English Conversation (オンライン英会話) II			
	敬天愛人講座	敬天愛人講座	敬天愛人講座		
	敬愛プログラム	敬愛プログラム	敬愛プログラム		
	スポーツ教育 I・II	スポーツ教育 I・II	スポーツ教育 I・II		
	哲学	哲学	哲学		
	心理学	心理学	心理学		
	社会心理学	社会心理学	社会心理学		
	歴史学	歴史学	歴史学		
	中国文化 I	中国文化 I			

Ⅲ
カリキュラム表

		2026年度入学者の科目名	2025年度入学者の科目名	2024・2023年度入学者の科目名
学 部 共 同 科 目	教 養 科 目	中国文化Ⅱ	中国文化Ⅱ	
		文学	文学	文学
		日本語学	日本語学	日本語学
		言語学	言語学	言語学
		法学	法学	法学
		憲法	憲法	憲法
		政治学	政治学	政治学
		社会学	社会学	社会学
		数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ
		数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ
		統計学Ⅰ	統計学Ⅰ	統計学Ⅰ
		統計学Ⅱ	統計学Ⅱ	統計学Ⅱ
		環境科学	環境科学	環境科学
		ボランティア活動	ボランティア活動	ボランティア活動
		金融リテラシー	金融リテラシー	
通 報 科 目	情 報 科 目	情報概論	情報概論	情報概論
		データサイエンス総論	データサイエンス総論	データサイエンス総論
		英語で学ぶPython	英語で学ぶPython	英語で学ぶPython
		アルゴリズム論	アルゴリズム論	アルゴリズム論
		プレゼンテーション論	プレゼンテーション論	プレゼンテーション論
		情報セキュリティ論	情報セキュリティ論	情報セキュリティ論
		AI概論	AI概論	AI概論
		プログラミング	プログラミング	プログラミング
		AI・データサイエンス実践	AI・データサイエンス実践	AI・データサイエンス実践
		目	キ ャ リ ア 科 目	実践会話Ⅰ
実践会話Ⅱ	実践会話Ⅱ			実践会話Ⅱ
キャリアディベロップメント	キャリアディベロップメント			キャリアディベロップメント
実践的キャリア演習Ⅰ	実践的キャリア演習Ⅰ			実践的キャリア演習Ⅰ
実践的キャリア演習Ⅱ	実践的キャリア演習Ⅱ			実践的キャリア演習Ⅱ
企業の魅力発見	企業の魅力発見			企業の魅力発見
プレインターンシップ	プレインターンシップ			プレインターンシップ
インターンシップ	インターンシップ			インターンシップ
ポストインターンシップ	ポストインターンシップ			ポストインターンシップ
経 済 学 科 専 門 科 目	基 本 科 目 A			経済理論A
		経済理論B	経済理論B	経済理論Ⅱ
		日本経済史Ⅰ	日本経済史Ⅰ	日本経済史Ⅰ
		日本経済史Ⅱ	日本経済史Ⅱ	日本経済史Ⅱ
		西洋経済史Ⅰ	西洋経済史Ⅰ	西洋経済史Ⅰ
		西洋経済史Ⅱ	西洋経済史Ⅱ	西洋経済史Ⅱ
		フィールドワーク入門	フィールドワーク入門	フィールドワーク入門
目 B	基 本 科 目 B	ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ
		ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学Ⅱ
		マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学Ⅰ
		マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済学Ⅱ
		経済政策Ⅰ	経済政策Ⅰ	経済政策Ⅰ
		経済政策Ⅱ	経済政策Ⅱ	経済政策Ⅱ
		経済学特論Ⅰ	経済学特論Ⅰ	経済学特論Ⅰ
		経済学特論Ⅱ	経済学特論Ⅱ	経済学特論Ⅱ
		社会政策Ⅰ	社会政策Ⅰ	社会政策Ⅰ
		社会政策Ⅱ	社会政策Ⅱ	社会政策Ⅱ
		財政学Ⅰ	財政学Ⅰ	財政学Ⅰ
		財政学Ⅱ	財政学Ⅱ	財政学Ⅱ
		金融論Ⅰ	金融論Ⅰ	金融論Ⅰ
		金融論Ⅱ	金融論Ⅱ	金融論Ⅱ
		国際経済論Ⅰ	国際経済論Ⅰ	国際経済論Ⅰ
国際経済論Ⅱ	国際経済論Ⅱ	国際経済論Ⅱ		
簿記・会計概論Ⅰ	簿記・会計概論Ⅰ	簿記・会計概論Ⅰ		
簿記・会計概論Ⅱ	簿記・会計概論Ⅱ	簿記・会計概論Ⅱ		
会計学Ⅰ	会計学Ⅰ	会計学Ⅰ		
会計学Ⅱ	会計学Ⅱ	会計学Ⅱ		
民法Ⅰ	民法Ⅰ	民法Ⅰ		

		2026年度入学者の科目名	2025年度入学者の科目名	2024・2023年度入学者の科目名		
経済学	基本科目B	民法Ⅱ	民法Ⅱ	民法Ⅱ		
		統計学総論Ⅰ	統計学総論Ⅰ	統計学総論Ⅰ		
		統計学総論Ⅱ	統計学総論Ⅱ	統計学総論Ⅱ		
		知的財産権論	知的財産権論	知的財産権論		
		情報マネジメント	情報マネジメント	情報マネジメント		
		公共経済学	コース科目	公共経済学	公共経済学	公共経済学
				公共選択論	公共選択論	公共選択論
				地方財政論Ⅰ	地方財政論Ⅰ	地方財政論Ⅰ
				地方財政論Ⅱ	地方財政論Ⅱ	地方財政論Ⅱ
				地方自治論Ⅰ	地方自治論Ⅰ	地方自治論Ⅰ
				地方自治論Ⅱ	地方自治論Ⅱ	地方自治論Ⅱ
				社会保障論Ⅰ	社会保障論Ⅰ	社会保障論Ⅰ
				社会保障論Ⅱ	社会保障論Ⅱ	社会保障論Ⅱ
				社会福祉論	社会福祉論	社会福祉論
				福祉経済論	福祉経済論	福祉経済論
				行政法Ⅰ	行政法Ⅰ	行政法Ⅰ
				行政法Ⅱ	行政法Ⅱ	行政法Ⅱ
				企業法	企業法	企業法
				会社法	会社法	会社法
				経済統計Ⅰ	経済統計Ⅰ	経済統計Ⅰ
				経済統計Ⅱ	経済統計Ⅱ	経済統計Ⅱ
				進路支援講座A (数的リテラシー)	進路支援講座A (数的リテラシー)	進路支援講座Ⅰ (コース共通)
				進路支援講座B (数的リテラシー)	進路支援講座B (数的リテラシー)	進路支援講座Ⅱ (コース共通)
				進路支援講座C (公務員)	進路支援講座C (公務員)	進路支援講座Ⅲ (公務員)
				進路支援講座D (公務員)	進路支援講座D (公務員)	進路支援講座Ⅳ (公務員)
				進路支援講座E (公務員)	進路支援講座E (公務員)	進路支援講座Ⅴ (公務員)
進路支援講座F (公務員)	進路支援講座F (公務員)			進路支援講座Ⅵ (公務員)		
進路支援講座G (日経新聞を読む)	進路支援講座G (日経新聞を読む)					
進路支援講座H (日経新聞を読む)	進路支援講座H (日経新聞を読む)					
進路支援講座I (教職)	進路支援講座I (教職)					
進路支援講座J (教職)	進路支援講座J (教職)					
専門科目	金融経済コース科目	証券経済論Ⅰ	証券経済論Ⅰ	証券経済論Ⅰ		
		証券経済論Ⅱ	証券経済論Ⅱ	証券経済論Ⅱ		
		銀行論Ⅰ	銀行論Ⅰ	銀行論Ⅰ		
		銀行論Ⅱ	銀行論Ⅱ	銀行論Ⅱ		
		国際金融論Ⅰ	国際金融論Ⅰ	国際金融論Ⅰ		
		国際金融論Ⅱ	国際金融論Ⅱ	国際金融論Ⅱ		
		企業金融論Ⅰ	企業金融論Ⅰ	企業金融論Ⅰ		
		企業金融論Ⅱ	企業金融論Ⅱ	企業金融論Ⅱ		
		保険論	保険論	保険論		
		金融事情Ⅰ	金融事情Ⅰ	金融事情Ⅰ		
		金融事情Ⅱ	金融事情Ⅱ	金融事情Ⅱ		
		有価証券法	有価証券法	有価証券法		
		企業法	企業法	企業法		
		会社法	会社法	会社法		
		経済統計Ⅰ	経済統計Ⅰ	経済統計Ⅰ		
		経済統計Ⅱ	経済統計Ⅱ	経済統計Ⅱ		
		進路支援講座A (数的リテラシー)	進路支援講座A (数的リテラシー)	進路支援講座Ⅰ (コース共通)		
		進路支援講座B (数的リテラシー)	進路支援講座B (数的リテラシー)	進路支援講座Ⅱ (コース共通)		
				進路支援講座Ⅲ (IT)		
				進路支援講座Ⅳ (IT)		
				進路支援講座Ⅴ (日経新聞を読む)		
				進路支援講座Ⅵ (日経新聞を読む)		
履修一覧	コース科目	日本経済論Ⅰ	日本経済論Ⅰ	日本経済論Ⅰ		
		日本経済論Ⅱ	日本経済論Ⅱ	日本経済論Ⅱ		
		日本経済地理	日本経済地理	日本経済地理		

Ⅲ
カリキュラム表

	2026年度入学者の科目名	2025年度入学者の科目名	2024・2023年度入学者の科目名
自由選択科目	空港ビジネス	空港ビジネス	空港ビジネス
	流通経営論	流通経営論	流通経営論
	マーケティング論	マーケティング論	マーケティング論
	Marketing Management	Marketing Management	Marketing Management
	ホスピタリティ	ホスピタリティ	ホスピタリティ
	エアライン論	エアライン論	エアライン論
	航空物流論	航空物流論	航空物流論
	地域企業経営論	地域企業経営論	地域企業経営論
	中小企業論Ⅰ	中小企業論Ⅰ	中小企業論Ⅰ
	中小企業論Ⅱ	中小企業論Ⅱ	中小企業論Ⅱ
	ベンチャービジネス論	ベンチャービジネス論	ベンチャービジネス論
	観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅰ
	観光事業論Ⅱ	観光事業論Ⅱ	観光事業論Ⅱ
	入門ツーリズムⅠ	入門ツーリズムⅠ	入門ツーリズムⅠ
	入門ツーリズムⅡ	入門ツーリズムⅡ	入門ツーリズムⅡ
	旅行ビジネス論	旅行ビジネス論	旅行ビジネス論
	地域観光論	地域観光論	地域観光論
	ホテル・ビジネス論	ホテル・ビジネス論	ホテル・ビジネス論
	千葉県の産業と行政	千葉県の産業と行政	千葉県の産業と行政
	マーケティングリサーチⅠ	マーケティングリサーチⅠ	マーケティング・リサーチⅠ
	マーケティングリサーチⅡ	マーケティングリサーチⅡ	マーケティング・リサーチⅡ
	観光マーケティング調査	観光マーケティング調査	観光マーケティング調査
	社会調査法Ⅰ	社会調査法Ⅰ	社会調査法Ⅰ
	社会調査法Ⅱ	社会調査法Ⅱ	社会調査法Ⅱ
	管理会計論	管理会計論	管理会計論
	社会調査実習Ⅰ	社会調査実習Ⅰ	社会調査実習Ⅰ
	社会調査実習Ⅱ	社会調査実習Ⅱ	社会調査実習Ⅱ
		その他	その他
教職及び教科に関する科目	※日本史概論Ⅰ	※日本史概論Ⅰ	※日本史概論Ⅰ
	※日本史概論Ⅱ	※日本史概論Ⅱ	※日本史概論Ⅱ
	※世界史概論Ⅰ	※世界史概論Ⅰ	※世界史概論Ⅰ
	※世界史概論Ⅱ	※世界史概論Ⅱ	※世界史概論Ⅱ
	※地理学概論Ⅰ	※地理学概論Ⅰ	※地理学概論Ⅰ
	※地理学概論Ⅱ	※地理学概論Ⅱ	※地理学概論Ⅱ
	※地誌学Ⅰ	※地誌学Ⅰ	※地誌学Ⅰ
	※地誌学Ⅱ	※地誌学Ⅱ	※地誌学Ⅱ
	※哲学概論Ⅰ	※哲学概論Ⅰ	※哲学概論Ⅰ
	※哲学概論Ⅱ	※哲学概論Ⅱ	※哲学概論Ⅱ
	※比較政治学	※比較政治学	※比較政治学
	※社会学概論	※社会学概論	※社会学概論
	※自然地理学Ⅰ	※自然地理学Ⅰ	※自然地理学Ⅰ
	※自然地理学Ⅱ	※自然地理学Ⅱ	※自然地理学Ⅱ
	○教育原論	○教育原論	○教育原論
	○教育課程論	○教育課程論	○教育課程論
	○発達心理学	○発達心理学	○発達心理学
	○教育心理学	○教育心理学	○教育心理学
	○特別支援教育概論	○特別支援教育概論	○特別支援教育概論
	○教職概論	○教職概論	○教職概論
	○教育行政	○教育行政	○教育行政
	○教育法規	○教育法規	○教育法規
	○教育方法・技術論	○教育方法・技術論	○教育方法・技術論
	○教育とICT活用	○教育とICT活用	○教育とICT活用
	○社会科・地歴科指導法Ⅰ	○社会科・地歴科指導法Ⅰ	○社会科・地歴科指導法Ⅰ
	○社会科・地歴科指導法Ⅱ	○社会科・地歴科指導法Ⅱ	○社会科・地歴科指導法Ⅱ
	○地理歴史科指導法	○地理歴史科指導法	○地理歴史科指導法
	○社会科・公民科指導法Ⅰ	○社会科・公民科指導法Ⅰ	○社会科・公民科指導法Ⅰ
○社会科・公民科指導法Ⅱ	○社会科・公民科指導法Ⅱ	○社会科・公民科指導法Ⅱ	
○公民科指導法	○公民科指導法	○公民科指導法	
○商業科指導法Ⅰ	○商業科指導法Ⅰ		
○商業科指導法Ⅱ	○商業科指導法Ⅱ		
○道徳教育指導法	○道徳教育指導法	○道徳教育指導法	

Ⅲ
カリキュラム表

	2026年度入学者の科目名	2025年度入学者の科目名	2024・2023年度入学者の科目名
教職及び教科に関する科目	◎総合的な学習の時間の指導法	◎総合的な学習の時間の指導法	◎総合的な学習の時間の指導法
	◎特別活動指導法	◎特別活動指導法	◎特別活動指導法
	◎生徒・進路指導論	◎生徒・進路指導論	◎生徒・進路指導論
	◎教育相談	◎教育相談	◎教育相談
	◎教職実践演習（中・高）	◎教職実践演習（中・高）	◎教職実践演習（中・高）
	◎教育実習指導	◎教育実習指導	◎教育実習指導
	◎中学校教育実習	◎中学校教育実習	◎中学校教育実習
	◎高等学校教育実習	◎高等学校教育実習	◎高等学校教育実習

②経営学科開講科目

		2026年度入学者の科目名	2025年度入学者の科目名	2024・2023年度入学者の科目名	
学 部 共 通 科 目	基 礎 科 目	文章表現	文章表現	文章表現	
		口頭表現	口頭表現	口頭表現	
		基礎数学	基礎数学	基礎数学	
		入門経済学	入門経済学	入門経済学	
		入門経営学	入門経営学	入門経営学	
		キャリアデザインを学ぶ	キャリアデザインを学ぶ	キャリアデザインを学ぶ	
		キャリアプランニング	キャリアプランニング	キャリアプランニング	
		AI・DS へのいざない	AI・DS へのいざない	AI・DS へのいざない	
		健康科学	健康科学	健康科学	
		情報基礎 I	情報基礎 I	情報基礎 I	
		情報基礎 II	情報基礎 II	情報基礎 II	
		基礎演習 I	基礎演習 I	基礎演習 I	
	基礎演習 II	基礎演習 II	基礎演習 II		
	言 語 科 目	英語 I A	英語 I A	英語 I A	
		英語 I B	英語 I B	英語 I B	
		英語 II A	英語 II A	英語 II A	
		英語 II B	英語 II B	英語 II B	
		日本語 I	日本語 I	日本語 I	
		日本語 II	日本語 II	日本語 II	
		教 養 言 語 科 目	フランス語 I	フランス語 I	フランス語 I
			フランス語 II	フランス語 II	フランス語 II
			ドイツ語 I	ドイツ語 I	ドイツ語 I
			ドイツ語 II	ドイツ語 II	ドイツ語 II
			中国語 I	中国語 I	中国語 I
			中国語 II	中国語 II	中国語 II
	応用中国語 I		応用中国語 I		
	応用中国語 II		応用中国語 II		
	時事英語 I		時事英語 I	時事英語 I	
	時事英語 II		時事英語 II	時事英語 II	
	ビジネス英語 I		ビジネス英語 I	ビジネス英語 I	
	ビジネス英語 II		ビジネス英語 II	ビジネス英語 II	
	教 養 科 目	Basic Grammar I	Basic Grammar I	Basic Grammar I	
		Basic Grammar II	Basic Grammar II	Basic Grammar II	
		TOEIC®向上講座 I	TOEIC®向上講座 I	TOEIC®向上講座 I	
		TOEIC®向上講座 II	TOEIC®向上講座 II	TOEIC®向上講座 II	
		コリア語 I	コリア語 I	コリア語 I	
		コリア語 II	コリア語 II	コリア語 II	
		Speaking I	Speaking I	Speaking I	
		Speaking II	Speaking II	Speaking II	
		Writing I	Writing I	Writing I	
		Writing II	Writing II	Writing II	
		Listening I	Listening I	Listening I	
Listening II		Listening II	Listening II		
一 般 教 養 科 目	Debate I	Debate I	Debate I		
	Debate II	Debate II	Debate II		
	English Conversation (オンライン英会話) I	English Conversation (オンライン英会話) I			
	English Conversation (オンライン英会話) II	English Conversation (オンライン英会話) II			
	敬天愛人講座	敬天愛人講座	敬天愛人講座		
	敬愛プログラム	敬愛プログラム	敬愛プログラム		
	スポーツ教育 I・II	スポーツ教育 I・II	スポーツ教育 I・II		
	哲学	哲学	哲学		
	心理学	心理学	心理学		
	社会心理学	社会心理学	社会心理学		
	歴史学	歴史学	歴史学		
	中国文化 I	中国文化 I			
中国文化 II	中国文化 II				
文学	文学	文学			
日本語学	日本語学	日本語学			
言語学	言語学	言語学			
法学	法学	法学			

Ⅲ
カリキュラム表

		2026年度入学者の科目名	2025年度入学者の科目名	2024・2023年度入学者の科目名	
学 部	教 養 科 目	憲法	憲法	憲法	
		政治学	政治学	政治学	
		社会学	社会学	社会学	
		数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	
		数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	
		統計学Ⅰ	統計学Ⅰ	統計学Ⅰ	
		統計学Ⅱ	統計学Ⅱ	統計学Ⅱ	
		環境科学	環境科学	環境科学	
		ボランティア活動	ボランティア活動	地域ボランティア活動	
		金融リテラシー	金融リテラシー		
	税の基礎知識				
共 通 科 目	情 報 科 目	情報概論	情報概論	情報概論	
		データサイエンス総論	データサイエンス総論	データサイエンス総論	
		英語で学ぶPython	英語で学ぶPython	英語で学ぶPython	
		アルゴリズム論	アルゴリズム論	アルゴリズム論	
		プレゼンテーション論	プレゼンテーション論	プレゼンテーション論	
		情報セキュリティ論	情報セキュリティ論	情報セキュリティ論	
		AI概論	AI概論	AI概論	
		プログラミング	プログラミング	プログラミング	
		AI・データサイエンス実践	AI・データサイエンス実践	AI・データサイエンス実践	
目	キ ャ リ ア 科 目	実践会話Ⅰ	実践会話Ⅰ	実践会話Ⅰ	
		実践会話Ⅱ	実践会話Ⅱ	実践会話Ⅱ	
		キャリアディベロップメント	キャリアディベロップメント	キャリアディベロップメント	
		実践的キャリア演習Ⅰ	実践的キャリア演習Ⅰ	実践的キャリア演習Ⅰ	
		実践的キャリア演習Ⅱ	実践的キャリア演習Ⅱ	実践的キャリア演習Ⅱ	
		企業の魅力発見	企業の魅力発見	企業の魅力発見	
		プレインターンシップ	プレインターンシップ	プレインターンシップ	
		インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ	
		ポストインターンシップ	ポストインターンシップ	ポストインターンシップ	
経 営 学 科 専 門 科 目	基 本 科 目 A	経営学Ⅰ	経営学Ⅰ	経営学Ⅰ	
		経営学Ⅱ	経営学Ⅱ	経営学Ⅱ	
		簿記・会計概論Ⅰ	簿記・会計概論Ⅰ	簿記・会計概論Ⅰ	
		簿記・会計概論Ⅱ	簿記・会計概論Ⅱ	簿記・会計概論Ⅱ	
		実地調査入門	実地調査入門	実地調査入門	
		基 本 科 目 B	経営戦略論Ⅰ	経営戦略論Ⅰ	経営戦略論Ⅰ
			経営戦略論Ⅱ	経営戦略論Ⅱ	経営戦略論Ⅱ
			経営組織論Ⅰ	経営組織論Ⅰ	経営組織論Ⅰ
			経営組織論Ⅱ	経営組織論Ⅱ	経営組織論Ⅱ
			経営財務論Ⅰ	経営財務論Ⅰ	経営財務論Ⅰ
	経営財務論Ⅱ		経営財務論Ⅱ	経営財務論Ⅱ	
	マーケティング論		マーケティング論	マーケティング論	
	経営分析Ⅰ		経営分析Ⅰ	経営分析Ⅰ	
	経営分析Ⅱ		経営分析Ⅱ	経営分析Ⅱ	
	人的資源管理Ⅰ		人的資源管理Ⅰ	人的資源管理Ⅰ	
	人的資源管理Ⅱ	人的資源管理Ⅱ	人的資源管理Ⅱ		
	科 目	産業論	産業論	産業論	
		マーケティングリサーチⅠ	マーケティングリサーチⅠ	マーケティングリサーチⅠ	
		マーケティングリサーチⅡ	マーケティングリサーチⅡ	マーケティングリサーチⅡ	
		流通論	流通論	流通論	
		原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅰ	
		原価計算論Ⅱ	原価計算論Ⅱ	原価計算論Ⅱ	
		経営史Ⅰ	経営史Ⅰ	経営史Ⅰ	
		経営史Ⅱ	経営史Ⅱ	経営史Ⅱ	
		国際ビジネス論	国際ビジネス論	国際ビジネス論	
		生産管理	生産管理	生産管理	
	こ う す	民法Ⅰ	民法Ⅰ	民法Ⅰ	
		民法Ⅱ	民法Ⅱ	民法Ⅱ	
		ビジネスデータ解析	ビジネスデータ解析	ビジネスデータ解析	
		情報ビジネス論	情報ビジネス論	情報ビジネス論	
コーポレートガバナンス論		コーポレートガバナンス論	コーポレートガバナンス論		
企業と社会論		企業と社会論	企業と社会論		
中小企業論Ⅰ		中小企業論Ⅰ	中小企業論Ⅰ		

		2026年度入学者の科目名	2025年度入学者の科目名	2024・2023年度入学者の科目名
専 門 科 目	企 業 經 営 コ ー ス	中小企業論Ⅱ	中小企業論Ⅱ	中小企業論Ⅱ
		国際産業組織論	国際産業組織論	国際産業組織論
		多国籍企業論	多国籍企業論	多国籍企業論
		国際貿易論	国際貿易論	国際貿易論
		経営心理学	経営心理学	経営心理学
		経営立地論	経営立地論	経営立地論
		地域産業論	地域産業論	地域産業論
		情報マネジメント	情報マネジメント	情報マネジメント
		知的財産権論	知的財産権論	知的財産権論
		経営シミュレーション	経営シミュレーション	経営シミュレーション
	企業法	企業法	企業法	
	会社法	会社法	会社法	
	日本経済地理	日本経済地理	日本経済地理	
	世界経済地理	世界経済地理	世界経済地理	
	ホテル・ビジネス論	ホテル・ビジネス論	ホテル・ビジネス論	
	商 業 ・ 会 計 コ ー ス	会計学Ⅰ	会計学Ⅰ	会計学Ⅰ
		会計学Ⅱ	会計学Ⅱ	会計学Ⅱ
		簿記原理Ⅰ	簿記原理Ⅰ	簿記原理Ⅰ
		簿記原理Ⅱ	簿記原理Ⅱ	簿記原理Ⅱ
		管理会計論	管理会計論	管理会計論
		税務会計論Ⅰ	税務会計論Ⅰ	税務会計論Ⅰ
		税務会計論Ⅱ	税務会計論Ⅱ	税務会計論Ⅱ
		地域企業会計論	地域企業会計論	地域企業会計論
		金融商品取引法	金融商品取引法	金融商品取引法
		会社法	会社法	会社法
	流通情報論	流通情報論	流通情報論	
	流通経営論	流通経営論	流通経営論	
	消費者行動論	消費者行動論	消費者行動論	
	サービスマーケティング論	サービスマーケティング論	サービスマーケティング論	
	Marketing Management	Marketing Management	Marketing Management	
	観光マーケティング調査	観光マーケティング調査	観光マーケティング調査	
	経営立地論	経営立地論	経営立地論	
	地域産業論	地域産業論	地域産業論	
	ス ポ ー ツ ビ ジ ネ ス コ ー ス	スポーツビジネス論	スポーツビジネス論	スポーツビジネス論
		スポーツ産業論	スポーツ産業論	スポーツ産業論
		スポーツマーケティング論	スポーツマーケティング論	スポーツマーケティング論
スポーツ文化論		スポーツ文化論	スポーツ文化論	
生涯スポーツ実習Ⅰ		生涯スポーツ実習Ⅰ	生涯スポーツ実習Ⅰ	
生涯スポーツ実習Ⅱ		生涯スポーツ実習Ⅱ	生涯スポーツ実習Ⅱ	
スポーツ科学概論		スポーツ科学概論	スポーツ科学概論	
中小企業論Ⅰ		中小企業論Ⅰ	中小企業論Ⅰ	
中小企業論Ⅱ		中小企業論Ⅱ	中小企業論Ⅱ	
地域企業経営論		地域企業経営論	地域企業経営論	
サービスマーケティング論	サービスマーケティング論	サービスマーケティング論		
Marketing Management	Marketing Management	Marketing Management		
経営心理学	経営心理学	経営心理学		
消費者行動論	消費者行動論	消費者行動論		
企業法	企業法	企業法		
会社法	会社法	会社法		
観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅰ		
観光事業論Ⅱ	観光事業論Ⅱ	観光事業論Ⅱ		
地 域 ・ 起 業 コ ー ス	千葉学	千葉学	千葉学	
	入門ツーリズムⅠ	入門ツーリズムⅠ	入門ツーリズムⅠ	
	入門ツーリズムⅡ	入門ツーリズムⅡ	入門ツーリズムⅡ	
	ベンチャービジネス論	ベンチャービジネス論	ベンチャービジネス論	
	地域事業創造論	地域事業創造論	地域事業創造論	
	中小企業論Ⅰ	中小企業論Ⅰ	中小企業論Ⅰ	
	中小企業論Ⅱ	中小企業論Ⅱ	中小企業論Ⅱ	
	アントレプレナーシップ論	アントレプレナーシップ論	アントレプレナーシップ論	
	地域企業経営論	地域企業経営論	地域企業経営論	
	管理会計論	管理会計論	管理会計論	
地域企業会計論	地域企業会計論	地域企業会計論		

Ⅲ
カリキュラム表

		2026年度入学者の科目名	2025年度入学者の科目名	2024・2023年度入学者の科目名		
地域・起業コース	地域・起業コース	経営立地論	経営立地論	経営立地論		
		地域産業論	地域産業論	地域産業論		
		千葉県の産業と行政	千葉県の産業と行政	千葉県の産業と行政		
		旅行ビジネス論	旅行ビジネス論	旅行ビジネス論		
		地域観光論	地域観光論	地域観光論		
		観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅰ		
	観光事業論Ⅱ	観光事業論Ⅱ	観光事業論Ⅱ			
	経営学	展開	経済理論A	経済理論A	経済理論Ⅰ	
			経済理論B	経済理論B	経済理論Ⅱ	
			ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ	
			ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学Ⅱ	
			マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学Ⅰ	
			マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済学Ⅱ	
			経済政策Ⅰ	経済政策Ⅰ	経済政策Ⅰ	
			経済政策Ⅱ	経済政策Ⅱ	経済政策Ⅱ	
			金融論Ⅰ	金融論Ⅰ	金融論Ⅰ	
			金融論Ⅱ	金融論Ⅱ	金融論Ⅱ	
			有価証券法	有価証券法	有価証券法	
			統計学総論Ⅰ	統計学総論Ⅰ	統計学総論Ⅰ	
		統計学総論Ⅱ	統計学総論Ⅱ	統計学総論Ⅱ		
		専門科目	開科	企業金融論Ⅰ	企業金融論Ⅰ	企業金融論Ⅰ
				企業金融論Ⅱ	企業金融論Ⅱ	企業金融論Ⅱ
				労働法	労働法	労働法
				国際法Ⅰ	国際法Ⅰ	国際法Ⅰ
				国際法Ⅱ	国際法Ⅱ	国際法Ⅱ
				経済統計Ⅰ	経済統計Ⅰ	経済統計Ⅰ
			経済統計Ⅱ	経済統計Ⅱ	経済統計Ⅱ	
			日本経済論Ⅰ	日本経済論Ⅰ	日本経済論Ⅰ	
			日本経済論Ⅱ	日本経済論Ⅱ	日本経済論Ⅱ	
			銀行論Ⅰ	銀行論Ⅰ	銀行論Ⅰ	
			銀行論Ⅱ	銀行論Ⅱ	銀行論Ⅱ	
	外国書講読Ⅰ		外国書講読Ⅰ	外国書講読Ⅰ		
外国書講読Ⅱ	外国書講読Ⅱ	外国書講読Ⅱ				
演習科目	演習科目	経済学特論Ⅰ	経済学特論Ⅰ			
		経済学特論Ⅱ	経済学特論Ⅱ			
		専門導入演習Ⅰ	専門導入演習Ⅰ	専門導入演習Ⅰ		
		専門導入演習Ⅱ	専門導入演習Ⅱ	専門導入演習Ⅱ		
		専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ		
		専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ		
		卒業演習Ⅰ	卒業演習Ⅰ	卒業演習Ⅰ		
		卒業演習Ⅱ	卒業演習Ⅱ	卒業演習Ⅱ		
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究				
自由選択科目	自由選択科目	空港ビジネス	空港ビジネス	空港ビジネス		
		ホスピタリティ	ホスピタリティ	ホスピタリティ		
		エアライン論	エアライン論	エアライン論		
		航空物流論	航空物流論	航空物流論		
		地方財政論Ⅰ	地方財政論Ⅰ	地方財政論Ⅰ		
		地方財政論Ⅱ	地方財政論Ⅱ	地方財政論Ⅱ		
		社会調査法Ⅰ	社会調査法Ⅰ	社会調査法Ⅰ		
		社会調査法Ⅱ	社会調査法Ⅱ	社会調査法Ⅱ		
		社会調査実習Ⅰ	社会調査実習Ⅰ	社会調査実習Ⅰ		
		社会調査実習Ⅱ	社会調査実習Ⅱ	社会調査実習Ⅱ		
		計量経済学Ⅰ	計量経済学Ⅰ	計量経済学Ⅰ		
		計量経済学Ⅱ	計量経済学Ⅱ	計量経済学Ⅱ		
		English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ		
		English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ		
就職及び教科に関する科目	就職及び教科に関する科目	◎教育原論	◎教育原論	◎教育原論		
		◎教育課程論	◎教育課程論	◎教育課程論		
		◎発達心理学	◎発達心理学	◎発達心理学		
		◎教育心理学	◎教育心理学	◎教育心理学		
		◎特別支援教育概論	◎特別支援教育概論	◎特別支援教育概論		
		◎教職概論	◎教職概論	◎教職概論		

	2026年度入学者の科目名	2025年度入学者の科目名	2024・2023年度入学者の科目名
教職及び教科に関する科目	○教育行政	○教育行政	○教育行政
	○教育法規	○教育法規	○教育法規
	○教育方法・技術論	○教育方法・技術論	○教育方法・技術論
	○教育とICT活用	○教育とICT活用	○教育とICT活用
	○商業科指導法Ⅰ	○商業科指導法Ⅰ	○商業科指導法Ⅰ
	○商業科指導法Ⅱ	○商業科指導法Ⅱ	○商業科指導法Ⅱ
	○総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法
	○特別活動指導法	○特別活動指導法	○特別活動指導法
	○生徒・進路指導論	○生徒・進路指導論	○生徒・進路指導論
	○教育相談	○教育相談	○教育相談
	○教職実践演習（中・高）	○教職実践演習（中・高）	○教職実践演習（中・高）
	○キャリア教育・職業指導Ⅰ	○キャリア教育・職業指導Ⅰ	○キャリア教育・職業指導Ⅰ
	○キャリア教育・職業指導Ⅱ	○キャリア教育・職業指導Ⅱ	○キャリア教育・職業指導Ⅱ
	○教育実習指導	○教育実習指導	○教育実習指導
	○高等学校教育実習	○高等学校教育実習	○高等学校教育実習

Ⅲ

カリキュラム表

Ⅲ

カリキュラム表 国際学部

国際学部

1. 国際学科2026カリキュラム表	168
2. 国際学科2025カリキュラム表	175
3. 国際学科2024カリキュラム表	182
4. 国際学科2023カリキュラム表	190
5. 国際学部カリキュラム科目名変更一覧	200

1

国際学科2026カリキュラム表 (2026年度入学者)

1. 「敬愛大学学則」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア・インターンシップ科目、自由選択科目、教職科目を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。本学科の人材育成の目的は、「敬愛大学学則」により以下の通り定められています。「国際学部国際学科は、国際社会を多角的に理解し、変化する現代を生き抜く力を身に着け、高いコミュニケーション能力を培い、グローバル化する地域社会に貢献できる人材を育成する。」
2. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目、集中講義及び課外研修によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修においては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 「専門研究」では1年次後期に2年次所属ゼミを選択し、翌年前期に「2年次専門研究I」を履修します。2年次前期の終わりに後期所属ゼミを選択し、後期に「2年次専門研究II」を履修します。2年次は専門研究に必要な技能を身につけます。3年次から本格的に専門研究が始まりますが、2年次後期に所属ゼミを選択します。「3年次専門研究I・II」及び「4年次専門研究I・II」は同一教員に指導を受けます。※途中でのゼミ変更は認めないを原則とする。
4. 2年次までに、将来の進路や関心に応じて2つのコースの中から1つを選択します。卒業までに、選択したコースの専門科目の中から44単位以上英語コミュニケーションコースは40単位以上修得することが必要です。英語コミュニケーションコースは、英語科目の必修が多く設定されています。そのため、1年次からできるだけ多くの英語科目を履修することを推奨します。

特色ある教育

敬天愛人講座

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、他者には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、自律した品格のある人間に成るように努力します。

AI・DSへのいざない

インターネット上に蓄積される大量の情報データをAIを活用して分析し、その客観的証拠による判断が求められる時代となりました。文系理系を問わず、あらゆる場面でAIやデータサイエンスに関する知識は不可欠といえます。本科目は、そのような「AI・データサイエンス」の知識を身につけるための導入科目となります。

実習科目（自由選択科目）

海外語学研修I・II、海外スクーリングI・IIが設置されています。海外語学研修では英語、中国語、韓国語が海外の協定校において、夏休みと春休みの長期休暇を利用して学ぶことができます。海外スクーリングは、訪問する国事情に詳しい教員が担当する体験型授業です。

留学

短期留学（半年）と長期留学（1年）があります。大学が協定を結んでいる大学に留学する場合、留学先の大学で取得した単位を本学の単位として読み替えます。また、協定校への留学の場合は、本学の学費は奨学金の代わりとして、免除されます。※国内外の情勢によっては実施できない場合もあります。

コースの概要

英語コミュニケーションコース

実質的に世界共通語となり、日本国内においても様々な業種・職種で必要とされる英語によるコミュニケーション能力を高めるため、英語の知識・技能のみならず、英語で思考・判断・表現する力を育成します。英語力の指標としては、2年次までにTOEIC®L&R500点程度以上、実用英語技能検定準2級～2級程度、卒業時までにTOEIC®L&R600点程度以上、実用英語技能検定2級～準1級程度を目指します。

1年次からは『College English』を中心に、多様な言語活動を通して英語の5領域（聞く、読む、話す [やり取り]、話す [発表]、書く）を扱います。同時に、『Listening』『Reading』『Speaking』『Writing』によって、各技能（領域）の能力を高めていきます。これらの科目はいずれも習熟度別クラスで展開されるため、自分の英語力に応じた効果的な学修をすることができます。併せて、2年次からは専門科目の『English Presentation』や『English for Global Issues』等において、英語でプレゼンテーションしたり議論したりする力を身に付けるとともに、『Advanced Listening』『Advanced Reading』『Advanced Writing』等において、各技能の能力をさらに高めていきます。

また、中・高等学校の英語教員を目指す学生は、英語教員として求められる英語力を身に付けることに加え、2年次から特別講座を受けることによって、教員採用候補者選考に合格するための効率的な対策を取ることができます。

国際ビジネスコース

現代ビジネスに必要な国際経済・経営のスタンダードな知識を幅広く学びます。国際経済では、経済や金融の基本を学んだ後、国際経済、外国貿易、外国為替の知識を身につけます。国際経営では、経営や簿記会計の基本を学んだ後、国際経営、マーケティング、国際会計、企業ファイナンスの知識を身につけます。現代の国際経済・経営に欠かせない国際法やAI・プログラミングの基本知識や技術も学べます。

さらに進路に応じた専門知識について深く学びます。キャビンアテンダント（CA）やグランドスタッフ（GS）など、空港でのキャリア形成を目指す人は、必要な英語力を身につけながら、空港ビジネスの基礎知識、ホスピタリティ（おもてなし）の基本技術を修得し、航空会社、旅客ハンドリング、貨物ハンドリングなど、各分野に不可欠な専門知識を身につけます。

国際ビジネスコースは、実践的な英語力の育成を重視しています。英検2級以上、TOEIC600以上の英語力を身につけることが基本目標です。また空港見学をはじめ学外での実習にも力を入れるほか、英検・TOEIC、秘書検など資格取得もサポートしています。どのような状況にあっても、自ら課題を見つけて解決し、国際社会・地域社会で活躍できる柔軟で有能な人材を育成するコースです。

区分・専攻		卒業必要単位	必修科目
基礎科目		18単位以上	口頭表現、文章表現、AI・DSへのい ざない 1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ
外国 語 科 目	英語コミュニケーション コース	18単位以上 (留学生22単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、 SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、 ReadingⅠ・Ⅱ、ListeningⅠ・Ⅱ、 DebateⅠ・Ⅱ 日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	国際ビジネスコース	10単位以上	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
情報基礎科目		2単位以上	情報処理Ⅰ・Ⅱ
専 門 科 目	共通	英語コミュニケーションコース選択 者 18単位以上 国際ビジネスコース選択者 22単位 以上	
	英語コミュニケーション コース	専門科目(英語コミュニケーション コース)群より26単位以上、 かつ両専門コース科目合計で40単位 以上	Advanced ReadingⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Advanced ListeningⅠ・Ⅱ English for Global IssuesⅠ・Ⅱ English PresentationⅠ・Ⅱ Academic WritingⅠ・Ⅱ
	国際ビジネスコース	専門科目(国際ビジネスコース)群 より22単位以上、 かつ両専門コース科目合計で44単位 以上	
	専門研究	12単位以上	2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ
キャリア・ インターンシップ科目		4単位以上	
自由選択科目		12単位以上 (英語コミュニケーションコースを 選択した留学生は8単位以上)	※卒業要件単位以上修得した他区分科 目。 (基礎科目、外国語科目、専門科目、 キャリア・インターンシップ科目) ※自由選択科目
卒業要件単位数 124単位以上			

※教職及び教科に関する科目は卒業要件に含まれません。

国際学科 2026 カリキュラム表 (2026 年度入学者)

2026年度

国際学科DP		DP1. コミュニケーション能力、及び高度な英語の運用能力の修得 DP2. 国際的な視野で多様な価値観を持つ共生社会の課題に取り組む能力の修得 DP3. 卒業後の進路目標に応じた専門知識の体系的修得 DP4. 現代社会で協働し、その発展に貢献できる力の修得 DP5. デジタル革新により、新たな価値を創造する社会で協働し、その発展に貢献できる能力の修得										
到達目標		英語コミュニケーションコース 体系的な英語教育プログラムと毎日英語に触れる学習環境で、社会で求められる英語コミュニケーション能力を育成し、中・高の英語教育やグローバル化が進む企業やコミュニティで活躍できる人材育成を目指します。					国際ビジネスコース 国際ビジネスのスタンダードな知識と高レベルのコミュニケーション能力を身につけることにより、空港、ホテル、金融、貿易はじめ、グローバル経済の幅広いフィールドで実践力を発揮できる専門職業人の育成を目指します。					
科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当年	専攻毎必修科目 *必修科目		○必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数	
				英語 コミュ	国際 ビジ	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
基礎科目	教養科目	口頭表現	2	1年～	*	*	○		○			18単位以上選択
		文章表現	2	1年～	*	*	○		○			
		基礎数学	2	1年～					○			
		敬天愛人講座	2	1年～				○		○		
		敬愛プログラム	2	1年～			○			○		
		健康科学	2	1年～			○		○			
		スポーツ教育 I	1	1年～				○		○		
		スポーツ教育 II	1	1年～				○		○		
		哲学	2	1年～				○				
		心理学	2	1年～				○				
		社会心理学	2	1年～				○				
		歴史学	2	1年～				○				
		文学	2	1年～				○				
		日本語コミュニケーション論	2	1年～				○	○			
		言語学	2	1年～					○	○		
		法学	2	1年～					○			
		憲法	2	1年～					○			
		政治学	2	1年～					○			
		社会学	2	1年～					○			
		数学 I	2	1年～						○		
		数学 II	2	1年～						○		
		統計学 I	2	1年～						○		
		統計学 II	2	1年～						○		
		環境科学	2	1年～						○		
	ボランティア活動	2	1年～						○	○		
	世界を知る	2	1年～					○				
	AI・DSへのいざない	2	1年～	*	*	○		○				
	情報概論	2	1年～			○		○				
	金融リテラシー	2	1年～					○				
	税の基礎知識	2	1年～					○				
	演習	1年基礎演習 I	1	1年～	*	*	○	○				
		1年基礎演習 II	1	1年～	*	*	○	○				
外国語科目	英語	College English I	2	1年～	*	*	○				英語コミュニケーションコース選択者 18単位以上選択 (留学生は22単位以上 選択)、他コースは10単位以上選択 (留学生も10単位以上選択)	
		College English II	2	1年～	*	*	○					
		Speaking I	1	1年～	*	*	○					
		Speaking II	1	1年～	*	*	○					
		Reading I	1	1年～	*		○					
		Reading II	1	1年～	*		○					
		Writing I	1	1年～	*		○					
		Writing II	1	1年～	*		○					

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	記号 学年	専攻毎必修科目 *必修科目		◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数	
				英語 コミュ	国際 ビジ	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
外国語科目	英語	Listening I	1	1年～	*		◎					英語コミュニケーションコース選択者 18単位以上選択 (留学生は22単位以上 選択)、他コースは10単位以上選択 (留学生も10単位以上選択)
		Listening II	1	1年～	*		◎					
		College English III	2	2年～	*		◎					
		College English IV	2	2年～	*		◎					
		Debate I	1	2年～	*		◎					
		Debate II	1	2年～	*		◎					
		Basic Grammar I	1	1年～			◎					
		Basic Grammar II	1	1年～			◎					
	時事英語 I	1	2年～			◎	○					
	時事英語 II	1	2年～			◎	○					
	英語以外の外国語	中国語 I	1	1年～			◎					
		中国語 II	1	1年～			◎					
		フランス語 I	1	1年～			◎					
		フランス語 II	1	1年～			◎					
		ドイツ語 I	1	1年～			◎					
		ドイツ語 II	1	1年～			◎					
		ロシア語 I	1	1年～			◎					
	ロシア語 II	1	1年～			◎						
日本語	日本語 I	2	1年～			◎					留学生必修	
	日本語 II	2	1年～			◎						
情報基礎科目	情報処理 I (情報基礎)	1	1年～	*	*			◎			2単位必修	
	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	1年～	*	*			◎				
専門科目	共通	国際関係入門	2	1年～				◎		○	英語コミュニケーションコース選択者 18単位以上選択、他コースは22単位 以上選択	
		国際社会とSDGs	2	1年～			◎	◎	○	○		
		千葉学	2	1年～					○			◎
		Japan Today	2	1年～			○	◎				
		アジアの文化と社会	2	1年～				◎				
		アメリカの文化と社会	2	1年～				◎				
		ヨーロッパの文化と社会	2	1年～				◎				
		イギリスの文化と社会	2	1年～				◎				
		比較文化論	2	1年～			○	◎				
		異文化理解	2	1年～			◎	○				
		多文化共生社会	2	1年～				◎				
		入門ソーズム I	2	1年～				◎				○
		入門ソーズム II	2	1年～				◎				○
		データサイエンス総論	2	1年～						◎		
		英語で学ぶPython	2	1年～						◎		
		英米文学概論	2	1年～			◎					
		日本語教育入門	2	1年～					◎			
	社会調査法 I	2	2年～						◎	◎		
	社会調査法 II	2	2年～						◎	◎		
	社会調査実習 I	2	3年～						◎	◎		
社会調査実習 II	2	3年～						◎	◎			
専門科目 (英語コミュニケーションコース)	Advanced Reading I	2	2年～	*		◎	○				英語コミュニケーションコース選択者 40単位以上選択 (内14単位は他コース の専門科目でも可)	
	Advanced Reading II	2	2年～	*		○	◎					
	Advanced Listening I	2	2年～	*		◎						
	Advanced Listening II	2	2年～	*		◎						
	English for Global Issues I	2	2年～	*		○	◎					
	マルチメディア (Multimedia)	2	2年～			◎	○					
英文法	2	2年～			◎							

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当年	専攻毎必修科目 *必修科目		◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数
				英語 コミュ	国際 ビジ	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
専門科目 専攻科目(英語) コミュニケーションコース	英語の音声	2	2年～			○					英語コミュニケーションコース選択者 40単位以上選択 (内14単位は他コース の専門科目でも可)
	英語学概論	2	2年～			○					
	アメリカ文学特講	2	2年～			○	○				
	英米文化概論	2	2年～			○					
	English for Global Issues II	2	2年～	*		○	○				
	English Presentation I	2	3年～	*		○		○			
	English Presentation II	2	3年～	*		○		○			
	Advanced Reading III	2	3年～	*		○	○				
	Advanced Reading IV	2	3年～	*		○	○				
	Academic Writing I	2	3年～	*		○					
	Academic Writing II	2	3年～	*		○					
	英語史	2	2年～			○					
	英語音声学 I	2	2年～			○		○			
	英語音声学 II	2	2年～			○		○			
	イギリス文学史	2	2年～			○	○				
	アメリカ文学史	2	2年～			○	○				
	英米文化特講	2	3年～			○					
専門科目 専攻科目(国際ビジネス)コース	経済学基礎	2	2年～					○			国際ビジネスコース選択者44単位 以上選択 (内22単位は他コース科目 でも可)
	経営学基礎	2	2年～					○			
	金融論	2	2年～					○	○		
	国際法 I	2	2年～				○				
	国際法 II	2	2年～				○				
	簿記会計基礎 I	2	2年～					○	○		
	簿記会計基礎 II	2	2年～					○	○		
	マーケティング	2	2年～					○	○		
	空港ビジネス	2	2年～				○	○	○		
	ホスピタリティ	2	2年～			○			○		
	エアライン・ビジネス	2	2年～					○	○		
	AI概論	2	2年～					○	○		
	プログラミング	2	2年～					○			
	アルゴリズム論	2	2年～					○			
	マーケティングリサーチ I	2	2年～					○	○		
	マーケティングリサーチ II	2	2年～					○	○		
	国際経済学	2	3年～				○	○			
	国際金融論	2	3年～					○			
	国際貿易論	2	3年～			○		○			
	国際経営	2	3年～				○	○			
国際経済とビジネスの法	2	3年～					○				
国際会計	2	3年～			○		○				
企業ファイナンス	2	3年～					○				
航空物流論	2	3年～					○	○			
情報ビジネス論	2	3年～					○	○			
専門研究	2年次専門研究 I	2	2年～	*	*						12単位以上
	2年次専門研究 II	2	2年～	*	*						
	3年次専門研究 I	2	3年～	*	*						
	3年次専門研究 II	2	3年～	*	*						
	4年次専門研究 I	2	4年～	*	*						
	4年次専門研究 II	2	4年～	*	*						
卒業論文	2	4年～			○	○	○				

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	記号 学年	専攻毎必修科目 *必修科目		◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数
				英語 コミュ	国際 ビジ	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
キャリア・インターンシップ科目	キャリアデザインを学ぶ	2	1年～				○				4単位以上選択
	キャリアプランニング	2	1年～				○				
	キャリアディベロップメント	2	2年～				○				
	企業の魅力発見	2	2年～					◎	○		
	実践的キャリア演習Ⅰ	2	3年～					○			
	実践的キャリア演習Ⅱ	2	3年～					○			
	プレインターンシップ	2	3年～					○			
	インターンシップ	1	3年～					○			
	ポストインターンシップ	2	3年～					○			
自由選択科目	海外語学研修Ⅰ	2	1年～			◎					12単位以上選択 (英語コミュニケーションコースを選択した留学生は8単位以上選択) ※自由選択科目区分以外の卒業要件単位数以上修得した他区分科目 (基礎科目、外国語科目、専門科目、キャリア・インターンシップ科目) も含む ※他大学・他学部大学単位互換科目も含む
	海外語学研修Ⅱ	2	1年～			◎					
	海外スクーリングⅠ	2	1年～			◎	○				
	海外スクーリングⅡ	2	1年～			◎	○				
	English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	1	1年～			◎	○				
	English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	1	1年～			◎	○				
	TOEIC®向上講座Ⅰ	2	1年～			◎		○			
	TOEIC®向上講座Ⅱ	2	1年～			◎		○			
	現代日本語文法Ⅰ	2	2年～					◎			
	現代日本語文法Ⅱ	2	2年～					◎			
	心理言語学	2	2年～					◎			
	日本語教育方法論	2	2年～					◎			
	日本文化論	2	2年～				◎	○			
	日本語教育研究Ⅰ	2	2年～					◎			
	日本語教育研究Ⅱ	2	3年～					◎			
教育実習指導 (日本語)	2	3年～					◎				
	他大学・他学部・他学科単位互換科目										
教職及び教科に関する科目	教育原論	2	1年～								※教職及び教科に関する科目は卒業要件に含まれません
	教育課程論	2	1年～								
	教育心理学	2	1年～								
	発達心理学	2	1年～								
	特別支援教育概論	2	2年～								
	教職概論	2	1年～								
	教育行政	2	2年～								
	教育法規	2	2年～								
	英語科指導法Ⅰ	2	2年～								
	英語科指導法Ⅱ	2	2年～								
	英語科指導法Ⅲ	2	2年～								
	英語科指導法Ⅳ	2	2年～								
	道徳教育指導法	2	2年～								
	総合的な学習の時間の指導法	2	2年～								
	特別活動指導法	2	2年～								
	教育方法・技術論	2	2年～								
	教育とICT活用	2	2年～								
	生徒・進路指導論	2	2年～								
	教育相談	2	2年～								
	教育実習指導	1	3年～								
中学校教育実習	4	4年～									
高等学校教育実習	2	4年～									
教職実践演習 (中・高)	2	4年～									

2

国際学科2025カリキュラム表 (2025年度入学者)

1. 「敬愛大学学則」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア・インターンシップ科目、自由選択科目、教職科目を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。本学科の人材育成の目的は、「敬愛大学学則」により以下の通り定められています。「国際学部国際学科は、国際社会を多角的に理解し、変化する現代を生き抜く力を身に着け、高いコミュニケーション能力を培い、グローバル化する地域社会に貢献できる人材を育成する。」
2. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目、集中講義及び課外研修によって行います。ただし、「Ⅰ・Ⅱ」科目の「Ⅱ」の履修においては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 「専門研究」では1年次後期に2年次所属ゼミを選択し、翌年前期に「2年次専門研究Ⅰ」を履修します。2年次前期の終わりに後期所属ゼミを選択し、後期に「2年次専門研究Ⅱ」を履修します。2年次は専門研究に必要な技能を身につけます。3年次から本格的に専門研究が始まりますが、2年次後期に所属ゼミを選択します。「3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」及び「4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」は同一教員に指導を受けます。※途中でのゼミ変更は認めないを原則とする。
4. 2年次までに、将来の進路や関心に応じて4つのコースの中から1つを選択します。卒業までに、選択したコースの専門科目の中から44単位以上英語コミュニケーションコースは40単位以上修得することが必要です。英語コミュニケーションコースは、英語科目の必修が多く設定されています。そのため、1年次からできるだけ多くの英語科目を履修することを推奨します。

特色ある教育

敬天愛人講座

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、他者には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、自律した品格のある人間に成るように努力します。

AI・DSへのいざない

インターネット上に蓄積される大量の情報データをAIを活用して分析し、その客観的証拠による判断が求められる時代となりました。文系理系を問わず、あらゆる場面でAIやデータサイエンスに関する知識は不可欠といえます。本科目は、そのような「AI・データサイエンス」の知識を身につけるための導入科目となります。

実習科目（自由選択科目）

海外語学研修Ⅰ・Ⅱ、海外スクーリングⅠ・Ⅱが設置されています。海外語学研修では英語、中国語、韓国語が海外の協定校において、夏休みと春休みの長期休暇を利用して学ぶことができます。海外スクーリングは、訪問する国事情に詳しい教員が担当する体験型授業です。

留学

短期留学（半年）と長期留学（1年）があります。大学が協定を結んでいる大学に留学する場合、留学先の大学で取得した単位を本学の単位として読み替えます。また、協定校への留学の場合は、本学の学費は奨学金の代わりとして、免除されます。※国内外の情勢によっては実施できない場合もあります。

コースの概要

英語コミュニケーションコース

実質的に世界共通語となり、日本国内においても様々な業種・職種で必要とされる英語によるコミュニケーション能力を高めるため、英語の知識・技能のみならず、英語で思考・判断・表現する力を育成します。英語力の指標としては、2年次までにTOEIC®L&R500点程度以上、実用英語技能検定準2級～2級程度、卒業時までにTOEIC®L&R600点程度以上、実用英語技能検定2級～準1級程度を目指します。

1年次からは『College English』を中心に、多様な言語活動を通して英語の5領域（聞く、読む、話す [やり取り]、話す [発表]、書く）を扱います。同時に、『Listening』『Reading』『Speaking』『Writing』によって、各技能（領域）の能力を高めていきます。これらの科目はいずれも習熟度別クラスで展開されるため、自分の英語力に応じた効果的な学修をすることができます。併せて、2年次からは専門科目の『English Presentation』や『English for Global Issues』等において、英語でプレゼンテーションしたり議論したりする力を身に付けるとともに、『Advanced Listening』『Advanced Reading』『Advanced Writing』等において、各技能の能力をさらに高めていきます。

また、中・高等学校の英語教員を目指す学生は、英語教員として求められる英語力を身に付けることに加え、2年次から特別講座を受けることによって、教員採用候補者選考に合格するための効率的な対策を取ることができます。

国際ビジネスコース

現代ビジネスに必要な国際経済・経営のスタンダードな知識を幅広く学びます。国際経済では、経済や金融の基本を学んだ後、国際経済、外国貿易、外国為替の知識を身につけます。国際経営では、経営や簿記会計の基本を学んだ後、国際経営、マーケティング、国際会計、企業ファイナンスの知識を身につけます。現代の国際経済・経営に欠かせない国際法やAI・プログラミングの基本知識や技術も学べます。

さらに進路に応じた専門知識について深く学びます。キャビンアテンダント（CA）やグランドスタッフ（GS）など、空港でのキャリア形成を目指す人は、必要な英語力を身につけながら、空港ビジネスの基礎知識、ホスピタリティ（おもてなし）の基本技術を修得し、航空会社、旅客ハンドリング、貨物ハンドリングなど、各分野に不可欠な専門知識を身につけます。

国際ビジネスコースは、実践的な英語力の育成を重視しています。英検2級以上、TOEIC600以上の英語力を身につけることが基本目標です。また空港見学をはじめ学外での実習にも力を入れるほか、英検・TOEIC、秘書検など資格取得もサポートしています。どのような状況にあっても、自ら課題を見つけて解決し、国際社会・地域社会で活躍できる柔軟で有能な人材を育成するコースです。

区分・専攻		卒業必要単位	必修科目
基礎科目		18単位以上	口頭表現、文章表現、AI・DSへのいざない 1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ
外国語科目	英語コミュニケーションコース	18単位以上 (留学生22単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、 SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、 ReadingⅠ・Ⅱ、ListeningⅠ・Ⅱ、 DebateⅠ・Ⅱ 日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	国際ビジネスコース	10単位以上	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
情報基礎科目		2単位以上	情報処理Ⅰ・Ⅱ
専門科目	共通	英語コミュニケーションコース選択者 18単位以上 国際ビジネスコース選択者 22単位以上	
	英語コミュニケーションコース	専門科目(英語コミュニケーションコース)群より26単位以上、かつ両専門コース科目合計で40単位以上	Advanced ReadingⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Advanced ListeningⅠ・Ⅱ English for Global IssuesⅠ・Ⅱ English PresentationⅠ・Ⅱ Academic WritingⅠ・Ⅱ
	国際ビジネスコース	専門科目(国際ビジネスコース)群より22単位以上、かつ両専門コース科目合計で44単位以上	
	専門研究	12単位以上	2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ
キャリア・インターンシップ科目		4単位以上	
自由選択科目		12単位以上 (英語コミュニケーションコースを選択した留学生は8単位以上)	※卒業要件単位以上修得した他区分科目。 (基礎科目、外国語科目、専門科目、キャリア・インターンシップ科目) ※自由選択科目
卒業要件単位数 124単位以上			

国際学科 2025 カリキュラム表 (2025 年度入学者)

国際学科DP		DP1. コミュニケーション能力、及び高度な英語の運用能力の修得 DP2. 国際的な視野で多様な価値観を持つ共生社会の課題に取り組む能力の修得 DP3. 卒業後の進路目標に応じた専門知識の体系的修得 DP4. 現代社会で協働し、その発展に貢献できる力の修得 DP5. デジタル革新により、新たな価値を創造する社会で協働し、その発展に貢献できる能力の修得										
到達目標		英語コミュニケーションコース 体系的な英語教育プログラムと毎日英語に触れる学習環境で、社会で求められる英語コミュニケーション能力を育成し、中・高の英語教育やグローバル化が進む企業やコミュニティで活躍できる人材育成を目指します。					国際ビジネスコース 国際ビジネスのスタンダードな知識と高レベルのコミュニケーション能力を身につけることにより、空港、ホテル、金融、貿易はじめ、グローバル経済の幅広いフィールドで実践力を発揮できる専門職業人の育成を目指します。					
科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目		◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数	
				英語 コミュ	国際 ビジ	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
基礎科目	教養科目	口頭表現	2	1年～	*	*	◎		○			18単位以上選択
		文章表現	2	1年～	*	*	◎		○			
		基礎数学	2	1年～					○			
		敬天愛人講座	2	1年～				◎		○		
		敬愛プログラム	2	1年～			○			◎		
		健康科学	2	1年～			○		○			
		スポーツ教育 I	1	1年～				◎		○		
		スポーツ教育 II	1	1年～				◎		○		
		哲学	2	1年～				◎				
		心理学	2	1年～				◎				
		社会心理学	2	1年～				◎				
		歴史学	2	1年～				◎				
		文学	2	1年～				◎				
		日本語学	2	1年～				◎	○			
		言語学	2	1年～				◎	○			
		法学	2	1年～					◎			
		憲法	2	1年～					◎			
		政治学	2	1年～					◎			
		社会学	2	1年～					◎			
		数学 I	2	1年～						◎		
		数学 II	2	1年～						◎		
		統計学 I	2	1年～						◎		
		統計学 II	2	1年～						◎		
		環境科学	2	1年～						◎		
		ボランティア活動	2	1年～						○	◎	
		世界を知る	2	1年～					◎			
		AI・DSへのいざない	2	1年～	*	*	○		◎			
		情報概論	2	1年～			○		◎			
金融リテラシー	2	1年～						◎				
演習	1年基礎演習 I	1	1年～	*	*	○	◎					
	1年基礎演習 II	1	1年～	*	*	○	◎					
外国語科目	英語	College English I	2	1年～	*	*	◎				英語コミュニケーションコース選択者 18単位以上選択 (留学生は22単位以上 選択)、国際ビジネスコース選択者 10単位以上	
		College English II	2	1年～	*	*	◎					
		Speaking I	1	1年～	*	*	◎					
		Speaking II	1	1年～	*	*	◎					
		Reading I	1	1年～	*		◎					
		Reading II	1	1年～	*		◎					
		Writing I	1	1年～	*		◎					
		Writing II	1	1年～	*		◎					
		Listening I	1	1年～	*		◎					

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当年	専攻毎必修科目 *必修科目		◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数	
				英語 コミュ	国際 ビジ	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
外国語科目	英語	Listening II	1	1年～	*		○					英語コミュニケーションコース選択者 18単位以上選択 (留学生は22単位以上 選択)、国際ビジネスコース選択者 10単位以上
		College English III	2	2年～	*		○					
		College English IV	2	2年～	*		○					
		Debate I	1	2年～	*		○					
		Debate II	1	2年～	*		○					
		Basic Grammar I	1	1年～			○					
		Basic Grammar II	1	1年～			○					
	英語以外の 外国語	時事英語 I	1	2年～			○	○				
		時事英語 II	1	2年～			○	○				
		中国語 I	1	1年～			○					
		中国語 II	1	1年～			○					
		フランス語 I	1	1年～			○					
		フランス語 II	1	1年～			○					
		ドイツ語 I	1	1年～			○					
日本語	ドイツ語 II	1	1年～			○						
	コリア語 I	1	1年～			○						
日本語	コリア語 II	1	1年～			○						
	日本語 I	2	1年～			○					留学生必修	
情報基礎科目	日本語 II	2	1年～			○						
	情報処理 I (情報基礎)	1	1年～	*	*			○			2単位必修	
情報基礎科目	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	1年～	*	*			○				
	共通	国際関係入門	2	1年～					○		○	英語コミュニケーションコース選択者 18単位以上選択、国際ビジネスコース 選択者22単位以上
国際社会とSDG s		2	1年～			○	○	○	○			
千葉学		2	1年～				○		○			
Japan Today		2	1年～			○	○					
アジアの文化と社会		2	1年～				○					
アメリカの文化と社会		2	1年～				○					
ヨーロッパの文化と社会		2	1年～				○					
イギリスの文化と社会		2	1年～				○					
比較文化論		2	1年～			○	○					
異文化理解		2	1年～			○	○					
多文化共生社会		2	1年～				○					
入門ツーリズム I		2	1年～				○			○		
入門ツーリズム II		2	1年～				○			○		
データサイエンス総論		2	1年～					○				
英語で学ぶPython		2	1年～					○				
英米文学概論		2	1年～			○						
専門科目		日本語教育入門	2	1年～					○			
	社会調査法 I	2	2年～					○		○		
	社会調査法 II	2	2年～					○		○		
	社会調査実習 I	2	3年～					○		○		
	社会調査実習 II	2	3年～					○		○		
	専門科目 (英語コース)	Advanced Reading I	2	2年～	*		○	○				英語コミュニケーションコース選択者 専門科目 (英語コミュニケーション コース) 群より26単位以上、かつ 両専門コース科目合計で40単位以上
		Advanced Reading II	2	2年～	*		○	○				
		Advanced Listening I	2	2年～	*		○					
Advanced Listening II		2	2年～	*		○						
English for Global Issues I		2	2年～	*		○	○					
マルチメディア (Multimedia)		2	2年～			○	○					
英文法		2	2年～			○						
英語の音声	2	2年～			○							

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目		◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数	
				英語 コミュ	国際 ビジ	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
専門科目	専門科目 (英語コミュニケーションコース)	英語学概論	2	2年～			◎					英語コミュニケーションコース選択者 専門科目 (英語コミュニケーション コース) 群より26単位以上、かつ 両専門コース科目合計で40単位以上
		アメリカ文学特講	2	2年～			◎	○				
		英米文化概論	2	2年～			◎					
		English for Global Issues II	2	2年～	*		○	◎				
		English Presentation I	2	3年～	*		◎		○			
		English Presentation II	2	3年～	*		◎		○			
		Advanced Reading III	2	3年～	*		○	◎				
		Advanced Reading IV	2	3年～	*		○	◎				
		Academic Writing I	2	3年～	*		◎					
		Academic Writing II	2	3年～	*		◎					
		英語史	2	2年～			◎					
		英語音声学 I	2	2年～			○		◎			
		英語音声学 II	2	2年～			○		◎			
		イギリス文学史	2	2年～			◎	○				
		アメリカ文学史	2	2年～			◎	○				
	英米文化特講	2	3年～			◎						
	専門科目 (国際ビジネスコース)	経済学基礎	2	2年～					◎			国際ビジネスコース選択者専門科目 (国際ビジネスコース) 群より22単 位以上、かつ両専門コース科目合計で 44単位以上
		経営学基礎	2	2年～					◎			
		金融論	2	2年～					◎	○		
		国際法 I	2	2年～				◎				
		国際法 II	2	2年～				◎				
		簿記会計基礎 I	2	2年～					◎	○		
		簿記会計基礎 II	2	2年～					◎	○		
		マーケティング	2	2年～					◎	○		
		空港ビジネス	2	2年～				○	◎	○		
		ホスピタリティ	2	2年～			◎			○		
		エアライン・ビジネス	2	2年～					◎	○		
		AI概論	2	2年～					◎	○		
		プログラミング	2	2年～					◎			
		アルゴリズム論	2	2年～					◎			
		マーケティングリサーチ I	2	2年～					◎	○		
		マーケティングリサーチ II	2	2年～					◎	○		
		国際経済学	2	3年～				○	◎			
		国際金融論	2	3年～					◎			
		国際貿易論	2	3年～			○		◎			
		国際経営	2	3年～				○	◎			
		国際経済とビジネスの法	2	3年～					◎			
		国際会計	2	3年～			○		◎			
		企業ファイナンス	2	3年～					◎			
航空物流論		2	3年～					◎	○			
情報ビジネス論	2	3年～					◎	○				
専門研究	2年次専門研究 I	2	2年～	*	*						12単位以上	
	2年次専門研究 II	2	2年～	*	*							
	3年次専門研究 I	2	3年～	*	*							
	3年次専門研究 II	2	3年～	*	*							
	4年次専門研究 I	2	4年～	*	*							
	4年次専門研究 II	2	4年～	*	*							
キャリア・インター ンシップ科目	卒業論文	2	4年～			○	◎	○			4単位以上選択	
	キャリアデザインを学ぶ	2	1年～				○					
	キャリアプランニング	2	1年～				○					

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当年	専攻毎必修科目 *必修科目		◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数
				英語 コミュ	国際 ビジ	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
キャリア・インターンシップ科目	キャリアディベロップメント	2	2年～				○				4単位以上選択
	企業の魅力発見	2	2年～					◎	○		
	実践的キャリア演習 I	2	3年～					○			
	実践的キャリア演習 II	2	3年～					○			
	プレインターンシップ	2	3年～					○			
	インターンシップ	1	3年～					○			
	ポストインターンシップ	2	3年～					○			
自由選択科目	海外語学研修 I	2	1年～			◎					12単位以上選択 (英語コミュニケーションコースを選択した留学生は8単位以上選択) ※自由選択科目区分以外の卒業要件単位以上修得した他区分科目 (基礎科目、外国語科目、専門科目、キャリア・インターンシップ科目) も含む
	海外語学研修 II	2	1年～			◎					
	海外スクーリング I	2	1年～			◎	○				
	海外スクーリング II	2	1年～			◎	○				
	English Conversation (オンライン英会話) I	1	1年～			◎	○				
	English Conversation (オンライン英会話) II	1	1年～			◎	○				
	TOEIC®向上講座 I	2	1年～			◎		○			
	TOEIC®向上講座 II	2	1年～			◎		○			
	現代日本語文法 I	2	2年～					◎			
	現代日本語文法 II	2	2年～					◎			
	心理言語学	2	2年～					◎			
	日本語教育方法論	2	2年～					◎			
	日本文化論	2	2年～				◎	○			
	日本語教育研究 I	2	2年～					◎			
	日本語教育研究 II	2	3年～					◎			
教育実習指導 (日本語)	2	3年～					◎				
他大学・他学部・他学科単位互換科目											
教職及び教職に関する科目	教育原論	2	1年～								
	教育課程論	2	1年～								
	教育心理学	2	1年～								
	発達心理学	2	1年～								
	特別支援教育概論	2	2年～								
	教職概論	2	1年～								
	教育行政	2	2年～								
	教育法規	2	2年～								
	英語科指導法 I	2	2年～								
	英語科指導法 II	2	2年～								
	英語科指導法 III	2	2年～								
	英語科指導法 IV	2	2年～								
	道徳教育指導法	2	2年～								
	総合的な学習の時間の指導法	2	2年～								
	特別活動指導法	2	2年～								
	教育方法・技術論	2	2年～								
	教育とICT活用	2	2年～								
	生徒・進路指導論	2	2年～								
	教育相談	2	2年～								
	教育実習指導	1	3年～								
中学校教育実習	4	4年～									
高等学校教育実習	2	4年～									
教職実践演習 (中・高)	2	4年～									

3

国際学科2024カリキュラム表 (2024年度入学者)

1. 「敬愛大学学則」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア・インターンシップ科目、自由選択科目、教職科目を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。本学科の人材育成の目的は、「敬愛大学学則」により以下の通り定められています。国際学部国際学科は、国際社会を多角的に理解し、変化する現代を生き抜く力を身に着け、高いコミュニケーション能力を培い、グローバル化する地域社会に貢献できる人材を育成する。
2. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目、集中講義及び課外研修によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修においては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 「専門研究」では1年次後期に2年次所属ゼミを選択し、翌年前期に「2年次専門研究I」を履修します。2年次前期の終わりに後期所属ゼミを選択し、後期に「2年次専門研究II」を履修します。2年次は専門研究に必要な技能を身につけます。3年次から本格的に専門研究が始まりますが、2年次後期に所属ゼミを選択します。「3年次専門研究I・II」及び「4年次専門研究I・II」は同一教員に指導を受けます。※途中でのゼミ変更は認めないを原則とする。
4. 2年次までに、将来の進路や関心に応じて4つのコースの中から1つを選択します。卒業までに、選択したコースの専門科目の中から44単位以上英語コミュニケーションコースは40単位以上修得することが必要です。英語コミュニケーションコースは、英語科目の必修が多く設定されています。そのため、1年次からできるだけ多くの英語科目を履修することを推奨します。

特色ある教育

敬天愛人講座

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、他者には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、自律した品格のある人間に成るように努力します。

AI・DSへのいざない

インターネット上に蓄積される大量の情報データをAIを活用して分析し、その客観的証拠による判断が求められる時代となりました。文系理系を問わず、あらゆる場面でAIやデータサイエンスに関する知識は不可欠といえます。本科目は、そのような「AI・データサイエンス」の知識を身につけるための導入科目となります。

実習科目 (自由選択科目)

海外語学研修I・II、海外スクーリングI・IIが設置されています。海外語学研修では英語、中国語、韓国語が海外の協定校において、夏休みと春休みの長期休暇を利用して学ぶことができます。海外スクーリングは、訪問する国事情に詳しい教員が担当する体験型授業です。

留学

短期留学(半年)と長期留学(1年)があります。大学が協定を結んでいる大学に留学する場合、留学先の大学で取得した単位を本学の単位として読み替えます。また、協定校への留学の場合は、本学の学費は奨学金の代わりとして、免除されます。※国内外の情勢によっては実施できない場合もあります。

コースの概要

英語コミュニケーションコース

実質的に世界共通語となり、日本国内においても様々な業種・職種で必要とされる英語によるコミュニケーション能力を高めるため、英語の知識・技能のみならず、英語で思考・判断・表現する力を育成します。英語力の指標としては、2年次までにTOEIC®L&R500点程度以上、実用英語技能検定準2級～2級程度、卒業時までにTOEIC®L&R600点程度以上、実用英語技能検定2級～準1級程度を目指します。

1年次からは『College English』を中心に、多様な言語活動を通して英語の5領域（聞く、読む、話す [やり取り]、話す [発表]、書く）を扱います。同時に、『Listening』『Reading』『Speaking』『Writing』によって、各技能（領域）の能力を高めていきます。これらの科目はいずれも習熟度別クラスで展開されるため、自分の英語力に応じた効果的な学修をすることができます。併せて、2年次からは専門科目の『English Presentation』や『English for Global Issues』等において、英語でプレゼンテーションしたり議論したりする力を身に付けるとともに、『Advanced Listening』『Advanced Reading』『Advanced Writing』等において、各技能の能力をさらに高めていきます。

また、中・高等学校の英語教員を目指す学生は、英語教員として求められる英語力を身に付けることに加え、2年次から特別講座を受けることによって、教員採用候補者選考に合格するための効率的な対策を取ることができます。

国際ビジネスコース

現代ビジネスに必要な国際経済・経営の基礎を幅広く学び、さらに進路に応じた専門知識、特に「空港ビジネス」「情報ビジネス」について深く学びます。空港ビジネスでは、キャビンアテンダント（CA）やグランドスタッフ（GS）など空港業務を目指すために必要な英語力のレベルアップをはかりながら、ホスピタリティ（おもてなし）の基本的技術を習得したり、空港に関する実践的な知識が学べます。情報ビジネスでは、企業に限らず様々な分野で必要性が高まったAIに関する基礎知識とデータ分析方法について学べます。

実践的な英語力が高まり、空港・金融・貿易・情報をはじめ、広い範囲の現代ビジネスで活躍できる力が身につきます。どのような状況にあっても、自ら課題を見つけて解決し、国際社会・地域社会で活躍できる人材を育成します。

観光マネジメントコース

21世紀の成長産業「観光」をマネジメントの視点から学び、観光経営のスペシャリストを目指します。国際感覚と専門知識を修得し、分析力、課題発見力を磨きます。旅行業、航空業、宿泊業などの観光関連産業に関する知識のみならず、地域社会の発展に貢献する力を身につけます。

情報・データサイエンスコース

「創造社会」と呼ばれる新しい時代において、国内外を問わず、あらゆる業種・職種に必要とされる国際教養や外国語の力をベースに、AIやデータサイエンスの知識とスキルを学ぶコースです。

国際社会や地域が抱えるさまざまな問題を解決する実践力を身につけていくために、2年次までは情報・データサイエンスが企業や社会でどのように役立てられているかを豊富な事例紹介や企業の実務家講師の特別講義などから学びます。また「今、何が起きているか」、国際社会や地域が抱える様々な問題を学び、課題点を把握し、それらを解決するのに必要な知識とスキルを習得します。3年次以降には、実際に行われた調査データや企業から出された実課題などを使い、「問題の原因」や「課題解決策」を情報やデータから導き出す方法を体系的に学びます。

区分・専攻		卒業必要単位	必修科目
基礎科目		18単位以上	口頭表現、文章表現、AI・DSへのいざない 1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ
外国語科目	英語コミュニケーションコース	18単位以上 (留学生22単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、 SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、 ReadingⅠ・Ⅱ、ListeningⅠ・Ⅱ、 DebateⅠ・Ⅱ 日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	国際ビジネスコース	10単位以上	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	観光マネジメントコース	10単位以上	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	情報・データサイエンスコース	10単位以上	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
情報基礎科目		2単位以上	情報処理Ⅰ・Ⅱ
専門科目	共通	22単位以上 (英語コミュニケーションコース選択者18単位以上)	
	英語コミュニケーションコース	専門科目コース群より40単位以上 (内14単位は他コースの専門科目でも可)	Advanced ReadingⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Advanced ListeningⅠ・Ⅱ English for Global IssuesⅠ・Ⅱ English PresentationⅠ・Ⅱ Academic WritingⅠ・Ⅱ
	国際ビジネスコース	専門科目コース群より44単位以上 (内22単位は他コースの専門科目でも可)	
	観光マネジメントコース	専門科目コース群より44単位以上 (内22単位は他コースの専門科目でも可)	
	情報・データサイエンスコース	専門科目コース群より44単位以上 (内22単位は他コースの専門科目でも可)	
	専門研究	12単位以上	2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ
キャリア・インターンシップ科目		4単位以上	
自由選択科目		12単位以上 (英語コミュニケーションコースを選択した留学生は8単位以上)	※卒業要件単位以上修得した他区分科目。 (基礎科目、外国語科目、専門科目、 キャリア・インターンシップ科目) ※自由選択科目
卒業要件単位数 124単位以上			

国際学科 2024 カリキュラム表 (2024 年度入学者)

国際学科DP	DP1. コミュニケーション能力、及び高度な英語の運用能力の修得 DP2. 国際的な視野で多様な価値観を持つ共生社会の課題に取り組む能力の修得 DP3. 卒業後の進路目標に応じた専門知識の体系的修得 DP4. 現代社会で協働し、その発展に貢献できる力の修得 DP5. デジタル革新により、新たな価値を創造する社会で協働し、その発展に貢献できる能力の修得														
到達目標	英語コミュニケーションコース	国際ビジネスコース	観光マネジメントコース	情報・データサイエンスコース											
	体系的な英語教育プログラムと、毎日英語に触れる学習環境で英語運用能力を習得し、培ったコミュニケーション力で学校英語教育や国際化の只中にある企業およびコミュニティで活躍する人材を目指します。	空港、旅行、ホテル、金融、ICTなど、幅広いフィールドで高いレベルの能力を発揮できる職業人を育成します。	21世紀の成長産業「観光」をマネジメントの視点から学び、観光経営のスペシャリストを目指します。国際感覚と専門知識を修得し、分析力、課題発見力を磨きます。旅行業、航空業、宿泊業などの観光関連産業に関する知識のみならず、地域社会の発展に貢献する力を身につけます。	現代社会では、文系・理系に関わらず、どのような状況にあっても、AIやデータサイエンスの知識とスキルが求められています。体系的なプログラムによってこれらを学び、国際社会や地域が抱える様々な問題を解決する実践力を身につけることを目指します。											
科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数		
				英語	国際	観光	情報	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5			
基礎科目	教養科目	□頭表現	2	1年~	*	*	*	*	○					18単位以上選択	
		文章表現	2	1年~	*	*	*	*	○						
		基礎数学	2	1年~							○				
		敬天愛人講座	2	1年~						○		○			
		敬愛プログラム	2	1年~					○			○			
		健康科学	2	1年~					○		○				
		スポーツ教育 I	1	1年~						○			○		
		スポーツ教育 II	1	1年~						○					○
		哲学	2	1年~						○					
		心理学	2	1年~						○					
		社会心理学	2	1年~						○					
		歴史学	2	1年~						○					
		文学	2	1年~						○					
		日本語学	2	1年~						○		○			
		言語学	2	1年~						○		○			
		法学	2	1年~							○				
		憲法	2	1年~							○				
		政治学	2	1年~							○				
		社会学	2	1年~							○				
		数学 I	2	1年~								○			
		数学 II	2	1年~								○			
		統計学 I	2	1年~								○			
		統計学 II	2	1年~								○			
		環境科学	2	1年~								○			
		ボランティア活動	2	1年~								○	○		
		世界を知る	2	1年~							○				
AI・DSへのいざない	2	1年~	*	*	*	*	*	○			○				
情報概論	2	1年~									○				
演習	1年基礎演習 I	1	1年~	*	*	*	*	○	○						
	1年基礎演習 II	1	1年~	*	*	*	*	○	○						
外国語科目	英語	College English I	2	1年~	*	*	*	*	○					英語コミュニケーションコース 選択者18単位以上選択 (留学生は22単位以上選択)、他コースは10単位以上選択 (留学生も10単位以上選択)	
		College English II	2	1年~	*	*	*	*	○						
		Speaking I	1	1年~	*	*	*	*	○						
		Speaking II	1	1年~	*	*	*	*	○						

2024年度

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数		
				英語	国際	観光	情報	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5			
外国語科目	英語	Reading I	1	1年~	*				◎						英語コミュニケーションコース 選択者18単位以上選択 (留学生 は22単位以上選択)、他コース は10単位以上選択 (留学生も 10単位以上選択)
		Reading II	1	1年~	*				◎						
		Writing I	1	1年~	*				◎						
		Writing II	1	1年~	*				◎						
		Listening I	1	1年~	*				◎						
		Listening II	1	1年~	*				◎						
		College English III	2	2年~	*				◎						
		College English IV	2	2年~	*				◎						
		Debate I	1	2年~	*				◎						
		Debate II	1	2年~	*				◎						
	Basic Grammar I	1	1年~					◎							
	Basic Grammar II	1	1年~					◎							
	時事英語 I	1	2年~					◎	○						
	時事英語 II	1	2年~					◎	○						
英語以外の 外国語	中国語 I	1	1年~					◎							
	中国語 II	1	1年~					◎							
	フランス語 I	1	1年~					◎							
	フランス語 II	1	1年~					◎							
	ドイツ語 I	1	1年~					◎							
	ドイツ語 II	1	1年~					◎							
	コリア語 I	1	1年~					◎							
日本語	コリア語 II	1	1年~					◎							
	日本語 I	2	1年~					◎					留学生必修		
日本語 II	2	1年~					◎								
情報基礎科目	情報処理 I (情報基礎)	1	1年~	*	*	*	*			◎				2単位必修	
	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	1年~	*	*	*	*			◎					
専門科目	共通	国際関係入門	2	1年~						◎		○		英語コミュニケーションコース 選択者18単位以上選択、他コー スは22単位以上選択	
		国際社会とSDGs	2	1年~					◎	◎	○	○			
		千葉学	2	1年~						○		◎			
		Japan Today	2	1年~					○	◎					
		アジアの文化と社会	2	1年~						◎					
		アメリカの文化と社会	2	1年~						◎					
		ヨーロッパの文化と社会	2	1年~						◎					
		イギリスの文化と社会	2	1年~						◎					
		比較文化論	2	1年~					○	◎					
		異文化理解	2	1年~					◎	○					
		多文化共生社会	2	1年~						◎					
		入門ツーリズム I	2	1年~						◎		○			
		入門ツーリズム II	2	1年~						◎		○			
		データサイエンス総論	2	1年~							◎				
	英語で学ぶPython	2	1年~							◎					
	英米文学概論	2	1年~					◎							
	日本語教育入門	2	1年~								◎				
専門科目 (英語コミュニ ケーション コース)	Advanced Reading I	2	2年~	*				◎	○				英語コミュニケーションコース 選択者40単位以上選択 (内14 単位は他コースの専門科目でも 可)		
	Advanced Reading II	2	2年~	*				○	◎						
	Advanced Listening I	2	2年~	*				◎							
	Advanced Listening II	2	2年~	*				◎							
	English for Global Issues I	2	2年~	*				○	◎						
	マルチメディア (Multimedia)	2	2年~					◎	○						
英文法	2	2年~					◎								

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数		
				英語	国際	観光	情報	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5			
専門科目 (英語コミュニケーションコース)	英語の音声	2	2年～					◎							英語コミュニケーションコース 選択者40単位以上選択 (内14 単位は他コースの専門科目でも 可)
	英語学概論	2	2年～					◎							
	アメリカ文学特講	2	2年～					◎	○						
	英米文化概論	2	2年～					◎							
	English for Global Issues II	2	2年～	*				○	◎						
	English Presentation I	2	3年～	*				◎		○					
	English Presentation II	2	3年～	*				◎		○					
	Advanced Reading III	2	3年～	*				○	◎						
	Advanced Reading IV	2	3年～	*				○	◎						
	Academic Writing I	2	3年～	*				◎							
	Academic Writing II	2	3年～	*				◎							
	英語史	2	2年～					◎							
	英語音声学 I	2	2年～					○		◎					
	英語音声学 II	2	2年～					○		◎					
	イギリス文学史	2	2年～					◎	○						
アメリカ文学史	2	2年～					◎	○							
英米文化特講	2	3年～					◎								
専門科目 (国際ビジネスコース)	経済学基礎	2	2年～							◎				国際ビジネスコース選択者44単 位以上選択 (内22単位は他コ ース科目でも可)	
	経営学基礎	2	2年～							◎					
	金融論	2	2年～							◎	○				
	国際法 I	2	2年～						◎						
	国際法 II	2	2年～						◎						
	簿記会計基礎 I	2	2年～							◎	○				
	簿記会計基礎 II	2	2年～							◎	○				
	マーケティング	2	2年～							◎	○				
	空港ビジネス	2	2年～						○	◎	○				
	ホスピタリティ	2	2年～					◎			○				
	エアライン・ビジネス	2	2年～							◎	○				
	AI概論	2	2年～							◎	○				
	プログラミング	2	2年～							◎					
	アルゴリズム論	2	2年～							◎					
	マーケティングリサーチ I	2	2年～							◎	○				
	マーケティングリサーチ II	2	2年～							◎	○				
	国際経済学	2	3年～						○	◎					
	国際金融論	2	3年～							◎					
	国際貿易論	2	3年～					○		◎					
	国際経営	2	3年～						○	◎					
国際経済とビジネスの法	2	3年～							◎						
国際会計	2	3年～					○		◎						
企業ファイナンス	2	3年～							◎						
航空物流論	2	3年～							◎	○					
情報ビジネス論	2	3年～							◎	○					
専門科目 (観光マネジメントコース)	千葉県の産業と行政	2	2年～							◎	◎			観光マネジメントコース選択者 44単位以上選択 (内22単位は 他コース科目でも可)	
	マーケティング	2	2年～							◎	○				
	サービスマーケティング論	2	2年～							◎					
	管理会計論	2	2年～							◎	○				
	流通経営論	2	2年～							○					
	観光事業論 I	2	2年～							◎	○				
	観光事業論 II	2	2年～							◎	○				
交通論	2	2年～							◎	○					

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数
				英語	国際	観光	情報	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
専門科目	専門科目 (観光マネジメントコース)	旅行ビジネス論	2	2年~						◎	○		観光マネジメントコース選択者 44単位以上選択 (内22単位は 他コース科目でも可)
		ホテル・ビジネス論	2	2年~						◎	○		
		地域観光論	2	2年~						◎	○		
		観光政策論	2	2年~					○	◎			
		観光統計	2	2年~						◎			
		観光マーケティング調査	2	2年~						◎	○		
		航空産業論	2	2年~						◎	○		
		情報ビジネス論	2	3年~						◎	○		
		国際観光研究	2	3年~					○	☆			
		千葉の観光研究	2	3年~						☆	◎		
	観光マーケティング	2	3年~						☆	◎			
	専門科目 (情報・データサイエンスコース)	アルゴリズム論	2	2年~						◎		◎	情報・データサイエンスコース 選択者44単位以上選択 (内22 単位は他専攻科目でも可)
		AI概論	2	2年~						◎		◎	
		プログラミング (R)	2	2年~						○		○	
		プログラミング (Python)	2	2年~						◎		◎	
		情報セキュリティ論	2	2年~						◎	○	◎	
		情報ガバナンス	2	2年~						○	○	○	
		データベース論	2	2年~						◎		◎	
		マーケティングリサーチ I	2	2年~						◎		◎	
		マーケティングリサーチ II	2	2年~						◎		◎	
		観光マーケティング調査	2	2年~						◎		◎	
		社会調査法 I	2	2年~						◎		◎	
		社会調査法 II	2	2年~						◎		◎	
		経済統計 I	2	2年~						○		○	
		経済統計 II	2	2年~						○		○	
		情報英語 I	2	2年~						○	○	○	
		情報英語 II	2	2年~						○	○	○	
		AI・データサイエンス実践 I	2	3年~						◎		◎	
		AI・データサイエンス実践 II	2	3年~						☆		☆	
		社会調査実習 I	2	3年~						◎		◎	
社会調査実習 II		2	3年~						◎		◎		
情報ビジネス論	2	3年~						○	○	○			
AI特講 (トピック)	2	3年~						☆		☆			
自然言語処理	2	3年~						☆		☆			
画像処理	2	3年~						☆		☆			
専門研究	2年次専門研究 I	2	2年~	*	*	*	*					12単位以上	
	2年次専門研究 II	2	2年~	*	*	*	*						
	3年次専門研究 I	2	3年~	*	*	*	*						
	3年次専門研究 II	2	3年~	*	*	*	*						
	4年次専門研究 I	2	4年~	*	*	*	*						
	4年次専門研究 II	2	4年~	*	*	*	*						
	卒業論文	2	4年~					○	◎	○			
キャリア・インターンシップ科目	キャリアデザインを学ぶ	2	1年~						○			4単位以上選択	
	キャリアプランニング	2	1年~						○				
	キャリアディベロップメント	2	2年~						○				
	企業の魅力発見	2	2年~						◎	○			
	実践的キャリア演習 I	2	3年~						○				
	実践的キャリア演習 II	2	3年~						○				
	プレインターンシップ	2	3年~						○				
インターンシップ	1	3年~						○					

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)					卒業要件単位数	
				英語	国際	観光	情報	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
キャリア・インターンシップ科目	ポストインターンシップ	2	3年～											4単位以上選択
自由選択科目	海外語学研修Ⅰ	2	1年～					◎						12単位以上選択 (英語コミュニケーションコースを選択した留学生は8単位以上選択) ※自由選択科目区分以外の卒業要件単位以上修得した他区分科目 (基礎科目、外国語科目、専門科目、キャリア・インターンシップ科目) も含む
	海外語学研修Ⅱ	2	1年～					◎						
	海外スクーリングⅠ	2	1年～					◎	○					
	海外スクーリングⅡ	2	1年～					◎	○					
	English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	1	1年～					◎	○					
	English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	1	1年～					◎	○					
	TOEIC®向上講座Ⅰ	2	1年～					◎		○				
	TOEIC®向上講座Ⅱ	2	1年～					◎		○				
	現代日本語文法Ⅰ	2	2年～							◎				
	現代日本語文法Ⅱ	2	2年～							◎				
	心理言語学	2	2年～							◎				
	日本語教育方法論	2	2年～							◎				
	日本文化論	2	2年～						◎	○				
	日本語教育研究Ⅰ	2	2年～							◎				
	日本語教育研究Ⅱ	2	3年～							◎				
教育実習指導 (日本語)	2	3年～							◎					
他大学・他学部・他学科単位互換科目														
教職及び教科に関する科目	教育原論	2	1年～											
	教育課程論	2	1年～											
	教育心理学	2	1年～											
	発達心理学	2	1年～											
	特別支援教育概論	2	2年～											
	教職概論	2	1年～											
	教育行政	2	2年～											
	教育法規	2	2年～											
	英語科指導法Ⅰ	2	2年～											
	英語科指導法Ⅱ	2	2年～											
	英語科指導法Ⅲ	2	2年～											
	英語科指導法Ⅳ	2	2年～											
	道徳教育指導法	2	2年～											
	総合的な学習の時間の指導法	2	2年～											
	特別活動指導法	2	2年～											
	教育方法・技術論	2	2年～											
	教育とICT活用	2	2年～											
	生徒・進路指導論	2	2年～											
	教育相談	2	2年～											
	教育実習指導	1	3年～											
中学校教育実習	4	4年～												
高等学校教育実習	2	4年～												
教職実践演習 (中・高)	2	4年～												

4

国際学科2023カリキュラム表 (2023年度入学者)

1. 「敬愛大学学則」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。基礎科目、外国語科目、情報基礎科目、専門科目、キャリア・インターンシップ科目、自由選択科目、教職科目を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。本学科の人材育成の目的は、「敬愛大学学則」により以下の通り定められています。国際学部国際学科は、国際社会を多角的に理解し、変化する現代を生き抜く力を身に付け、高いコミュニケーション能力を培い、グローバル化する地域社会に貢献できる人材を育成する。
2. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目、集中講義及び課外研修によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修においては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 「専門研究」では1年次後期に2年次所属ゼミを選択し、翌年前期に「2年次専門研究I」を履修します。2年次前期の終わりに後期所属ゼミを選択し、後期に「2年次専門研究II」を履修します。2年次は専門研究に必要な技能を身につけます。3年次から本格的に専門研究が始まりますが、2年次後期に所属ゼミを選択します。「3年次専門研究I・II」及び「4年次専門研究I・II」は同一教員に指導を受けます。※途中でのゼミ変更は認めないを原則とする。
4. 2年次までに、将来の進路や関心に応じて4つの専攻（英米語、地域デザイン、国際ビジネス、観光マネジメント）の中から1つを選択します。卒業までに、選択した専攻の専門科目の中から40単位以上修得することが必要です。英米語専攻は、英語科目の必修が多く設定されています。そのため、1年次からできるだけ多くの英語科目を履修することを推奨します。

特色ある教育

敬天愛人講座

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、他者には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、自律した品格のある人間に成るよう努力します。

AI・DSへのいざない

インターネット上に蓄積される大量の情報データをAIを活用して分析し、その客観的証拠による判断が求められる時代となりました。文系理系を問わず、あらゆる場面でAIやデータサイエンスに関する知識は不可欠といえます。本科目は、そのような「AI・データサイエンス」の知識を身につけるための導入科目となります。

実習科目（自由選択科目）

海外語学研修I・II、海外スクーリングI・II、国内スクーリングI・IIが設置されています。海外語学研修では英語、中国語、韓国語が海外の協定校において、夏休みと春休みの長期休暇を利用して学ぶことができます。海外スクーリングは、訪問する国事情に詳しい教員が担当する体験型授業です。国内スクーリングはその国内版で、同じく専門知識及び教養を深めるための体験型授業となっています。

留学

短期留学（半年）と長期留学（1年）があります。大学が協定を結んでいる大学に留学する場合、留学先の大学で取得した単位を本学の単位として読み替えます。また、本学の学費は奨学金の代わりとして、免除されます。交換留学制度がある台湾の中国文化大学、韓国の木浦大学に留学する場合は、留学先の学費も免除されます。※国内外の情勢によっては実施できない場合もあります。

専攻の概要

英米語専攻

英語による総合的なコミュニケーション力を高めながら、グローバルな世界及び自分自身を探究するための知識・技能及び思考力・判断力・表現力を磨きます。1、2年次の英語科目では、少人数クラスで「聞く」「読む」「話す」「書く」の統合的な言語活動を通して、就職の際にも大きなアピールポイントとなる各領域の英語運用能力を強化します。また中・高等学校の英語教師を目指す学生は、2年次から特別講座を受けることによって教員採用試験突破に向けた効率的な対策を取ることができます。英語力の指標としては、2年次でTOEIC L&R 500点程度（実用英語技能検定では準2級～2級程度）以上を、3年次でTOEIC L&R 600点程度（実用英語技能検定では2級～準1級程度）以上の取得を目指します。また、3年次から始まる専門課程では、「英語教育」「第二言語習得」「異文化コミュニケーション」「英語学」「アメリカ文学」「英米文化」等の専門研究で各自の学びを深め、併せて、適切且つ的確に自己表現をする能力、他者とのやり取りを通して多様な価値観や考え方を理解した上で協働する能力を高めていきます。

地域デザイン専攻

本専攻は、まず、基礎として、日本や外国のコミュニティ、基礎自治体からEUなどの国家と国家の統合された地域まで、幅広い地域のしくみ（制度）や現状について学びます。その上で、専門として、政策的な思考と実務的な法律を学びます。この2つの学びを通し、情報収集・分析力、しくみについての理解力、コミュニケーション力、主体的な行動力を伸ばし、暮らしや地域社会をデザインする能力を身につけます。

学びの範囲は、地域研究、地域政策学、国際社会学、国際関係論、多文化共生論、行政法・民法・地方自治制度、情報処理など幅広い分野となります。これらを体系的に学びます。

国際ビジネス専攻

現代ビジネスで必要な国際経済・経営と情報の基礎知識を学び、さらに進路に応じた専門知識、特に「空港関連」「AI・データサイエンス」について深く学べます。空港関連では、キャビンアテンダント（CA）やグラウンドスタッフ（GS）など空港業務を目指すために必要な英語力のレベルアップをはかりながら、ホスピタリティ（おもてなし）の基本的技術を習得したり、空港に関する実践的な知識を学べます。AI・データサイエンスでは、企業に限らず様々な分野で必要性が高まったAIに関する知識とデータ分析方法について学べます。指定科目を履修することで社会調査士資格も取得できます。

どのような状況にあっても、自ら課題を見つけて解決し、国際社会・地域社会で活躍できる人材を育成します。

観光マネジメント専攻

21世紀の成長産業である「観光」をマネジメントの視点から学び、観光経営のスペシャリストを目指します。旅行業、宿泊産業、運輸産業、観光地計画・経営などの幅広い観光経営を体系的に学ぶとともに、具体的な事例にも触れ、その実態と経営手法を理解します。また、観光を世界や日本の文化や歴史、異文化交流の視点からも学び、グローバルな視点により、地域社会の発展に貢献する力を身につけます。

海外からの利用客の多いホテルや旅行会社、航空、鉄道、テーマパークなど、観光産業分野で活躍したい人、観光を通して地域に貢献したい人に最適です。また、ブライダル、エンターテインメントやイベントなどホスピタリティ・マインドを必要とするサービス産業で働くことを目指す人にも適しています。

区分・専攻		卒業必要単位	必修科目
基礎科目		18単位以上	口頭表現、文章表現、AI・DSへのい ぎない 1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ
外国 語 科 目	英米語専攻	16単位以上 (留学生20単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、 SpeakingⅠ・Ⅱ、WritingⅠ・Ⅱ、 ListeningⅠ・Ⅱ、DebateⅠ・Ⅱ 日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	地域デザイン専攻	8単位以上 (留学生10単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	国際ビジネス専攻	8単位以上 (留学生10単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
	観光マネジメント専攻	8単位以上 (留学生10単位以上)	College EnglishⅠ・Ⅱ、 SpeakingⅠ・Ⅱ 日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生のみ必修、日本人学生不可)
情報基礎科目		2単位以上	情報処理Ⅰ・Ⅱ
専 門 科 目	共通	6単位以上	
	英米語専攻	専門科目専攻群より54単位以上 (内 40単位は選択した専攻内から修得、 14単位は他専攻の専門科目でも可)	英文講読Ⅰ・Ⅱ Advanced ReadingⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Advanced ListeningⅠ・Ⅱ English for Global IssuesⅠ・Ⅱ English PresentationⅠ・Ⅱ Academic WritingⅠ・Ⅱ
	地域デザイン専攻	専門科目専攻群より62単位以上 (内 40単位は選択した専攻内から修得、 22単位は他専攻の専門科目でも可)	
	国際ビジネス専攻	専門科目専攻群より62単位以上 (内 40単位は選択した専攻内から修得、 22単位は他専攻の専門科目でも可)	
	観光マネジメント専攻	専門科目専攻群より62単位以上 (内 40単位は選択した専攻内から修得、 22単位は他専攻の専門科目でも可)	
	専門研究	12単位以上	2年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ 4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ
キャリア・ インターンシップ科目		4単位以上	
自由選択科目		12単位以上 (英米語専攻を選択した留学生は8 単位以上、他専攻を選択した留学生 は10単位以上)	※卒業要件単位以上修得した他区分科 目。 (基礎科目、外国語科目、専門科目、 キャリア・インターンシップ科目) ※自由選択科目
卒業要件単位数 124単位以上			

国際学科 2023 カリキュラム表 (2023 年度入学者)

国際学科DP		DP1. コミュニケーション能力、および高度な英語の運用能力の修得 DP2. 国際的な視野で多様性のある共生社会の課題に取り組む能力の修得 DP3. 卒業後の進路目標に応じた専門知識の体系的修得 DP4. 共生社会で協働し、その発展に貢献できる力の修得												
到達目標		英米語専攻	地域デザイン専攻	国際ビジネス専攻	観光マネジメント専攻									
科目区分		国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数	
					英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4		
基礎科目	教養科目	口頭表現	2	1年～	*	*	*	*	○		○		18単位以上選択	
		文章表現	2	1年～	*	*	*	*	○		○			
		基礎数学	2	1年～								○		
		敬天愛人講座	2	1年～							◎			○
		敬愛プログラム	2	1年～						○				◎
		健康科学	2	1年～										
		スポーツ教育 I	1	1年～							◎			○
		スポーツ教育 II	1	1年～							◎			○
		哲学	2	1年～							◎			
		心理学	2	1年～							◎			
		社会心理学	2	1年～							◎			
		歴史学	2	1年～							◎			
		文学	2	1年～							◎			
		日本語学	2	1年～							◎	○		
		言語学	2	1年～							◎	○		
		法学	2	1年～							◎			
		憲法	2	1年～							◎			
		政治学	2	1年～							◎			
		社会学	2	1年～							◎			
		数学 I	2	1年～										◎
		数学 II	2	1年～										◎
		統計学 I	2	1年～										◎
		統計学 II	2	1年～										◎
		環境科学	2	1年～										◎
		ボランティア活動	2	1年～								○		◎
		世界を知る	2	1年～								◎		
AI・DSへのいざない	2	1年～	*	*	*	*	*	○		◎				
情報概論	2	1年～						○			◎			
演習	1年基礎演習 I	1	1年～	*	*	*	*	○	◎					
	1年基礎演習 II	1	1年～	*	*	*	*	○	◎					
外国語科目	英語	College English I	2	1年～	*	*	*	*	◎				英米語専攻選択者16単位以上選択 (留学生は20単位以上選択)、他専攻は8単位以上選択 (留学生は10単位以上選択)	
		College English II	2	1年～	*	*	*	*	◎					
		Speaking I	1	1年～	*	*	*	*	◎					
		Speaking II	1	1年～	*	*	*	*	◎					
		Writing I	1	1年～	*				◎					
		Writing II	1	1年～	*				◎					
		Listening I	1	1年～	*				◎					
		Listening II	1	1年～	*				◎					
		College English III	2	2年～	*				◎					
College English IV	2	2年～	*				◎							

2023年度

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数	
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4		
外国語科目	英語	Debate I	1	2年~	*				◎				英米語専攻選択者16単位以上選択 (留学生は20単位以上選択)、他専攻は8単位以上選択 (留学生は10単位以上選択)
		Debate II	1	2年~	*				◎				
		Basic Grammar I	1	1年~					◎				
		Basic Grammar II	1	1年~					◎				
		ビジネス英語 I	1	2年~					◎				
		ビジネス英語 II	1	2年~					◎				
	英語以外の外国語	時事英語 I	1	2年~					◎	○			
		時事英語 II	1	2年~					◎	○			
		中国語 I	1	1年~					◎				
		中国語 II	1	1年~					◎				
		フランス語 I	1	1年~					◎				
		フランス語 II	1	1年~					◎				
	日本語	ドイツ語 I	1	1年~					◎				
		ドイツ語 II	1	1年~					◎				
日本語	コリア語 I	1	1年~					◎					
	コリア語 II	1	1年~					◎					
日本語	日本語 I	2	1年~					◎				留学生必修	
	日本語 II	2	1年~					◎					
情報基礎科目	情報処理 I (情報基礎)	1	1年~	*	*	*	*			◎		2単位必修	
	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	1年~	*	*	*	*			◎			
専門科目 (英米語専攻)	共通	国際関係入門	2	1年~					◎		○	6単位以上選択	
		Japan Today	2	1年~					○	◎			
		イギリスの文化と社会	2	1年~						◎			
		アメリカの文化と社会	2	1年~						◎			
		アジアの文化と社会	2	1年~						◎			
		国際社会とSDGs	2	2年~					◎	◎	○		○
		日本の近現代と世界	2	2年~						○			
		異文化理解	2	2年~					◎	○			
	導入	英米学	英語コミュニケーション	2	1年~	*				◎			英米語専攻選択者54単位以上選択 (但し14単位は他専攻の専門科目でも可)
		英語学	英語学概論	2	1年~	*				◎			
		英米文化	TOEIC®向上講座 I	2	1年~					◎		○	
			英米文化概論	2	1年~					◎	○		
		英米文化	英米文学概論	2	1年~					◎			
			Advanced Reading I	2	2年~	*				◎	○		
基本	Advanced Reading II	2	2年~	*				○	◎				
	Advanced Listening I	2	2年~	*				◎					
	Advanced Listening II	2	2年~	*				◎					
	English for Global Issues I	2	2年~	*				○	◎				
	マルチメディア (Multimedia)	2	2年~					◎	○				
	TOEIC®向上講座 II	2	2年~					◎		○			
	英文法	2	2年~					◎					
	英語の音声	2	2年~					◎					
英米文化・英米文学	英米文学特講 I (イギリス小説)	2	2年~					◎	○				
	英米文学特講 II (アメリカ小説)	2	2年~					◎	○				
発展	英語コミュニケーション	English for Global Issues II	2	2年~	*			○	◎				
	English Presentation I	2	3年~	*				◎		○			
	English Presentation II	2	3年~	*				◎		○			
	Advanced Reading III	2	3年~	*				○	◎				
Advanced Reading IV	2	3年~	*				○	◎					

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数				
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4					
専攻科目 (英米語専攻)	発展 英語学 英米文化・ 文学文化	Academic Writing I	2	3年~	*					◎				英米語専攻選択者54単位以上選択(但し14単位は他専攻の専攻科目でも可)		
		Academic Writing II	2	3年~	*					◎						
		英語史	2	2年~						◎						
		英語音声学 I	2	2年~						○		◎				
		英語音声学 II	2	2年~						○		◎				
		イギリス文学史	2	2年~						◎	○					
		アメリカ文学史	2	2年~						◎	○					
	英米文化特講	2	3年~						◎							
	専攻科目 (地域デザイン専攻)	導入	地域デザイン概論	2	1年~							◎			地域デザイン専攻選択者62単位以上選択(但し22単位は他専攻科目でも可)	
			国際政治史	2	1年~						○	◎				
		基本	千葉学	2	1年~							○		◎		
			地域学 I (東アジア)	2	2年~							◎	○			
			地域学 I (東南アジア)	2	2年~							◎	○			
			地域学 I (中東)	2	2年~							◎	○			
			地域学 I (アフリカ)	2	2年~							◎	○			
			地域学 I (ヨーロッパ)	2	2年~							◎	○			
			地域学 I (アメリカ)	2	2年~						○	◎	○			
			比較文化論	2	2年~						○	◎				
			現代市民社会	2	2年~							◎	○			
			経済政策 I	2	2年~								◎			
経済政策 II			2	2年~								◎				
地方自治論 I			2	2年~								◎	○			
地方自治論 II			2	2年~								◎	○			
フィールド調査		2	3年~								◎	○				
多文化共生社会		2	3年~								◎					
発展		移民政策論	2	2年~						○	◎					
		社会開発論	2	2年~							◎	○				
		千葉学実習	2	2年~							○		◎			
		行政法 I	2	2年~								◎	○			
		行政法 II	2	2年~								◎	○			
		民法 I	2	2年~								◎	○			
		民法 II	2	2年~								◎	○			
		労働法	2	2年~								◎	○			
		地域学 II (日本・東アジア)	2	3年~								◎				
		地域学 II (日本・東南アジア)	2	3年~						○	◎					
	地域学 II (日本・中東)	2	3年~							◎						
	地域学 II (日本・アフリカ)	2	3年~							◎						
地域学 II (日本・ヨーロッパ)	2	3年~							◎							
地域学 II (日本・アメリカ)	2	3年~						○	◎							
日本語教員養成	日本語教育入門	2	1年~								◎					
	現代日本語文法 I	2	2年~								◎					
	現代日本語文法 II	2	2年~								◎					
	心理言語学	2	2年~								◎					
	日本語教育方法論	2	2年~								◎					
	日本文化論	2	2年~							◎	○					
	日本語教育研究 I	2	2年~								◎					
	日本語教育研究 II	2	3年~								◎					
教育実習指導 (日本語)	2	3年~								◎						

2023年度

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	記当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数				
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4					
専門科目 国際ビジネス専攻	導入	国際経済・経営	入門経済学	2	1年~							◎			国際ビジネス専攻選択者62単位以上選択(但し22単位は他専攻科目でも可)	
			入門経営学	2	1年~								◎			
			国際法Ⅰ	2	2年~						◎					
		サイエンス	データサイエンス総論	2	1年~								◎			
			英語で学ぶPython	2	1年~								◎			
			空港ビジネス	2	1年~								◎	○		
		空港ビジネス	入門ツーリズムⅠ	2	1年~							◎				○
			入門ツーリズムⅡ	2	1年~							◎				○
	ホスピタリティ		2	1年~						◎				○		
	国際経済・経営	国際経済学	2	2年~							○	◎				
		金融論	2	2年~								◎	○			
		国際法Ⅱ	2	2年~							◎					
		国際経営	2	2年~							○	◎				
		簿記会計基礎Ⅰ	2	2年~								◎	○			
		簿記会計基礎Ⅱ	2	2年~								◎	○			
		マーケティング	2	2年~								◎	○			
	AⅠ・データサイエンス	アルゴリズム論	2	2年~								◎				
		マーケティングリサーチⅠ	2	2年~								◎	○			
		マーケティングリサーチⅡ	2	2年~								◎	○			
		観光マーケティング調査	2	2年~								◎	○			
		社会調査法Ⅰ	2	2年~								◎	○			
		社会調査法Ⅱ	2	2年~								◎	○			
		AI概論	2	2年~								◎	○			
	空港ビジネス	プログラミング	2	2年~								◎				
		AI・データサイエンス実践	2	3年~								◎	○			
		エアライン論	2	2年~								◎	○			
		観光事業論Ⅰ	2	2年~								◎	○			
		観光事業論Ⅱ	2	2年~								◎	○			
	国際経済・経営	旅行ビジネス論	2	2年~								◎	○			
		地域観光論	2	2年~								◎	○			
		ホテル・ビジネス論	2	2年~								◎	○			
		国際金融論	2	3年~								◎				
	発展	国際貿易論	2	3年~							○		◎			
		国際経済とビジネスの法	2	3年~									◎			
国際会計		2	3年~							○		◎				
企業ファイナンス		2	3年~									◎				
情報ビジネス論		2	3年~									◎	○			
サイエンス		社会調査実習Ⅰ	2	3年~								◎	○			
導入	経営	社会調査実習Ⅱ	2	3年~								◎	○			
		航空物流論	2	3年~								◎	○			
		入門経営学	2	1年~								◎				
基本	経営	経営学	2	1年~								◎				
		入門ツーリズムⅠ	2	1年~							○	◎	○			
		入門ツーリズムⅡ	2	1年~							○	◎	○			
		空港ビジネス	2	1年~							○	◎	○			
		ホスピタリティ	2	1年~						◎			○			
基本	経営	国際経営	2	2年~						○	◎					
		簿記会計基礎Ⅰ	2	2年~								◎	○			
		簿記会計基礎Ⅱ	2	2年~								◎	○			
		千葉県の産業と行政	2	2年~								◎	◎			

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数	
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4		
専攻科目 観光マネジメント専攻 基本 異文化理解 発展 専門研究 キャリア・インターンシップ科目	マーケティング	2	2年～							◎	○	観光マネジメント専攻選択者 62単位以上選択(但し22単位 は他専攻科目でも可)	
	サービスマーケティング論	2	2年～							◎			
	管理会計論	2	2年～							◎	○		
	流通経営論	2	2年～							○			
	観光事業論Ⅰ	2	2年～							◎	○		
	観光事業論Ⅱ	2	2年～							◎	○		
	交通論	2	2年～							◎	○		
	旅行ビジネス論	2	2年～							◎	○		
	ホテル・ビジネス論	2	2年～							◎	○		
	エアライン論	2	2年～							◎	○		
	地域観光論	2	2年～							◎	○		
	観光英語Ⅰ	2	2年～						◎	○	○		
	観光英語Ⅱ	2	2年～						◎	○	○		
	観光政策論	2	2年～							○	◎		
	観光統計	2	2年～								◎		
	観光マーケティング調査	2	2年～								◎		○
	日本文化論	2	2年～							○			
	比較文化論	2	2年～							○			
	現代市民社会	2	2年～							◎	○		
	グローバル政治	2	2年～							○			
	地域学Ⅰ(東アジア)	2	2年～							◎	○		
	地域学Ⅰ(東南アジア)	2	2年～							◎	○		
	地域学Ⅰ(中東)	2	2年～							◎	○		
	地域学Ⅰ(アフリカ)	2	2年～							◎	○		
	地域学Ⅰ(ヨーロッパ)	2	2年～							◎	○		
	地域学Ⅰ(アメリカ)	2	2年～						○	◎	○		
	経営 情報ビジネス論	2	3年～								◎		○
	観光 国際観光研究	2	3年～							○	☆		
	観光 千葉の観光研究	2	3年～								☆		◎
	観光 マーケティング	2	3年～								☆		◎
	異文化理解 多文化共生社会	2	3年～								◎		
	専門研究 2年次専門研究Ⅰ	2	2年～	*	*	*	*	○	◎	○			
	専門研究 2年次専門研究Ⅱ	2	2年～	*	*	*	*	○	◎	○			
専門研究 3年次専門研究Ⅰ	2	3年～	*	*	*	*	○	◎	○				
専門研究 3年次専門研究Ⅱ	2	3年～	*	*	*	*	○	◎	○				
専門研究 4年次専門研究Ⅰ	2	4年～	*	*	*	*	○	◎	○				
専門研究 4年次専門研究Ⅱ	2	4年～	*	*	*	*	○	◎	○				
卒業論文	2	4年～					○	◎	○				
キャリア・インターンシップ科目 キャリアデザインを学ぶ	2	1年～						○					
キャリア・インターンシップ科目 キャリアプランニング	2	1年～						○					
キャリア・インターンシップ科目 キャリアディベロップメント	2	2年～						○					
キャリア・インターンシップ科目 企業の魅力発見	2	2年～							◎	○			
キャリア・インターンシップ科目 実践的キャリア演習Ⅰ	2	3年～							○				
キャリア・インターンシップ科目 実践的キャリア演習Ⅱ	2	3年～							○				
キャリア・インターンシップ科目 プレインターンシップ	2	3年～							○				
キャリア・インターンシップ科目 インターンシップ	1	3年～							○				
キャリア・インターンシップ科目 ポストインターンシップ	2	3年～							○				

2023年度

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	国際学科設置科目名	単位数	配当学年	専攻毎必修科目 *必修科目				◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数	
				英米	地域	国際	観光	DP1	DP2	DP3	DP4		
自由選択科目	海外語学研修Ⅰ	2	1年～					◎				12単位以上選択 (英米語専攻を選択した留学生は8単位以上選択、他専攻を選択した留学生は10単位以上選択) ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱは留学生のみ履修可 ※自由選択科目区分以外の卒業要件単位数以上修得した他区分科目 (基礎科目、外国語科目、専門科目、キャリア・インターンシップ科目) も含む	
	海外語学研修Ⅱ	2	1年～					◎					
	海外スクーリングⅠ	2	1年～					◎	○				
	海外スクーリングⅡ	2	1年～					◎	○				
	国内スクーリングⅠ	1	1年～						○		○		
	国内スクーリングⅡ	1	1年～						○		○		
	English Conversation(オンライン英会話)Ⅰ	1	1年～					◎	○				
	English Conversation(オンライン英会話)Ⅱ	1	1年～					◎	○				
	ビジネス日本語Ⅰ	2	2年～					○		○			
	ビジネス日本語Ⅱ	2	2年～					○		○			
他大学・他学部・他学科単位互換科目													
教職及び教科に関する科目	教育原論	2	1年～										
	教育課程論	2	1年～										
	教育心理学	2	1年～										
	発達心理学	2	1年～										
	特別支援教育概論	2	2年～										
	教職概論	2	1年～										
	教育行政	2	2年～										
	教育法規	2	2年～										
	英語科指導法Ⅰ	2	2年～										
	英語科指導法Ⅱ	2	2年～										
	英語科指導法Ⅲ	2	2年～										
	英語科指導法Ⅳ	2	2年～										
	道徳教育指導法	2	2年～										
	総合的な学習の時間の指導法	2	2年～										
	特別活動指導法	2	2年～										
	教育方法・技術論	2	2年～										
	教育とICT活用	2	2年～										
	生徒・進路指導論	2	2年～										
	教育相談	2	2年～										
	教育実習指導	1	3年～										
中学校教育実習	4	4年～											
高等学校教育実習	2	4年～											
教職実践演習 (中・高)	2	4年～											

※教職及び教科に関する科目は、教職課程希望の学生で別途「教職課程履修費」を納入している学生のみ履修可能です。

5

国際学部カリキュラム科目名変更一覧

		2026入学者カリキュラム		2025入学者カリキュラム			
26カリ区分		科目名	学年	科目名	学年		
基礎科目	教養科目	口頭表現	1	口頭表現	1		
		文章表現	1	文章表現	1		
		基礎数学	1	基礎数学	1		
		敬天愛人講座	1	敬天愛人講座	1		
		敬愛プログラム	1	敬愛プログラム	1		
		健康科学	1	健康科学	1		
		スポーツ教育 I	1	スポーツ教育 I	1		
		スポーツ教育 II	1	スポーツ教育 II	1		
		哲学	1	哲学	1		
		心理学	1	心理学	1		
		社会心理学	1	社会心理学	1		
		歴史学	1	歴史学	1		
		文学	1	文学	1		
		日本語コミュニケーション論	1	日本語学	1		
		言語学	1	言語学	1		
		法学	1	法学	1		
		憲法	1	憲法	1		
		政治学	1	政治学	1		
		社会学	1	社会学	1		
		数学 I	1	数学 I	1		
		数学 II	1	数学 II	1		
		統計学 I	1	統計学 I	1		
		統計学 II	1	統計学 II	1		
		環境科学	1	環境科学	1		
		ボランティア活動	1	ボランティア活動	1		
		世界を知る	1	世界を知る	1		
		AI・DSへのいざない	1	AI・DSへのいざない	1		
		情報概論	1	情報概論	1		
		金融リテラシー	1	金融リテラシー	1		
		税の基礎知識	1				
		演習		1年基礎演習 I	1	1年基礎演習 I	1
				1年基礎演習 II	1	1年基礎演習 II	1
		外国語科目	英語	College English I	1	College English I	1
College English II	1			College English II	1		
Speaking I	1			Speaking I	1		
Speaking II	1			Speaking II	1		
Reading I	1			Reading I	1		
Reading II	1			Reading II	1		
Writing I	1			Writing I	1		
Writing II	1			Writing II	1		
Listening I	1			Listening I	1		
Listening II	1			Listening II	1		
College English III	2			College English III	2		
College English IV	2			College English IV	2		
Debate I	2			Debate I	2		
Debate II	2			Debate II	2		
Basic Grammar I	1			Basic Grammar I	1		
Basic Grammar II	1			Basic Grammar II	1		
ビジネス英語 I	2			ビジネス英語 I	2		
ビジネス英語 II	2		ビジネス英語 II	2			
時事英語 I	2		時事英語 I	2			
時事英語 II	2		時事英語 II	2			
英語以外の外国語	中国語 I		1	中国語 I	1		
	中国語 II		1	中国語 II	1		
	フランス語 I		1	フランス語 I	1		
	フランス語 II	1	フランス語 II	1			
	ドイツ語 I	1	ドイツ語 I	1			
	ドイツ語 II	1	ドイツ語 II	1			
	コリア語 I	1	コリア語 I	1			
コリア語 II	1	コリア語 II	1				
日本語	日本語 I	1	日本語 I	1			
	日本語 II	1	日本語 II	1			
情報基礎科目	情報処理 I (情報基礎)	1	情報処理 I (情報基礎)	1			
	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1			

2024入学者カリキュラム		2023入学者カリキュラム	
科目名	学年	科目名	学年
口頭表現	1	口頭表現	1
文章表現	1	文章表現	1
基礎数学	1	基礎数学	1
敬天愛人講座	1	敬天愛人講座	1
敬愛プログラム	1	敬愛プログラム	1
健康科学	1	健康科学	1
スポーツ教育 I	1	スポーツ教育 I	1
スポーツ教育 II	1	スポーツ教育 II	1
哲学	1	哲学	1
心理学	1	心理学	1
社会心理学	1	社会心理学	1
歴史学	1	歴史学	1
文学	1	文学	1
日本語学	1	日本語学	1
言語学	1	言語学	1
法学	1	法学	1
憲法	1	憲法	1
政治学	1	政治学	1
社会学	1	社会学	1
数学 I	1	数学 I	1
数学 II	1	数学 II	1
統計学 I	1	統計学 I	1
統計学 II	1	統計学 II	1
環境科学	1	環境科学	1
ボランティア活動	1	ボランティア活動	1
世界を知る	1	世界を知る	1
AI・DSへのいざない	1	AI・DSへのいざない	1
情報概論	1	情報概論	1
1年基礎演習 I	1	1年基礎演習 I	1
1年基礎演習 II	1	1年基礎演習 II	1
College English I	1	College English I	1
College English II	1	College English II	1
Speaking I	1	Speaking I	1
Speaking II	1	Speaking II	1
Reading I	1		
Reading II	1		
Writing I	1	Writing I	1
Writing II	1	Writing II	1
Listening I	1	Listening I	1
Listening II	1	Listening II	1
College English III	2	College English III	2
College English IV	2	College English IV	2
Debate I	2	Debate I	2
Debate II	2	Debate II	2
Basic Grammar I	1	Basic Grammar I	1
Basic Grammar II	1	Basic Grammar II	1
ビジネス英語 I	2	ビジネス英語 I	2
ビジネス英語 II	2	ビジネス英語 II	2
時事英語 I	2	時事英語 I	2
時事英語 II	2	時事英語 II	2
中国語 I	1	中国語 I	1
中国語 II	1	中国語 II	1
フランス語 I	1	フランス語 I	1
フランス語 II	1	フランス語 II	1
ドイツ語 I	1	ドイツ語 I	1
ドイツ語 II	1	ドイツ語 II	1
コリア語 I	1	コリア語 I	1
コリア語 II	1	コリア語 II	1
日本語 I	1	日本語 I	1
日本語 II	1	日本語 II	1
情報処理 I (情報基礎)	1	情報処理 I (情報基礎)	1
情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1

Ⅲ

カリキュラム表

		2026入学者カリキュラム		2025入学者カリキュラム		
26カリ区分	科目名	学年	科目名	学年		
共通	国際関係入門	1	国際関係入門	1		
	国際社会とSDG s	1	国際社会とSDG s	1		
	千葉学	1	千葉学	1		
	Japan Today	1	Japan Today	1		
	アジアの文化と社会	1	アジアの文化と社会	1		
	アメリカの文化と社会	1	アメリカの文化と社会	1		
	ヨーロッパの文化と社会	1	ヨーロッパの文化と社会	1		
	イギリスの文化と社会	1	イギリスの文化と社会	1		
	比較文化論	1	比較文化論	1		
	異文化理解	1	異文化理解	1		
	多文化共生社会	1	多文化共生社会	1		
	入門ツーリズムⅠ	1	入門ツーリズムⅠ	1		
	入門ツーリズムⅡ	1	入門ツーリズムⅡ	1		
	データサイエンス総論	1	データサイエンス総論	1		
	英語で学ぶPython	1	英語で学ぶPython	1		
	英米文学概論	1	英米文学概論	1		
	日本語教育入門	1	日本語教育入門	1		
	社会調査法Ⅰ	2	社会調査法Ⅰ	2		
	社会調査法Ⅱ	2	社会調査法Ⅱ	2		
	社会調査実習Ⅰ	3	社会調査実習Ⅰ	3		
	社会調査実習Ⅱ	3	社会調査実習Ⅱ	3		
	専門科目 (英語コミュニケーションコース)	Advanced ReadingⅠ	2	Advanced ReadingⅠ	2	
		Advanced ReadingⅡ	2	Advanced ReadingⅡ	2	
		Advanced ListeningⅠ	2	Advanced ListeningⅠ	2	
		Advanced ListeningⅡ	2	Advanced ListeningⅡ	2	
		English for Global IssuesⅠ	2	English for Global IssuesⅠ	2	
		マルチメディア (Multimedia)	2	マルチメディア (Multimedia)	2	
		英文法	2	英文法	2	
		英語の音声	2	英語の音声	2	
		英語学概論	2	英語学概論	2	
		アメリカ文学特講	2	アメリカ文学特講	2	
		英米文化概論 ※英語で実施する授業	2	英米文化概論 ※英語で実施する授業	2	
		English for Global IssuesⅡ	2	English for Global IssuesⅡ	2	
		English PresentationⅠ	3	English PresentationⅠ	3	
		English PresentationⅡ	3	English PresentationⅡ	3	
Advanced ReadingⅢ		3	Advanced ReadingⅢ	3		
Advanced ReadingⅣ		3	Advanced ReadingⅣ	3		
Academic WritingⅠ		3	Academic WritingⅠ	3		
Academic WritingⅡ		3	Academic WritingⅡ	3		
英語史		2	英語史	2		
英語音声学Ⅰ		2	英語音声学Ⅰ	2		
英語音声学Ⅱ		2	英語音声学Ⅱ	2		
イギリス文学史		2	イギリス文学史	2		
アメリカ文学史		2	アメリカ文学史	2		
英米文化特講 ※英語で実施する授業		3	英米文化特講 ※英語で実施する授業	3		
専門科目 (国際ビジネスコース)		経済学基礎	2	経済学基礎	2	
		経営学基礎	2	経営学基礎	2	
		金融論	2	金融論	2	
		国際法Ⅰ	2	国際法Ⅰ	2	
		国際法Ⅱ	2	国際法Ⅱ	2	
		簿記会計基礎Ⅰ	2	簿記会計基礎Ⅰ	2	
		簿記会計基礎Ⅱ	2	簿記会計基礎Ⅱ	2	
		マーケティング	2	マーケティング	2	
		空港ビジネス	2	空港ビジネス	2	
		ホスピタリティ	2	ホスピタリティ	2	
		エアライン・ビジネス	2	エアライン・ビジネス	2	
	AI概論	2	AI概論	2		
	プログラミング	2	プログラミング	2		
	アルゴリズム論	2	アルゴリズム論	2		
	マーケティングリサーチⅠ	2	マーケティングリサーチⅠ	2		
	マーケティングリサーチⅡ	2	マーケティングリサーチⅡ	2		
	国際経済学	3	国際経済学	3		
	国際金融論	3	国際金融論	3		
	国際貿易論	3	国際貿易論	3		
	国際経営	3	国際経営	3		
	国際経済とビジネスの法	3	国際経済とビジネスの法	3		
	国際会計	3	国際会計	3		
	企業ファイナンス	3	企業ファイナンス	3		
航空物流論	3	航空物流論	3			
情報ビジネス論	3	情報ビジネス論	3			
専門科目 (観光マネジメントコース)						

2024入学者カリキュラム		2023入学者カリキュラム	
科目名	学年	科目名	学年
国際関係入門	1	国際関係入門	1
国際社会とSDG s	1	国際社会とSDG s	2
千葉学	1	千葉学	1
Japan Today	1	Japan Today	1
アジアの文化と社会	1	アジアの文化と社会	1
アメリカの文化と社会	1	アメリカの文化と社会	1
ヨーロッパの文化と社会	1		
イギリスの文化と社会	1	イギリスの文化と社会	1
比較文化論	1	比較文化論	2
異文化理解	1	異文化理解	2
多文化共生社会	1	多文化共生社会	3
入門ツーリズムⅠ	1	入門ツーリズムⅠ	1
入門ツーリズムⅡ	1	入門ツーリズムⅡ	1
データサイエンス総論	1	データサイエンス総論	1
英語で学ぶPython	1	英語で学ぶPython	1
英米文学概論	1	英米文学概論	1
日本語教育入門	1	日本語教育入門	1
Advanced ReadingⅠ	2	Advanced ReadingⅠ	2
Advanced ReadingⅡ	2	Advanced ReadingⅡ	2
Advanced ListeningⅠ	2	Advanced ListeningⅠ	2
Advanced ListeningⅡ	2	Advanced ListeningⅡ	2
English for Global IssuesⅠ	2	English for Global IssuesⅠ	2
マルチメディア (Multimedia)	2	マルチメディア (Multimedia)	2
英文法	2	英文法	2
英語の音声	2	英語の音声	2
英語学概論	2	英語学概論	1
アメリカ文学特講	2	英米文学特講Ⅱ (アメリカ小説)	2
英米文化概論 ※英語で実施する授業	2	英米文化概論	1
English for Global IssuesⅡ	2	English for Global IssuesⅡ	2
English PresentationⅠ	3	English PresentationⅠ	3
English PresentationⅡ	3	English PresentationⅡ	3
Advanced ReadingⅢ	3	Advanced ReadingⅢ	3
Advanced ReadingⅣ	3	Advanced ReadingⅣ	3
Academic WritingⅠ	3	Academic WritingⅠ	3
Academic WritingⅡ	3	Academic WritingⅡ	3
英語史	2	英語史	2
英語音声学Ⅰ	2	英語音声学Ⅰ	2
英語音声学Ⅱ	2	英語音声学Ⅱ	2
イギリス文学史	2	イギリス文学史	2
アメリカ文学史	2	アメリカ文学史	2
英米文化特講 ※英語で実施する授業	3	英米文化特講	3
経済学基礎	2	入門経済学	1
経営学基礎	2	入門経営学	1
金融論	2	金融論	2
国際法Ⅰ	2	国際法Ⅰ	2
国際法Ⅱ	2	国際法Ⅱ	2
簿記会計基礎Ⅰ	2	簿記会計基礎Ⅰ	2
簿記会計基礎Ⅱ	2	簿記会計基礎Ⅱ	2
マーケティング	2	マーケティング	2
空港ビジネス	2	空港ビジネス	1
ホスピタリティ	2	ホスピタリティ	1
エアライン・ビジネス	2	エアライン論	2
AI概論	2	AI概論	2
プログラミング (Python)	2	プログラミング	2
アルゴリズム論	2	アルゴリズム論	2
マーケティングリサーチⅠ	2	マーケティングリサーチⅠ	2
マーケティングリサーチⅡ	2	マーケティングリサーチⅡ	2
国際経済学	3	国際経済学	2
国際金融論	3	国際金融論	3
国際貿易論	3	国際貿易論	3
国際経営	3	国際経営	2
国際経済とビジネスの法	3	国際経済とビジネスの法	3
国際会計	3	国際会計	3
企業ファイナンス	3	企業ファイナンス	3
航空物流論	3	航空物流論	3
情報ビジネス論	3	情報ビジネス論	3
千葉県の産業と行政	2	千葉県の産業と行政	2
マーケティング	2	マーケティング	2
サービスマーケティング論	2	サービス産業論	2

Ⅲ
カリキュラム表

2024入学者カリキュラム		2023入学者カリキュラム	
科目名	学年	科目名	学年
管理会計論	2	管理会計論	2
流通経営論	2	流通経営論	2
観光事業論Ⅰ	2	観光事業論Ⅰ	2
観光事業論Ⅱ	2	観光事業論Ⅱ	2
交通論	2	交通論	2
旅行ビジネス論	2	旅行ビジネス論	2
ホテル・ビジネス論	2	ホテル・ビジネス論	2
地域観光論	2	地域観光論	2
観光政策論	2	観光政策論	2
観光統計	2	観光統計	2
観光マーケティング調査	2	観光マーケティング調査	2
航空産業論	2	エアライン論	2
情報ビジネス論	3	情報ビジネス論	3
国際観光研究	3	国際観光研究	3
千葉の観光研究	3	千葉の観光研究	3
観光マーケティング	3	観光マーケティング	3
アルゴリズム論	2	アルゴリズム論	2
AI概論	2	AI概論	2
プログラミング (R)	2		
情報セキュリティ論	2		
情報ガバナンス	2		
データベース論	2		
マーケティングリサーチⅠ	2	マーケティングリサーチⅠ	2
マーケティングリサーチⅡ	2	マーケティングリサーチⅡ	2
観光マーケティング調査	2	観光マーケティング調査	2
社会調査法Ⅰ	2	社会調査法Ⅰ	2
社会調査法Ⅱ	2	社会調査法Ⅱ	2
経済統計Ⅰ	2		
経済統計Ⅱ	2		
情報英語Ⅰ	2		
情報英語Ⅱ	2		
AI・データサイエンス実践Ⅰ	3	AI・データサイエンス実践	3
AI・データサイエンス実践Ⅱ	3		
社会調査実習Ⅰ	3	社会調査実習Ⅰ	3
社会調査実習Ⅱ	3	社会調査実習Ⅱ	3
情報ビジネス論	3	情報ビジネス論	3
A1特講 (トピック)	3		
自然言語処理	3		
画像処理	3		
2年次専門研究Ⅰ	2	2年次専門研究Ⅰ	2
2年次専門研究Ⅱ	2	2年次専門研究Ⅱ	2
3年次専門研究Ⅰ	3	3年次専門研究Ⅰ	3
3年次専門研究Ⅱ	3	3年次専門研究Ⅱ	3
4年次専門研究Ⅰ	4	4年次専門研究Ⅰ	4
4年次専門研究Ⅱ	4	4年次専門研究Ⅱ	4
卒業論文	4	卒業論文	4
キャリアデザインを学ぶ	1	キャリアデザインを学ぶ	1
キャリアプランニング	1	キャリアプランニング	1
キャリアディベロップメント	2	キャリアディベロップメント	2
企業の魅力発見	2	企業の魅力発見	2
実践的キャリア演習Ⅰ	3	実践的キャリア演習Ⅰ	3
実践的キャリア演習Ⅱ	3	実践的キャリア演習Ⅱ	3
プレインターンシップ	3	プレインターンシップ	3
インターンシップ	3	インターンシップ	3
ポストインターンシップ	3	ポストインターンシップ	3
海外語学研修Ⅰ	1	海外語学研修Ⅰ	1
海外語学研修Ⅱ	1	海外語学研修Ⅱ	1
海外スクーリングⅠ	1	海外スクーリングⅠ	1
海外スクーリングⅡ	1	海外スクーリングⅡ	1
English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	1	English Conversation (オンライン英会話)Ⅰ	1
English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	1	English Conversation (オンライン英会話)Ⅱ	1
TOEIC®向上講座Ⅰ	1	TOEIC®向上講座Ⅰ	1
TOEIC®向上講座Ⅱ	1	TOEIC®向上講座Ⅱ	2
現代日本語文法Ⅰ	2	現代日本語文法Ⅰ	2
現代日本語文法Ⅱ	2	現代日本語文法Ⅱ	2
心理言語学	2	心理言語学	2
日本語教育方法論	2	日本語教育方法論	2
日本文化論	2	日本文化論	2
日本語教育研究Ⅰ	2	日本語教育研究Ⅰ	2
日本語教育研究Ⅱ	3	日本語教育研究Ⅱ	3
教育実習指導 (日本語)	3	教育実習指導 (日本語)	3
他大学・他学部・他学科単位互換科目		他大学・他学部・他学科単位互換科目	

Ⅲ
カリキュラム表

Ⅲ

カリキュラム表 教育学部

教育学部

1. こども教育学科 2026カリキュラム表	210
2. こども教育学科 2025カリキュラム表	218
3. こども教育学科 2023・2024カリキュラム表	225
4. こども教育学科 2022カリキュラム表	230

1

こども教育学科2026カリキュラム表(2026年度以降入学者)

1. 「敬愛大学学則」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。こども教育学科では、教養科目、外国語科目、キャリア科目、専門基礎科目、専門研究科目、教職コア科目、教科および教科の指導法に関する科目、課題研究科目を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。本学科の人材育成の目的は、「敬愛大学学則」により以下の通り定められています。

教育学部こども教育学科は、幅広く深い教養と豊かな人間性及び子供の教育に関する知識と技能の修得を基盤として、それを活用することができる実践能力に加えて、教育事象を科学的・実証的に考察し、その成果を子供の健全な育成に活かすことのできる人材を育成していきます。

2. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、前期または後期内で完結する科目、集中講義及び課外研修によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修にあっては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 1年次は「1年基礎演習I・II」を、2年次は「2年基礎研究I・II」を履修し、研究に必要な技能及び専門知識を身につけます。3年次には所属ゼミを選択し、2年間同一教員の指導のもと「3年次専門研究I・II」、「4年次専門研究I・II」によって、より専門的に学んでいきます。
4. こども教育学科では教員免許状を取得するために、1・2年次に履修する科目はほぼ固定しています。これは3年次後期に控える教育実習に必要な技能及び専門知識を身に付け、教育実習に臨むように期待しているためです。
5. こども教育学科では、主に取得を目指す教員免許状の種類に応じて入学時に3つのコースから1つを選択します。「小学校コース」は主に小学校教諭一種免許状の取得を、「国語コース」は主に中学校教諭一種免許状（国語）の取得を、「保健体育コース」は主に中学校教諭一種免許状（保健体育）の取得を目指します。所属するコースで主に取得を目指す教員免許状以外にも、必要な単位を修得することで他の教員免許状を取得することもできます。ただし、所属するコースに応じて卒業要件として認められる科目が変わります。小学校コースは「小学校に関する科目」のみ、国語コースは「国語に関する科目」のみ、保健体育コースは「保健体育に関する科目」のみが卒業要件単位として認められます。

特色ある教育

建学の精神を学ぶ「敬天愛人講座」

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、他者には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、自律した品格のある人間となることを目指します。

子供を総合的に理解、教育の専門性を高める

- ・子供の教育の根幹を支える各教科等の指導力育成を目的として、各教科内容に関する概説科目と各教科等の指導法科目を段階的に配置しています。
- ・教育学の基礎や現代の学校教育が抱える諸問題などについて取り上げる「こども学I・II」、「教育の視野を広げる」では、様々な視点から子供や教育に関わる内容を学ぶことができます。
- ・課題探究科目は、[言語文化と教育]、[社会と教育]、[科学と教育]、[情報と教育]、[こども理解と教育]

のカテゴリに分かれており、各分野の専門的な内容について学びを深めることができます。現代の学校や教育が直面している課題は多岐にわたりますが、これらのカテゴリを通して自分の得意分野の基礎を固めていくことは、教職に就いた後でも有用な資質となっていくので、積極的な履修を奨めます。2年次から4年次にかけて、自分の関心に応じて履修をしていきます。カテゴリの選択や必要な最低履修単位数が決まっていますが、それを越えた履修も可能です。

- ・教諭免許状以外の教育に深いつながりを持つ資格に関する科目を配置しています。教職に就いた後も一人ひとりが自分の強みをもっていくことが、現代の教員には求められています。課題探究科目とともに自分の関心に応じて履修をし、視野を広げたり、資格取得を目指したりすることができます。本学の独自認定修了資格でも、教育界からは高い評価を得ています。
- ・千葉県内から本学部に進み、千葉県の学校教員をめざしている学生が多いという本学部の特色を活かして、千葉県の教育や千葉県の特色を活かした教育の実践につながる科目を配置しています。「体験的に学ぶⅡ・Ⅳ」、「現代教育課題演習Ⅰ(ちばの教育行政)」、「ちばの地理歴史と文化」、「ちばの自然と環境」があります。

実践的活動

学んだことを実践する、実践することで学ぶという両面から、「体験的に学ぶⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「教育ボランティア・インターシップ活動Ⅰ・Ⅱ」「教育海外スクーリングⅠ・Ⅱ」を配置し、視野を広げ、大学の境界を越えて実践的な活動をすることができます。

各学年における到達目標

履修年次		到達目標	
年次	時期		
1年次	前期	1	大学での学び方を知る。
		2	国際的な視野を持つ基礎力を養う。
		3	基礎学力(文章能力・情報処理能力・英語力等)を身に付ける。
		4	教育の基礎的理解に関する科目を学ぶ。
		5	小学校半日参観・教育ボランティア活動等を通して、子ども理解・学校という教育現場を実践的に学ぶ。
	後期	1	基礎学力(口頭表現力・コミュニケーション能力・情報処理能力・英語力等)をより身に付ける。
		2	教育の基礎的理解に関する科目・教科に関する科目について知る。
		3	問題解決のための多面的思考力を身に付ける。
		4	教育ボランティア活動等を通して、子ども理解・学校という教育現場を実践的に学ぶ。
2年次	前後期	1	教育に対する諸問題を知り、その原因や解決策について考える。
		2	介護等体験で、特別支援学校や施設で実習する。
		3	教職科目、教科に関する科目について知り、教科の指導法を学ぶ。
		4	教育ボランティア活動等を通して、子ども理解を図り・学校という教育現場を知る。
		5	小学校の教科の指導法・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目について学ぶ。
3年次	前期	1	特別の教科道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目について学ぶ。
		2	学校現場でのボランティア活動(ちば!教職たまごプロジェクト等)に参加し、子ども理解・学校という教育現場の理解を深める。
		3	教育の基礎的理解に関する科目について学ぶ。
		4	国際的な視野で物事をとらえ、知識・理解を深める。
	後期	1	教育実習を通して、子ども理解・教職という仕事について理解を深めるとともに、自己の教職への適性を考える。
4年次	前期	1	教育実習で得た学び・経験をふまえ、自身の今後の研究や実践の課題として整理する。
		2	卒業研究に向けて自身のテーマを見定め、理論と実践の両面で教育への理解を深めていく。
	後期	1	卒業研究を通して、問題解決能力・論理的思考力・文章表現力を高める。
		2	教師になるにあたり自己の強みと課題を自覚し、教職課程4年間を総括し、学校現場で必要となる実践的な力を養う。
		3	職業人として実社会に出る自覚を持てるようにする。

区分		卒業必要単位	必修科目・選択必修科目
教養教育科目	教養科目	必修科目15単位 必修科目以外から5単位以上	口頭表現、文章表現、憲法、健康科学、AI・DSへのいざない、電子情報処理入門Ⅰ
	外国語科目		College English I・II
	キャリア科目		
専門教育科目	専門基礎科目	必修科目46単位 課題探究科目1領域から選択必修6単位 必修科目・選択必修科目以外の科目を32単位以上選択	こども学Ⅰ・Ⅱ、小学校英語基礎、1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ、2年基礎演習Ⅰ・Ⅱ、教育の視野を広げる
	専門研究科目		3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ、4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ、卒業研究
	教職コア科目		教育原論、教職概論、教育と社会・制度・経営、発達と学習、特別支援教育概論、教育課程論、道徳教育指導法、総合的な学習の時間の指導法、特別活動指導法、教育方法・技術論、教育とICT活用、生徒・進路指導論、教育相談
	教科及び教科の指導法に関する科目*		
	課題探究科目		1領域を選択し、その中から3科目6単位以上を選択必修
その他の卒業要件必要単位20単位			教養教育科目・専門教育科目から20単位以上を選択
卒業要件必要単位 124単位			

※所属するコースによって卒業要件として認められる科目が変わります。小学校コースは「小学校に関する科目」のみ、国語コースは「国語に関する科目」のみ、保健体育コースは「保健体育に関する科目」のみが卒業要件単位として認められます。

科目区分	子ども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数	
				DP1	DP2	DP3	DP4		
教養教育科目	外国語科目	時事英語Ⅰ	1	1年～	○	○			必修科目15単位 必修科目以外から5単位以上 合計20単位以上
		時事英語Ⅱ	1	1年～	○	○			
		TOIC向上講座Ⅰ	2	1年～	○	○			
		TOIC向上講座Ⅱ	2	1年～	○	○			
		中国語Ⅰ	1	1年～	○	○			
		中国語Ⅱ	1	1年～	○	○			
		フランス語Ⅰ	1	1年～	○	○			
		フランス語Ⅱ	1	1年～	○	○			
		ドイツ語Ⅰ	1	1年～	○	○			
		ドイツ語Ⅱ	1	1年～	○	○			
		コリア語Ⅰ	1	1年～	○	○			
		コリア語Ⅱ	1	1年～	○	○			
		海外語学研修Ⅰ	2	1年～		○	○		
		海外語学研修Ⅱ	2	1年～		○	○		
教養教育科目	キャリア科目	キャリアプランニング	2	1年～				○	必修科目
		キャリアデザインを学ぶ	2	2年～		○	○		
		キャリアディベロップメント	2	2年～			☆	○	
		企業の魅力発見	2	2年～			○		
		実践的キャリア演習Ⅰ	2	3年～			○		
		実践的キャリア演習Ⅱ	2	3年～			○		
		プレインターンシップ	2	3年～			○		
		インターンシップ	1	3年～			○		
ポストインターンシップ	2	3年～			○				
教養教育科目	専門基礎科目	こども学Ⅰ	2	2年～	◎		○		必修科目
		こども学Ⅱ	2	3年～	◎		○		必修科目
		小学校英語基礎	2	1年～					必修科目
		1年基礎演習Ⅰ	1	1年～	☆	○	◎		必修科目
		1年基礎演習Ⅱ	1	1年～	☆	○	◎		必修科目
		2年基礎演習Ⅰ	1	2年～	☆	○	◎		必修科目
		2年基礎演習Ⅱ	1	2年～	☆	○	◎		必修科目
		体験的に学ぶⅠ(野外実習)	2	1年～	○		☆	○	
		体験的に学ぶⅡ(社会科ちば巡検)	2	1年～	○		☆	○	
		体験的に学ぶⅢ(理科臨地実習)	2	2年～	○		☆	○	
		体験的に学ぶⅣ(ちば文学探訪)	2	2年～	○		☆	○	
		教育の視野を広げる	2	2年～	☆	○			必修科目
教養教育科目	専門研究科目	学校図書館Ⅰ(学校経営と図書館)	2	2年～	○				必修科目・選択必修科目以外の科目を32単位以上選択
		学校図書館Ⅱ(学校図書館メディアの構成)	2	2年～	○				
		学校図書館Ⅲ(学習指導と学校図書館)	2	2年～	○				
		現代教育課題演習Ⅰ(ちばの教育行政)	2	3年～			○	☆	
		現代教育課題演習Ⅱ(教育についての口述)	2	3年～			○	☆	
		現代教育課題演習Ⅲ(教育についての論述)	2	4年～			○	☆	
		学校ボランティア	1	1～2年			○	☆	
		教育ボランティア・インターンシップ活動Ⅰ	1	3年～	○		☆	◎	
		教育ボランティア・インターンシップ活動Ⅱ	1	4年～	○		☆	◎	
		教育海外スクーリング	2	2年～					
		3年次専門研究Ⅰ	2	3年～	◎	○	○	☆	
3年次専門研究Ⅱ	2	3年～	◎	○	○	☆	必修科目		

科目区分	こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数	
				DP1	DP2	DP3	DP4		
こども教育 学科DP	DP1：子供を総合的に理解し、教育の専門性を身に付ける。 DP2：国際社会を理解し、多様な価値観を認める。 DP3：豊かなコミュニケーション能力を身に付ける。 DP4：実践的活動を通して地域に貢献する力を身に付ける。								
	専門研究 科目	4年次専門研究Ⅰ	2	4年～	◎	○	○	☆	必修科目
		4年次専門研究Ⅱ	2	4年～	◎	○	○	☆	必修科目
		卒業研究	2	4年～	☆				必修科目
専門教育科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2	1年～	◎				必修科目
		教職概論	2	1年～	◎				必修科目
		教育と社会・制度・経営	2	2年～	◎	○			必修科目
		発達と学習	2	1年～	◎	○			必修科目
		特別支援教育概論	2	3年～	◎				必修科目
		教育課程論	2	2年～	◎	○			必修科目
		教職コア科目 道徳、総合的な学習の時間等の指導演及 び生徒指導、教育相談に関する科目	道徳教育指導法	2	3年～	◎			
	総合的な学習の時間の指導法		2	2年～	◎				必修科目
	特別活動指導法		1	2年～	◎		☆		必修科目
	教育方法・技術論		2	2年～	◎				必修科目
	教育とICT活用		1	1年～	◎		☆		必修科目
	生徒・進路指導論		2	3年～	◎				必修科目
	教育相談		2	3年～	○				必修科目
	教育実践に関する科目	教育実習事前事後指導	1	1～3年	○			☆	
		教育実習指導	1	3年	○			☆	
		小学校教育実習(主免許)	4	3年	○			☆	
		中学校教育実習(主免許)	4	3年	○			☆	
		中学校教育実習(主免許)	2	4年	○			☆	
		中学校教育実習(副免許)	2	4年	○			☆	
		教職実践演習(小・中)	2	4年	◎		○	◎	
教科及び教科の指導法に関する科目 小学校に関する科目	小学校国語科指導法(書写を含む。)	2	2年～	◎					
	小学校社会科指導法	2	2年～	◎					
	小学校算数科指導法	2	2年～	◎					
	小学校理科科指導法	2	2年～	◎					
	小学校生活科指導法	2	3年～	◎					
	小学校音楽科指導法	2	2年～	◎					
	小学校図画工作科指導法	2	1年～	◎					
	小学校家庭科指導法	2	1年～	◎					
	小学校体育科指導法	2	1年～	◎					
	小学校英語指導法	2	2年～	◎	○		☆		
	小学校英語指導法発展Ⅰ	2	2年～	◎	○		☆		
	小学校英語指導法発展Ⅱ	2	3年～	◎	○		☆		
	小学校英語指導法発展Ⅲ	2	3年～	◎	○		☆		
	小学校国語(書写を含む。)	1	2年～	◎					
	小学校社会	1	2年～	◎					
	小学校算数	1	2年～	◎					
	小学校生活	1	2年～	◎					
	小学校理科	1	1年～	◎					
	小学校音楽	1	1年～	◎					
	小学校図画工作	1	1年～	◎					
	小学校家庭	1	1年～	◎					
	小学校体育	1	1年～	◎					
	小学校英語	1	2年～	◎	○		☆		
小学校英語発展	2	2年～	◎	○		☆			

必修科目46単位
選択必修科目6単位
必修科目・選択必修科目以外の科目を32単位以上選択

科目区分	子ども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数		
				DP1	DP2	DP3	DP4			
小児教育 専門教育科目 教科及び教科の指導法に関する科目	国語に関する科目	国語学概論(音声言語及び文章表現を含む。)	2	1年～	☆				必修科目46単位 選択必修科目6単位 必修科目・選択必修科目以外の科目を32単位以上選択	
		国語学各論Ⅰ(日本語の言語文化)	2	2年～	☆					
		国語学各論Ⅱ(日本語と社会)	2	2年～	☆					
		国語学各論Ⅲ(日本語の語彙と表記)	2	2年～	☆					
		日本語コミュニケーション論	2	2年～	☆					
		国文学概論(国文学史を含む。)	2	1年～	☆					
		国文学各論Ⅰ(上代・中古・中世)	2	2年～	☆					
		国文学各論Ⅱ(近世)	2	2年～	☆					
		国文学各論Ⅲ(近代)	2	2年～	☆					
		国文学各論Ⅳ(現代)	2	2年～	☆					
		漢文学概論	2	1年～	☆					
		書写書道概論	2	1年～	☆					
		国語科指導法概論	2	1年～	☆					
		国語科指導法各論Ⅰ(「話すこと・聞くこと」の授業づくり)	2	2年～	☆					
	国語科指導法各論Ⅱ(「書くこと」の授業づくり)	2	2年～	☆						
	国語科指導法各論Ⅲ(「読むこと」の授業づくり)	2	2年～	☆						
	保健体育に関する科目	体育実技概論	2	1年～	☆					
		体育実技各論Ⅰ(陸上競技)	2	2年～	☆					
		体育実技各論Ⅱ(器械体操)	2	2年～	☆					
		体育実技各論Ⅲ(球技)	2	2年～	☆					
		体育実技各論Ⅳ(ダンス)	2	2年～	☆					
		体育実技各論Ⅴ(パラスポーツ)	2	2年～	☆					
		体育学概論(体育原論・体育心理学・運動学)	2	1年～	☆					
		スポーツビジネス論	2	2年～	☆					
		スポーツ文化論	2	2年～	☆					
		生理学概論(運動生理学を含む。)	2	1年～	☆					
		衛生学・公衆衛生学概論	2	2年～	☆					
		学校保健学概論(小児保健、精神保健、学校安全及び緊急処置を含む。)	2	1年～	☆					
		保健体育科指導法概論Ⅰ(体育)	2	1年～	☆					
		保健体育科指導法概論Ⅱ(保健)	2	2年～	☆					
	保健体育科指導法各論Ⅰ(健康と体力)	2	2年～	☆						
	保健体育科指導法各論Ⅱ(授業づくり)	2	2年～	☆						
	課題探究科目	言語文化と教育	児童文学	2	2年～	○	○			1領域から6単位以上を選択必修
			日本文化論	2	2年～	○	◎			
			英米児童文学	2	2年～	○	○			
			Mother Gooseの世界	2	2年～	○	○	○		
		社会と教育	学校図書館Ⅳ(読書と豊かな人間性)	2	2年～	○		○		
			キャリア教育	2	2年～	○	○	○		
			世界の子ども教育	2	2年～	○	◎	☆		
			多文化教育論	2	2年～	○	○	◎		
		科学と教育	学校の安全教育	2	2年～	○		○		
			ちばの地理・歴史と文化	2	2年～	○				
			数の不思議	2	2年～	○				
			かたちの数学	2	2年～	○				
	科学教育論	2	2年～	○						
	理科の観察実験	2	2年～	○						
ちばの自然と環境	2	2年～	○		○					

学科DP		こども教育										
科目区分		こども教育学科設置科目名		単位数	配当学年	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数		
						DP1	DP2	DP3	DP4			
専門教育科目	課題探究科目	メディアリテラシー教育		2	2年～	○				1領域から6単位以上を選択必修	必修科目46単位 選択必修科目6単位 必修科目・選択必修科目以外の科目を32単位以上選択	
		学校図書館V(情報メディアの活用)		2	2年～	○	○	○				
		情報モラル教育		2	2年～	○	○	○				
		プログラミング教育		2	2年～	○						
		学校教育のAI活用		2	2年～	○	○	○				
			こどもと遊び		2	2年～	○		○			
			こどもをめぐる対話		2	2年～	○		○			
			こどもの心と体		2	2年～	○					
			造形と表現		2	2年～	○		○			
			音楽と表現		2	2年～	○		○			
自由選択単位20単位												
卒業要件単位数124単位												

※(重要) 注意事項: 卒業要件単位数は124単位となります。
 教養教育科目(必修15単位、必修以外5単位以上) + 専門教育科目(必修46単位、選択必修6単位、必修・選択必修以外32単位以上) = 必修61単位 + 選択必修6単位 + 必修・選択必修以外33単位以上 = 104単位以上となります。
 卒業要件単位124単位 - 104単位以上 = 20単位以上となります。20単位以上を抜け漏れなくしっかりと履修しましょう。

2

こども教育学科2025カリキュラム表(2025年度入学者)

1. 「敬愛大学学則」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。こども教育学科では、教養科目、外国語科目、キャリア科目、専門基礎科目、専門研究科目、教職コア科目、教科および教科の指導法に関する科目、課題研究科目を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。本学科の人材育成の目的は、「敬愛大学学則」により以下の通り定められています。

教育学部こども教育学科は、幅広く深い教養と豊かな人間性及び子供の教育に関する知識と技能の修得を基盤として、それを活用することができる実践能力に加えて、教育事象を科学的・実証的に考察し、その成果を子供の健全な育成に活かすことのできる人材を育成していきます。

2. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、前期または後期内で完結する科目、集中講義及び課外研修によって行います。ただし、「Ⅰ・Ⅱ」科目の「Ⅱ」の履修にあっては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 1年次は「1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を、2年次は「2年基礎研究Ⅰ・Ⅱ」を履修し、研究に必要な技能及び専門知識を身につけます。3年次には所属ゼミを選択し、2年間同一教員の指導のもと「3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」、「4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ」によって、より専門的に学んでいきます。
4. こども教育学科では小学校教諭一種免許状を取得するために、1・2年次に履修する科目はほぼ固定しています。これは3年次後期に控える教育実習に必要な技能及び専門知識を身に付け、教育実習に臨むように期待しているためです。

特色ある教育

建学の精神を学ぶ「敬天愛人講座」

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、他者には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、自律した品格のある人間となることを目指します。

子供を総合的に理解、教育の専門性を高める

- ・子供の教育の根幹を支える各教科等の指導力育成を目的として、各教科内容に関する概説科目と各教科等の指導法科目を段階的に配置しています。
- ・教育学の基礎や現代の学校教育が抱える諸問題などについて取り上げる「こども学Ⅰ・Ⅱ」、「教育の視野を広げる」では、様々な視点から子供や教育に関わる内容を学ぶことができます。
- ・課題探究科目は、[言語文化と教育]、[社会と教育]、[科学と教育]、[情報と教育]、[こども理解と教育]のカテゴリに分かれており、各分野の専門的な内容について学びを深めることができます。現代の学校や教育が直面している課題は多岐にわたりますが、これらのカテゴリを通して自分の得意分野の基礎を固めていくことは、教職に就いた後も有用な資質となっていくので、積極的な履修を奨めます。2年次から4年次にかけて、自分の関心に応じて履修をしていきます。カテゴリの選択や必要な最低履修単位数が決まっていますが、それを越えた履修も可能です。
- ・教諭免許状以外の教育に深いつながりを持つ資格に関する科目を配置しています。教職に就いた後も一人ひとりが自分の強みをもっていくことが、現代の教員には求められています。課題探究科目とともに

自分の関心に応じて履修をし、視野を広げたり、資格取得を目指したりすることができます。本学の独自認定修了資格でも、教育界からは高い評価を得ています。

- 千葉県内から本学部に進み、千葉県の学校教員をめざしている学生が多いという本学部の特色を活かして、千葉県の教育や千葉県の特色を活かした教育の実践につながる科目を配置しています。「体験的に学ぶⅡ・Ⅳ」、「現代教育課題演習Ⅰ(ちばの教育行政)」、「ちばの地理歴史と文化」、「ちばの自然と環境」があります。

実践的活動

学んだことを実践する、実践することで学ぶという両面から、「体験的に学ぶⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「教育ボランティア・インターシップ活動Ⅰ・Ⅱ」「海外スクーリングⅠ・Ⅱ」を配置し、視野を広げ、大学の境界を越えて実践的な活動を行うことができます。

各学年における到達目標

履修年次		到達目標	
年次	時期		
1年次	前期	1	大学での学び方を知る。
		2	国際的な視野を持つ基礎力を養う。
		3	基礎学力(文章能力・情報処理能力・英語力等)を身に付ける。
		4	教育の基礎的理解に関する科目を学ぶ。
		5	小学校半日参観・教育ボランティア活動等を通して、子ども理解・学校という教育現場を実践的に学ぶ。
	後期	1	基礎学力(口頭表現力・コミュニケーション能力・情報処理能力・英語力等)をより身に付ける。
		2	教育の基礎的理解に関する科目・小学校の教科について知る。
		3	問題解決のための多面的思考力を身に付ける。
		4	教育ボランティア活動等を通して、子ども理解・学校という教育現場を実践的に学ぶ。
		5	教育に対する諸問題を知り、その原因や解決策について考える。
2年次	前後期	1	教育に対する諸問題を知り、その原因や解決策について考える。
		2	介護等体験で、特別支援学校や施設で実習する。
		3	教職科目、小学校の教科について知り、教科の指導法を学ぶ。
		4	教育ボランティア活動等を通して、子ども理解を図り・学校という教育現場を知る。
		5	小学校の教科の指導法・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目について学ぶ。
3年次	前期	1	特別の教科道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目について学ぶ。
		2	学校現場でのボランティア活動(ちば!教職たまごプロジェクト等)に参加し、子ども理解・学校という教育現場の理解を深める。
		3	教育の基礎的理解に関する科目について学ぶ。
		4	国際的な視野で物事をとらえ、知識・理解を深める。
	後期	1	教育実習を通して、子ども理解・教職という仕事について理解を深めるとともに、自己の教職への適性を考える。
		2	教育実習で得た学び・経験をふまえ、自身の今後の研究や実践の課題として整理する。
		3	卒業研究に向けて自身のテーマを見定め、理論と実践の両面で教育への理解を深めていく。
		4	卒業研究を通して、問題解決能力・論理的思考力・文章表現力を高める。
4年次	前期	1	卒業研究を通して、問題解決能力・論理的思考力・文章表現力を高める。
		2	教師になるにあたり自己の強みと課題を自覚し、教職課程4年間を総括し、学校現場で必要となる実践的な力を養う。
	後期	3	職業人として実社会に出る自覚を持てるようにする。

区分		卒業必要単位	必修科目・選択必修科目
教養教育科目	教養科目	必修科目15単位 必修科目以外から5単位以上	口頭表現、文章表現、憲法、健康科学、AI・DSへのいざない、電子情報処理入門Ⅰ
	外国語科目		College EnglishⅠ・Ⅱ
	キャリア科目		
専門教育科目	専門基礎科目	必修科目46単位 課題探究科目1領域から選択必修6単位 必修科目・選択必修科目以外の科目を32単位以上選択	こども学Ⅰ・Ⅱ、小学校英語基礎、1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ、2年基礎演習Ⅰ・Ⅱ、教育の視野を広げる
	専門研究科目		3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ、4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ、卒業研究
	教職コア科目		教育原論、教職概論、教育と社会・制度・経営、発達と学習、特別支援教育概論、教育課程論、道徳教育指導法、総合的な学習の時間の指導法、特別活動指導法、教育方法・技術論、教育とICT活用、生徒・進路指導論、教育相談
	教科及び教科の指導法に関する科目		
	課題探究科目		1領域を選択し、その中から3科目6単位以上を選択必修
その他の卒業要件必要単位20単位			教養教育科目・専門教育科目から20単位以上を選択
卒業要件必要単位 124単位			

学科D P こども教育		DP1：子供を総合的に理解し、教育の専門性を身に付ける。 DP2：国際社会を理解し、多様な価値観を認める。 DP3：豊かなコミュニケーション能力を身に付ける。 DP4：実践的活動を通して地域に貢献する力を身に付ける。							
科目区分		こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎ 必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○ 履修を推奨する科目 (重要科目) ☆ 能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数
					DP1	DP2	DP3	DP4	
教養教育科目	外国語科目	Basic Grammar II	1	1年～	○	○			必修科目15単位 必修科目以外から5単位以上 合計20単位以上
		時事英語 I	1	1年～	○	○			
		時事英語 II	1	1年～	○	○			
		TOEIC向上講座 I	2	1年～	○	○			
		TOEIC向上講座 II	2	1年～	○	○			
		中国語 I	1	1年～	○	○			
		中国語 II	1	1年～	○	○			
		フランス語 I	1	1年～	○	○			
		フランス語 II	1	1年～	○	○			
		ドイツ語 I	1	1年～	○	○			
		ドイツ語 II	1	1年～	○	○			
		コリア語 I	1	1年～	○	○			
	コリア語 II	1	1年～	○	○				
	海外語学研修 I	2	1年～		○	○			
	海外語学研修 II	2	1年～		○	○			
	キャリア科目	キャリアプランニング	2	1年～					○
		キャリアデザインを学ぶ	2	2年～			○	○	
		キャリアディベロップメント	2	2年～				☆	○
		企業の魅力発見	2	2年～				○	
実践的キャリア演習 I		2	3年～				○		
実践的キャリア演習 II		2	3年～				○		
プレインターンシップ		2	3年～				○		
インターンシップ		1	3年～				○		
ポストインターンシップ	2	3年～				○			
専門教育科目	専門基礎科目	こども学 I	2	2年～	◎		○		必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目
		こども学 II	2	3年～	◎		○		
		小学校英語基礎	2	1年～					
		1年基礎演習 I	1	1年～	☆	○	◎		
		1年基礎演習 II	1	1年～	☆	○	◎		
		2年基礎演習 I	1	2年～	☆	○	◎		
		2年基礎演習 II	1	2年～	☆	○	◎		
		体験的に学ぶ I (野外実習)	2	1年～	○		☆	○	
		体験的に学ぶ II (社会科ちば巡検)	2	1年～	○		☆	○	
		体験的に学ぶ III (理科臨地実習)	2	1年～	○		☆	○	
		体験的に学ぶ IV (ちば文学探訪)	2	1年～	○		☆	○	
		教育の視野を広げる	2	2年～	☆	○			
	専門研究科目	学校図書館 I (学校経営と図書館)	2	2年～	○				
		学校図書館 II (学校図書館メディアの構成)	2	2年～	○				
		学校図書館 III (学習指導と学校図書館)	2	2年～	○				
	現代教育課題演習 I (ちばの教育行政)	2	3年～					必修科目46単位 選択必修科目6単位 必修科目・選択必修科目以外の科目を32単位以上選択	
	現代教育課題演習 II (教育についての口述)	2	3年～						

学科DP		DP1：子供を総合的に理解し、教育の専門性を身に付ける。 DP2：国際社会を理解し、多様な価値観を認める。 DP3：豊かなコミュニケーション能力を身に付ける。 DP4：実践的活動を通して地域に貢献する力を身に付ける。									
科目区分	こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎ 必ず履修すべき科目(最重要科目) ○ 履修を推奨する科目(重要科目) ☆ 能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数			
				DP1	DP2	DP3	DP4				
専門教育科目	専門研究科目	現代教育課題演習Ⅲ(教育についての論述)	2	4年					必修科目		
		学校ボランティア	1	1~2年							
		教育ボランティア・インターンシップ活動Ⅰ	1	3年							
		教育ボランティア・インターンシップ活動Ⅱ	1	4年							
		教育海外スクーリング	2	2年~							
		3年次専門研究Ⅰ	2	3年~	◎	○	○	☆			
		3年次専門研究Ⅱ	2	3年~	◎	○	○	☆			
		4年次専門研究Ⅰ	2	4年	◎	○	○	☆			
教職コア科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2	1年~	◎				必修科目		
		教職概論	2	1年~	◎				必修科目		
		教育と社会・制度・経営	2	2年~	◎	○			必修科目		
		発達と学習	2	1年~	◎	○			必修科目		
		特別支援教育概論	2	3年~	◎				必修科目		
		教育課程論	2	2年~	◎	○			必修科目		
	生涯学習・地域社会の指導の指法及び生徒・進路指導に関する科目	道徳教育指導法	2	3年~	◎				必修科目		
		総合的な学習の時間の指導法	2	2年~	◎				必修科目		
		特別活動指導法	1	2年~	◎		☆		必修科目		
		教育方法・技術論	2	2年~	◎				必修科目		
		教育とICT活用	1	1年~	◎		☆		必修科目		
		生徒・進路指導論	2	3年~	◎				必修科目		
		教育相談	2	3年~	○				必修科目		
		教職実践に関する科目	教育実習事前事後指導	1	1~3年	○					
			教育実習指導	1	3年						
		教科及び教科の指導法に関する科目	小学校に関する科目	小学校国語指導法(書写を含む。)	2	2年~	◎				必修科目・選択必修科目以外の科目を32単位以上選択
				小学校社会科指導法	2	2年~	◎				
				小学校算数科指導法	2	2年~	◎				
小学校理科指導法	2			2年~	◎						
小学校生活科指導法	2			3年~	◎						
小学校音楽科指導法	2			2年~	◎						
小学校図画工作科指導法	2			1年~	◎						
小学校家庭科指導法	2			1年~	◎						
小学校体育科指導法	2			1年~	◎						
小学校英語指導法	2			2年~	◎	○	☆				
小学校英語指導法発展Ⅰ	2			2年~	◎	○	☆				
小学校英語指導法発展Ⅱ	2			3年~	◎	○	☆				
小学校英語指導法発展Ⅲ	2			3年~	◎	○	☆				
小学校国語(書写を含む。)	1			2年~	◎						
小学校社会	1			2年~	◎						
小学校算数	1			2年~	◎						
小学校生活	1			2年~	◎						
小学校理科	1			1年~	◎						
小学校音楽	1	1年~	◎								
小学校図画工作	1	1年~	◎								
小学校家庭	1	1年~	◎								

必修科目46単位
 選択必修科目6単位
 必修科目・選択必修科目以外の科目を32単位以上選択

学科DP		DP1：子供を総合的に理解し、教育の専門性を身に付ける。 DP2：国際社会を理解し、多様な価値観を認める。 DP3：豊かなコミュニケーション能力を身に付ける。 DP4：実践的活動を通して地域に貢献する力を身に付ける。							
科目区分		こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎ 必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○ 履修を推奨する科目 (重要科目) ☆ 能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数
					DP1	DP2	DP3	DP4	
初等教育	小学校教育	小学校体育	1	1年～	◎				
		小学校英語	1	2年～	◎	○	☆		
		小学校英語発展	2	2年～	◎	○	☆		
課題探究科目	言語文化と教育	児童文学	2	2年～	○	○			1領域から6単位以上を選択必修
		日本文化論	2	2年～	○	◎			
		英米児童文学	2	2年～	○	○			
		Mother Gooseの世界	2	2年～	○	○	○		
		学校図書館Ⅳ (読書と豊かな人間性)	2	2年～	○		○		
	社会と教育	キャリア教育	2	2年～	○	○	○		
		世界のこども教育	2	2年～	○	◎	☆		
		多文化教育論	2	2年～	○	○		◎	
		学校の安全教育	2	2年～	○			○	
		ちばの地理・歴史と文化	2	2年～	○				
	科学と教育	数の不思議	2	2年～	○				
		かたちの数学	2	2年～	○				
		科学教育論	2	2年～	○				
		理科の観察実験	2	2年～	○				
		ちばの自然と環境	2	2年～	○			○	
	情報と教育	メディアリテラシー教育	2	2年～	○				
		学校図書館Ⅴ (情報メディアの活用)	2	2年～	○	○	○		
		情報モラル教育	2	2年～	○	○	○		
		プログラミング教育	2	2年～	○				
	こども理解と教育	学校教育のAI活用	2	2年～	○	○	○		
こどもと遊び		2	2年～	○		○			
こどもをめぐる対話		2	2年～	○		○			
こどもの心と体		2	2年～	○					
造形と表現		2	2年～	○		○			
		音楽と表現	2	2年～	○		○		
自由選択単位数20単位									
卒業要件単位数124単位									

※ (重要) 注意事項：卒業要件単位数は124単位となります。

教養教育科目 (必修15単位、必修以外5単位以上) + 専門教育科目 (必修46単位、選択必修6単位、必修・選択必修以外32単位以上) = 必修61単位 + 選択必修6単位 + 必修・選択必修以外32単位以上 = 104単位以上となります。

卒業要件単位数124単位 - 104単位以上 = 20単位以上となります。20単位以上を抜け漏れなくしっかりと履修しましょう。

3

こども教育学科2023・24カリキュラム表(2023年度以降入学者)

2023年度
2024年度

1. 「敬愛大学学則」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。こども教育学科では、教養科目、外国語科目、キャリア科目、専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目、専門研究を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。本学科の人材育成の目的は、「敬愛大学学則」により以下の通り定められています。
教育学部こども教育学科は、幅広く深い教養と豊かな人間性及び子供の教育に関する知識と技能の修得を基盤として、それを活用することができる実践能力に加えて、教育事象を科学的・実証的に考察し、その成果を子供の健全な育成に活かすことのできる人材を育成していきます。
2. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目、集中講義及び課外研修によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修にあつては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 1年次は「1年基礎演習I・II」を、2年次は「2年応用研究I・II」を履修し、研究に必要な技能及び専門知識を身につけます。3年次には所属ゼミを選択し、2年間同一教員の指導のもと「3年次専門研究I・II」、「4年次専門研究I・II」で、より専門的に学んでいきます。
4. こども教育学科では小学校教諭一種免許状を取得するために、1・2年次はほぼ履修する科目が決定しています。これは3年次後期に控える教育実習に必要な技能及び専門知識を身に付け、教育実習に臨むように期待しているためです。

特色ある教育

建学の精神を学ぶ「敬天愛人講座」

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、他者には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、自律した品格のある人間に成るように努力します。

子供を総合的に理解

子供の教育の根幹を支える各教科等指導力育成を目的として、概説科目と各教科等指導法科目を段階的に配置し、学生達が履修出来るようにしています。また、教育学の基礎や現代の学校教育が抱える諸問題などについて、幅広く探求的に学ぶ本学科の特色となる「こども学I・II」は、様々な視点から子供や教育に関わる内容を学生が主体的に学ぶことができます。

国際社会の理解、多様な価値観の習得

学生に広い視野で物事をとらえる能力を身に付ける。教育学部こども教育学科は、国際学部こども教育学科から改組転換をしたことから、国際社会を理解する上で、一部国際学部の主要科目を配置しています。「国際関係入門」、「異文化コミュニケーション」、「比較文化論」などの科目を履修することで多様な価値観を学ぶことができます。

実践的活動

学んだことを実践する、実践することで学ぶという両面から、1年次より「ボランティア活動」、「海外スクーリングI・II」、「海外語学研修I・II」を配置し、学生の視野を広げ実践的な活動を行うことがで

III

カリキュラム表

きます。海外語学研修では英語、中国語、韓国語が海外の協定校において、夏休みと春休みの長期休暇を利用して学ぶことができます。

※国内外の情勢によっては実施できない場合もあります。

各学年における到達目標

履修年次		到達目標			
年次	時期				
1年次	前期	1	大学での学び方を知る。		
		2	国際的な視野を持つ基礎力を養う。		
		3	基礎学力（文章能力・情報処理能力・英語力等）を身に付ける。		
		4	教育の基礎的理解に関する科目を学ぶ。		
		5	小学校半日参観・教育ボランティア活動等を通して、子ども理解・学校という教育現場を実践的に学ぶ。		
	後期	1	基礎学力（口頭表現力・コミュニケーション能力・情報処理能力・英語力等）をより身に付ける。		
		2	教育の基礎的理解に関する科目・小学校の教科について知る。		
		3	問題解決のための多面的思考力を身に付ける。		
2年次	前後期	1	教育に対する諸問題を知り、その原因や解決策について考える。		
		2	介護等体験で、特別支援学校や施設で実習する。		
		3	教職科目、小学校の教科について知り、教科の指導法を学ぶ。		
		4	教育ボランティア活動等を通して、子ども理解を図り・学校という教育現場を知る。		
		5	小学校の教科の指導法・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目について学ぶ。		
3年次	前期	1	特別の教科道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目について学ぶ。		
		2	学校現場でのボランティア活動（ちば！教職たまごプロジェクト等）に参加し、子ども理解・学校という教育現場の理解を深める。		
		3	教育の基礎的理解に関する科目について学ぶ。		
		4	国際的な視野で物事をとらえ、知識・理解を深める。		
	後期	1	教育実習を通して、子ども理解・教職という仕事について理解を深めるとともに、自己の教職への適性を考える。		
		4年次	前期	1	教育実習で得た学び・経験をふまえ、自身の今後の研究や実践の課題として整理する。
				2	卒業研究に向けて自身のテーマを見定め、理論と実践の両面で教育への理解を深めていく。
後期	1	卒業研究を通して、問題解決能力・論理的思考力・文章表現力を高める。			
	2	教師になるにあたり自己の強みと課題を自覚し、教職課程4年間を総括し、学校現場で必要となる実践的な力を養う。			
	3	職業人として実社会に出る自覚を持てるようにする。			

区分	卒業必要単位	必須科目
教養教育科目	教養科目	口頭表現、文章表現、国際関係入門、情報処理Ⅰ（情報基礎）、情報処理Ⅱ（プレゼンテーション演習） College EnglishⅠ・Ⅱ
	外国語科目	
	キャリア科目	
専門教育科目	専門基礎科目	教育原論、発達心理学、教育課程論、教職概論、教育方法・技術論、教育とICT活用、小学校英語Ⅰ、1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ、2年応用演習Ⅰ・Ⅱ
	専門基幹科目 専門展開科目	こども学Ⅰ・Ⅱ、教育心理学、生徒・進路指導論、特別支援教育概論、初等国語科指導法、初等社会科指導法、算数科指導法、初等理科指導法、生活科指導法、初等音楽科指導法、図画工作科指導法、初等家庭科指導法、初等体育科指導法、小学校英語指導法Ⅰ、道徳教育指導法、総合的な学習の時間の指導法、教育社会学
	専門研究	3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ、4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ
		卒業要件単位数 124単位以上

こども教育学科 2023 カリキュラム表 (2023・2024 年度入学者)

2023年度
2024年度

学科DP こども教育		DP1：子供を総合的に理解し、教育の専門性を身に付ける。 DP2：国際社会を理解し、多様な価値観を認める。 DP3：豊かなコミュニケーション能力を身に付ける。 DP4：実践的活動を通して地域に貢献する力を身に付ける。								
科目区分		こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎ 必ず履修すべき科目(最重要科目) ○ 履修を推奨する科目(重要科目) ☆ 能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数	
					DP1	DP2	DP3	DP4		
教 養 教 育 科 目	教 養 科 目	敬天愛人講座	2	1年～	○	◎	☆	☆	必修科目 必修科目	12単位必修 必修科目以外の 科目を8単位 以上選択
		口頭表現	2	1年～	◎		◎			
		文章表現	2	1年～	◎		◎			
		哲学	2	1年～	○	☆				
		文学	2	1年～	○	☆				
		国際関係入門	2	1年～	○	◎				
		法学	2	1年～	○	☆				
		憲法	2	1年～	◎					
		歴史学	2	1年～	○	☆				
		心理学	2	1年～	○					
		基礎数学	2	1年～	○					
		基礎統計	2	1年～	○	○				
		健康運動科学	2	1年～	○			○		
		ボランティア活動	2	1年～	○	☆		○		
	情報概論	2	1年～	○						
	情報処理 I (情報基礎)	1	1年～	○		◎				
	情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	1年～	○		◎				
	AI・DSへのいざない	2	1年～		○					
	海外スクーリング I	2	1年～	☆	○	○	○			
	海外スクーリング II	2	1年～	☆	○	○	○			
	外 国 語 科 目	College English I	2	1年～		○	◎		必修科目 必修科目	
		College English II	2	1年～		○	◎			
		College English III	2	2年～		○	○			
		College English IV	2	2年～		○	○			
		Writing I	1	1年～		○	○			
		Writing II	1	1年～		○	○			
		Listening I	1	1年～		○	○			
		Listening II	1	1年～		○	○			
Speaking I		1	1年～		○	○				
Speaking II		1	1年～		○	○				
Debate I		1	1年～		○	○				
Debate II		1	1年～		○	○				
Mother Goose		1	1年～		○	○				
海外語学研修 I		2	1年～		○	○				
海外語学研修 II	2	1年～		○	○					
キ ャ リ ア 科 目	キャリアプランニング	2	1年～				○			
	キャリアデザインを学ぶ	2	1年～		○	○				
	キャリアディベロップメント	2	2年～			☆	○			

Ⅲ
カリキュラム表

科目区分	こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎ 必ず履修すべき科目(最重要科目) ○ 履修を推奨する科目(重要科目) ☆ 能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数
				DP1	DP2	DP3	DP4	
				こども教育	DP1：子供を総合的に理解し、教育の専門性を身に付ける。 DP2：国際社会を理解し、多様な価値観を認める。 DP3：豊かなコミュニケーション能力を身に付ける。 DP4：実践的活動を通して地域に貢献する力を身に付ける。			
専門教育科目	教育原論	2	1年～	◎				必修科目
	発達心理学	2	1年～	◎	○			必修科目
	教育行政	2	2年～	○				
	教育課程論	2	1年～	◎				必修科目
	教職概論	2	1年～	◎				必修科目
	教育方法・技術論	2	2年～	◎				必修科目
	教育とICT活用	2	2年～	◎		○		必修科目
	国語(書写を含)	2	2年～	◎		○		
	社会	2	2年～	◎	○			
	算数	2	2年～	◎				
	理科	2	1年～	◎				
	生活	2	2年～	◎				
	音楽	2	1年～	◎				
	図画工作	2	1年～	◎				
	家庭	2	1年～	◎				
	体育	2	1年～	◎				
	小学校英語Ⅰ	2	1年～	◎	☆	○		必修科目
	小学校英語Ⅱ	2	2年～	○	☆	○		
	1年基礎演習Ⅰ	1	1年～	☆	○	◎		必修科目
	1年基礎演習Ⅱ	1	1年～	☆	○	◎		必修科目
	2年応用演習Ⅰ	1	2年～	☆	○	◎		必修科目
	2年応用演習Ⅱ	1	2年～	☆	○	◎		必修科目
	こども学Ⅰ	2	2年～	◎		○		必修科目
	こども学Ⅱ	2	3年～	◎		○		必修科目
	教育心理学	2	2年～	◎		○		必修科目
	教育法規	2	2年～	○				
	生徒・進路指導論	2	3年～	◎				必修科目
	特別支援教育概論	2	3年～	◎				必修科目
	教育相談	2	3年～	○				
	初等国語科指導法	2	2年～	◎				必修科目
初等社会科指導法	2	2年～	◎				必修科目	
算数科指導法	2	2年～	◎				必修科目	
初等理科指導法	2	2年～	◎				必修科目	
生活科指導法	2	3年～	◎				必修科目	
初等音楽科指導法	2	2年～	◎				必修科目	
図画工作科指導法	2	1年～	◎				必修科目	
初等家庭科指導法	2	1年～	◎				必修科目	
初等体育科指導法	2	1年～	◎				必修科目	
小学校英語指導法Ⅰ	2	2年～	◎	○	◎	☆	必修科目	
小学校英語指導法Ⅱ	2	3年～	◎	○	◎	☆	必修科目	
道徳教育指導法	2	3年～	◎				必修科目	
総合的な学習の時間の指導法	2	2年～	◎				必修科目	
特別活動指導法	2	3年～	○					

62単位必修
必修科目以外の科目を34単位以上選択

学修DP こども教育		DP1：子供を総合的に理解し、教育の専門性を身に付ける。 DP2：国際社会を理解し、多様な価値観を認める。 DP3：豊かなコミュニケーション能力を身に付ける。 DP4：実践的活動を通して地域に貢献する力を身に付ける。						
科目区分	こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎ 必ず履修すべき科目(最重要科目) ○ 履修を推奨する科目(重要科目) ☆ 能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数
				DP1	DP2	DP3	DP4	
専 門 展 開 科 目	文学教材研究	2	2年～	○				必修科目 62単位必修 必修科目以外の科目を34単位以上選択
	数と形の不思議	2	2年～	○				
	プログラミング教育	2	2年～	○				
	理科の観察実験	1	2年～	○				
	科学教育論	2	2年～	○				
	音楽と表現	1	2年～	○		○		
	造形と表現	1	2年～	○		○		
	教育社会学	2	2年～	◎				
	メディアリテラシー教育	2	2年～	○				
	学校の安全教育	2	2年～	○			○	
	学級担任と読書	2	2年～	○	○			
	社会教育概論	2	2年～	○	○		◎	
	多文化教育論	2	2年～	○	○		◎	
	世界のこども教育	2	2年～	○	◎	☆		
	教育哲学	2	2年～	○				
	こども教育演習Ⅰ	1	3年～	◎		○		
	こども教育演習Ⅱ	1	3年～	◎		○		
	こども教育演習Ⅲ	1	4年～	◎		○		
	教育実習指導	1	3年～	◎			◎	
	教育実習	4	3年～	◎		○	◎	
	教職実践演習	2	4年～	◎		○	◎	
	日本語学	2	2年～	○				
	異文化コミュニケーション	2	2年～		◎	◎		
	比較文化論	2	2年～	○	◎			
	日本文化論	2	2年～	○	◎			
児童文学論	2	2年～	○	○				
英米児童文学	2	2年～	○	○				
専 門 研 究	3年次専門研究Ⅰ	2	3年～	◎	○	○	☆	必修科目
	3年次専門研究Ⅱ	2	3年～	◎	○	○	☆	必修科目
	4年次専門研究Ⅰ	2	4年～	◎	○	○	☆	必修科目
	4年次専門研究Ⅱ	2	4年～	◎	○	○	☆	必修科目
	卒業研究	2	4年～	◎	○	○	☆	
卒業要件単位数124単位								

※ (重要) 注意事項：卒業要件単位数は124単位となります。
 教養教育科目(必修12単位、必修以外8単位以上) + 専門教育科目(必修62単位、必修以外34単位以上) = 必修74単位 + 必修以外42単位以上 = 116単位以上となります。
 卒業要件単位124単位 - 116単位以上 = 8単位以上となります。8単位以上を抜け漏れなくしっかりと履修しましょう。

4

こども教育学科2022カリキュラム表(2022年度入学者)

1. 「敬愛大学学則」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業必要単位を124単位と定めています。こども教育学科では、教養科目、外国語科目、キャリア科目、専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目、専門研究を置いており、各科目区分から必要単位数を修得する必要があります。本学科の人材育成の目的は、「敬愛大学学則」により以下の通り定められています。
教育学部こども教育学科は、幅広く深い教養と豊かな人間性及び子供の教育に関する知識と技能の修得を基盤として、それを活用することができる実践能力に加えて、教育事象を科学的・実証的に考察し、その成果を子供の健全な育成に活かすことのできる人材を育成していきます。
2. 授業は前期・後期のセメスター制をとり、半期完結科目、集中講義及び課外研修によって行います。ただし、「I・II」科目の「II」の履修にあっては、条件付科目があるので確認が必要です。
3. 1年次は「1年基礎演習I・II」を、2年次は「2年応用研究I・II」を履修し、研究に必要な技能及び専門知識を身につけます。3年次には所属ゼミを選択し、2年間同一教員の指導のもと「3年次専門研究I・II」、「4年次専門研究I・II」で、より専門的に学んでいきます。
4. こども教育学科では小学校教諭一種免許状を取得するために、1・2年次はほぼ履修する科目が決定しています。これは3年次後期に控える教育実習に必要な技能及び専門知識を身に付け、教育実習に臨むように期待しているためです。

特色ある教育

建学の精神を学ぶ「敬天愛人講座」

本学の建学の精神である「敬天愛人」を学び、他者には愛をもって接し、地球、環境、生命に対する謙虚さを忘れない、自律した品格のある人間に成るように努力します。

子供を総合的に理解

子供の教育の根幹を支える各教科等指導力育成を目的として、概説科目と各教科等指導法科目を段階的に配置し、学生達が履修出来るようにしています。また、教育学の基礎や現代の学校教育が抱える諸問題などについて、幅広く探求的に学ぶ本学科の特色となる「こども学I・II」は、様々な視点から子供や教育に関わる内容を学生が主体的に学ぶことができます。

国際社会の理解、多様な価値観の習得

学生に広い視野で物事をとらえる能力を身に付ける。教育学部こども教育学科は、国際学部こども教育学科から改組転換をしたことから、国際社会を理解する上で、一部国際学部の主要科目を配置しています。「国際関係入門」、「異文化コミュニケーション」、「比較文化論」などの科目を履修することで多様な価値観を学ぶことができます。

実践的活動

学んだことを実践する、実践することで学ぶという両面から、1年次より「ボランティア活動」、「海外スクーリングI・II」、「海外語学研修I・II」を配置し、学生の視野を広げ実践的な活動を行うことがで

きます。海外語学研修では英語、中国語、韓国語が海外の協定校において、夏休みと春休みの長期休暇を利用して学ぶことができます。

※国内外の情勢によっては実施できない場合もあります。

各学年における到達目標

履修年次		到達目標			
年次	時期				
1年次	前期	1	大学での学び方を知る。		
		2	国際的な視野を持つ基礎力を養う。		
		3	基礎学力（文章能力・情報処理能力・英語力等）を身に付ける。		
		4	教育の基礎的理解に関する科目を学ぶ。		
		5	小学校半日参観・教育ボランティア活動等を通して、子ども理解・学校という教育現場を実践的に学ぶ。		
	後期	1	基礎学力（口頭表現力・コミュニケーション能力・情報処理能力・英語力等）をより身に付ける。		
		2	教育の基礎的理解に関する科目・小学校の教科について知る。		
		3	問題解決のための多面的思考力を身に付ける。		
2年次	前後期	1	教育に対する諸問題を知り、その原因や解決策について考える。		
		2	介護等体験で、特別支援学校や施設で実習する。		
		3	教職科目、小学校の教科について知り、教科の指導法を学ぶ。		
		4	教育ボランティア活動等を通して、子ども理解を図り・学校という教育現場を知る。		
		5	小学校の教科の指導法・道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目について学ぶ。		
3年次	前期	1	特別の教科道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目について学ぶ。		
		2	学校現場でのボランティア活動（ちば！教職たまごプロジェクト等）に参加し、子ども理解・学校という教育現場の理解を深める。		
		3	教育の基礎的理解に関する科目について学ぶ。		
		4	国際的な視野で物事をとらえ、知識・理解を深める。		
	後期	1	教育実習を通して、子ども理解・教職という仕事について理解を深めるとともに、自己の教職への適性を考える。		
		4年次	前期	1	教育実習で得た学び・経験をふまえし、自身の今後の研究や実践の課題として整理する。
				2	卒業研究に向けて自身のテーマを見定め、理論と実践の両面で教育への理解を深めていく。
後期	1	卒業研究を通して、問題解決能力・論理的思考力・文章表現力を高める。			
	2	教師になるにあたり自己の強みと課題を自覚し、教職課程4年間を総括し、学校現場で必要となる実践的な力を養う。			
	3	職業人として実社会に出る自覚を持てるようにする。			

2022年度

Ⅲ
カリキュラム表

区分	卒業必要単位	必須科目
教養教育科目	教養科目	口頭表現、文章表現、国際関係入門、情報処理Ⅰ（情報基礎）、情報処理Ⅱ（プレゼンテーション演習） College EnglishⅠ・Ⅱ
	外国語科目	
	キャリア科目	
専門教育科目	専門基礎科目	教育原論、発達心理学、教育課程論、教職概論、教育方法・技術論、教育とICT活用、小学校英語Ⅰ、1年基礎演習Ⅰ・Ⅱ、2年応用演習Ⅰ・Ⅱ こども学Ⅰ・Ⅱ、教育心理学、生徒・進路指導論、特別支援教育概論、初等国語科指導法、初等社会科指導法、算数科指導法、初等理科指導法、生活科指導法、初等音楽科指導法、図画工作科指導法、初等家庭科指導法、初等体育科指導法、小学校英語指導法Ⅰ、道徳教育指導法、総合的な学習の時間の指導法、教育社会学 3年次専門研究Ⅰ・Ⅱ、4年次専門研究Ⅰ・Ⅱ
	専門展開科目	
	専門研究	
卒業要件単位数 124単位以上		

こども教育学科 2022 カリキュラム表 (2022 年度入学者)

科目区分	こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎ 必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○ 履修を推奨する科目 (重要科目) ☆ 能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件単位数			
				DP1	DP2	DP3	DP4				
				学社D P こども教育	DP1：子供を総合的に理解し、教育の専門性を身に付ける。 DP2：国際社会を理解し、多様な価値観を認める。 DP3：豊かなコミュニケーション能力を身に付ける。 DP4：実践的活動を通して地域に貢献する力を身に付ける。						
教 養 教 育 科 目	教 養 科 目	敬天愛人講座	2	1年～	○	◎	☆	☆	必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目	12単位必修 必修科目以外の 科目を8単位 以上選択	
		口頭表現	2	1年～	○		◎				
		文章表現	2	1年～	◎		◎				
		哲学	2	1年～	○	☆					
		文学	2	1年～	○	☆					
		国際関係入門	2	1年～	○	◎					
		法学	2	1年～	○	☆					
		憲法	2	1年～	◎						
		歴史学	2	1年～	○	☆					
		心理学	2	1年～	○						
		基礎数学	2	1年～	○						
		基礎統計	2	1年～	○	○					
		健康運動科学	2	1年～	○			○			
		ボランティア活動	2	1年～	○	☆		○			
		情報概論	2	1年～	○						
	外 国 語 科 目	外 国 語 科 目	情報処理 I (情報基礎)	1	1年～	○		◎			必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目 必修科目
			情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	1年～	○		◎			
			AI・DSへのいざない	2	1年～		○				
			海外スクーリング I	2	1年～	☆	○	○	○		
			海外スクーリング II	2	1年～	☆	○	○	○		
			College English I	2	1年～		○	◎			
			College English II	2	1年～		○	◎			
			College English III	2	2年～		○	○			
			College English IV	2	2年～		○	○			
		キ ャ リ ア 科 目	キ ャ リ ア 科 目	Writing I	1	1年～		○	○		
				Writing II	1	1年～		○	○		
				Listening I	1	1年～		○	○		
				Listening II	1	1年～		○	○		
				Speaking I	1	1年～		○	○		
				Speaking II	1	1年～		○	○		
				Debate I	1	1年～		○	○		
				Debate II	1	1年～		○	○		
				Mother Goose	1	1年～		○	○		
海外語学研修 I	2	1年～		○	○						
海外語学研修 II	2	1年～		○	○						
キャリア科目	キャリアプランニング	2	1年～				○				
キャリアデザインを学ぶ	2	1年～		○	○						
キャリアディベロップメント	2	2年～			☆	○					

科目区分		こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎ 必ず履修すべき科目(最重要科目) ○ 履修を推奨する科目(重要科目) ☆ 能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数
					DP1	DP2	DP3	DP4	
こども教育 専門基礎科目 専門教育科目	専門基礎科目	教育原論	2	1年～	◎				必修科目
		発達心理学	2	1年～	◎	○			必修科目
		教育行政	2	2年～	○				
		教育課程論	2	1年～	◎				必修科目
		教職概論	2	1年～	◎				必修科目
		教育方法・技術論	2	2年～	◎				必修科目
		教育とICT活用	2	2年～	◎		○		必修科目
		国語(書写を含)	2	2年～	◎		○		
		社会	2	2年～	◎	○			
		算数	2	2年～	◎				
		理科	2	1年～	◎				
		生活	2	2年～	◎				
		音楽	2	1年～	◎				
		図画工作	2	1年～	◎				
		家庭	2	1年～	◎				
	体育	2	1年～	◎					
	専門教育科目	小学校英語Ⅰ	2	1年～	◎	☆	○		必修科目
		小学校英語Ⅱ	2	2年～	○	☆	○		
		1年基礎演習Ⅰ	1	1年～	☆	○	◎		必修科目
		1年基礎演習Ⅱ	1	1年～	☆	○	◎		必修科目
		2年応用演習Ⅰ	1	2年～	☆	○	◎		必修科目
		2年応用演習Ⅱ	1	2年～	☆	○	◎		必修科目
		こども学Ⅰ	2	2年～	◎		○		必修科目
		こども学Ⅱ	2	3年～	◎		○		必修科目
		教育心理学	2	2年～	◎		○		必修科目
		教育法規	2	2年～	○				
		生徒・進路指導論	2	3年～	◎				必修科目
		特別支援教育概論	2	3年～	◎				必修科目
		教育相談	2	3年～	○				
		初等国語科指導法	2	2年～	◎				必修科目
		初等社会科指導法	2	2年～	◎				必修科目
		算数科指導法	2	2年～	◎				必修科目
		初等理科指導法	2	2年～	◎				必修科目
生活科指導法		2	3年～	◎				必修科目	
初等音楽科指導法	2	2年～	◎				必修科目		
図画工作科指導法	2	1年～	◎				必修科目		
初等家庭科指導法	2	1年～	◎				必修科目		
初等体育科指導法	2	1年～	◎				必修科目		
小学校英語指導法Ⅰ	2	2年～	◎	○	◎	☆	必修科目		
小学校英語指導法Ⅱ	2	3年～	◎	○	◎	☆			
道徳教育指導法	2	3年～	◎				必修科目		
総合的な学習の時間の指導法	2	2年～	◎				必修科目		
特別活動指導法	2	3年～	○						

62単位必修
必修科目以外の科目を34単位以上選択

学科D P こども教育		DP1：子供を総合的に理解し、教育の専門性を身に付ける。 DP2：国際社会を理解し、多様な価値観を認める。 DP3：豊かなコミュニケーション能力を身に付ける。 DP4：実践的活動を通して地域に貢献する力を身に付ける。						
科目区分	こども教育学科設置科目名	単位数	配当学年	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件単位数
				DP1	DP2	DP3	DP4	
専 門 展 開 科 目	文学教材研究	2	2年～	○				必修科目 62単位必修 必修科目以外の科目を34単位以上選択
	数と形の不思議	2	2年～	○				
	プログラミング教育	2	2年～	○				
	理科の観察実験	1	2年～	○				
	科学教育論	2	2年～	○				
	音楽と表現	1	2年～	○		○		
	造形と表現	1	2年～	○		○		
	教育社会学	2	2年～	◎				
	メディアリテラシー教育	2	2年～	○				
	学校の安全教育	2	2年～	○			○	
	学級担任と読書	2	2年～	○	○			
	社会教育概論	2	2年～	○	○		◎	
	多文化教育論	2	2年～	○	○		◎	
	世界のこども教育	2	2年～	○	◎	☆		
	教育哲学	2	2年～	○				
	こども教育演習Ⅰ	1	3年～	◎		○		
	こども教育演習Ⅱ	1	3年～	◎		○		
	こども教育演習Ⅲ	1	4年～	◎		○		
	教育実習指導	1	3年～	◎			◎	
	教育実習	4	3年～	◎		○	◎	
	教職実践演習	2	4年～	◎		○	◎	
日本語学	2	2年～	○					
異文化コミュニケーション	2	2年～		◎	◎			
比較文化論	2	2年～	○	◎				
日本文化論	2	2年～	○	◎				
児童文学論	2	2年～	○	○				
英米児童文学	2	2年～	○	○				
専 門 研 究	3年次専門研究Ⅰ	2	3年～	◎	○	○	☆	必修科目
	3年次専門研究Ⅱ	2	3年～	◎	○	○	☆	必修科目
	4年次専門研究Ⅰ	2	4年～	◎	○	○	☆	必修科目
	4年次専門研究Ⅱ	2	4年～	◎	○	○	☆	必修科目
	卒業研究	2	4年～	◎	○	○	☆	
卒業要件単位数124単位								

※ (重要) 注意事項：卒業要件単位数は124単位となります。
 教養教育科目 (必修12単位、必修以外8単位以上) + 専門教育科目 (必修62単位、必修以外34単位以上) = 必修74単位 + 必修以外42単位以上 = 116単位以上となります。
 卒業要件単位数124単位 - 116単位以上 = 8単位以上となります。8単位以上を抜け漏れなくしっかりと履修しましょう。

教育学部 2026-2024 カリキュラム新旧読み替え表

区分	2026年度入学者				2025年度入学者				2024年度以前の入学						
	授業科目名称	開講年次			授業科目名称	開講年次			授業科目名称	開講年次					
教養科目	敬天愛人講座	1	2	3	4	敬天愛人講座	1	2	3	4	敬天愛人講座	1	2	3	4
	口頭表現	1	2	3	4	口頭表現	1	2	3	4	口頭表現	1	2	3	4
	文章表現	1	2	3	4	文章表現	1	2	3	4	文章表現	1	2	3	4
	憲法	1	2	3	4	憲法	1	2	3	4	憲法				
	健康科学	1	2	3	4	健康科学	1	2	3	4	健康運動科学				
	AI・DSへのいざない	1	2	3	4	AI・DSへのいざない	1	2	3	4	AI・DSへのいざない				
	電子情報処理入門Ⅰ	1	2	3	4	電子情報処理入門Ⅰ	1	2	3	4	情報処理Ⅰ(情報基礎)				
	電子情報処理入門Ⅱ	1	2	3	4	電子情報処理入門Ⅱ	1	2	3	4	情報処理Ⅱ(プレゼンテーション演習)				
	基礎数学	1	2	3	4	基礎数学	1	2	3	4	基礎数学				
	心理学	1	2	3	4	心理学	1	2	3	4	心理学				
	スポーツ教育Ⅰ	1	2	3	4	スポーツ教育Ⅰ	1	2	3	4					
	スポーツ教育Ⅱ	1	2	3	4	スポーツ教育Ⅱ	1	2	3	4					
	哲学	1	2	3	4	哲学	1	2	3	4	哲学	1	2	3	4
	社会心理学	1	2	3	4	社会心理学	1	2	3	4					
	歴史学	1	2	3	4	歴史学	1	2	3	4	歴史学				
	文学	1	2	3	4	文学	1	2	3	4	文学	1	2	3	4
	法学	1	2	3	4	法学	1	2	3	4	法学	1	2	3	4
	政治学	1	2	3	4	政治学	1	2	3	4					
	社会学	1	2	3	4	社会学	1	2	3	4					
	金融リテラシー	1	2	3	4	金融リテラシー	1	2	3	4					
	数学Ⅰ	1	2	3	4	数学Ⅰ	1	2	3	4					
	数学Ⅱ	1	2	3	4	数学Ⅱ	1	2	3	4					
	統計学Ⅰ	1	2	3	4	統計学Ⅰ	1	2	3	4					
	統計学Ⅱ	1	2	3	4	統計学Ⅱ	1	2	3	4					
	情報概論	1	2	3	4	情報概論	1	2	3	4	情報概論				
	環境科学	1	2	3	4	環境科学	1	2	3	4					
	国際関係入門	1	2	3	4	国際関係入門	1	2	3	4	国際関係入門				
	敬愛プログラム	1	2	3	4	敬愛プログラム	1	2	3	4					
	ボランティア活動	1	2	3	4	ボランティア活動	1	2	3	4	ボランティア活動				
	海外スクーリングⅠ	1	2	3	4	海外スクーリングⅠ	1	2	3	4	海外スクーリングⅠ	1	2	3	4
	海外スクーリングⅡ	1	2	3	4	海外スクーリングⅡ	1	2	3	4	海外スクーリングⅡ	1	2	3	4
	College English Ⅰ	1	2	3	4	College English Ⅰ	1	2	3	4	College English Ⅰ	1	2	3	4
	College English Ⅱ	1	2	3	4	College English Ⅱ	1	2	3	4	College English Ⅱ	1	2	3	4
College English Ⅲ		2	3	4	College English Ⅲ		2	3	4	College English Ⅲ		2	3	4	
College English Ⅳ		2	3	4	College English Ⅳ		2	3	4	College English Ⅳ		2	3	4	
Writing Ⅰ	1	2	3	4	Writing Ⅰ	1	2	3	4	Writing Ⅰ	1	2	3	4	
Writing Ⅱ	1	2	3	4	Writing Ⅱ	1	2	3	4	Writing Ⅱ	1	2	3	4	
Listening Ⅰ	1	2	3	4	Listening Ⅰ	1	2	3	4	Listening Ⅰ	1	2	3	4	
Listening Ⅱ	1	2	3	4	Listening Ⅱ	1	2	3	4	Listening Ⅱ	1	2	3	4	
Speaking Ⅰ	1	2	3	4	Speaking Ⅰ	1	2	3	4	Speaking Ⅰ	1	2	3	4	
Speaking Ⅱ	1	2	3	4	Speaking Ⅱ	1	2	3	4	Speaking Ⅱ	1	2	3	4	
Debate Ⅰ	1	2	3	4	Debate Ⅰ	1	2	3	4	Debate Ⅰ	1	2	3	4	
Debate Ⅱ	1	2	3	4	Debate Ⅱ	1	2	3	4	Debate Ⅱ	1	2	3	4	
Basic Grammar Ⅰ	1	2	3	4	Basic Grammar Ⅰ	1	2	3	4						
Basic Grammar Ⅱ	1	2	3	4	Basic Grammar Ⅱ	1	2	3	4						
時事英語Ⅰ	1	2	3	4	時事英語Ⅰ	1	2	3	4						
時事英語Ⅱ	1	2	3	4	時事英語Ⅱ	1	2	3	4						
TOIC向上講座Ⅰ	1	2	3	4	TOIC向上講座Ⅰ	1	2	3	4						
TOIC向上講座Ⅱ	1	2	3	4	TOIC向上講座Ⅱ	1	2	3	4						
中国語Ⅰ	1	2	3	4	中国語Ⅰ	1	2	3	4						
中国語Ⅱ	1	2	3	4	中国語Ⅱ	1	2	3	4						
フランス語Ⅰ	1	2	3	4	フランス語Ⅰ	1	2	3	4						
フランス語Ⅱ	1	2	3	4	フランス語Ⅱ	1	2	3	4						
ドイツ語Ⅰ	1	2	3	4	ドイツ語Ⅰ	1	2	3	4						
ドイツ語Ⅱ	1	2	3	4	ドイツ語Ⅱ	1	2	3	4						
コリア語Ⅰ	1	2	3	4	コリア語Ⅰ	1	2	3	4						

2024年度
2025年度
2026年度

Ⅲ
カリキュラム表

		2026年度入学者				2025年度入学者				2024年度以前の入学								
区分	授業科目名称	開講年次			授業科目名称	開講年次			授業科目名称	開講年次								
教養教育科目	外国語科目	コリア語Ⅱ	1	2	3	4	コリア語Ⅱ	1	2	3	4							
		海外語学研修Ⅰ	1	2	3	4	海外語学研修Ⅰ	1	2	3	4	海外語学研修Ⅰ	1	2	3	4		
		海外語学研修Ⅱ	1	2	3	4	海外語学研修Ⅱ	1	2	3	4	海外語学研修Ⅱ	1	2	3	4		
	キャリア科目	キャリアプランニング	1	2	3	4	キャリアプランニング	1	2	3	4	キャリアプランニング	1	2	3	4		
		キャリアデザインを学ぶ		2	3	4	キャリアデザインを学ぶ		2	3	4	キャリアデザインを学ぶ	1	2	3	4		
		キャリアディベロップメント		2	3	4	キャリアディベロップメント		2	3	4	キャリアディベロップメント		2	3	4		
		企業の魅力発見		2	3	4	企業の魅力発見		2	3	4							
		実践的キャリア演習Ⅰ			3	4	実践的キャリア演習Ⅰ			3	4							
		実践的キャリア演習Ⅱ			3	4	実践的キャリア演習Ⅱ			3	4							
		プレインターンシップ			3	4	プレインターンシップ			3	4							
インターンシップ				3	4	インターンシップ			3	4								
	ポストインターンシップ			3	4	ポストインターンシップ			3	4								
専門基礎科目	こども学Ⅰ		2	3	4	こども学Ⅰ		2	3	4	こども学Ⅰ							
	こども学Ⅱ			3	4	こども学Ⅱ			3	4	こども学Ⅱ							
	小学校英語基礎		1	2	3	4	小学校英語基礎		1	2	3	4	小学校英語Ⅰ					
	1年基礎演習Ⅰ		1			1年基礎演習Ⅰ		1			1年基礎演習Ⅰ							
	1年基礎演習Ⅱ		1			1年基礎演習Ⅱ		1			1年基礎演習Ⅱ							
	2年基礎演習Ⅰ			2		2年基礎演習Ⅰ			2		2年応用演習Ⅰ							
	2年基礎演習Ⅱ			2		2年基礎演習Ⅱ			2		2年応用演習Ⅱ							
	体験的に学ぶⅠ(野外実習)		1	2	3	4	体験的に学ぶⅠ(野外実習)		1	2	3	4						
	体験的に学ぶⅡ(社会科ちば巡検)		1	2	3	4	体験的に学ぶⅡ(社会科ちば巡検)		1	2	3	4						
	体験的に学ぶⅢ(理科臨地実習)		2	3	4	体験的に学ぶⅢ(理科臨地実習)		2	3	4								
	体験的に学ぶⅣ(ちば文学探訪)		2	3	4	体験的に学ぶⅣ(ちば文学探訪)		2	3	4								
	教育の視野を広げる		2	3	4	教育の視野を広げる		2	3	4								
	専門研究科目	学校図書館Ⅰ(学校経営と図書館)		2	3	4	学校図書館Ⅰ(学校経営と図書館)		2	3	4							
		学校図書館Ⅱ(学校図書館メディアの構成)		2	3	4	学校図書館Ⅱ(学校図書館メディアの構成)		2	3	4							
		学校図書館Ⅲ(学習指導と学校図書館)		2	3	4	学校図書館Ⅲ(学習指導と学校図書館)		2	3	4							
		現代教育課題演習Ⅰ(ちばの教育行政)			3	4	現代教育課題演習Ⅰ(ちばの教育行政)			3	4							
		現代教育課題演習Ⅱ(教育についての口述)			3	4	現代教育課題演習Ⅱ(教育についての口述)			3	4							
		現代教育課題演習Ⅲ(教育についての論述)				4	現代教育課題演習Ⅲ(教育についての論述)				4							
		学校ボランティア		1	2		学校ボランティア		1	2								
		教育ボランティア・インターンシップ活動Ⅰ				3	4	教育ボランティア・インターンシップ活動Ⅰ				3	4					
教育ボランティア・インターンシップ活動Ⅱ						4	教育ボランティア・インターンシップ活動Ⅱ					4						
教育海外スクーリング			2	3	4	教育海外スクーリング		2	3	4								
3年次専門研究Ⅰ				3		3年次専門研究Ⅰ			3		3年次専門研究Ⅰ							
3年次専門研究Ⅱ				3		3年次専門研究Ⅱ			3		3年次専門研究Ⅱ							
4年次専門研究Ⅰ				4	4年次専門研究Ⅰ				4	4年次専門研究Ⅰ								
4年次専門研究Ⅱ				4	4年次専門研究Ⅱ				4	4年次専門研究Ⅱ								
卒業研究					4	卒業研究				4	卒業研究							
教職コア科目	教育原論		1	2	3	4	教育原論		1	2	3	4	教育原論		1	2	3	4
	教職概論		1	2	3	4	教職概論		1	2	3	4	教職概論		1	2	3	4
	教育と社会・制度・経営		2	3	4	教育と社会・制度・経営		2	3	4	教育社会学		2	3	4			
	発達と学習		1	2	3	4	発達と学習		1	2	3	4	学習					
	特別支援教育概論			3	4	特別支援教育概論			3	4	特別支援教育概論			3	4			
	教育課程論		2	3	4	教育課程論		2	3	4	教育課程論		1	2	3	4		
	道徳教育指導法			3	4	道徳教育指導法			3	4	道徳教育指導法			3	4			
	総合的な学習の時間の指導法		2	3	4	総合的な学習の時間の指導法		2	3	4	総合的な学習の時間の指導法(小学校)		2	3	4			
	特別活動指導法		2	3	4	特別活動指導法		2	3	4	特別活動指導法			3	4			
	教育方法・技術論		2	3	4	教育方法・技術論		2	3	4	教育方法・技術論		2	3	4			
	教育とICT活用		1	2	3	4	教育とICT活用		1	2	3	4	教育とICT活用		2	3	4	
	生徒・進路指導論			3	4	生徒・進路指導論			3	4	生徒・進路指導論			3	4			
教育相談			3	4	教育相談			3	4	教育相談			3	4				

区分	2026年度入学者				2025年度入学者				2024年度以前の入学					
	授業科目名称	開講年次			授業科目名称	開講年次			授業科目名称	開講年次				
教職実践に関する科目	教育実習事前事後指導				教育実習事前事後指導									
	教育実習指導				教育実習指導				教職実践演習		4			
教職コア科目	小学校教育実習（主免許）				小学校教育実習（主免許）									
	小学校教育実習（副免許）													
教職実践演習	中学校教育実習（主免許）													
	中学校教育実習（副免許）													
小学校に関する科目	教職実践演習（小・中）				教職実践演習									
	小学校国語科指導法（書写を含む。）	2	3	4	小学校国語科指導法（書写を含む。）	2	3	4	初等国語科指導法					
	小学校社会科指導法	2	3	4	小学校社会科指導法	2	3	4	初等社会科指導法					
	小学校算数科指導法	2	3	4	小学校算数科指導法	2	3	4	算数科指導法					
	小学校理科科指導法	2	3	4	小学校理科科指導法	2	3	4	初等理科指導法					
	小学校生活科指導法		3	4	小学校生活科指導法		3	4	生活科指導法					
	小学校音楽科指導法	2	3	4	小学校音楽科指導法	2	3	4	初等音楽科指導法					
	小学校図画工作科指導法	1			小学校図画工作科指導法	1			図画工作科指導法					
	小学校家庭科指導法	1			小学校家庭科指導法	1			初等家庭科指導法					
	小学校体育科指導法	1			小学校体育科指導法	1			初等体育科指導法					
	小学校英語指導法	2			小学校英語指導法	2			小学校英語指導法Ⅰ					
	小学校英語指導法発展Ⅰ	2	3		小学校英語指導法発展Ⅰ	2	3		小学校英語指導法Ⅱ					
	小学校英語指導法発展Ⅱ		3		小学校英語指導法発展Ⅱ		3							
	小学校英語指導法発展Ⅲ		3		小学校英語指導法発展Ⅲ		3							
	小学校国語（書写を含む。）	2	3	4	小学校国語（書写を含む。）	2	3	4	国語（書写を含む）					
	小学校社会	2	3	4	小学校社会	2	3	4	社会					
	小学校算数	2	3	4	小学校算数	2	3	4	算数					
	小学校理科	1	2	3	4	小学校理科	1	2	3	4	理科			
	小学校生活	2	3	4	小学校生活	2	3	4	生活					
	小学校音楽	1	2	3	4	小学校音楽	1	2	3	4	音楽			
	小学校図画工作	1	2	3	4	小学校図画工作	1	2	3	4	図画工作			
	小学校家庭	1	2	3	4	小学校家庭	1	2	3	4	家庭			
	小学校体育	1	2	3	4	小学校体育	1	2	3	4	体育			
	小学校英語	2	3	4	小学校英語	2	3	4						
	小学校英語発展	2	3	4	小学校英語発展	2	3	4	小学校英語Ⅱ	2	3	4		
国語に関する科目	国語学概論（音声言語及び文章表現を含む。）	1	2	3	4									
	国語学各論Ⅰ（日本語の言語文化）	2	3	4										
	国語学各論Ⅱ（日本語と社会）	2	3	4										
	国語学各論Ⅲ（日本語の語彙と表記）	2	3	4										
	日本語コミュニケーション論	2	3	4										
	国文学概論（国文学史を含む。）	1	2	3	4									
	国文学各論Ⅰ（上代・中古・中世）	2	3	4										
	国文学各論Ⅱ（近世）	2	3	4										
	国文学各論Ⅲ（近代）	2	3	4										
	国文学各論Ⅳ（現代）	2	3	4										
	漢文学概論	1	2	3	4									
	書写書道概論	1	2	3	4									
	国語科指導法概論	1	2	3	4									
	国語科指導法各論Ⅰ（「話すこと・聞くこと」の授業づくり）													
	国語科指導法各論Ⅱ（「書くこと」の授業づくり）													
	国語科指導法各論Ⅲ（「読むこと」の授業づくり）													
保健体育に関する科目	体育実技概論	1	2	3	4									
	体育実技各論Ⅰ（陸上競技）	2	3	4										
	体育実技各論Ⅱ（器械体操）	2	3	4										
	体育実技各論Ⅲ（球技）	2	3	4										
	体育実技各論Ⅳ（ダンス）	2	3	4										
	体育実技各論Ⅴ（パラスポーツ）	2	3	4										
	体育学概論（体育原論・体育心理学・運動学）	1	2	3	4									

Ⅲ
カリキュラム表

		2026年度入学者				2025年度入学者				2024年度以前の入学				
区分		授業科目名称	開講年次			授業科目名称	開講年次			授業科目名称	開講年次			
教科及び教科の指導法に関する科目	保健体育に関する科目	スポーツビジネス論	2	3	4									
		スポーツ文化論	2	3	4									
		生理学概論（運動生理学を含む。）	1	2	3	4								
		衛生学・公衆衛生学概論	2	3	4									
		学校保健学概論（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	1	2	3	4								
		保健体育科指導法概論Ⅰ（体育）	1	2	3	4								
		保健体育科指導法概論Ⅱ（保健）	2	3	4									
		保健体育科指導法各論Ⅰ（健康と体力）	2	3	4									
		保健体育科指導法各論Ⅱ（授業づくり）	2	3	4									
専門教育科目	言語文化と教育	児童文学	2	3	4	児童文学	2	3	4	児童文学論	2	3	4	
		日本文化論	2	3	4	日本文化論	2	3	4	日本文化論	2	3	4	
		英米児童文学	2	3	4	英米児童文学	2	3	4	英米児童文学	2	3	4	
		Mother Gooseの世界	2	3	4	Mother Gooseの世界	2	3	4					
	社会と教育	学校図書館Ⅳ（読書と豊かな人間性）	2	3	4	学校図書館Ⅳ（読書と豊かな人間性）	2	3	4	学級担任と読書	2	3	4	
		キャリア教育	2	3	4	キャリア教育	2	3	4					
		世界のこども教育	2	3	4	世界のこども教育	2	3	4	世界のこども教育	2	3	4	
		多文化教育論	2	3	4	多文化教育論	2	3	4	多文化教育論	2	3	4	
		学校の安全教育	2	3	4	学校の安全教育	2	3	4	学校の安全教育	2	3	4	
		ちばの地理・歴史と文化	2	3	4	ちばの地理・歴史と文化	2	3	4					
科学と教育	数の不思議	2	3	4	数の不思議	2	3	4	数と形の不思議	2	3	4		
	かたちの数学	2	3	4	かたちの数学	2	3	4						
	科学教育論	2	3	4	科学教育論	2	3	4	科学教育論	2	3	4		
	理科の観察実験	2	3	4	理科の観察実験	2	3	4	理科の観察実験	2	3	4		
情報と教育	ちばの自然と環境	2	3	4	ちばの自然と環境	2	3	4						
	メディアリテラシー教育	2	3	4	メディアリテラシー教育	2	3	4	メディアリテラシー教育	2	3	4		
	学校図書館Ⅴ（情報メディアの活用）	2	3	4	学校図書館Ⅴ（情報メディアの活用）	2	3	4						
	情報モラル教育	2	3	4	情報モラル教育	2	3	4						
	プログラミング教育	2	3	4	プログラミング教育	2	3	4	プログラミング教育	2	3	4		
	学校教育のAI活用	2	3	4	学校教育のAI活用	2	3	4						
課題探究科目	「ちば」理解と教育	こどもと遊び	2	3	4	こどもと遊び	2	3	4	こどもと家庭の関係論（21カリ以前）				
		こどもをめぐる対話	2	3	4	こどもをめぐる対話	2	3	4	いのちと環境（21カリ以前）				
		こどもの心と体	2	3	4	こどもの心と体	2	3	4					
		造形と表現	2	3	4	造形と表現	2	3	4	造形と表現	2	3	4	
		音楽と表現	2	3	4	音楽と表現	2	3	4	音楽と表現	2	3	4	
										基礎統計	1	2	3	4
										Mother Goose	1	2	3	4
										発達心理学	1	2	3	4
										教育行政	2	3	4	
										教育心理学	2	3	4	
								教育法規	2	3	4			
								文学教材研究	2	3	4			
								学級担任と読書	2	3	4			
								社会教育概論	2	3	4			
								教育哲学	2	3	4			
								日本語学	2	3	4			
								異文化コミュニケーション	2	3	4			
								比較文化論	2	3	4			
								こども教育演習Ⅰ			3	4		
								こども教育演習Ⅱ			3	4		
								こども教育演習Ⅲ			4			
								教育実習指導			3	4		
								教育実習			3	4		

Ⅲ

カリキュラム表 情報マネジメント学部

情報マネジメント学部

1. 2026年度入学者カリキュラム表	240
2. 2025年度入学者カリキュラム表	247

1

2026年度入学者カリキュラム表

1 教育課程の編成方針と概要

情報マネジメント学部は、建学の精神である「敬天愛人」の理念に則り定められた教育憲章の理念「学生一人ひとりの尊厳を重んじ、その可能性を引き出すとともに、社会の発展に積極的に貢献する人材」を育成するため、以下の方針により教育課程を編成します。

1. 社会人として必要かつ健全な倫理観と一般的教養を養成するため、幅広い教養教育を行う基本科目、言語科目、教養科目、キャリア科目を1年次から配置する。教養科目には、人文科学、社会科学、自然科学などのさまざまな学問領域を配置するとともに、建学の精神を理解し、その倫理観を実践に結びつける科目「敬天愛人講座」「ボランティア活動」を配置します。
2. 経済・経営の視点を中心に多様な社会を理解し、その社会を情報・データに関連づけながら理解するために、専門科目（導入科目）を1年次からの必修科目、専門科目（基礎科目）を2年次からの選択科目として配置します。これら経営情報分野に収斂していくそれぞれの科目の理論を学び知識を身につけ、その理論・知識にもとづいて社会の課題をデータから発見した内容を、論理的に表現し、コミュニケーション能力を高めるために基礎科目（基本科目）を1年次から配置します。そこで、基礎科目（基本科目）は、すべて教育の基礎となるため卒業要件に必要な必修科目とします。
3. 地域・社会・経済・経営の課題をより専門的に学び、それらの課題を、より高度なデータ分析手法を学ぶことで、創造的な解決策を提案し、実践できる能力を身につける専門科目（展開科目）を2年次から選択科目として配置します。
4. 論理的な解決方法を提案することのできる企業人となるための実践能力を養成します。そのために、企業経営者・管理者や行政担当者を招聘した実践的な学習を行う科目、実際の企業現場を視察して課題研究を行う科目、事例研究による課題解決の実践学修科目を配置します。
5. 多様性を理解し高いコミュニケーション力で、自ら主体的に学び、協働する力を養成するため、必修の演習科目を2年次以降の全学年に配置します。演習科目では、グループワークやグループディスカッションを通してコミュニケーション能力向上への指導を行います。また、教育課程の成果として、客観的なデータに基づく課題解決型の論文または実践レポートを課す卒業論文・卒業研究を4年次に配置します。
6. 「敬愛大学学則」及び「情報マネジメント学部規程」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業に必要な単位数を124単位以上と定めています。
7. 1年次の基礎演習はあらかじめ大学側で担当教員を指定しますが、2年次後期からの所属専門演習は、みなさんの希望にもとづく選考により決定します。定員を超える希望者がいた場合は成績や授業出席状況等の修学状況を参考にして、所属を決定します。
8. 全学共通の特色ある教育活動として「敬愛プログラム」科目を配置しています。学生（個人またはグループ）の自主的・自発的な発想による活動を目的とするものです。
9. 情報マネジメント学部では、副専攻「AI・データサイエンス」および副専攻「エアポートNARITA地域産業学」と組み合わせた科目を設定していますので、おおきな授業負担もなく、副専攻も同時に履修することで、より体系的に専門的な知識を修得することが可能です。

2 学修モデル

情報・データサイエンス系

物事の変化が激しく複雑化した現代社会では、AIをはじめとする情報技術やデータサイエンス（DS）の知識とスキルを用いた課題解決が求められています。このために必要な「データサイエンス力」と「データエンジニアリング力」を体系的に学べるように、1年次で「情報概論」「ビッグデータマネジメント」、2年次で「AI概論」「DS概論」「情報セキュリティ論」「アルゴリズム論」と「生成AI入門」「プログラミング（Python）」「プログラミング（R）」、3年次では近年注目されている「自然言語処理」を学びます。さらに、企業の実務家を講師に迎えた「AI・データサイエンス経営実践」や「情報ガバナンス」等により、多方面での実践経験を重ねることで、課題を発見し、解決に必要な能力を身につけることができます。就職に有利なIT資格の取得にも力を入れており、IT企業に限らず、どの分野への就職も目指せます。

地域・観光情報マネジメント系

21世紀の成長産業「観光」をマネジメントの視点から学び、持続可能な地域づくりや観光経営のスペシャリストを目指します。旅行業、宿泊産業、運輸産業、観光地計画・経営などの幅広い観光経営を体系的に学ぶとともに、観光地や観光産業の具体的な事例を調査し、その実態と課題を分析し、課題の解決方法を考えます。また、デジタル時代を踏まえ、データや統計を活用しつつ、観光地経営の高度化や、観光産業を効率化する経営手法を学び、地域社会の発展に貢献する力を身につけます。

訪日観光客がますます増加する中、旅行業、ホテル、航空業、鉄道業、テーマパークなど、観光関連産業で活躍したい人、観光を通して地域に貢献したい人に最適です。また、ブライダル、国際会議等の運営に関わるMICE関連事業等、広くサービス産業で働くことを目指す人にも適しています。

デジタル経営・デジタル・マーケティング系

今日の企業経営を考える場合、日々進化するICT技術を理解し、活用できることが成功のためには不可欠です。そこで、これまでの経営学の研究成果のうちの基礎理論を体系的に学ぶことはもちろんのこと、これに強力な経営力を付け加えるためにICT技術を活用する力を身につけることが大事です。データを活用し、企業経営や消費者行動を分析する力を身につけます。そのための学びとして現在、実際に現場で活躍している実務家を招聘して講義を受けたり、また、多くの事例を調査・分析することで、実践力をつけます。

「市場創造」あるいは「顧客創造」ともいわれるマーケティングの知識は、企業経営をするうえで欠かせない実践能力です。従来からの伝統的マーケティングの枠組みを学ぶと同時に、日々進化しているICT技術を基礎にしたデジタル・マーケティングの実態を学ぶことが、激しい企業競争のなかで打ち勝つために必要です。市場や消費者ニーズに応じた企画力と実行力を磨き、ビジネスの最前線で活躍できる人材となるための実践的な学びをします。

3-1 科目区分および卒業要件単位略図(2026年度入学者)

科目区分		卒業必要単位数		
		必修科目	選択科目	合計
基礎科目	基本科目	14		14
	言語科目	4		4
	教養科目		16	16
	キャリア科目	4	2	6
	小計	22	18	40
専門科目	導入科目	10		10
	基礎科目		8	8
	展開科目		48	48
	演習科目	8		8
	小計	18	56	74
自由選択 (基礎科目・専門科目)			10	10
合計		40	84	124

3-2 教育課程の具体的履修方法（2026）

1 学部基礎科目

学部基礎科目においては、基本科目、言語科目、教養科目、キャリア科目を含めて合計40単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

- (1) 基本科目
基本科目は必修科目であり、全科目を履修し、1年次で14単位を修得する必要があります。
- (2) 言語科目
言語科目は必修科目であり、全科目を履修し、1年次で4単位を修得する必要があります。
- (3) 教養科目
教養科目は選択科目であり、この科目群の中から4年間で16単位以上を修得する必要があります。
- (4) キャリア科目
キャリア科目は必修科目4単位、選択科目2単位以上で合計6単位以上を修得する必要があります。

2 専門科目

学部専門科目においては、導入科目、基礎科目、展開科目、演習科目、自由選択科目を含めて合計74単位以上を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

- (1) 導入科目
導入科目は必修科目であり、1年次で10単位を修得する必要があります。
- (2) 基礎科目
基礎科目は選択科目であり、2年次より8単位以上を修得する必要があります。
- (3) 展開科目
展開科目は選択科目であり、2年次より48単位以上を修得する必要があります。
- (4) 演習科目
演習科目は必修科目であり、2年次から卒業までの各学年において、2単位（前期1単位、後期1単位）さらに4年次の「卒業論文・卒業研究」（2単位）を含めて合計8単位を修得する必要があります。演習科目は自ら調べ考える主体的な学びをすることで、
2年次からは原則、希望性により所属ゼミを選択し、専門分野を学ぶ上での導入と位置づけられている「専門導入演習」を履修します。さらに3年次は「専門演習」、4年次は「卒業演習」を履修し、より専門的にその分野を修得すべく、深くより高度な内容が展開されます。また、4年次はあわせて卒業論文の指導を受けることとなります。

3 自由選択（基礎科目・専門科目）

自由選択は、各科目区分の必要単位数以外の教養科目、キャリア科目、専門科目（基礎科目・展開科目）の中から自由に選択して、10単位以上を選択する必要があります。

なお、他大学・他学部・大学単位互換科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業単位とします。

情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 2026カリキュラム表 (2026年度入学者)

区分	科目名	主要 授業科目	必修 科目	単位数	配当 学年	必 要 単位数	◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件等			
							DP1	DP2	DP3	DP4	備考 1	備考 2		
基本科目	文章表現		○	2	1年～	14 単位	○	◎			全科目必修			
	口頭表現		○	2	1年～		○	◎						
	基礎数学		○	2	1年～		○	◎						
	AI・DSへのいざない		○	2	1年～		☆	○	◎					
	健康科学		○	2	1年～		◎							
	情報基礎 I		○	1	1年～		☆	○	◎					
	情報基礎 II		○	1	1年～		☆	○	◎					
	基礎演習 I		○	1	1年～		○	◎	☆	○				
	基礎演習 II		○	1	1年～	○	◎	☆	○					
	言語科目	英語 I A		○	1	1年～	4 単位	○	◎				日本人は、英語 4 単位必修	
		英語 I B		○	1	1年～		○	◎					
		英語 II A		○	1	1年～		○	◎					
		英語 II B		○	1	1年～		○	◎					
		日本語 I		○	2	1年～		○	◎				留学生必修科目	
	日本語 II		○	2	1年～	○	◎							
	基礎科目	フランス語 I			1	1年～	16 単位	☆					16単位以上選択	基礎科目、専門科目の必修科目及び備考1により履修した科目以外の科目から10単位以上選択
		フランス語 II			1	1年～		☆						
		ドイツ語 I			1	1年～		☆						
ドイツ語 II				1	1年～	☆								
中国語 I				1	1年～	☆								
中国語 II				1	1年～	☆								
時事英語 I				1	2年～	☆								
時事英語 II				1	2年～	☆								
ビジネス英語 I				1	2年～	☆								
ビジネス英語 II				1	2年～	☆								
Basic Grammar I				1	1年～	☆								
Basic Grammar II				1	1年～	☆								
TOEIC®向上講座 I				2	2年～	☆								
TOEIC®向上講座 II				2	2年～	☆								
Speaking I				1	2年～	☆								
Speaking II				1	2年～	☆								
Writing I				1	2年～	☆								
Writing II				1	2年～	☆								
Listening I				1	2年～	☆								
Listening II				1	2年～	☆								
Debate I				1	2年～	☆								
Debate II				1	2年～	☆								
敬天愛人講座				2	1年～	◎				○				
敬愛プログラム			2	1年～	○	○	☆	○						
スポーツ教育 I			1	1年～	☆									
スポーツ教育 II			1	1年～	☆									
哲学			2	1年～	○									
心理学			2	1年～	○									
社会心理学			2	1年～	○									

区分		科目名	主要 授業 科目	必修 科目	単位数	配当 学年	必 要 単位数	○必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件等	
								DP1	DP2	DP3	DP4	備考 1	備考 2
基礎科目	教養科目	歴史学			2	1年～	16 単位	○				16単位以上選択	
		文学			2	1年～		○					
		法学			2	1年～		○					
		憲法			2	1年～		○					
		政治学			2	1年～		○					
		社会学			2	1年～		○					
		数学Ⅰ			2	1年～			○	☆			
		数学Ⅱ			2	1年～			○	☆			
		統計学Ⅰ			2	1年～			○	☆			
		統計学Ⅱ			2	1年～			○	☆			
		英語で学ぶPython			2	1年～			☆	☆			
		環境科学			2	1年～			○				
		ボランティア活動			2	1年～			○		☆		
金融リテラシー			2	1年～		○							
税の基礎知識			2	1年～		○							
基礎科目	キャリア科目	キャリアデザインを学ぶ	○	○	2	1年～	6 単位		○	◎	必修科目を含め6単 位以上選択	基礎科目、専門科目 の必修科目及び備考 1により履修した科目 以外の科目から 10単位以上選択	
		キャリアプランニング	○		2	1年～			○	◎			
		キャリアディベロップメント			2	2年～			☆	○			
		企業の魅力発見			2	2年～			☆	○			
		実践的キャリア演習Ⅰ			2	3年～			☆	○			
		実践的キャリア演習Ⅱ			2	3年～			☆	○			
		プレインターンシップ			2	3年～			○	☆			
		インターンシップ			1	3年～			○	☆			
ポストインターンシップ			2	3年～		○	☆						
基礎科目	導入科目	経営学概論	○	○	2	1年～	10 単位		◎	○	全科目必修		
		経済学概論	○	○	2	1年～			◎	○			
		情報概論	○	○	2	1年～			◎	○			
		経営情報論	○	○	2	1年～			◎	○			
		ビッグデータマネジメント	○	○	2	1年～			◎	○			
	基礎科目	専門科目	経営戦略論			2	2年～	8 単位		◎	○		8単位以上選択
			マーケティング論	○		2	2年～			◎	○		
			地域経済論			2	2年～			◎	○		
			AI概論			2	2年～			○	◎		
			DS概論	○		2	2年～			○	◎		
プログラミング(Python)			2	2年～		○	◎						
生成系AI入門			2	2年～		○	◎						
基礎科目	展開科目	流通経営論			2	2年～	48 単位		○		48単位以上選択		
		観光概論	○		2	2年～			○				
		消費者行動論			2	2年～			○				
		地域資源論			2	2年～			○				
		ロジスティクス(物流管理)論			2	2年～			○				
		サービスマーケティング論			2	2年～			○				
		デジタルマーケティング論			2	2年～			○	☆			
		観光マーケティング			2	2年～			○	☆			
		地方創生論	○		2	2年～			○				
		千葉県の産業と行政			2	2年～			○			☆	

区分	科目名	主要 授業 科目	必修 科目	単位数	配当 学年	必 要 単 位 数	◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件等		
							DP1	DP2	DP3	DP4	備考 1	備考 2	
情報マネジメント DP	DP1. 社会人として必要な幅広い教養基盤に支えられた豊かな人間性や高い倫理観を身につける。 DP2. 経済・経営の理論を理解し、問題発見のために情報を主体的に収集、分析し、問題解決策を論理的に述べられる表現能力・コミュニケーション能力を身につける。 DP3. 情報科学技術の進歩を理解するとともに、AIの技術の利活用やデータを使いながら社会問題を解決する能力を身につける。 DP4. 多様な社会の存在を理解し、その多様な社会のなかで共に協力して目的を達成する力を身につける。												
	展 開 科 目 専 門 科 目	千葉の観光研究			2	2年～	48単 位		○		☆	48単位以上選択	基礎科目、専門科目 の必修科目及び備考 1により履修した科 目以外の科目から 10単位以上選択
		観光政策論			2	2年～			○		☆		
		地域分析論			2	2年～			○	☆			
		交通経済学			2	2年～			○	☆			
		観光事業論Ⅰ			2	2年～			○				
		観光事業論Ⅱ			2	2年～			○				
		旅行産業論			2	2年～			○				
		宿泊産業論			2	2年～			○				
		航空産業論			2	2年～			○				
		地域観光論			2	2年～			○				
		国際観光論			2	2年～			○	○			
		情報マネジメント特別講義A			2	3年～			◎	○			
		情報マネジメント特別講義B			2	3年～			◎	○			
		経済市場分析A			2	3年～			☆	○			
		経済市場分析B			2	3年～			☆	○			
		観光市場分析			2	3年～			☆	◎			
		ビジネスデータ解析			2	3年～			☆	◎			
		GIS (地理空間情報システム) 分析			2	2年～			☆	◎			
		不動産市場分析			2	2年～			☆	◎			
		会計情報と経営分析			2	2年～			○				
		ビジネスデータ分析手法A			2	2年～			☆	◎			
		ビジネスデータ分析手法B			2	2年～			☆	◎			
		ビジネスデータ分析手法C			2	2年～			☆	◎			
		AI・データサイエンス経営実践			2	2年～			☆	◎			
		観光地経営実践			2	3年～			◎				
		アルゴリズム論			2	2年～					◎		
		情報セキュリティ論			2	2年～					◎		
AI特講				2	2年～					◎			
プログラミング (R)			2	2年～				◎					
自然言語処理			2	3年～				◎					
情報ガバナンス			2	3年～				◎					
情報英語Ⅰ			2	3年～				○					
情報英語Ⅱ			2	3年～				○					
演 習 科 目	専門導入演習Ⅰ	○	○	1	2年～	8単 位		◎	◎	○	全科目必修		
	専門導入演習Ⅱ	○	○	1	2年～			◎	◎	○			
	専門演習Ⅰ	○	○	1	3年～			◎	◎	○			
	専門演習Ⅱ	○	○	1	3年～			◎	◎	○			
	卒業演習Ⅰ	○	○	1	4年～			◎	◎	○			
	卒業演習Ⅱ	○	○	1	4年～			◎	◎	○			
	卒業論文	○	○	2	4年～			◎	◎				
卒業要件単位数						124単位							

2

2025年度入学者カリキュラム表

1 教育課程の編成方針と概要

情報マネジメント学部は、建学の精神である「敬天愛人」の理念に則り定められた教育憲章の理念「学生一人ひとりの尊厳を重んじ、その可能性を引き出すとともに、社会の発展に積極的に貢献する人材」を育成するため、以下の方針により教育課程を編成します。

1. 社会人として必要かつ健全な倫理観と一般的教養を養成するため、幅広い教養教育を行う基本科目、言語科目、教養科目、キャリア科目を1年次から配置する。教養科目には、人文科学、社会科学、自然科学などのさまざまな学問領域を配置するとともに、建学の精神を理解し、その倫理観を実践に結びつける科目「敬天愛人講座」「ボランティア活動」を配置します。
2. 経済・経営の視点を中心に多様な社会を理解し、その社会を情報・データに関連づけながら理解するために、専門科目（導入科目）を1年次からの必修科目、専門科目（基礎科目）を2年次からの選択科目として配置します。これら経営情報分野に収斂していくそれぞれの科目の理論を学び知識を身につけ、その理論・知識にもとづいて社会の課題をデータから発見した内容を、論理的に表現し、コミュニケーション能力を高めるために基礎科目（基本科目）を1年次から配置します。そこで、基礎科目（基本科目）は、すべて教育の基礎となるため卒業要件に必要な必修科目とします。
3. 地域・社会・経済・経営の課題をより専門的に学び、それらの課題を、より高度なデータ分析手法を学ぶことで、創造的な解決策を提案し、実践できる能力を身につける専門科目（展開科目）を2年次から選択科目として配置します。
4. 論理的な解決方法を提案することのできる企業人となるための実践能力を養成します。そのために、企業経営者・管理者や行政担当者を招聘した実践的な学習を行う科目、実際の企業現場を視察して課題研究を行う科目、事例研究による課題解決の実践学修科目を配置します。
5. 多様性を理解し高いコミュニケーション力で、自ら主体的に学び、協働する力を養成するため、必修の演習科目を2年次以降の全学年に配置します。演習科目では、グループワークやグループディスカッションを通してコミュニケーション能力向上への指導を行います。また、教育課程の成果として、客観的なデータに基づく課題解決型の論文または実践レポートを課す卒業論文・卒業研究を4年次に配置します。
6. 「敬愛大学学則」及び「情報マネジメント学部規程」は、卒業に必要な修業年限を4年、卒業に必要な単位数を124単位以上と定めています。
7. 1年次の基礎演習はあらかじめ大学側で担当教員を指定しますが、2年次後期からの所属専門演習は、みなさんの希望にもとづく選考により決定します。定員を超える希望者がいた場合は成績や授業出席状況等の修学状況を参考にして、所属を決定します。
8. 全学共通の特色ある教育活動として「敬愛プログラム」科目を配置しています。学生（個人またはグループ）の自主的・自発的な発想による活動を目的とするものです。
9. 情報マネジメント学部では、副専攻「AI・データサイエンス」および副専攻「エアポートNARITA地域産業学」と組み合わせた科目を設定していますので、おおきな授業負担もなく、副専攻も同時に履修することで、より体系的に専門的な知識を修得することが可能です。

2 学修モデル

情報・データサイエンス系

物事の変化が激しく複雑化した現代社会では、AIをはじめとする情報技術やデータサイエンス（DS）の知識とスキルを用いた課題解決が求められています。このために必要な「データサイエンス力」と「データエンジニアリング力」を体系的に学べるように、1年次で「情報概論」「ビッグデータマネジメント」、2年次で「AI概論」「DS概論」「情報セキュリティ論」「アルゴリズム論」と「生成AI入門」「プログラミング（Python）」「プログラミング（R）」、3年次では近年注目されている「自然言語処理」を学びます。さらに、企業の実務家を講師に迎えた「AI・データサイエンス経営実践」や「情報ガバナンス」等により、多方面での実践経験を重ねることで、課題を発見し、解決に必要な能力を身につけることができます。就職に有利なIT資格の取得にも力を入れており、IT企業に限らず、どの分野への就職も目指せます。

地域・観光情報マネジメント系

21世紀の成長産業「観光」をマネジメントの視点から学び、持続可能な地域づくりや観光経営のスペシャリストを目指します。旅行業、宿泊産業、運輸産業、観光地計画・経営などの幅広い観光経営を体系的に学ぶとともに、観光地や観光産業の具体的な事例を調査し、その実態と課題を分析し、課題の解決方法を考えます。また、デジタル時代を踏まえ、データや統計を活用しつつ、観光地経営の高度化や、観光産業を効率化する経営手法を学び、地域社会の発展に貢献する力を身につけます。

訪日観光客がますます増加する中、旅行業、ホテル、航空業、鉄道業、テーマパークなど、観光関連産業で活躍したい人、観光を通して地域に貢献したい人に最適です。また、ブライダル、国際会議等の運営に関わるMICE関連事業等、広くサービス産業で働くことを目指す人にも適しています。

デジタル経営・デジタル・マーケティング系

今日の企業経営を考える場合、日々進化し続けるICT技術を理解し、活用できることが成功のためには不可欠です。そこで、これまでの経営学の研究成果のうちの基礎理論を体系的に学ぶことはもちろんのこと、これに強力な経営力を付け加えるためにICT技術を活用する力を身につけることが大事です。データを活用し、企業経営や消費者行動を分析する力を身につけます。そのための学びとして現在、実際に現場で活躍している実務家を招聘して講義を受けたり、また、多くの事例を調査・分析することで、実践力をつけます。

「市場創造」あるいは「顧客創造」ともいわれるマーケティングの知識は、企業経営をするうえで欠かせない実践能力です。従来からの伝統的マーケティングの枠組みを学ぶと同時に、日々進化しているICT技術を基礎にしたデジタル・マーケティングの実態を学ぶことが、激しい企業競争のなかで打ち勝つために必要です。市場や消費者ニーズに応じた企画力と実行力を磨き、ビジネスの最前線で活躍できる人材となるための実践的な学びをします。

3-1 科目区分および卒業要件単位略図(2025年度入学者)

科目区分		卒業必要単位数		
		必修科目	選択科目	合計
基礎科目	基本科目	14		14
	言語科目	4		4
	教養科目		16	16
	キャリア科目	4	2	6
	小計	22	18	40
専門科目	導入科目	10		10
	基礎科目		8	8
	展開科目		48	48
	演習科目	8		8
	小計	18	56	74
自由選択 (基礎科目・専門科目)			10	10
合計		40	84	124

3-2 教育課程の具体的履修方法（2025）

1 学部基礎科目

学部基礎科目においては、基本科目、言語科目、教養科目、キャリア科目を含めて合計40単位を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

- (1) 基本科目
基本科目は必修科目であり、全科目を履修し、1年次で14単位を修得する必要があります。
- (2) 言語科目
言語科目は必修科目であり、全科目を履修し、1年次で4単位を修得する必要があります。
- (3) 教養科目
教養科目は選択科目であり、この科目群の中から4年間で16単位以上を修得する必要があります。
- (4) キャリア科目
キャリア科目は必修科目4単位、選択科目2単位以上で合計6単位以上を修得する必要があります。

2 専門科目

学部専門科目においては、導入科目、基礎科目、展開科目、演習科目、自由選択科目を含めて合計74単位以上を修得する必要があります。

各科目区分の履修方法は次のとおりです。

- (1) 導入科目
導入科目は必修科目であり、1年次で10単位を修得する必要があります。
- (2) 基礎科目
基礎科目は選択科目であり、2年次より8単位以上を修得する必要があります。
- (3) 展開科目
展開科目は選択科目であり、2年次より48単位以上を修得する必要があります。
- (4) 演習科目
演習科目は必修科目であり、2年次から卒業までの各学年において、2単位（前期1単位、後期1単位）さらに4年次の「卒業論文・卒業研究」（2単位）を含めて合計8単位を修得する必要があります。演習科目は自ら調べ考える主体的な学びをすすめることです。

2年次からは原則、希望性により所属ゼミを選択し、専門分野を学ぶ上での導入と位置づけられている「専門導入演習」を履修します。さらに3年次は「専門演習」、4年次は「卒業演習」を履修し、より専門的にその分野を修得すべく、深くより高度な内容が展開されます。また、4年次はあわせて卒業論文の指導を受けることとなります。

3 自由選択（基礎科目・専門科目）

自由選択は、各科目区分の必要単位数以外の教養科目、キャリア科目、専門科目（基礎科目・展開科目）の中から自由に選択して、10単位以上を選択する必要があります。

なお、他大学・他学部・大学単位互換科目を単位修得した場合も自由選択科目の卒業単位とします。

情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 2025カリキュラム表 (2025年度入学者)

2025年度

区分	科目名	主要 授業 科目	必修 科目	単位数	配当 学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件等		
							DP1	DP2	DP3	DP4	備考 1	備考 2	
情報マネジメント学科DP	DP1. 社会人として必要な幅広い教養基盤に支えられた豊かな人間性や高い倫理観を身につける。 DP2. 経済・経営の理論を理解し、問題発見のために情報を主体的に収集、分析し、問題解決策を論理的に述べられる表現能力・コミュニケーション能力を身につける。 DP3. 情報科学技術の進歩を理解するとともに、AIの技術の利活用やデータを使いながら社会問題を解決する能力を身につける。 DP4. 多様な社会の存在を理解し、その多様な社会のなかで共に協力して目的を達成する力を身につける。												
	基本科目	文章表現		○	2	1年～	14 単位	○	◎			全科目必修	
		口頭表現		○	2	1年～		○	◎				
		基礎数学		○	2	1年～		○	◎				
AI・DSへのいざない			○	2	1年～	☆		○	◎				
健康科学			○	2	1年～	◎							
情報基礎 I			○	1	1年～	☆		○	◎				
情報基礎 II			○	1	1年～	☆		○	◎				
基礎演習 I			○	1	1年～	○		◎	☆	○			
言語科目	英語 I A		○	1	1年～	4 単位	○	◎			日本人は、英語4単位必修		
	英語 I B		○	1	1年～		○	◎					
	英語 II A		○	1	1年～		○	◎					
	英語 II B		○	1	1年～		○	◎					
	日本語 I		○	2	1年～		○	◎			留学生必修科目		
基礎科目	日本語 II		○	2	1年～	○	◎						
	フランス語 I			1	1年～	16 単位	☆				16単位以上選択	基礎科目、専門科目の必修科目及び備考1により履修した科目以外の科目から10単位以上選択	
	フランス語 II			1	1年～		☆						
	ドイツ語 I			1	1年～		☆						
	ドイツ語 II			1	1年～		☆						
	中国語 I			1	1年～		☆						
	中国語 II			1	1年～		☆						
	時事英語 I			1	2年～		☆						
	時事英語 II			1	2年～		☆						
	ビジネス英語 I			1	2年～		☆						
	ビジネス英語 II			1	2年～		☆						
	Basic Grammar I			1	1年～		☆						
	Basic Grammar II			1	1年～		☆						
	TOEIC®向上講座 I			2	2年～		☆						
	TOEIC®向上講座 II			2	2年～		☆						
	Speaking I			1	2年～		☆						
	Speaking II			1	2年～		☆						
	Writing I			1	2年～		☆						
	Writing II			1	2年～		☆						
	Listening I			1	2年～		☆						
	Listening II			1	2年～		☆						
	Debate I			1	2年～		☆						
	Debate II			1	2年～		☆						
敬天愛人講座			2	1年～	◎				○				
敬愛プログラム			2	1年～	○	○	☆	○					
スポーツ教育 I			1	1年～	☆								
スポーツ教育 II			1	1年～	☆								
哲学			2	1年～	○								
心理学			2	1年～	○								
社会心理学			2	1年～	○								

Ⅲ
カリキュラム表

区分	科目名	主要 授業 科目	必修 科目	単位数	配当 学年	必 要 単 位 数	◎必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件等	
							DP1	DP2	DP3	DP4	備考 1	備考 2
基礎科目	歴史学			2	1年～	16 単 位	○				16単位以上選択	
	文学			2	1年～		○					
	法学			2	1年～		○					
	憲法			2	1年～		○					
	政治学			2	1年～		○					
	社会学			2	1年～		○					
	数学Ⅰ			2	1年～			○	☆			
	数学Ⅱ			2	1年～			○	☆			
	統計学Ⅰ			2	1年～			○	☆			
	統計学Ⅱ			2	1年～			○	☆			
	英語で学ぶPython			2	1年～			☆	☆			
	環境科学			2	1年～			○				
ボランティア活動			2	1年～		○		☆				
金融リテラシー			2	1年～		○						
キャリア科目	キャリアデザインを学ぶ		○	2	1年～	6 単 位		○	◎	必修科目を含め6単 位以上選択		
	キャリアプランニング		○	2	1年～			○	◎			
	キャリアディベロップメント			2	2年～			☆	○			
	企業の魅力発見			2	2年～			☆	○			
	実践的キャリア演習Ⅰ			2	3年～			☆	○			
	実践的キャリア演習Ⅱ			2	3年～			☆	○			
	プレインターンシップ			2	3年～			○	☆			
	インターンシップ			1	3年～			○	☆			
ポストインターンシップ			2	3年～		○	☆					
導入科目	経営学概論	○	○	2	1年～	10 単 位		◎	○	全科目必修		
	経済学概論	○	○	2	1年～			◎	○			
	情報概論	○	○	2	1年～			◎	○			
	経営情報論	○	○	2	1年～			◎	○			
	ビッグデータマネジメント	○	○	2	1年～			◎	○			
基礎科目	経営戦略論			2	2年～	8 単 位		◎	○	8単位以上選択		
	マーケティング論	○		2	2年～			◎	○			
	地域経済論			2	2年～			◎	○			
	AI概論			2	2年～			○	◎			
	DS概論	○		2	2年～			○	◎			
	プログラミング(Python)			2	2年～			○	◎			
	生成系AI入門			2	2年～			○	◎			
	流通経営論			2	2年～			○				
展開科目	観光概論	○		2	2年～	48 単 位		○		48単位以上選択		
	消費者行動論			2	2年～			○				
	地域資源論			2	2年～			○				
	ロジスティクス(物流管理)論			2	2年～			○				
	サービスマーケティング論			2	2年～			○				
	デジタルマーケティング論			2	2年～			○	☆			
	観光マーケティング			2	2年～			○	☆			
	地方創生論	○		2	2年～			○				
	千葉県の産業と行政			2	2年～			○	☆			
千葉の観光研究			2	2年～		○	☆					

区分		科目名	主要 授業 科目	必修 科目	単位数	配当 学年	必 要 単 位 数	○必ず履修すべき科目 (最重要科目) ○履修を推奨する科目 (重要科目) ☆能力向上に役立つ科目 (発展科目)				卒業要件等	
								DP1	DP2	DP3	DP4	備考 1	備考 2
情報マネジメント学 科 D P	情報マネジメント学	観光政策論			2	2年～	48単位		○		☆	48単位以上選択	基礎科目、専門科目 の必修科目及び備考 1により履修した科目 以外の科目から 10単位以上選択
		地域分析論			2	2年～			○	☆			
		交通経済学			2	2年～			○	☆			
		観光事業論Ⅰ			2	2年～			○				
		観光事業論Ⅱ			2	2年～			○				
		旅行産業論			2	2年～			○				
		宿泊産業論			2	2年～			○				
		航空産業論			2	2年～			○				
		地域観光論			2	2年～			○				
		国際観光論			2	2年～			○	○			
		情報マネジメント特別講義A			2	3年～			◎	○			
		情報マネジメント特別講義B			2	3年～			◎	○			
		経済市場分析A			2	3年～			☆	○			
		経済市場分析B			2	3年～			☆	○			
		観光市場分析			2	3年～			☆	◎			
		ビジネスデータ解析			2	3年～			☆	◎			
		GIS (地理空間情報システム) 分析			2	2年～			☆	◎			
		不動産市場分析			2	2年～			☆	◎			
		会計情報と経営分析			2	2年～			○				
		ビジネスデータ分析手法A			2	2年～			☆	◎			
		ビジネスデータ分析手法B			2	2年～			☆	◎			
		ビジネスデータ分析手法C			2	2年～			☆	◎			
		AI・データサイエンス経営実践			2	2年～			☆	◎			
		観光地経営実践			2	3年～			◎				
		アルゴリズム論			2	2年～				◎			
		情報セキュリティ論			2	2年～				◎			
		AI特講			2	2年～				◎			
		プログラミング (R)			2	2年～				◎			
自然言語処理			2	3年～			◎						
情報ガバナンス			2	3年～			◎						
情報英語Ⅰ			2	3年～			○						
情報英語Ⅱ			2	3年～			○						
演習科目	演習科目	専門導入演習Ⅰ	○	○	1	2年～	8単位		◎	◎	○	全科目必修	
		専門導入演習Ⅱ	○	○	1	2年～			◎	◎	○		
		専門演習Ⅰ	○	○	1	3年～			◎	◎	○		
		専門演習Ⅱ	○	○	1	3年～			◎	◎	○		
		卒業演習Ⅰ	○	○	1	4年～			◎	◎	○		
		卒業演習Ⅱ	○	○	1	4年～			◎	◎	○		
		卒業論文	○	○	2	4年～			◎	◎			
卒業要件単位数							124単位						

IV

副専攻・資格

1. AI・データサイエンス（経済・国際・教育・情報） ……	256
2. エアポートNARITA地域産業学（経済・国際・教育・情報） ……………	261
3. 日本語教員養成課程（経済・国際・教育・情報）……………	266
4. 小学校英語教育講座（教育）……………	270
5. 資格「社会調査士」（経済・国際・教育・情報）……………	273
6. その他取得できる資格と所属学部との関係 ……………	275

IV 副専攻・資格

1 副専攻「AI・データサイエンス」

現代の社会はICT（情報通信技術）の急速な発達により、新しいライフ・スタイルやビジネス・モデルが次々に生まれ、私たちの生活や仕事を変えています。AI（Artificial Intelligence）の技術進歩も目覚ましく、今後ますます生活が便利になっていくでしょう。そして、人は本来の強みである「想像力・創造力」を発揮して仕事に注力できるようになります。このような時代に活躍するためには、データから様々な気づきを生み、新しい価値を創造する力が欠かせません。また、AIの適切な利用方法や活用の倫理を身につけておくことも大切です。

I 目的

本副専攻の目的は、AIやデータサイエンスの知識と技能、創造的思考力を身につけ、卒業後の社会におけるAIやデータサイエンスの活用の基礎力を育成することです。また、AIやデータサイエンスの進歩による社会の変化、技術の革新に対応する柔軟な力を養うことです。

求める学生像

AIやデータサイエンスの知識と技能の修得とその活用には、探究心や好奇心、自ら学び創意工夫する意欲が大切です。そのため本副専攻では、以下のような意欲を持つ学生を文系・理系の素養を問わず広く求めます。

1. AIやデータサイエンスの知識と技能を活用して、社会の様々な問題を深く探求したいと望む学生。
2. AIやデータサイエンスの知識と技能を活用して、卒業後の社会で新たな発見やアイデアを生み出すことに挑戦したいと望む学生。
3. AIやデータサイエンスの知識と技能を卒業後も自ら学び続け、学んだことを実践したいと望む学生。

II 履修及び修了要件

本副専攻の履修の申し込みを行い、修了要件を満たした学生に本副専攻の「修了証」を授与します^{*1}。「修了証」には「リテラシーレベル」と「応用基礎レベル」の2種類があり、それぞれの修了要件は次の通りです^{*2}。

リテラシーレベル：「AI・DSへのいざない」の単位を修得

「AI・DSへのいざない」

応用基礎レベル：必修科目と「情報」「統計」「専門領域」「PBL」科目の必要単位を修得し、指定資格1つ以上取得

必修

「情報」「統計」
「専門領域」「PBL」

+

資格

指定資格

- ・社会調査士 ・Microsoft Office Specialist (MOS) (Excel) ・ITパスポート ・G検定
- ・統計検定2級以上 ・ビジネス数学検定3級以上 ・データサイエンス数学ストラテジスト中級以上
- ・データサイエンティスト検定リテラシーレベル以上

ただし、資格代替科目（次ページ参照）の単位を修得すれば、資格取得を免除できます。

※1 応用基礎レベルについては3年前期終了時（18単位）、3年次後期終了時（18単位）、4年前期終了時（20単位）以上修得者に「見込み修了証」を授与します。

※2 2025年度以前の入学者は過去に配布/配信した『CAMPUS LIFE』を確認してください。

26入学者 AI・データサイエンス

すべて2単位

分野	段階	科目名	開講年次	履修区分				修了要件	主専攻カリキュラム科目					
				経済学部	国際学部	教育学部	情報M学部		経済学部	経営学部	国際学部	教育学部	情報M学部	
情報	導入	AI・DSへのいざない	1～	必修	必修	必修	必修	必修8単位を含む12単位以上	○	○	○	○	○	
		英語で学ぶPython	1～						○	○	○		○	
	基本	データサイエンス総論	1～	必修	必修	必修	必修		○	○	○			
		情報概論	1～	必修	必修	必修	必修		○	○	○	○	○	
		情報セキュリティ論	2～	推奨	推奨	推奨	推奨		○	○	○		○	
	応用	アルゴリズム論	2～	推奨	推奨	推奨	推奨		○	○	○		○	
		AI概論	2～	必修	必修	必修	必修		○	○	○		○	
プログラミング(=プログラミング(Python))		2～	推奨		推奨	推奨	○	○	○		○			
	プログラミング(=プログラミング(R))(*1)	2～				推奨					○			
統計	導入	統計学I	1～	必修	必修	必修	必修	必修2単位を含む4単位以上	○	○	○	○	○	
		統計学II	1～	推奨	推奨	推奨	推奨		○	○	○	○	○	
		数学I	1～						○	○	○	○	○	
		数学II	1～						○	○	○	○	○	
	基本	統計学総論I	2～	推奨		推奨			○	○				
		統計学総論II	2～	推奨					○	○				
		マーケティングリサーチI(*2)	2～		推奨	推奨				○	○			
	マーケティングリサーチII(*2)	2～		推奨	推奨			○	○					
専門領域	基本	経済統計I	2～	推奨				4単位以上	○	○				
		経済統計II	2～	推奨					○	○				
		管理会計論	2～							○				
		社会調査法I(*2)	2～		推奨						○			
	応用	社会調査法II(*2)	2～		推奨						○			
		計量経済学I	2～	推奨					○					
		計量経済学II	2～	推奨					○					
		情報ビジネス論	3～						○	○	○			
	自然言語処理	3～				推奨					○			
	情報ガバナンス	2～ (備前M2)				推奨					○			
PBL	基 礎 履 修	ビッグデータマネジメント	1～				推奨	2単位以上					○	
		生成AI入門	2～				推奨						○	
	履 修 社	観光マーケティング調査(*2)	2～		推奨					○				
		ビジネスデータ解析	2～	推奨			推奨		○	○			○	
	応 用 専 門 領 域	社会調査実習I(*2)(*3)	3～		推奨						○			
		社会調査実習II(*2)(*3)	3～		推奨						○			
	AI・データサイエンス実践 (=AI・データサイエンス経営実践)(*3) (備前M2)	3～	推奨	推奨	推奨	推奨	○	○				○		

応用基礎修了要件：22単位以上（うち必修12単位）

*所属学科の主専攻にない科目（○印のない科目）も履修可能で主専攻の自由選択科目（他学部他学科履修）として認定

(*1) 経済学部・国際学部ではRは自由選択科目（他学部他学科履修）として認定

(*2) 「社会調査士」資格取得に必要な科目

(*3) 資格代替科目。PBL分野として単位を取得する場合は資格代替科目として認定はしない。

(例) 「AI・データサイエンス実践」をPBL科目とする場合、資格代替科目にはできない。

2026年度

IV

副専攻・資格

25入学者 AI・データサイエンス

すべて2単位

分野	段階	科目名	開講年次	履修区分				修了要件	主専攻カリキュラム科目				
				経済学部	国際学部	教育学部	情報M学部		経済学科	経営学科	国際学部	教育学部	情報M学部
情報	導入	AI・DSへのいざない	1～	必修	必修	必修	必修	必修8単位を含む10単位以上	○	○	○	○	○
		英語で学ぶPython	1～						○	○	○		○
	基本	データサイエンス総論	1～	必修	必修	必修	必修		○	○	○		
		情報概論	1～	必修	必修	必修	必修		○	○	○	○	○
		ビッグデータマネジメント	1～				推奨						○
		情報セキュリティ論	2～	推奨	推奨	推奨	推奨		○	○	○		○
		アルゴリズム論	2～	推奨	推奨	推奨	推奨		○	○	○		○
	応用	生成AI入門	2～				推奨						○
		AI概論	2～	必修	必修	必修	必修		○	○	○		○
プログラミング (=プログラミング (Python))		2～	推奨		推奨	推奨	○	○	○		○		
	プログラミング (=プログラミング (R))(*1)	2～				推奨					○		
統計	導入	統計学Ⅰ	1～	必修	必修	必修	必修	必修2単位を含む4単位以上	○	○	○	○	○
		統計学Ⅱ	1～	推奨	推奨	推奨	推奨		○	○	○	○	○
		数学Ⅰ	1～						○	○	○	○	○
		数学Ⅱ	1～						○	○	○	○	○
	基本	統計学総論Ⅰ	2～	推奨		推奨			○	○			
		統計学総論Ⅱ	2～	推奨					○	○			
		マーケティングリサーチⅠ(*2)	2～		推奨	推奨				○	○		
	応用	マーケティングリサーチⅡ(*2)	2～		推奨	推奨				○	○		
		観光マーケティング調査(*2)	2～		推奨					○			
	ビジネスデータ解析	2～	推奨			推奨	○	○			○		
専門領域	基本	経済統計Ⅰ	2～	推奨				4単位以上	○	○			
		経済統計Ⅱ	2～	推奨					○	○			
		管理会計論	2～							○			
		社会調査法Ⅰ(*2)	2～		推奨						○		
		社会調査法Ⅱ(*2)	2～		推奨						○		
	応用	計量経済学Ⅰ	2～	推奨					○				
		計量経済学Ⅱ	2～	推奨					○				
		情報ビジネス論	3～						○	○	○		
		自然言語処理	3～				推奨						○
		情報ガバナンス	2～ (情報V3～)				推奨						○
		社会調査実習Ⅰ(*2)(*3)	3～		推奨						○		
		社会調査実習Ⅱ(*2)(*3)	3～		推奨						○		
AI・データサイエンス実践 (=AI・データサイエンス経営実践)(*3)	3～ (情報V2～)	推奨	推奨	推奨	推奨	○	○			○			
応用基礎修了要件単位数 18単位以上 (うち必修10単位)													

*所属学科の主専攻にない科目 (○印のない科目) も履修可能で主専攻の自由選択科目 (他学部他学科履修) として認定

(*1) 経済学部・国際学部ではRは自由選択科目 (他学部他学科履修) として認定

(*2) 「社会調査士」資格取得に必要な科目

(*3) 資格代替科目

24・23入学者 AI・データサイエンス

分野	段階	科目名	開講年次	単位	履修区分			修了要件	各学科カリキュラムにおける設置の有無(*3)			
					経済	国際	教育		経済学科	経営学科	国際学科	教育学部
情報	導入	AI・DSへのいざない	1～	2	必修	必修	必修	12単位以上	○	○	○	○
		英語で学ぶPython	1～	2					○	○	○	
	基礎	データサイエンス総論	1～	2	必修	必修	必修		○	○	○	
		情報概論	1～	2	必修	必修	必修		○	○	○	○
		情報セキュリティ論	2～	2	必修	必修	必修		○	○	○	
	応用	アルゴリズム論	2～	2	必修	必修	必修		○	○	○	
		AI概論	2～	2	必修	必修	必修		○	○	○	
プログラミング	2～	2	推奨		推奨	○	○	○				
統計	導入	統計学Ⅰ	1～	2	必修	必修	必修	6単位以上	○	○	○	
		統計学Ⅱ	1～	2	必修	必修	必修		○	○	○	○
		数学Ⅰ	1～	2					○	○	○	
		数学Ⅱ	1～	2					○	○	○	
	基礎	統計学総論Ⅰ	2～	2	推奨		推奨		○	○		
		統計学総論Ⅱ	2～	2	推奨				○	○		
		マーケティングリサーチⅠ(*2)	2～	2		推奨	推奨			○	○	
		マーケティングリサーチⅡ(*2)	2～	2		推奨	推奨			○	○	
	応用	観光マーケティング調査(*2)	2～	2		推奨				○	○	
		ビジネスデータ解析	2～	2	推奨				○	○	○	
専門領域	基礎	経済統計Ⅰ	2～	2	推奨			6単位以上	○	○	○	
		経済統計Ⅱ	2～	2	推奨				○	○	○	
		管理会計論	2～	2						○	○	
		社会調査法Ⅰ(*2)	2～	2		推奨					○	
		社会調査法Ⅱ(*2)	2～	2		推奨					○	
	応用	計量経済学Ⅰ	2～	2	推奨				○			
		計量経済学Ⅱ	2～	2	推奨				○			
		情報ビジネス論	3～	2					○	○	○	
		社会調査実習Ⅰ(*2)	3～	2		推奨					○	
		社会調査実習Ⅱ(*2)	3～	2		推奨					○	
AI・データサイエンス実践	3～	2				○	○	○				
修了要件単位数								24単位以上(うち必修16単位)				

(*2) 社会調査士の資格取得に必要な科目です。

(*3) ○がっていない学科の学生が単位修得する場合、他学部他学科履修となり自由選択科目群に充当されます。

IV

副専攻・資格

Ⅲ 本副専攻を学ぶメリット

1 主専攻の学びがますます楽しくなる

学部学科の授業で学んだことをデータを使って探究すると、これまでに誰も気づかなかった新たな問題意識や仮説が生まれるかもしれません。データを使って自分の考えを深めていくと、主専攻への関心もますます深まり学ぶことの楽しさが一層実感できます。

2 就職活動で自分の強みとしてアピールできる

企業や自治体などで、今もっとも必要とされているのは、AIの長所・短所を理解しその活用方法を知る人材、データを駆使して新たな価値を創造できる人材です。この副専攻で学んだことは、就職活動で自分の強みとしてアピールできます。

3 すぐに使えるスキルが身につく

この副専攻では、情報科目で学ぶ集計表やグラフの作成などのスキルをさらに高めることができます。データの概要を捉えるのに力を発揮するこれらのスキルは、卒業後の社会でもすぐに使え、企業などでも必須とされています。

2 副専攻「エアポートNARITA地域産業学」

国際社会において重要な役割を担う成田国際空港は「日本の空の玄関口」として、航空旅客、航空貨物のみならず、物流、宿泊、小売、旅行・観光関連、ケータリング、給油施設などその周辺は巨大な関連産業の集積地です。

副専攻「エアポートNARITA地域産業学」では、千葉県唯一無二のこの成田空港を軸に、各学部のコースに加え、地域全体への理解をもとに、深い学びを展開します。

I 目的

「日本の空の玄関口」として唯一無二の存在である成田国際空港を中心に、その歴史をふまえ、空港と周辺地域で展開する産業について多様な視点から学び、卒業後の進路選択の幅を広げることを目的とします。そのため1、2年次では主に学部、学科、コースの科目を中心に学び、3、4年次では実践科目も学び、就職活動に向けた準備をします。

グローバルな視点に基づいて、地域が果たす役割を考え、成田国際空港、及び関連組織・企業・団体への就業を目指します。

II 履修と修了要件

修了要件を満たした履修者に「エアポートNARITA地域産業学」分野を学んだことを敬愛大学が認証する「修了証」を授与します。以下の項目をすべて満たすことが必要です。この内容は2022年度入学者から適用されます。

- ① 本副専攻の履修を申し込み受理されていること。
 - ② 本副専攻が定める必修科目の単位を修得した上、「NARITA地域産業関連科目」「社会人基礎力関連科目」の各区分で指定された単位数以上を修得していること。
 - ③ 本副専攻が指定する以下資格を取得していること。
 - ・ Microsoft Office Specialist (MOS) (Word, Excel)
 - ※留学生は、日本語能力試験1級 (N1) を取得していること (すること)
- ・ 申し込み方法等の詳しい内容については、別途配布する『敬愛大学 副専攻「エアポートNARITA地域産業学」履修の手引き』を確認してください。

IV

副専攻・資格

副専攻「エアポート NARITA 地域産業学」履修要項 (2026 年度入学生)

区分	科目名	開講年次				単位	履修区分	修了要件	各学科のカリキュラムにおける設置の有無(*3)					
		経済	国際	教育	情マネ				経済	経営	国際	教育	情マネ	
NARITA 地域産業学関係科目	観光概論 (入門ツーリズムⅠ)	1~	1~			2~	2			○	○			○
	地域資源論 (入門ツーリズムⅡ)	1~	1~			2~	2			○	○			○
	空港ビジネス		2~				2				○			
	流通経営論	2~				2~	2			○				○
	マーケティング論	2~					2			○				
	Marketing Management (マーケティング)		2~				2			○	○			
	国際金融論			2~			2				○			
	国際金融論Ⅰ	2~					2		○					
	国際貿易論		2~				2		○	○	○			
	簿記・会計概論Ⅰ	1~					2		○	○				
	簿記会計基礎Ⅰ			2~			2				○			
	航空産業論					2~	2							○
	エアライン・ビジネス			2~			2				○			
	航空物流論			3~			2				○			
	地方財政論Ⅰ	2~					2		○					
	地方財政論Ⅱ	2~					2		○					
	地域企業経営論	2~					2			○				
	千葉県の産業と行政	2~				2~	2	必修		○				○
	地域産業論	2~					2		○	○		副免許		
	中小企業論Ⅰ	2~					2			○				
中小企業論Ⅱ	2~					2			○					
ベンチャービジネス論	2~					2			○					
観光事業論Ⅰ	2~				2~	2	必修		○				○	
観光事業論Ⅱ	2~				2~	2	必修		○				○	
旅行産業論 (旅行ビジネス論)	2~				2~	2			○				○	
地域観光論	2~				2~	2		○	○				○	
経営立地論	2~					2			○		副免許			
宿泊産業論 (ホテル・ビジネス論)	2~				2~	2			○				○	
社会人基礎力関連科目	キャリアデザインを学ぶ		1~			2	必修		○	○		○	○	
	企業の魅力発見		2~			2			○	○	○	○	○	
	ホスピタリティ	2~				2			○	○	○			
	敬愛プログラム		1~			2	推奨		○	○	○	○	○	
	プレインターンシップ		3~			2			○	○	○	○	○	
	インターンシップ		3~			1	推奨		○	○	○	○	○	
	ポストインターンシップ		3~			2			○	○	○	○	○	
修了要件単位数								21単位以上 (うち必修8単位)						

(*3) ○がついていない学科の学生が単位修得する場合、他学部他学科履修となり自由選択科目群に充当されます。

(*4) 本表において○が付されていない学科の科目は、原則として当該学部のカリキュラム上に設置されておらず、履修登録画面には表示されません。ただし、経済学部の学生については、経済学部内の学科をまたいだ場合であっても、卒業要件上履修可能とされている科目があり、当該科目は履修登録画面に表示されます。

副専攻「エアポート NARITA 地域産業学」履修要項 (2025 年度入学生)

区分	科目名	開講年次				単位	履修区分	修了要件	各学科のカリキュラムにおける設置の有無(*3)				
		経済	国際	教育	情マネ				経済	経営	国際	教育	情マネ
NARITA地域産業学関係科目	観光概論 (入門ツーリズムⅠ)	1~	1~		2~	2			○	○			○
	地域資源論(入門ツーリズムⅡ)	1~	1~		2~	2			○	○			○
	空港ビジネス		2~			2				○			
	流通経営論	2~			2~	2			○				○
	マーケティング論	2~				2			○				
	Marketing Management	2~				2			○				
	マーケティング		2~			2					○		
	国際金融論		2~			2					○		
	国際金融論Ⅰ	2~				2			○				
	国際貿易論		2~			2			○	○	○		
	簿記・会計概論Ⅰ	1~				2			○	○			
	簿記会計基礎Ⅰ		2~			2					○		
	航空産業論	2~			2~	2			○	○			○
	エアライン・ビジネス		2~			2					○		
	航空物流論		3~			2					○		
	地方財政論Ⅰ	2~				2			○				
	地方財政論Ⅱ	2~				2			○				
	地域企業経営論	2~				2				○			
	千葉県の産業と行政	2~			2~	2	必修			○			○
	地域産業論	2~				2			○	○		副免許	
	中小企業論Ⅰ	2~				2				○			
	中小企業論Ⅱ	2~				2				○			
	ベンチャービジネス論	2~				2				○			
観光事業論Ⅰ	2~			2~	2	必修			○			○	
観光事業論Ⅱ	2~			2~	2	必修			○			○	
旅行産業論 (旅行ビジネス論)	2~			2~	2				○			○	
地域観光論	2~			2~	2			○	○			○	
経営立地論	2~				2				○		副免許		
宿泊産業論(ホテル・ビジネス論)	2~			2~	2				○			○	
社会人基礎力関連科目	キャリアデザインを学ぶ		1~			2	必修		○	○		○	○
	企業の魅力発見		2~			2			○	○	○	○	○
	ホスピタリティ		2~			2			○	○	○		
	敬愛プログラム		1~			2	推奨		○	○	○	○	○
	プレインターンシップ		3~			2			○	○	○	○	○
	インターンシップ		3~			1	推奨		○	○	○	○	○
	ポストインターンシップ		3~			2			○	○	○	○	○
修了要件単位数								21単位以上 (うち必修8単位)					

(*3) ○がついていない学科の学生が単位修得する場合、他学部他学科履修となり自由選択科目群に充当されます。

副専攻「エアポート NARITA 地域産業学」履修要項 (2024 年度入学生)

区分	科目名	開講年次			単位	履修区分	修了要件	各学科カリキュラムにおける設置の有無(*3)				
		経済	国際	教育				経済学科	経営学科	国際学科	教育学部	
NARITA地域産業関連科目	入門ツーリズムⅠ	1～			2		16単位以上		○	○		
	入門ツーリズムⅡ	1～			2				○	○		
	空港ビジネス	2～			2						○	
	流通経営論	2～			2				○	○		
	マーケティング論	2～	/		2				○			
	Marketing Management	2～			2				○			
	マーケティング	/		2～	2						○	
	国際金融論			3～	2						○	
	国際金融論Ⅰ	2～	/		2				○			
	国際貿易論	2～			2				○	○	○	
	簿記・会計概論Ⅰ	1～	/		2				○	○		
	簿記会計基礎Ⅰ	2～			2							○
	航空産業論	2～			2							○
	航空物流論	3～			2							○
	地方財政論Ⅰ	2～			2				○			
	地方財政論Ⅱ	2～			2				○			
	地域企業経営論	2～	/		2					○		
	千葉県の産業と行政	2～			2	必修				○	○	
	地域産業論	2～			2				○	○		副免許
	中小企業論Ⅰ	2～			2					○		
	中小企業論Ⅱ	2～			2					○		
	ベンチャービジネス論	2～	/		2					○		
	観光事業論Ⅰ	2～			2	必修					○	○
	観光事業論Ⅱ	2～			2	必修				○	○	
	旅行ビジネス論	2～			2					○	○	
	地域観光論	2～			2					○	○	
経営立地論	2～			2			○	○		副免許		
ホテル・ビジネス論	2～			2				○	○			
社会人基礎力関連科目	キャリアデザインを学ぶ	1～			2	必修	5単位以上	○	○	○	○	
	企業の魅力発見	2～			2			○	○	○		
	ホスピタリティ	2～			2			○	○	○	○	
	敬愛プログラム	1～			2	推奨		○	○	○		
	プレインターンシップ	3～			2			○	○	○		
	インターンシップ	3～			1	推奨		○	○	○		
	ポストインターンシップ	3～			2			○	○	○		
修了要件単位数						21単位以上 (うち必修8単位)						

(*3) ○がついていない学科の学生が単位修得する場合、他学部他学科履修となり自由選択科目群に充当されます。

副専攻「エアポート NARITA 地域産業学」履修要項 (2023 年度入学生)

区分	科目名	開講年次			単位	履修区分	修了要件
		経済	国際	教育			
NARITA地域産業関連科目	空港ビジネス		1～		2	必修	16単位以上
	入門ツーリズムI		1～		2		
	入門ツーリズムII		1～		2		
	流通経営論		2～		2		
	マーケティング論	2～			2		
	Marketing Management	2～			2		
	マーケティング		2～		2		
	国際金融論		3～		2		
	国際金融論I	2～			2		
	国際貿易論	2～	3～		2		
	簿記・会計概論I	1～			2		
	簿記会計基礎I		2～		2		
	エアライン論		2～		2		
	航空物流論		3～		2		
	地方財政論I		2～		2		
	地方財政論II		2～		2		
	地域企業経営論	2～			2		
	千葉県の産業と行政		2～		2		
	地域産業論		2～		2		
	中小企業論I		2～		2		
	中小企業論II		2～		2		
	ベンチャービジネス論	2～			2		
	観光事業論I		2～		2	必修	
	観光事業論II		2～		2	必修	
	旅行ビジネス論		2～		2		
	地域観光論		2～		2		
	経営立地論		2～		2		
	ホテル・ビジネス論		2～		2		
社会人基礎力関連科目	ホスピタリティ		1～		2	必修	5単位以上
	キャリアディベロップメント		2～		2		
	企業の魅力発見		2～		2		
	プレインターンシップ		3～		2		
	インターンシップ		3～		1	必修	
	ポストインターンシップ		3～		2		
	敬愛プログラム		1～		2		
修了要件単位数						21単位以上 (うち必修9単位)	

3 副専攻「日本語教員養成課程」 2026年度入学者

※2024年度以前の入学者は過去配布等行った入学年度のキャンパスライフを確認してください

日本の在留外国人数は約359万人（※1）となり、国内で日本語を学習する人の増加と多様化が進んでいます。海外で日本語を学習する人の数は2021年には世界141ヵ国・地域において約379万人に、日本語を教える人の数は、約7万5千人に上ります。（※2）学習者の増加に伴い、日本語教員の国内外の活躍の場がますます広がっています。

※1 2024年10月18日 出入国在留管理庁発表

※2 2021年度国際交流基金「海外日本語教育機関調査」

I 目的

本副専攻の目的は、日本語という言語を1つの外国語として深く理解し、様々な教授法や技能に応じた指導法を身に付けて修了を目指します。また日本や世界の国々の社会について学び、文化や習慣など背景の異なる人と互いに理解を共有するための国際感覚の養成を目指します。

II 「日本語教員養成プログラム」と「日本語学習支援者プログラム」について

本副専攻には、「日本語教員養成プログラム」と「日本語学習支援者プログラム」があります。

「日本語教員養成プログラム」とは、

必要科目の単位取得と日本語教育実習を受けることで、「日本語教師」の資格取得を目指すプログラムです。「日本語教師」の資格は、日本語教育機関（日本語学校等）で教える場合に必要です。修了者には、大学卒業時に修了書を授与します。2025年度入学者が国家資格「登録日本語教育」の取得を目指して本副専攻を修了し卒業した場合2033年3月31日までの経過措置期間中は、必須の50項目に対応した日本語教員養成課程等（経過措置ルートC）修了として「日本語教員試験」の基礎試験免除および実践研修免除の対象となります。

なお、このプログラムの受講者は、在学中に一部の必要科目を単位取得し大学に申請を行うと「日本語学習支援者」プログラムの修了を認定します（下の「日本語学習支援者修了プログラム」も参照して下さい）。

「日本語学習支援者プログラム」とは、

地域社会に在住する外国人への日本語支援に必要な知識、資質、技能を身につけ、在学中からさまざまな活動に役立てることを目的とするプログラムです。「日本語学習支援者」は資格ではありませんが、必要な単位を取得した上で大学に申請した場合には、プログラムの修了を認定します。

なお、このプログラムの必要科目は、「日本語教員養成プログラム」の必要科目の一部に相当します。

III 履修と修了要件

修了要件を満たした履修者に「日本語教員養成プログラム」「日本語学習支援者プログラム」を学んだことを敬愛大学が認証する「修了証」を授与します。以下の項目をすべて満たすことが必要です。

【日本語教員養成プログラム】

- ①本副専攻の履修を申し込み受理されていること。
- ②本副専攻の履修費（30,000円）を納入していること（教育実習実施費用等）。
 - I. 納入時期は別途指示をします。
 - II. 一度納入された履修費は、原則、返金することが出来ません。

③本副専攻が定める必修科目の単位を修得した上で、各区分の履修要件単位数以上を修得していること。

④日本語教育実習を修了していること。

日本語教育実習は原則4年次に、各自実習校で行います。参加をするためには、以下の条件を全て満たす必要があります。

I. 上記③の通り3年次終了まで計画的に単位修得されていること。

II. 「教育実習指導（日本語）」を4年次前期までに履修し、単位修得していること。

【日本語学習支援者プログラム】

①本副専攻の履修を申し込み受理されていること。

②本副専攻が定める必修科目の単位を修得した上で、各区分の履修要件単位数以上を修得していること。

③大学が指定する申請期間内に必要事項を記入した修了証発行申請書を提出していること。

副専攻「日本語教員養成課程」履修要項（2026年度入学生）

領域	日本語教員養成講座 区分	2026年度 授業科目	開講 単位	必修選 択区分	開講 年次	日本語教員養成プログラム		日本語学習支援者 プログラム		
						履修推奨年次	修了要件 単位	履修区分	修了要件 単位	
社会・ 文化に 関わる 領域	社会・文化・ 地域	世界と日本	国際関係入門	2	選択	1～	1年前期・後期	4単位以上		2単位
			アジアの文化と社会	2	選択	1～	1年前期			
			ヨーロッパの文化と社会	2	選択	1～	1年後期			
			アメリカの文化と社会	2	選択	1～	1年前期			
			イギリスの文化と社会	2	選択	1～	1年後期			
			日本文化論	2	選択	2～	2年後期			
			社会調査法Ⅰ	2	選択	2～	2年前期			
	異文化接触	比較文化論	2	選択	2～	2年前期	必修			
多文化共生社会	2	必修	1～	1年後期						
日本語教育の歴史と現状	※									
教育に 関わる 領域	言語と社会	言語と社会の関係	※				4単位以上 必修	必修	4単位	
		※								
		言語使用と社会	日本語コミュニケーション論	2	必修	1～				1年前期
	異文化コミュニケーション と社会	異文化理解	2	必修	1～	1年前期	必修			
		※								
		※								
言語と心理	言語理解の過程	※				2単位必修				
	言語習得・発達	心理言語学	2	必修	2～				2年後期	
	異文化理解と心理	※								
言語に 関わる 領域	言語と教育	言語教育法・実習	日本語教育入門	2	必修	1～	1年前期	10単位必修	必修	4単位
			日本語教育方法論	2	必修	2～	2年前期			
			日本語教育研究Ⅰ	2	必修	2～	2年後期			
			教育実習指導（日本語）	2	必修	3～	3年前期			
		異文化間教育・ コミュニケーション教育	日本語教育研究Ⅱ	2	必修	3～	3年前期			
	言語教育と情報		※							
言語	言語の構造一般	言語学	2	必修	1～	1年後期	6単位必修			
	日本語の構造	現代日本語文法Ⅰ	2	必修	2～	2年前期				
		現代日本語文法Ⅱ	2	必修	2～	2年後期				
	言語研究	※								
	コミュニケーション能力	※								
修了要件単位数							26単位以上 (うち必修 24単位)		10	
日本語教育実習								必修		

※は、他の区分の授業内容を含む。

IV

副専攻・資格

副専攻「日本語教員養成課程」履修要項（2025年度入学生）

領域	日本語教員養成講座 区分		日本語教員養成プログラム					日本語学習支援者プログラム		
			2025年度 授業科目	開講単位	必修選択区分	開講年次	履修推奨年次	修了要件単位	履修区分	修了要件単位
社会・文化 に関わる 領域	社会・文化・ 地域	世界と日本	国際関係入門	2	選択	1～	1年後期・後期	4単位以上		2単位
			アジアの文化と社会	2	選択	1～	1年前期			
			ヨーロッパの文化と社会	2	選択	1～	1年後期			
			アメリカの文化と社会	2	選択	1～	1年前期			
			イギリスの文化と社会	2	選択	1～	1年後期			
			日本文化論	2	選択	2～	2年後期			
			社会調査法Ⅰ	2	選択	2～	2年前期			
			比較文化論	2	選択	2～	2年前期			
			多文化共生社会	2	必修	1～	1年後期			
			日本語教育の歴史と現状	※						
教育 に関わる 領域	言語と社会	言語と社会の関係	※				4単位以上 必修		4単位	
		言語使用と社会	日本語学	2	必修	1～				1年前期
		異文化コミュニケーションと社会	異文化理解	2	必修	1～				1年前期
		※								
言語と心理	言語理解の過程	※					2単位必修			
	言語習得・発達	心理言語学	2	必修	2～	2年後期				
※	異文化理解と心理	※								
言語 に関わる 領域	言語と教育	言語教育法・実習	日本語教育入門	2	必修	1～	1年前期	10単位必修		4単位
			日本語教育方法論	2	必修	2～	2年前期			
			日本語教育研究Ⅰ	2	必修	2～	2年後期			
			教育実習指導（日本語）	2	必修	3～	3年前期			
			日本語教育研究Ⅱ	2	必修	3～	3年前期			
異文化間教育・コミュニケーション教育	日本語教育研究Ⅱ	2	必修	3～	3年前期					
言語教育と情報	※									
言語	言語の構造一般	言語学	2	必修	1～	1年後期	6単位必修			
		現代日本語文法Ⅰ	2	必修	2～	2年前期				
		現代日本語文法Ⅱ	2	必修	2～	2年後期				
		※								
		※								
日本語の構造	言語学	2	必修	1～	1年後期					
※										
言語研究	※									
※										
コミュニケーション能力	※									
修了要件単位数							26単位以上 (うち必修 24単位)		10	
日本語教育実習							必修			

※は、他の区分の授業内容を含む。

副専攻「日本語教員養成課程」履修要項（2024年度入学生）

領域	日本語教員養成講座 区分		日本語教員養成課程					日本語学習支援者プログラム		
			2024年度 授業科目	開講単位	必修選択区分	開講年次	履修区分	修了要件単位	履修区分	修了要件単位
社会・文化 に関わる 領域	社会・文化・ 地域	世界と日本	国際関係入門	2	選択	1～	1年後期履修推奨	4単位以上		2単位
			アジアの文化と社会	2	選択	1～	1年前期履修推奨			
			ヨーロッパの文化と社会	2	選択	1～	1年前期履修推奨			
			アメリカの文化と社会	2	選択	1～	1年前期履修推奨			
			イギリスの文化と社会	2	選択	1～	1年後期履修推奨			
			日本文化論	2	選択	2～	2年履修推奨			
			比較文化論	2	選択	2～	2年前期履修推奨			
			多文化共生社会	2	必修	3～	3年履修推奨			
			※							
			日本語教育の歴史と現状	※						
教育 に関わる 領域	言語と社会	言語と社会の関係	※				4単位以上 必修		2単位	
		言語使用と社会	日本語学	2	必修	1～				1年前期履修推奨
		異文化コミュニケーションと社会	異文化理解	2	必修	2～				2年履修推奨
		※								
言語と心理	言語理解の過程	※					2単位必修			
	言語習得・発達	心理言語学	2	必修	2～	2年後期履修推奨				
※	異文化理解と心理	※								
言語 に関わる 領域	言語と教育	言語教育法・実習	日本語教育入門	2	必修	1～	1年後期履修推奨	10単位必修		4単位
			日本語教育方法論	2	必修	2～	2年前期履修推奨			
			日本語教育研究Ⅰ	2	必修	2～	2年後期履修推奨			
			日本語教育実習	2	必修	3～	3年後期履修推奨			
			日本語教育研究Ⅱ	2	必修	3～	3年前期履修推奨			
異文化間教育・コミュニケーション教育	日本語教育研究Ⅱ	2	必修	3～	3年前期履修推奨					
言語教育と情報	※									
言語	言語の構造一般	言語学（言語学入門）	2	必修	1～	1年前期履修推奨	6単位必修		2単位	
		現代日本語文法Ⅰ	2	必修	2～	2年前期履修推奨				
		現代日本語文法Ⅱ	2	必修	2～	2年後期履修推奨				
		※								
		※								
日本語の構造	言語学（言語学入門）	2	必修	1～	1年前期履修推奨					
※										
言語研究	※									
※										
コミュニケーション能力	※									
修了要件単位数							26単位以上 (うち必修 24単位)		10	
日本語教育実習							必修			

※は、他の区分の授業内容を含む。

日本語学「必修※1」は2024年度入学者に適用する

現代日本語文法Ⅰ「必修※2」は2023年度入学者までに適用する

副専攻「日本語教員養成課程」履修要項（2023年度入学生）

領域	区分	分野	科目名	開講年次	単位	日本語教員養成課程		日本語学習支援者プログラム	
						履修区分	修了要件	履修区分	修了要件
社会・文化に関わる領域	社会・文化・地域	世界と日本	国際関係入門	1～	2		4単位以上		2単位
			World Today (*2)	1～	2				
			Japan Today	1～	2				
			地域デザイン概論	1～	2				
			国際社会とSDGs	2～	2				
		日本の近現代と世界	2～	2					
		異文化接触	比較文化論	2～	2				
			移民政策論	2～	2				
			多文化共生社会	3～	2			必修	
		日本語教育の歴史と現状	(*1)						
教育に関わる領域	言語と社会	言語と社会の関係	現代市民社会	2～	2		4単位以上		2単位
			日本文化論	2～	2				
		言語使用と社会	日本語学	1～	2	必修			
		異文化コミュニケーションと社会	異文化理解	2～	2				
言語と心理		言語理解の過程	(*1)			2単位以上			
		言語習得・発達	心理言語学	2～	2		必修		
		異文化理解と心理	(*1)						
言語に関わる領域	言語と教育	言語教育法・実習	日本語教育入門	1～	2	必修	10単位以上	必修	4単位
			日本語教育方法論	2～	2	必修		必修	
			日本語教育研究Ⅰ	2～	2	必修			
		教育実習指導（日本語）	3～	2	必修				
		異文化間教育とコミュニケーション教育	日本語教育研究Ⅱ	3～	2	必修			
		言語教育と情報	(*1)						
言語		言語の構造一般	言語学	1～	2	必修	6単位以上		2単位
			現代日本語文法Ⅰ	2～	2	必修		必修	
			現代日本語文法Ⅱ	2～	2	必修			
			言語研究	(*1)					
		コミュニケーション能力	(*1)						
修了要件単位数							26単位以上（うち必修20単位）		10単位
日本語教育実習							必修		

(*1) 他の区分・分野の授業内容に含まれています。

(*2) 2021年度入学者までの科目になります。

IV

副専攻・資格

4 資格「小学校英語教育講座」

グローバル化が今後ますます進展されることを想定し、国際社会で活躍できる人材の育成が急務となっています。「2020年の教育改革」の一つに、小学校の英語教育必修化があげられます。小学校では3、4年生は「外国語活動」を年間35単位時間（週1時間程度）、5、6年生は教科書を使い「外国語」の授業が年間70単位時間（週2時間程度）行われています。（1単位時間は45分）

I 目的

本講座では、小学校英語の指導に必要な基本的な知識や理論、指導技術、英語運用能力を身に付けることができます。また授業を行う上で必要な「教材研究」、小学校の中学年、高学年で養いたい「聞くこと」「話すこと」の指導、「読むこと」「書くこと」の文字指導、異文化理解を学ぶことができます。

II 履修と修了要件

修了要件を満たした履修者に「小学校英語教育」に必要な資質と能力を身に付けたとして、敬愛大学が認証する「修了証」を授与します*。以下の項目をすべて満たすことが必要です。

※3年次終了時合計16単位以上修得者に「見込み修了証」を授与します。

2025年度入学者～

- ① 本講座の履修を申し込み受理されていること。
- ② 本講座が定める必修科目の単位を修得した上、「Basic Skills for Elementary School English Education」「Teaching Methods」「Language and Culture, Communication Skills」の各分野で指定された単位数以上を修得していること。
- ③ 本講座のカリキュラム上における授業科目の条件をクリアしていること。

2022～2024年度入学者

- ① 本講座の履修を申し込み受理されていること。
- ② 本講座が定める必修科目の単位を修得した上、「基本(小学校英語)」「英語学」「英語文学」「英語コミュニケーション」「異文化理解」の各分野で指定された単位数以上を修得していること。
- ③ 本講座のカリキュラム上における授業科目の条件をクリアしていること。

【修了に必要な授業科目の条件】

- 基本（小学校英語）に配置されている「小学校英語Ⅰ」「小学校英語Ⅱ」「小学校英語指導法Ⅰ」「小学校英語指導法Ⅱ」の4科目のうち、2科目以上優または秀を修得すること。
- 英語学に配置されている「College EnglishⅠ」「College EnglishⅡ」の2科目のうち、1科目以上優または秀を修得すること。

Ⅲ カリキュラム

(1) 2025年度入学者～ (●卒業要件必修 ★小学校教諭1種免許必修)

区分	科目名	開講年次	単位	履修区分	修了要件
Basic Skills for Elementary School English Education	College English I ●	1～	2	必修	9単位必修
	College English II ●	1～	2	必修	
	小学校英語基礎●	1～	2	必修	
	小学校英語★	1～	1	必修	
	小学校英語発展	2～	2	必修	
Teaching Methods	小学校英語指導法★	1～	2	必修	8単位必修
	小学校英語指導法発展 I	2～	2	必修	
	小学校英語指導法発展 II	2～	2	必修	
	小学校英語指導法発展 III	3～	2	必修	
Language and Culture, Communication Skills	Mother Gooseの世界	2～	2		3単位以上必修
	英米児童文学	2～	2		
	教育海外スクーリング	2～	2		
	Writing I	1～	1		
	Writing II	1～	1		
	Listening I	1～	1		
	Listening II	1～	1		
	Speaking I	1～	1		
	Speaking II	1～	1		
	海外語学研修 I	1～	2		
	海外語学研修 II	1～	2		
修了要件単位数					20単位以上

(2) 2023～2024年度入学者

区分	科目名	開講年次	単位	履修区分	修了要件
基本 (小学校英語)	小学校英語 I	1～	2	必修	8単位必修
	小学校英語 II	2～	2	必修	
	小学校英語指導法 I	2～	2	必修	
	小学校英語指導法 II	3～	2	必修	
英語学	College English I	1～	2	必修	4単位必修
	College English II	1～	2	必修	
英語文学	Mother Goose	1～	1	必修	3単位必修
	英米児童文学	2～	2	必修	
英語 コミュニケーション	writing I	1～	1		2単位以上必修
	writing II	1～	1		
	Listening I	1～	1		
	Listening II	1～	1		
	Speaking I	1～	1		
	Speaking II	1～	1		
	Debate I	1～	1		
	Debate II	1～	1		
異文化理解	異文化コミュニケーション	2～	2	必修	2単位必修
修了要件単位数					19単位以上

Ⅳ

副専攻・資格

(3) 2022年度入学者

区分	科目名	開講年次	単位	履修区分	修了要件
基本 (小学校英語)	小学校英語 I	1～	2	必修	8単位必修
	小学校英語 II	2～	2	必修	
	小学校英語指導法 I	2～	2	必修	
	小学校英語指導法 II	3～	2	必修	
英語学	College English I	1～	2	必修	4単位必修
	College English II	1～	2	必修	
英語文学	Mother Goose	1～	1	必修	3単位必修
	英米児童文学	2～	2	必修	
英語 コミュニケーション	writing I	1～	1		2単位以上 必修
	writing II	1～	1		
	Listening I	1～	1		
	Listening II	1～	1		
	Speaking I	1～	1		
	Speaking II	1～	1		
	Debate I	1～	1		
Debate II	1～	1			
異文化理解	異文化コミュニケーション	2～	2	必修	4単位必修
	比較文化論	2～	2	必修	
修了要件単位数					21単位以上

5 資格「社会調査士」

I 社会調査士とは

社会調査士とは、アンケート調査やデータ分析などの知識・技術を用いて、人々の行動や考え方、市場の動きなどを適切にとらえることのできる「調査のエキスパート」のことです。

II 社会調査士の活躍の場

社会調査士の活躍の場は、世論調査を実施しているマスコミ（新聞社・放送局）の調査部門、公的統計を作成する自治体の調査部門、そしてデータ重視の時代に欠かせない民間企業のマーケティング部門、市場調査会社などに広がっています。

また情報社会といわれる現代では、たとえ自分では調査・分析を実施しないとしても、報告書や各種資料において調査・分析された結果を目にする機会が格段に増えています。それらを適切に読み解く能力は多くの職業で役立ちます。

III 社会調査士になるには

一般社団法人社会調査協会が「社会調査士資格」を発行しており、敬愛大学は資格制度参加校の1つになっています。そのため学生は指定科目の単位を修得することを通して資格を取得できます。指定科目の単位取得のほかに資格試験を受ける必要はありません。具体的には次の社会調査士カリキュラムの7科目の単位を修得してください（合計14単位）。

社会調査士カリキュラム^{*1}

	科目	年次
【A】	社会調査法Ⅰ	2～
【B】	社会調査法Ⅱ	2～
【C】	マーケティングリサーチⅠ	2～
【D】	マーケティングリサーチⅡ	2～
【E】	観光マーケティング調査	2～
【G】	社会調査実習Ⅰ	3～
	社会調査実習Ⅱ	3～

上表におけるアルファベットは社会調査協会（<https://jasr.or.jp/>）のカリキュラムに対応しています。

- 【A】 社会調査の基本的事項に関する科目
- 【B】 調査設計と実施方法に関する科目
- 【C】 基本的な資料とデータの分析に関する科目
- 【D】 社会調査に必要な統計学に関する科目
- 【E】 多変量解析の方法に関する科目
- 【F】 質的な調査と分析の方法に関する科目^{*2}
- 【G】 社会調査を実際に経験し学習する科目

※1 今年度入学者を対象としたカリキュラムです。前年度以前の入学者は別途確認してください。

※2 【F】質的な調査と分析の方法に関する科目については、今年度入学者に対応する科目はありません。

IV

副専攻・資格

IV 社会調査士になるための履修のしかた

社会調査士を目指すには、2年次以降に指定7科目を履修していくことになります。ここでは社会調査士を目指す場合の履修のしかたを例示しておきます*。

基本型（推奨）

2年生	社会調査法Ⅰ	社会調査法Ⅱ
	マーケティングリサーチⅠ	マーケティングリサーチⅡ
3年生		観光マーケティング調査
	社会調査実習Ⅰ	社会調査実習Ⅱ
4年生	(なし)	

じっくり着実型

2年生	マーケティングリサーチⅠ	マーケティングリサーチⅡ
3年生	社会調査法Ⅰ	社会調査法Ⅱ
		観光マーケティング調査
4年生	社会調査実習Ⅰ	社会調査実習Ⅱ

3年生から挽回型

2年生	(なし)	
3年生	社会調査法Ⅰ	社会調査法Ⅱ
	マーケティングリサーチⅠ	マーケティングリサーチⅡ
4年生		観光マーケティング調査
	社会調査実習Ⅰ	社会調査実習Ⅱ

*このほかの履修のしかたでも社会調査士を取得することは可能です。ただし科目によっては履修の順番を指定しているものもあります。詳しくは各科目のシラバスを参照してください。

V 社会調査士をめざそう

調査のエキスパートとして、社会や市場から必要な情報を集める「情報収集力」、情報を正しく読み解く「分析力」、社会人として行政や企業で積極的に社会貢献する「行動力」を身につけましょう。

⑥ その他取得できる資格と所属学部との関係

取得できる資格と所属学部との関係

資格等	経済	国際	教育	情報	教員免許状の取得
学校図書館司書教諭			○		要
キャンプインストラクター	○	○	○	○	不要
准学校心理士	○	○	○	○	要/不要*
ピアヘルパー（受験資格）	○	○	○	○	不要
社会福祉主事（任用資格）	○	○	○	○	不要
児童指導員（任用資格）	○	○	○	○	要

*本学学生は「要」になります。

学校図書館司書教諭

学校図書館司書教諭（司書教諭）は、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導、また、学校図書館の利用指導計画の立案、実施の中心となるなど、学校図書館の運営・活用や読書教育の中心的な役割を担います。教諭として採用された者が、学校内の役割として司書教諭となるよう命じられて司書教諭の職務を担当します。事務職員として採用される学校司書とは異なる職務です。

司書教諭の資格は、小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭の免許状を取得するとともに、所定の機関で司書教諭講習を受講しなければなりません。本学では次の授業科目をすべて履修することによってその資格を満たすことができます。

学校経営と図書館	2単位	2年～
学校図書館メディアの構成	2単位	2年～
学習指導と学校図書館	2単位	2年～
読書と豊かな人間性	2単位	2年～
情報メディアの活用	2単位	2年～

キャンプインストラクター

キャンプインストラクターは、公益社団法人日本キャンプ協会が認定する資格です。キャンプのプログラム等の指導を行う役割を担う指導者として認められた資格です。資格取得後には、さらにキャンプディレクターをめざすこともできます。

全国の都道府県キャンプ協会やキャンプ団体などの認定団体による講習会に参加することでも資格を取得することができますが、本学では次の授業を履修することで資格取得が可能です。この授業は集中講義扱いで、学内での講義と少年自然の家での宿泊研修が含まれます。宿泊研修最終回に、資格認定のための筆記試験があります。

登録には初年度に15,300円（受験料1,100円、公認料1,100円、登録料1,100円、入会金5,000円、年度会費5,000円、事務手数料2,000円）がかかり、資格の継続には年度ごとに年度会費と更新料1,100円がかかります。

体験的に学ぶⅠ（野外活動）	2単位	1年～
---------------	-----	-----

准学校心理士

准学校心理士は、一般社団法人学校心理士認定機構・日本学校心理士会が認定する資格です。学校生活における様々な問題に対して子ども自身や保護者、教師、学校に対して支援する「学校心理士」に準ずる資格です。同機構が認定した大学、短大、専門学校などの授業履修によって、卒業時に資格を得ることができます。さらに学校心理士の資格をめざすこともできます。

登録には初年度に12,000円（事務手数料3,000円、年会費3ヶ年分9,000円）がかかります。

本学では、次の授業を履修することによって、准学校心理士の資格を得ることができます。所属する学部による履修可能な科目に注意してください。

発達と学習	2単位	1年～（教育学部）
発達心理学	2単位	1年～（教育学部以外）
教育心理学	2単位	1年～（教育学部以外）
教育相談	2単位	3年～
特別支援教育概説	2単位	3年～

ピアヘルパー（受験資格）

「ピアヘルパー」は、特定非営利活動法人（NPO）日本教育カウンセラー協会が、「カウンセリングや関連する心理学の理論方法について学習し、教育・福祉・保育などの実際場面で人とかかわるために必要な基本的な力を身につけた者」として認定する資格です。ピアヘルパー資格の取得後、カウンセリングなどの学習を続け、教育・福祉・保育などの分野での実践経験を積むことで、さらに初級・中級・上級教育カウンセラーの資格を取得することも可能です。

本学では次の授業から2科目4単位を履修すると、日本教育カウンセラー協会が実施するピアヘルパーの受験資格を得ることができます。所属する学部による履修可能な科目に注意してください。試験は90分の筆記試験（マークシート選択肢式・記述式）で、本学内で受験できます。受験料は4,800円（個人負担）です。

発達と学習	2単位	1年～（教育学部）
発達心理学	2単位	1年～（教育学部以外）
教育心理学	2単位	1年～（教育学部以外）
教育相談	2単位	3年～

社会福祉主事（任用資格）

「社会福祉主事」は、福祉事務所等において社会福祉各法に定める援護、育成、更生の措置に関する業務に携わるケースワーカーの仕事です。また、社会福祉施設の施設長や生活相談員、社会福祉協議会の福祉活動専門員等としても働いています。各自治体に設置された福祉事務所のケースワーカー等として任用されるための資格として位置づけられています。また、各種社会福祉施設の職種に求められる基礎的資格としても準用されています。

本学では、次の授業科目から3科目6単位以上を履修することによって資格を得ることができます。ただし、授業履修後や卒業時に証明書類が発行されるのではなく、自治体等での実際の任用にあたって、あらかじめ大学に単位取得証明書の発行を申請することになります。

心理学	2単位	1年～
法学	2単位	1年～
社会学概論	2単位	1年～
社会学（経済・国際学部開設）*	2単位	1年～
民法I・II（経済・国際学部開設）*	2単位	2年～
社会福祉論（経済学部開設）*	2単位	2年～
社会保障論1・II（経済学部開設）*	2単位	2年～
社会政策I・II（経済学部開設）*	2単位	2年～
社会保障論I（経済学部開設）	2単位	2年～
労働経済論I・II（経済学部開設）*	2単位	2年～

*授業を履修する場合は、当該学部所属以外の学生は事前に授業担当者と相談をしてください。

児童指導員（任用資格）

「児童指導員」は、主に児童福祉施設などで保護者の代わりに行う生活指導や関係諸機関との連携、ケースワーク、障害児に対する通所支援などを担います。放課後等のデイサービス事業所にも児童指導員の配置が求められるようになりました。

児童指導員の任用要件の一つが、幼稚園、小学校、中学校、高等学校のいずれかの教員免許を取得していることです。本学では教職課程を履修していれば、特に追加すべき授業科目等はありません。授業履修後や卒業時に証明書類が発行されるのではなく、採用時に教育職員免許状（教員免許）の写しを事業所や所属先に提出することになります。

V

資料編

1. 学則等規則

① 学則	280
② 学生心得	296
③ 試験に関する注意	298
④ 授業の公欠に関する取扱い	299
⑤ プライバシーポリシー	300

2. キャンパスマップ	301
-------------------	-----

3. 学園歌	311
--------------	-----

4. 2026年度 学事日程	312
----------------------	-----

1

学則等規則

1 敬愛大学 学則

第1章

総 則

目 的

第1条 敬愛大学(以下「本学」という。)は建学の精神「敬天愛人」に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り広く知識を授け、深く専門の学芸を教授・研究し、知的・道徳的及び応用的能力を展開する大学教育を施し、もって文化の進展に寄与する有為の社会人を養成することを目的とする。

自己点検・評価等

第2条 本学は教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行いその結果を公表するものとする。

2 自己点検・評価の実施体制及び方法については別に定める。

第2章

学部学科・学生定員及び修業年限等

学部学科

第3条 本学に次の学部学科を置く。

- (1) 経済学部 経済学科 経営学科
- (2) 国際学部 国際学科
- (3) 教育学部 こども教育学科
- (4) 情報マネジメント学部
情報マネジメント学科

育成する人材

第3条の2 学部学科ごとの人材育成に関する目的は、次のとおりとする。

- (1) 経済学部経済学科は、経済学に関する幅広い知識を修得し、実社会で応用できる表現力、コミュニケーション能力、情報収集能力及び経済学的思考力をもって、広く社会に貢献できる人材を育成する。
- (2) 経済学部経営学科は、経営学に関する幅広い知識を修得し、実践的なマネジメント能力及びグローバルな視野を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成する。
- (3) 国際学部国際学科は、国際社会を多角的に理解し、変化する現代を生き抜く力を身につけ、高いコミュニケーション能力を培い、グローバル化する地域社会に貢献できる人材を育成する。
- (4) 教育学部こども教育学科は、幅広く深い教養と豊かな人間性及び子供の教育に関する知識と技能の修得を基盤として、それを活用することができる実践能力に加えて、教育事象を科学的・実証的に考察し、その成果を子供の健全な育成に活かすことのできる人材を育成する。
- (5) 情報マネジメント学部情報マネジメント学科は、経営情報学分野に関する教育研究を通して、現代社会に関する幅広い知識の理解と自己表現や情報活用に関する能力及び社会の一員として望ましい心構

えや生涯学習力の修得とともに、事業体の運営や管理に関する知識に加えて、情報処理の原理を科学的に理解し、情報システムの利用による経営内外の関連データを経営戦略の策定や実現のために活用することができる能力を有した人材を育成する。

学生定員

第4条 本学の学部学科の定員は次のとおりとする。

- (1) 経済学部 経済学科

入学定員	130名
編入学定員	(2年次) 1名
	(3年次) 1名

 経営学科

入学定員	130名
編入学定員	(2年次) 1名
	(3年次) 1名
収容定員	1,050名
- (2) 国際学部 国際学科

入学定員	98名
編入学定員	(2年次) 1名
	(3年次) 1名
収容定員	397名
- (3) 教育学部 こども教育学科

入学定員	72名
編入学定員	(2年次) 1名
編入学定員	(3年次) 1名
収容定員	293名
- (4) 情報マネジメント学部

情報マネジメント学科	
入学定員	50名
収容定員	200名

修業年限及び在学年限

第5条 本学の修業年限は4年とする。

- 2 8年を超えて在学することはできない。又、編入学、再入学及び転入学の場合は、第13条に定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えることはできない。

- 3 大学の学生以外の者(科目等履修生として大学入学資格を有する者)が、本学において一定の単位を修得した後に、本学に入学する場合、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、その単位数に応じて、相当期間を本学の修業年限の2分の1を超えない範囲で修業年限に通算することができる。

長期履修制度

- 第5条の2** 前条第1項の規定にかかわらず、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し学位の取得を希望する者(以下「長期履修学生」という。)が、本制度の申請を申し出たとき、学長は、審査のうえ長期履修学生として履修を認めることができる。ただし、前条第2項に定める在学年限を超えることはできない。
- 2 長期履修制度に関する必要な事項は別に定める。

第3章

学年・学期及び休業日

学年及び学期

- 第6条** 学年は4月1日に始まり翌年の3月31日に終わる。
- 2 学年を分けて次の2期とする。

前期	4月1日より9月25日まで
後期	9月26日より翌年3月31日まで
 - 3 学長が教育上必要と認める場合は、前項の期日を変更することができる。

休業日

第7条 学年中の休業日は次のとおりとする。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 本学創立記念日 5月4日
- (4) 敬愛の日 6月3日

- (5) 春季休業 3月24日より3月31日まで
 - (6) 夏季休業 8月1日より9月25日まで
 - (7) 冬季休業 12月21日より翌年1月10日まで
- 2 学長が教育上必要と認める場合は、休業日を変更し、若しくは臨時に休業し、又は休業日に授業を行うことができる。

第4章 入学・退学・休学・復学 及び除籍

入学の時期

第8条 入学の時期は学年又は後期の始めとする。

入学資格

第9条 第1学年に入学できる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定試験に合格した者を含む。）
- (6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (7) その他本学において、相当年齢に達し高等学校を卒業した者と同等

以上の学力があると認めたる者

- (8) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者

入学の出願及び検定料

第10条 入学志願者は所定の入学願書を提出しなければならない。

- 2 提出の時期、提出する書類、方法については別に定める。
- 3 入学検定料については第32条第1項の定めるところによる。

入学者の選考

第11条 前条の入学志願者に対しては選考試験を行う。

入学の手続及び入学許可

第12条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに本学所定の書類を提出するとともに、第32条第1項に定める入学金を納入しなければならない。

- 2 学長は前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

編入学・再入学・転入学

第13条 本学に編入学、再入学又は転入学を志願する者があるときは、選考のうえ、相当年次に学長が入学を許可することができる。

- 2 前項の規定により編入学できる者は、次の各号の一に該当する者とし、入学許可人数については学則第4条の規定に定めるところによる。
 - (1) 他の大学を卒業又は退学した者
 - (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
 - (3) 専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準を満たすものを修

了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）

- 3 第1項の規定により再入学又は転入学できる者は、本学を中途退学した者又は、他の大学に在学中の者で転入学により当該大学を退学する者とする。
- 4 第1項の規定により入学を許可された者についての履修方法は、教授会の意見を聴いて学長が決定する。

転部及び転科

- 第14条** 本学学生で他の学部に転部又は他の学科に転科を志願する者は、その旨を学長に願い出なければならない。学長は、当該学部教授会の意見を聴いて許可する。
- 2 転部及び転科の規程は別に定める。

退学

- 第15条** 退学しようとする者は、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。

休学

- 第16条** 病気及びその他の事由により引き続き3ヶ月以上修学することができないときはその事由を具し、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。
- 2 休学の期間は、その学年の終わり、又は学期の終わりまでとし、特別の事情のある場合は、引き続き1年に限り休学を許可することができる。
 - 3 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。
 - 4 休学の期間は、在学年数に算入しない。

転学

- 第17条** 他の大学へ転学を希望する者は、学長の許可を得なければならない。

海外留学

- 第18条** 外国の大学又は短期大学に留学を希望す

る者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、1年に限り第30条第1項に定める期間に算入する。

復学

- 第19条** 休学期間中にその事由が消滅したときは、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。
- 2 復学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。

除籍

- 第20条** 次の各号の一に該当する者は、教授会の意見を聴いて、学長が除籍する。
- (1) 第5条第2項に定める在学年限を超えた者
 - (2) 第16条第3項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
 - (3) 授業料その他の学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
 - (4) 死亡又は長期間にわたり行方不明の者

第5章

教育課程・授業科目・単位・ 授業の方法・期間及び履修 登録等

教育課程

- 第21条** 本学の授業科目は学科目制とし、教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開講し、体系的な教育課程を編成する。
- 2 経済学部経済学科の教育課程は、学部共通科目(基礎科目、言語科目、教養科目、情報科目、キャリア科目)、経済学科専門科目(基本科目A、基本科目B、公共経済コース科目、金融経済コース科目、現代経済コース科目、展開科目、演習科目)、自由選択科目、教職及び教科に関する科目を置く。

- 3 経済学部経営学科の教育課程は、学部共通科目(基礎科目、言語科目、教養科目、情報科目、キャリア科目)、経営学科専門科目(基本科目A、基本科目B、企業経営コース科目、商業・会計コース科目、スポーツビジネスコース科目、地域・起業コース科目、展開科目、演習科目)、自由選択科目、教職及び教科に関する科目を置く。
- 4 国際学部国際学科の教育課程は、基礎科目(教養科目、演習)、外国語科目(英語、英語以外の外国語、日本語)、情報基礎科目、専門科目(共通、英語コミュニケーションコース、国際ビジネスコース、専門研究)、キャリア・インターンシップ科目、自由選択科目、教職及び教科に関する科目を置く。
- 5 教育学部こども教育学科の教育課程は、教養教育科目(教養科目、外国語科目、キャリア科目)、専門教育科目(専門基礎科目、専門研究科目、教職コア科目、教科及び教科の指導法に関する科目、課題探究科目)を置く。
- 6 情報マネジメント学部情報マネジメント学科の教育課程は、基礎科目(基本科目、言語科目、教養科目、キャリア科目)、専門科目(導入科目、基礎科目、展開科目、演習科目)を置く。

授業科目・単位数及び卒業に必要な単位数

第21条の2 本学の授業科目、卒業に必要な単位数は、別表1～5のとおりとする。

授業の方法

- 第21条の3** 授業科目は、講義、演習、実験、実習、実技のいずれかにより又はこれらのうち二以上の併用により行うものとする。
- 2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項に規定する授業を多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

- 3 前項の規定により履修することのできる単位数は、第27条第1項、第28条第1項及び第29条第1項に定める認定単位と併せて60単位を超えないものとする。

単位の計算方法

第22条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の各号の基準により計算するものとする。

- (1) 講義については15時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 演習については30時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 実験、実習、実技等についての学修は、30時間から45時間までの範囲で大学が定める授業をもって1単位とする。
 - (4) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の併用により行う場合については、前3号の組合せに応じ、別に定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず卒業論文、卒業研究及び校外学修等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して適切な単位を授与することができる。

授業期間

第23条 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

- 2 各授業科目の授業は10週又は15週にわたる期間を単位として行う。ただし教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

履修登録及び履修制限

第24条 授業科目の履修方法については、前期開講科目は前期の指定された期日までに履修登録をして許可を得なければならない。また、後期開講科目も同様に後期の

指定された期日までに履修登録をして許可を得なければならない。

- 2 履修登録の取扱いについては別に定める。
- 3 各学部の年次別の履修登録上限単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 経済学部
 - 1年次 42単位
 - 2年次 42単位
 - 3年次 42単位
 - 4年次 46単位

ただし、第21条第2項及び同条第3項に規定する教職及び教科に関する科目の履修単位は上記の単位数に含めない。
 - (2) 国際学部
 - 1年次 42単位
 - 2年次 42単位
 - 3年次 42単位
 - 4年次 46単位

ただし、第21条第4項に規定する教職及び教科に関する科目の履修単位は上記の単位数に含めない。
 - (3) 教育学部
 - 1年次 42単位
 - 2年次 42単位
 - 3年次 42単位
 - 4年次 42単位
 - (4) 情報マネジメント学部
 - 1年次 42単位
 - 2年次 42単位
 - 3年次 42単位
 - 4年次 42単位
- 4 他学部等の授業科目を履修する場合は、学長の許可を得て履修し、単位を修得したときは、相当する科目群の科目として、学長が単位を認定することができる。

第6章

単位の認定等

試験の評定

第25条 試験の評定は100点を満点とし、60点

以上を合格とする。

- 2 試験は、筆記試験、論文レポート、試問、その他の方法により行う。

単位の授与

第26条 授業科目を履修した者に対しては、試験に合格した場合に単位を与える。

単位の互換

第27条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学及び学部間の協議に基づき、当該大学又は短期大学及び学部間の授業科目の履修を認めることができる。

- 2 前項の規定により学生が修得した単位は、60単位を超えない範囲で第30条第1項に定める単位として認定することができる。
- 3 前2項の規定は、第18条に定める留学の場合に準用する。

既修得単位の認定

第28条 大学・短期大学又は専修学校の専門課程を卒業し又は中途退学した後、本学第1年次に入学した者の既修得単位については、教育上有益と認めるときは、第30条第1項に定める単位として認定することができる。

- 2 前項により認定することができる単位は、前条第1項により認定する単位と併せて60単位を超えないものとする。

大学以外の教育施設等における学修

第29条 教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を本学における授業科目の履修とみなし第30条第1項に定める単位として認定することができる。

- 2 前項により認定できる単位は、第27条第1項及び第28条第1項により認定する単位と併せて60単位を超えないものとする。

第7章 卒業等

卒業の要件及び学士の学位

第30条 本学を卒業するためには、第21条の2に定める各学部学科の教育課程から124単位を修得した者について、教授会の意見を聴いて学長が卒業を認定する。

- 2 前項による卒業認定は学年末、又は前期末にこれを行うことができる。
- 3 卒業を認定された者には学士の学位を授与する。
- 4 学位の授与に関する規定は別に定める。

免許状の種類

第31条 本学において次の教育職員免許状を取得することができる。

- (1) 経済学部 経済学科
中学校教諭一種免許状(社会)
高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
高等学校教諭一種免許状(公民)
 - (2) 経済学部 経営学科
高等学校教諭一種免許状(商業)
 - (3) 国際学部 国際学科
中学校教諭一種免許状(英語)
高等学校教諭一種免許状(英語)
 - (4) 教育学部 こども教育学科
小学校教諭一種免許状
- 2 教育職員の免許状取得の要件については別に定める。

第8章 入学検定料・入学金及び 授業料等

学費等

第32条 本学の入学検定料、学費及び教職課程履修費の金額は別表6～8のとおりとする。

- 2 入学検定料、学費及び教職課程履修費等に関する必要な事項は、別に定める。

第9章 教職員組織

教職員

第33条 本学に学長、副学長、教授、准教授、講師、助教並びに事務職員その他の教職員を置くことができる。

学長・副学長の職務

第34条 学長は校務をつかさどり所属教職員を統督する。

- 2 副学長は学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

第10章 大学運営会議・教授会及び 各種委員会

大学運営会議

第35条 本学の重要事項を審議するために大学運営会議を置く。

- 2 大学運営会議に関する必要な事項は別に定める。

教授会

第36条 本学各学部の教育研究に関する重要事項を審議するためにそれぞれに教授会を置く。

- 2 教授会は、学長が次に掲げる事項について、決定を行うに当たり意見を述べることができる。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

- 3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長がつかさどる教育研究に関する

る事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べるができる。

- 4 教授会の組織には、准教授、講師及びその他の教職員を加えることができる。
- 5 教授会に関する必要な事項は別に定める。

合同教授会

第37条 学長が必要と認めたととき又は各学部長から特に要請があったときは、学長は合同教授会を招集することができる。

- 2 合同教授会は、学長が特に必要と認めた大学の重要事項を審議する。

各種委員会

第38条 学長が必要と認めたととき、各種委員会等を組織し、それぞれの専門分野について審議研究し、その運営を図ることができる。

- 2 各種委員会に関する事項は別に定める。

第11章

科目等履修生及び外国人留学生等

科目等履修生

第39条 本学において特定の授業科目を履修しようとする者については、教育研究に支障のない範囲内において教授会の意見を聴いて科目等履修生として、学長が入学を許可することができる。

- 2 科目等履修生が履修した授業科目を試験に合格したときは、第25条及び第26条の規定を準用して当該科目の単位を付与することができる。
- 3 科目等履修生に関する事項は別に定める。

特別聴講生

第40条 他の大学、短期大学との協議に基づき、当該大学又は短期大学の学生を特別聴講生として、学長が入学を許可することができる。

- 2 特別聴講生に関する事項は別に定める。

聴講生

第41条 本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、各学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、学長が聴講を許可することができる。

- 2 聴講生に関する事項は別に定める。

外国人留学生

第42条 外国籍を有し第9条第3号に該当する者が、本学に入学を希望した場合は、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。

- 2 外国人留学生については、第45条(育英・奨学)に関する規定を除き、正規の学生についての規定を準用する。
- 3 外国人留学生に関する事項は別に定める。

委託生

第43条 公共機関その他から委託生としての入学の申し出のある時は本学の教育、研究に支障のない限り、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。

- 2 委託生に関する事項は別に定める。

公開講座

第44条 学術文化の普及のため、本学において公開講座及び課外講座を開講することができる。

- 2 公開講座及び課外講座に関する事項は別に定める。

第12章

育英及び奨学に関する事項

育英・奨学

第45条 本学に育英及び奨学に関する制度を置く。

- 2 育英及び奨学に関する事項は別に定める。

第13章

賞 罰

褒 賞

第46条 品行方正、学術優秀又は善行のあった学生に対しては、賞状又は商品を授与し褒賞することができる。

- 2 褒賞に関する事項は別に定める。

懲 戒

第47条 本学の規定に違反し、又は学生の本分に反する行為があった学生に対しては懲戒する。懲戒は、戒告、停学及び退学とする。

- 2 退学処分は次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
 - (2) 成績不良で学業継続の見込みがないと認められた者
 - (3) 正当な理由なくして出席不良の者
 - (4) 大学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者
- 3 懲戒に関する事項は別に定める。

第14章

附属施設・寄宿舍・厚生施設

附属施設

第48条 本学にメディアセンター及び総合地域研究所を置く。

- 2 各附属施設に関する事項は別に定める。

寄 宿 舎

第49条 本学に寄宿舍を置く。

- 2 寄宿舍に関する事項は別に定める。

厚 生 施 設

第50条 本学に厚生施設を置く。

- 2 厚生施設に関する事項は別に定める。

第15章

改 正

改 正

第51条 本学則の改正は、各学部教授会及び大学運営会議の意見を聴いた後、理事会の承認を得て、学長がこれを行う。

附 則

この学則は、昭和41年4月1日から施行する。

<中 略>

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第32条第1項に定める別表の入学金、授業料等の改正は、平成28年度入学者(編入学者、転入学者を含む)から適用し、平成27年度以前の入学者はなお従前のとおりとする。

附 則

この学則は、平成28年12月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第5条の2の規定は、平成29年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第32条第1項に定める別表の入学検定料の改正は、平成31年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施

行する。

- 2 第4条の規定にかかわらず平成31年度から平成34年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度
経済学部	経済学科	471名	467名	465名	465名
	経営学科	451名	447名	445名	445名
国際学部	国際学科	386名	386名	389名	397名
	こども教育学科	286名	288名	291名	293名
合 計		1,594名	1,588名	1,590名	1,600名

- 3 第31条第1項第1号の規定は、平成31年度入学者から適用し、平成30年度以前の入学者の経済学部経済学科における高等学校教諭一種免許状(商業)の取得については、なお従前のとおりとする。
- 4 第32条第1項に定める別表の入学検定料の改正は、平成32年度入学志願者から適用する。
- 5 第42条第2項の規定は、平成31年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 第32条第1項に定める別表の入学試験項目の改正は、令和3年度入学志願者から適用する。
- 3 第32条第1項に定める別表の学費(入学金、授業料、施設費)の改正は、令和3年度入学者(編入学者、転入学者を含む)から適用し、令和2年度以前の入学者はなお従前のとおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正前の学則に定める国際学部こども教育学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、令和3年3月31日に国際学部こども教育学科に在籍する学生がいなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 第4条の規定にかかわらず令和3年度か

ら令和6年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
経済学部	経済学科	465名	465名	465名	465名
	経営学科	445名	445名	445名	445名
国際学部	国際学科	389名	397名	397名	397名
	こども教育学科	219名	148名	74名	—
教育学部	こども教育学科	72名	145名	219名	293名
合 計		1,590名	1,600名	1,600名	1,600名

- 4 第21条の2に定める教育課程表(別表1～4)は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者の教育課程表については、なお従前のとおりとする。
- 5 第31条第1項第3号の規定は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者の国際学部国際学科における中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(地理歴史)及び高等学校教諭一種免許状(公民)の取得については、なお従前のとおりとする。
- 6 第31条第1項第4号の規定は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者の国際学部こども教育学科における小学校教諭一種免許状の取得については、なお従前のとおりとする。
- 7 第32条第1項に定める別表5の入学検定料の改正は、令和3年度入学志願者から適用する。
- 8 第32条第1項に定める別表6の学費(入学金、授業料、施設費)及び別表7の教職課程履修費の改正は、令和3年度入学者(編入学者、転入学者を含む)から適用し、令和2年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 第21条第2項、第3項、第4項及び第5項に定める各学部、学科の教育課程の改正は、令和4年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和3年度以前の入学者については、なお従前の

とおりとする。

- 3 第21条の2に定める教育課程表(別表1～4)は、令和4年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和3年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。
- 4 第32条第1項に定める別表5の入学検定料の改正は、令和4年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 第21条第2項、第3項、第4項に定める各学部、学科の教育課程の改正及び第21条の2に定める教育課程表(別表1～3)は、令和5年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和4年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず令和6年度から令和9年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
経済学部	経済学科	480名	495名	510名	525名
	経営学科	465名	485名	505名	525名
国際学部	国際学科	397名	397名	397名	397名
教育学部	こども教育学科	293名	293名	293名	293名
合 計		1,635名	1,670名	1,705名	1,740名

- 3 第21条第4項及び第21条の2に定める教育課程表(別紙4)の国際学部国際学科の教育課程表は、令和6年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和5年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。
- 4 第32条第1項に定める学費(別紙6)の施設費の改正は、令和6年度入学者から適用し、令和5年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和7年度4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず令和7年度から令和10年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学部	学 科	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
経済学部	経済学科	495名	510名	525名	525名
	経営学科	485名	505名	525名	525名
国際学部	国際学科	397名	397名	397名	397名
教育学部	こども教育学科	293名	293名	293名	293名
情報学部	情報マネジメント学科	50名	100名	150名	200名
	合 計	1,720名	1,805名	1,890名	1,940名

- 3 第21条第4号、第5項に定める各学部、学科の教育課程の改正及び第21条の2に定める教育課程表(別表1～4)は、令和7年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和6年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。
- 4 第32条第1項に定める入学検定料(別表6)の改正は、令和7年度入学志願者から適用する。
- 5 第32条第1項に定める学費(別表7)及び教職課程履修費(別表8)の改正は、令和7年度入学者から適用し、令和6年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

- 別表 1 (第21条の2関係) 経済学部 経済学科 教育課程表
 別表 2 (第21条の2関係) 経済学部 経営学科 教育課程表
 別表 3 (第21条の2関係) 国際学部 国際学科 教育課程表
 別表 4 (第21条の2関係) 教育学部 こども教育学科 教育課程表
 別表 5 (第21条の2関係) 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 教育課程表
 別表 6 (第32条関係)

入学検定料

学部 項目	経済学部	国際学部	教育学部	欄マ以外部	摘要
大学入学共通テスト 利用選抜	10,000円				単願・併願・3併願 共通 ※併願学部数に関係なく、検定料 は定額
学校推薦型選抜	16,000円	16,000円	16,000円	16,000円	指定校推薦、系列校推薦
	32,000円	32,000円	32,000円	32,000円	公募推薦
総合型選抜	32,000円	32,000円	32,000円	32,000円	
一般選抜	32,000円				2教科方式 単願・併願・3併願 共通 ※併願学部数に関係なく、検定料 は定額
	30,000円				外部試験利用方式 単願・併願・3併願 共通 ※併願学部数に関係なく、検定料 は定額
外国人留学生選抜	16,000円	16,000円	16,000円	16,000円	指定校推薦
	32,000円	32,000円	32,000円	32,000円	
帰国生・社会人選抜	32,000円	32,000円	32,000円	32,000円	
編入学選抜	32,000円	32,000円	32,000円	32,000円	
特待生選抜	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	大学入学共通テスト利用選抜者のみ

- 別表 7 (第32条関係)

学費

学部 項目	経済学部	国際学部	教育学部	情報マネジメント学部	摘要
入学金	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円	入学時のみ
授業料	780,000円	780,000円	800,000円	800,000円	年額(前期・後期に分けて分 割納入することができる)
施設費	310,000円	310,000円	310,000円	310,000円	年額(前期・後期に分けて分 割納入することができる)
備考	編入学者、転入学者、再入学者及び科目等履修生の学費については、別に定める。				

別表 8 (第32条関係)

教職課程履修費

学部 項目	経済学部	国際学部	教育学部	摘 要
教職課程履修費	60,000円	60,000円	—	中学校教諭一種免許状(英語)、 中学校教諭一種免許状(社会)の取得 希望者
	50,000円	50,000円	—	高等学校教諭一種免許状(地理歴史)、 高等学校教諭一種免許状(公民)、高等 学校教諭一種免許状(英語)、高等学 校教諭一種免許状(商業)の取得希望者
備 考	1. 経済学部で取得可能な教育職員免許状 中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(地理歴史)、 高等学校教諭一種免許状(公民)、高等学校教諭一種免許状(商業) 2. 国際学部で取得可能な教育職員免許状 中学校教諭一種免許状(英語)、高等学校教諭一種免許状(英語) 3. 教育学部で取得可能な教育職員免許状 小学校教諭一種免許状			

敬愛大学入学検定料及び学費等納入に関する規程

目的

第1条 この規程は、敬愛大学学則（以下「学則」という。）第32条第2項の規定に基づき、入学検定料、学費、教職課程履修費及び委託徴収金の納入に関して必要な事項を定める。

入学検定料

第2条 入学検定料とは、入学試験の出願の際に納入する金額をいう。

- 2 入学検定料の金額は、学則第32条別表5のとおりとする。

学費

第3条 この規程において学費とは、入学金、授業料及び施設費をいう。

学費の金額

第4条 学費の金額は、学則第32条別表6のとおりとする。

- 2 特待生等学費減免対象者の学費の金額は別に定める。
- 3 第4年次留年手続者の学費の金額は、「敬愛大学卒業認定による留年者の次年度以降の学費に関する取扱い内規」の定めによる。
- 4 学費は年度の更新に伴い改定することがある。

学費の納入期間

第5条 在学生の学費は、毎年1年分を一括納入、又は2期（前期・後期）に分けて分割納入することができる。ただし、次の納入期間内に大学の指定する方法により納入しなければならない。

- (1) 一括納入の納入期間については、4月1日から4月末日までとする。
- (2) 分割納入の納入期間については、前期分を4月1日から4月末日まで、

後期分を10月1日から10月末日までとする。

- 2 入学者（編入学者・転入学者・再入学者・科目等履修生含む）の入学手続時の学費の納入期間については、入学試験要項による。ただし、2期に分けて納入する場合の後期学費の納入期間は、前項の規定を適用する。

教職課程履修費及び納入期間

第6条 教職課程を履修する者は、学則第32条別表7に定める金額を6月末日までに大学の指定する方法により一括納入しなければならない。

委託徴収金

第7条 この規程において委託徴収金とは、学友会費、経済学会費、国際学会費、教育学会費、教育後援会費、学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帯賠償責任保険料及び校友会費をいう。

- 2 委託徴収金の金額は、別表のとおりとする。

委託徴収金の納入期間

第8条 委託徴収金は、前期分の学費の納入に合わせ、4月1日から4月末日までに一括納入しなければならない。

学費の延納

第9条 経済的な事由等により第5条第1項に定める納入期間内に学費の納入が困難な場合は、所定の「延納願」を学長に提出し、許可を得なければならない。

- 2 当該年度入学者で第5条第2項に定める後期学費の納入期間内に学費の納入が困難な場合は、前項に定める手続きを行わなければならない。
- 3 第1項及び第2項により、学費の延納を

許可された者は、第5条第1項に定める納入期限から2カ月以内に納入しなければならない。

学費未納者の除籍

第10条 学費を第5条又は前条第3項に規定する納入期限までに納入しない者は、学則第20条第1項第3号の規定により、当該学部教授会の議を経て学長が除籍する。

休学者の学費

第11条 学則第16条の規定により休学を許可された者は、休学期間の授業料及び施設費を免除し、休学在籍料を納入しなければならない。

- 2 1年間の休学を許可された者は100,000円、前期又は後期の休学を許可された者は50,000円の休学在籍料を指定された期日までに納入しなければならない。
- 3 休学期間中の授業料及び施設費を納付済みの場合には、休学在籍料を差引いた額を返還する。

学費等の返還

第12条 納入した学費等は、原則として返還しない。

- 2 前項の規定にかかわらず、入学手続き完了者が入学試験要項に記載する入学辞退届の申出期間内に入学辞退を申し出た場合は、入学金を除く学費及び委託徴収金を返還する。また、次の各号のいずれかに該当する場合は、当該年度の後期分の授業料及び施設費を返還することができる。
 - (1) 前期中に退学を認められた者が、学費等を既に全納している場合。
 - (2) 前期中に卒業を認定された者が、学費等を既に全納している場合。

規程の改廃

第13条 この規程の改廃は、大学運営会議の意見を聴いた後、常務理事会の承認を得て学長が行う。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

別表

委託徴収金

項 目	学 部	経済学部	国際学部	教育学部	情報マネジメント学部	備 考
学 友 会 費		10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	年額
経済学会費		3,000円	—	—	—	年額
国際学会費		—	3,000円	—	—	年額
教育学会費		—	—	3,000円	—	年額
情報マネジメント学会費		—	—	—	3,000円	年額
教育後援会費		10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	年額
学生教育研究 災害傷害保険料		3,300円	3,300円	3,300円	3,300円	入学時のみ
		2,600円	2,600円	2,600円	2,600円	2年編入時のみ
		1,750円	1,750円	1,750円	1,750円	3年編入時のみ
学研災付帯 賠償責任保険料		1,360円	1,360円	1,360円	1,360円	入学時のみ
		1,020円	1,020円	1,020円	1,020円	2年編入時のみ
		680円	680円	680円	680円	3年編入時のみ
校 友 会 費	入学時	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	年額
	2年次	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	年額
	3年次	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	年額
	4年次	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	年額

敬愛大学学費督促及び除籍取扱い内規

趣旨

第1条 この内規は、敬愛大学学則第20条第1項第3号に定める授業料等の未納による除籍の手続きについて定める。

学費の督促

第2条 「敬愛大学入学検定料及び学費等納入に関する規程」(以下「納入規程」という。)第5条に定める納入期間内に学費を納入しない者に対し、大学運営室は、学費未納者名簿を作成のうえ次により督促の手続きをとるものとする。

- (1) 納入規程第5条第1項に定める納入期限を過ぎた時は、新たに納入期限を付した第1回目の督促状を送付するものとする。
- (2) 前号により督促してもなお納入しない者に対し、再度納入期限を付した第2回目の督促状を送付するものとする。
- (3) 納入規程第9条により学費の延納を許可された者が、2カ月の延納期限を経過しても納入のない場合は、前第1号並びに第2号の手続きをとるものとする。

除籍の警告

第3条 大学運営室は、第2回目の督促をしてもなお学費を納入しない者の保証人宛に配達証明付き内容証明郵便により、除籍警告書を通知するものとする。

除籍

第4条 前条の規定により、除籍警告を受けた者が除籍警告書に定められた納入期限までに前期分又は後期分の学費の全額を一括納入しないときは、当該学部教授会の議を経て学長が除籍する。

内規の改廃

第5条 この内規の改廃は、大学運営会議の意見を聴いて学長が行う。

附則

この内規は、令和5年10月1日から施行する。

2 敬愛大学学生心得

この学生心得は、学則等の諸規定、社会における基本的なルールやマナーとあわせて、学生として心がけておくべき規範です。本学学生としての誇りを持って行動し、自身だけでなく大学の信頼を失墜させることのないよう心がけましょう。

学生証

- 学生証は本学の学生であることを証明するものです。常に携帯し、教職員から請求のあった時にすぐに呈示してください。
- 学生証は毎年、年度始め（4月）に検認を行い、在籍確認の更新をします。学生証裏面の「在籍確認・通学定期乗車券証明書」シールを必ず更新してください。
- 学生証は、本学学生としての身分に変更があった場合は、直ちに変更・返還してください。
- 学生証を紛失・破損したときは、直ちに再交付を受ける手続をしてください。

通学証明書および学生旅客運賃割引証

- 通学証明書は、学生支援室で発行します。
- 学生旅客運賃割引証は、自動証明書発行機で発行します。
- 休学期間中は、通学証明書および学生旅客運賃割引証の発行を受けることはできません。
- 科目等履修生、聴講生は、通学証明書および学生旅客運賃割引証の発行を受けることはできません。

住所変更および身上異動

- 入学の際に届け出た本籍（国籍）、住所、電話番号に変更があったときは、その都度学生支援室に届け出てください。

服装

- 服装は、清潔で学生の品位を保つものの着用を心がけましょう。

保健衛生

- 学校保健安全法の定めにより、毎年4月に定期健康診断を受けなければなりません。必ず受診しましょう。
- 平素から健康管理に留意するとともに、病気や怪我の予防に努めましょう。

器物保全

- 施設の保全と清潔に努め、安全に生活できるよう留意しましょう。
- キャンパス内は指定された場所を除き、全面禁煙です。

学友会承認団体

- 学友会承認団体が試合等学外活動を行う際は、事前に学生支援室に届け出てください。また活動終了後は、結果報告をしてください。

課外活動

- 学生は、学習・研究活動だけでなく、積極的に学内外での課外活動に参加しましょう。
- 課外活動のために大学施設を使用するときは、その期日の1週間前までに学生支援室に届け出てください。
- 学生が課外活動の一環として学外活動を行う際は、事前に学生支援室に届け出てください。また活動終了後は、活動報告を届け出てください。

掲示等

- 学内でポスターやチラシ等の掲示・配布を希望するときは、学生支援室に申し出て許可を受けてください。なお掲示をする場合は、A3縦サイズまでとし、原則2週間以内とします。

募金活動、署名活動、物品販売等

- 学内で募金活動、署名活動、物品販売等の実施を希望するときは、学生支援室に申し出て許可を受けてください。
- 募金活動、署名活動、物品販売等において、各

団体は自己の責任において管理・運用を行い、社会貢献の一環として責任ある行動を心がけるよう努めてください。

1. 物品の管理
2. 収益の管理
3. 情報の保護と個人情報の取り扱い

盗難・紛失の防止

- 学生は自らの所持品の管理・保管に十分留意し、盗難や紛失によって不利益を被らないように心がけましょう。
- 遺失物を発見したときは、学生支援室に届け出てください。

携帯電話等のマナー遵守

- 学内では携帯電話等はマナーモードに設定しましょう。

- 携帯電話等の充電はモバイルバッテリー等を持参して行いましょう。

禁止事項

以下の行為は決して行ってはいけません。

- 20歳未満の喫煙、および喫煙所以外での喫煙
- 20歳未満の飲酒、および学内での飲酒
- 無許可での自転車、バイク、自動車での通学
- 違法な薬物（大麻、覚醒剤等、いわゆる「危険ドラッグ」等）の入手や使用、譲渡
- 暴力行為
- ハラスメント行為
- 危険を伴う、および違法なアルバイト
- その他社会通念上好ましくない行為

【令和7年4月1日現在】

3 試験に関する注意

試験を受ける際には以下の受験心得をよく理解して受験してください。

受験心得

- 1) 試験監督者の指示に従わなければならない。
- 2) 試験時には許可されたもの以外はバック等に収納する。
- 3) 電子機器（スマートフォン・電子辞書等）は電源を切りバッグ等に収納する。
- 4) 試験中は物品を貸し借りしてはならない。
- 5) 学生証は試験監督者の点検し易いように机上通路側に呈示しておく。
- 6) 学生証不携帯者は原則として受験することができないので、1号館1階の自動証明書発行機にて仮学生証を発行すること。仮学生証は当日のみ有効であるため、試験終了後、学生支援室に返却してください。手数料は1枚（1日）300円である。
- 7) 答案用紙には学年、学籍番号、氏名を必ずイ

ンクで明瞭に記入する。

- 8) 答案用紙は所定の箇所に提出すること。答案用紙を試験室外に持ち出すことはできない。
- 9) 試験中、私語や不正行為と疑われるような行為はしてはならない。
- 10) 試験中、不正行為を行った者には「試験不正行為取扱についての内規」により処分する。

不正行為を行うと

- 1) 不正行為を行った日から2週間停学となります（自宅謹慎・登校禁止）。
- 2) 停学期間中は、学生証を没収します。
- 3) 不正行為を行なった前期又は後期の履修期間のうち、演習を除く全ての科目の単位は修得できません。
- 4) 留学生について、授業料減免を受けている1～3年生は、次年度は減免対象から外れます。4年生は4年次の減免措置がなくなり、卒業要件としての減免相当分を納入していただきます。

4 授業の公欠に関する取扱い

- 1 本学において、「公欠」とは相当の理由により授業に出席することができない学生に対して、欠席の取扱いをしないことを指す。
- 2 本学の学生が、次に該当する事由により授業に出席することができない場合、公欠電子申請を行うことにより、公欠扱いとすることができる。
- 3 公欠電子申請通知メールを受領した担当教員は、当該授業について欠席の取扱いをしないものとし、レポート作成その他の方策により可能な限り学習の補充支援を行い、当該学生が履修課程上不利にならないように配慮するものとする。
- 4 公欠期間中の試験に関する追試験等の取扱いについては、当該授業科目を開講する学部の長の定めるところによる。
- 5 前各項の規定は、第2項各号に掲げる事由以外の事由により授業に出席することができない学生に対して、担当教員が自己の裁量により公欠に準ずる扱いをすることを防げるものではない。
- 6 この申合せは、令和6年7月16日から実施する。

【令和7年4月1日現在】

区分	公欠事由	公欠期間	添付書類	届の提出時期
第一号	忌引き（二親等以内）の場合	一親等（父母等）および配偶者：連続7日以内 二親等（祖父母・兄弟姉妹等）：連続した3日以内	「会葬礼状」等	出席可能となった後1週間以内
第二号	学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症（※）に罹患した場合、又は感染したおそれがある場合	本書書式の「治癒証明書」に記載されている出席停止期間	・本書書式の「治癒証明書」	出席可能となった後1週間以内
第三号	大学内で4月に実施される健康診断を受診した場合	健康診断の当該日	特に必要としない	終了後1週間以内
第四号	大学が定める教育実習・介護等体験、インターンシップ等に参加する場合	教育実習・介護等体験、インターンシップ等に参加する期間	実習（体験）等の期間がわかる書類	事前又は出席可能となった後1週間以内
第五号	文化・体育活動において関東大会もしくは全国大会以上の大会、又は体育会に届出のある上部団体の公式戦に出場する場合	大会に出場する期間	実施要領、パンフレット等	事前又は出席可能となった後1週間以内
第六号	その他、学部の長が特に必要と認める場合	学部の長が必要と認める期間	適宜必要とされる書類	その都度定める

※学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症

第一種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）、特定鳥インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症。

第二種 インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎、菌性髄膜炎

第三種 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症

※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第7項～第9項に規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症は第一種の感染症とみなす。

※第三種感染症として記載のない感染症の出席停止措置は、重大な流行が起こった際の緊急措置として学校医の意見を聞いて判断する。出席停止措置の必要性が認められない場合は公欠事由とならない。

5 学校法人千葉敬愛学園 プライバシーポリシー

個人情報保護に関する方針

千葉敬愛学園は個人情報の重要性を認識し、適正な取扱い及び管理を行います。

学校法人千葉敬愛学園（以下、本学園という）は敬愛大学、敬愛短期大学、千葉敬愛高等学校、敬愛学園高等学校、認定こども園敬愛短期大学附属幼稚園において、学生、生徒、園児及びその保護者または保証人入学志願者、科目等履修生、公開講座受講生、留学生採用応募者など学園に関わる方々の個人情報の重要性を認識し、個人情報保護法の趣旨に則り、個人情報の適正な取扱いと管理を行います。

個人情報の収集、利用、提供を適切に行います。

本学園が収集した個人情報は、その収集した目的以外の目的に利用することはございません。また、同意なしに本学園以外の第三者に提供することや第三者から不正に個人情報を収集することはいたしません。ただし、法令による警察・裁判所等の公共機関からの開示を求められた場合および本人の生命・身体・財産の安全確保のために緊急に提供が必要な場合は本人の同意なしに第三者に提供する場合がございますのでご了承下さい。

個人情報保護のための管理を適切に実施します。

本学園が保管する個人情報の漏洩・流出を防ぐために、本学園教職員に対して個人情報保護の重要性についての啓発に努めるとともに、個人情報の安全管理体制の構築、個人情報保護のための規定等の整備、情報システムにおける不正アクセス及び不正利用を防ぐための安全対策を実施します。

お問い合わせにおける個人情報の保護をいたします。

メールまたは電話によるお問い合わせにおける個人情報に関しては、お問い合わせについての回答及び詳細の確認以外の目的で利用することはありません。また、そのメールが流出したり、他の目的に利用することのないように安全管理対策を実施します。

本学園ホームページに関する方針

アクセスログの不正な使用はいたしません。

本学園ホームページ（敬愛大学・敬愛短期大学ホームページ、千葉敬愛高等学校ホームページ、敬愛学園高等学校ホームページ、認定こども園敬愛短期大学附属幼稚園ホームページ）において、取得するアクセスログは本学ホームページに関する管理や利用状況の調査に関する以外には使用いたしません。

Cookieの不正な利用はいたしません。

本学園ホームページにおいて、一部cookieを使用するページがありますが、閲覧者がより快適に本学園ホームページを利用するために使用しているだけで、具体的な個人を特定するために利用するわけではございません。また、本学園においては、利用者の動向調査にのみCookieを利用します。

開示・訂正・利用停止等の手続きについて

お預かりした個人情報が不正確である場合には正確なものに変更させていただきます。

個人情報の開示、訂正、利用停止関しては、下記の相談窓口にお申し出ください。

その際、お申し出の方がご本人もしくは保護者の方であることを確認させていただいた上で速やかに対応させていただきます。

また、ご希望の全部または一部に応じられない場合はその理由をご説明いたします。

敬愛大学・敬愛短期大学：大学運営室

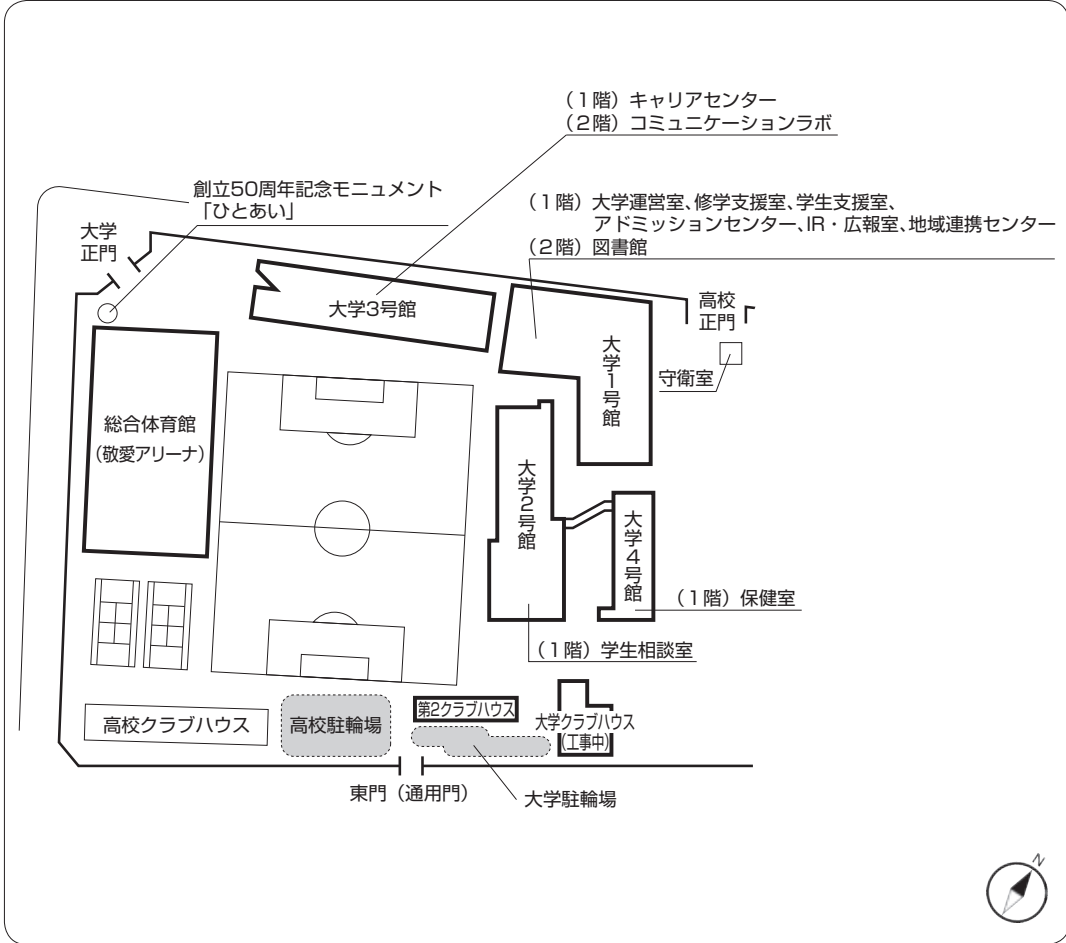
本プライバシーポリシーについて

本プライバシーポリシーは、適宜改正及び訂正いたします。

【令和6年4月1日現在】

2

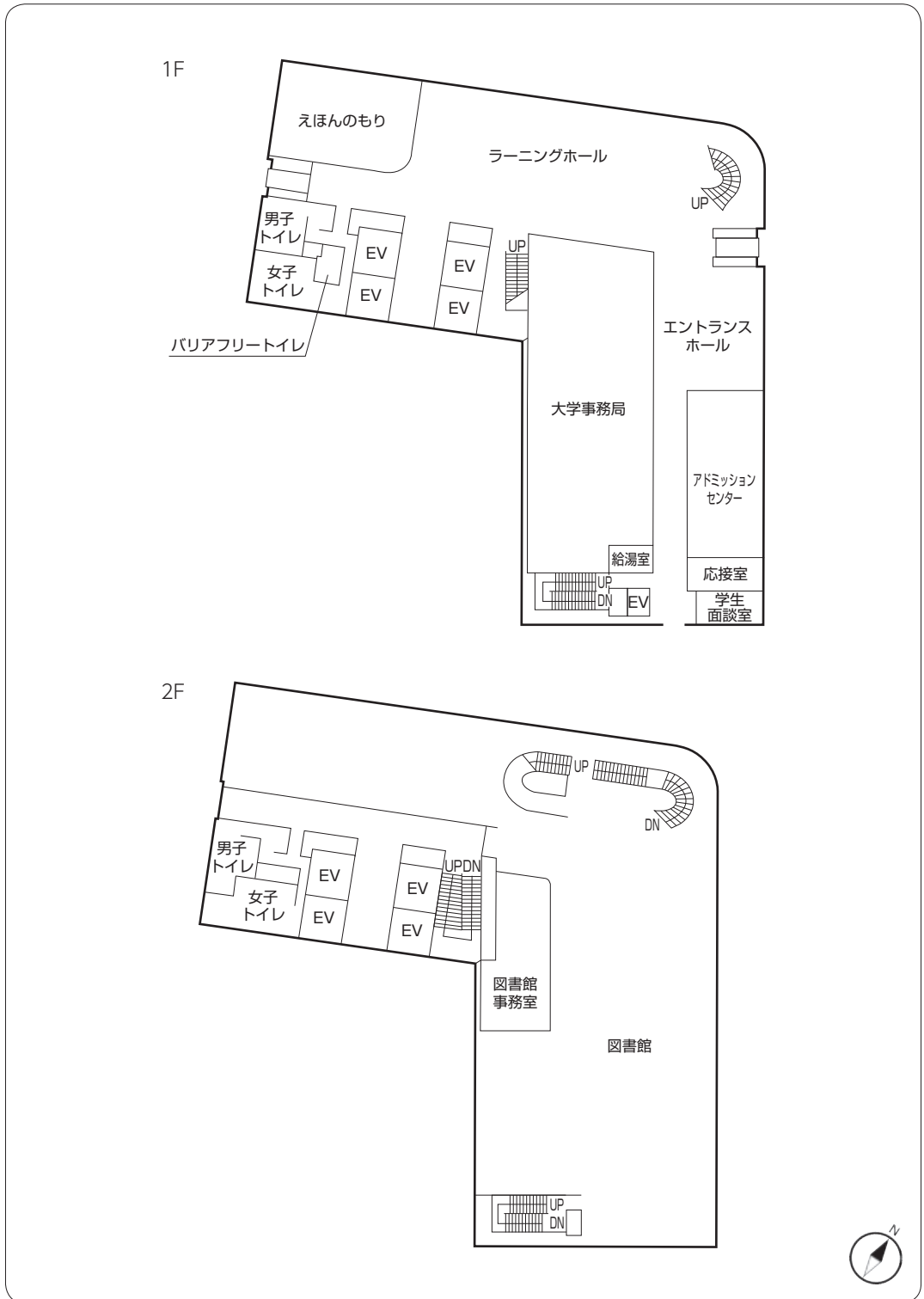
キャンパスマップ



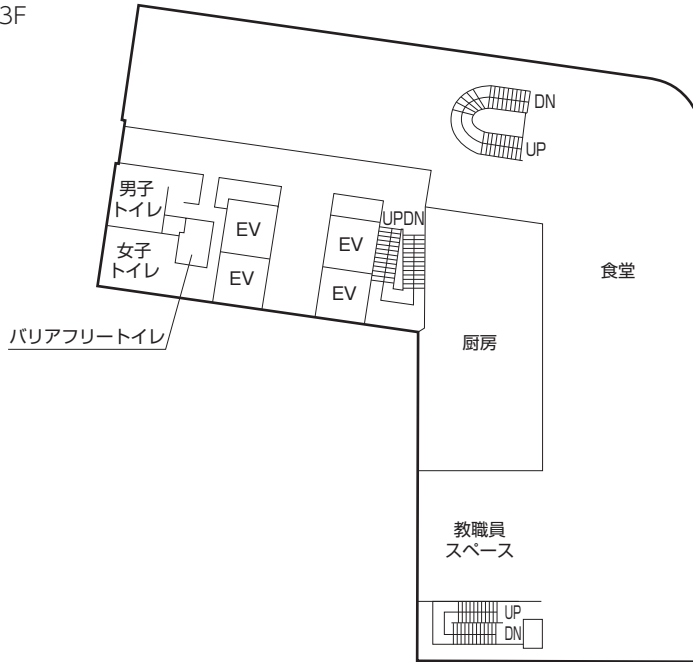
教室番号と配置

$\frac{3}{\uparrow}$ $\frac{3}{\uparrow}$ $\frac{01}{\uparrow}$ 教室：3号館 3階 01教室
 建物番号 階数 番号

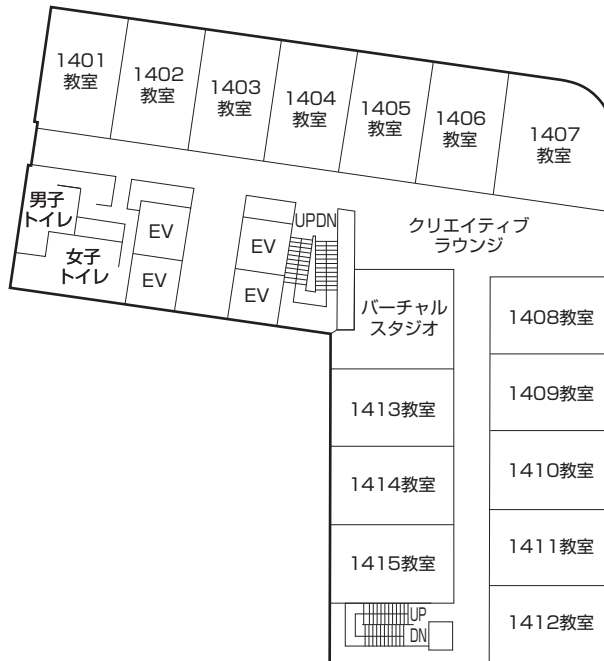
■大学1号館



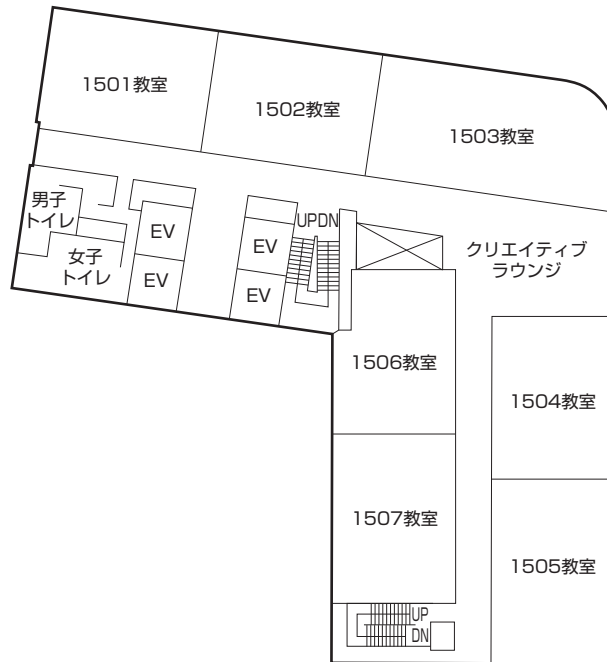
3F



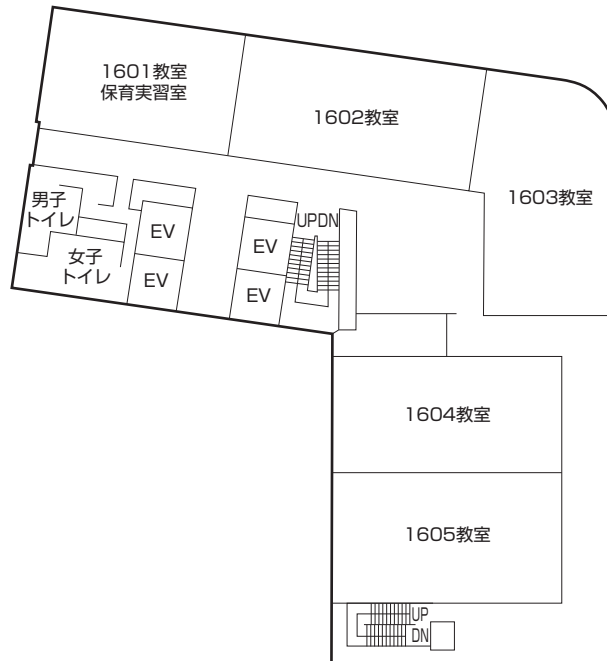
4F



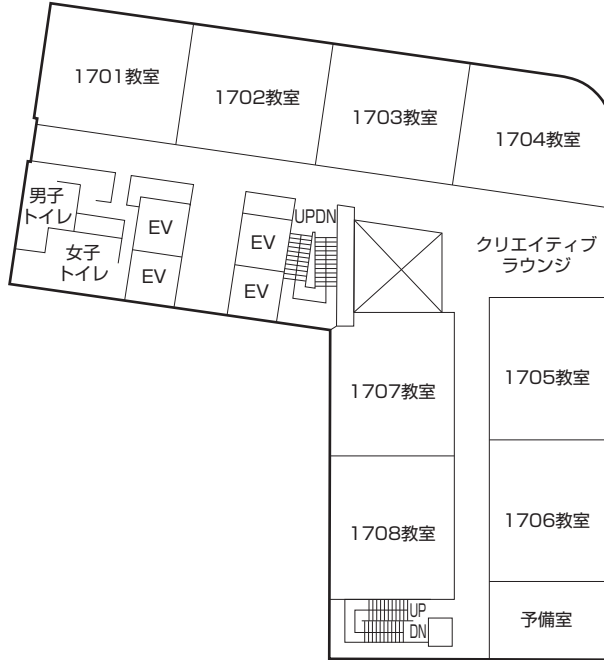
5F



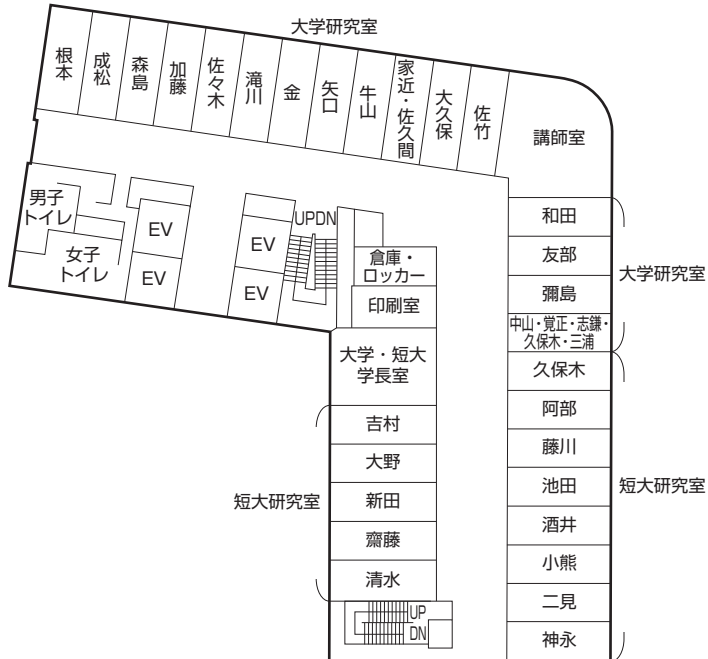
6F



7F



8F

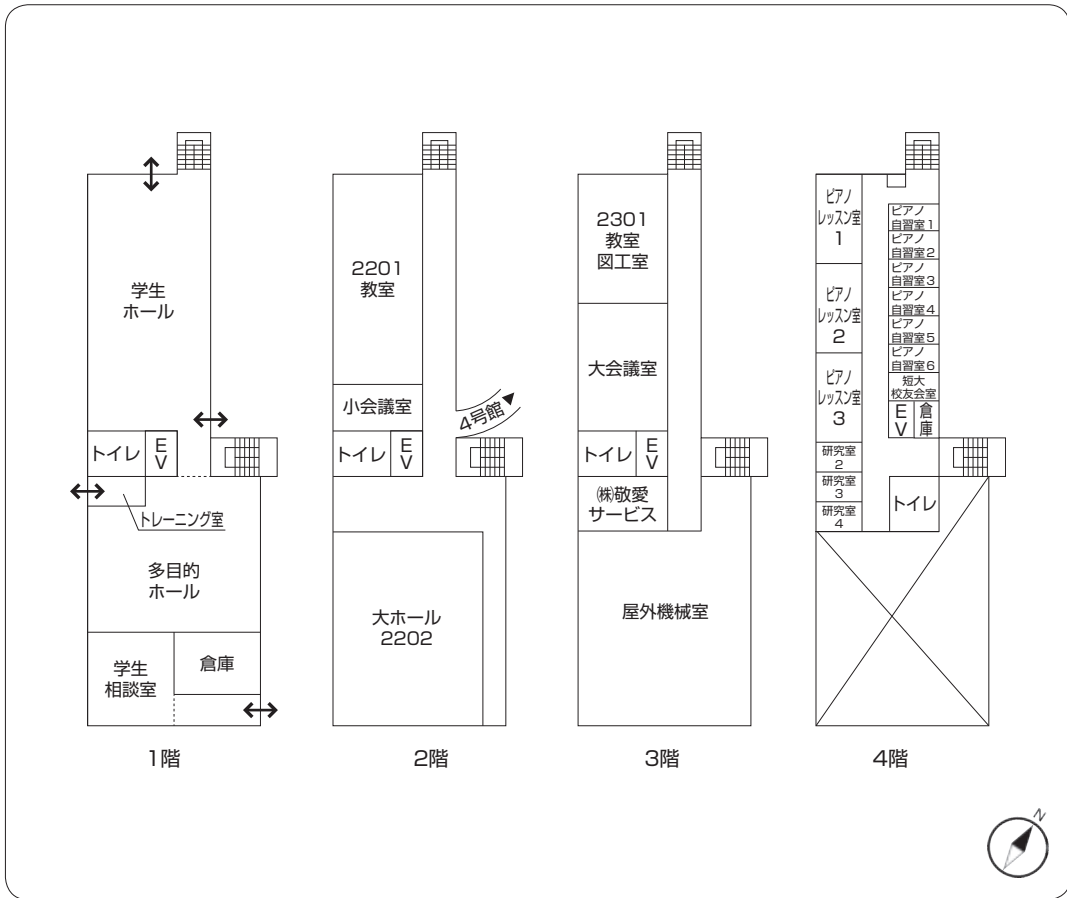


※9Fは学生の立入禁止フロアです。

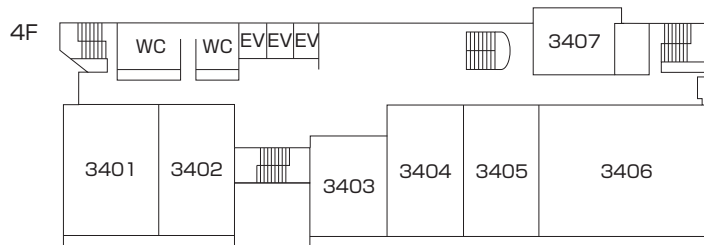
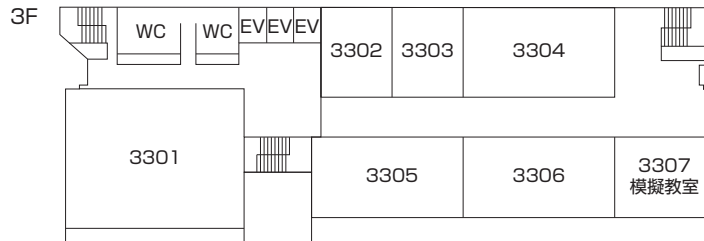
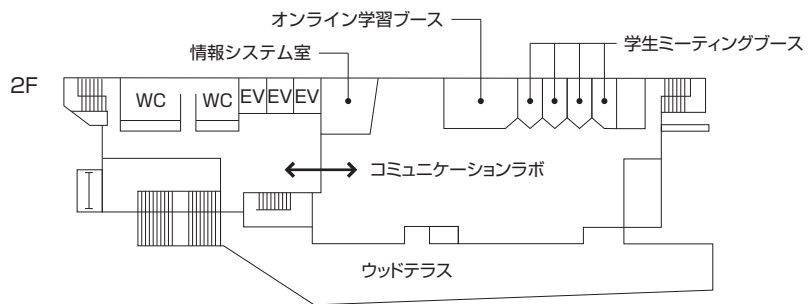
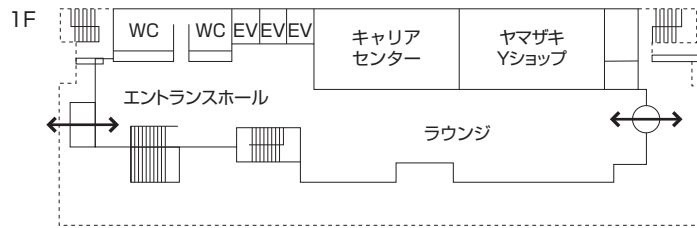
9F

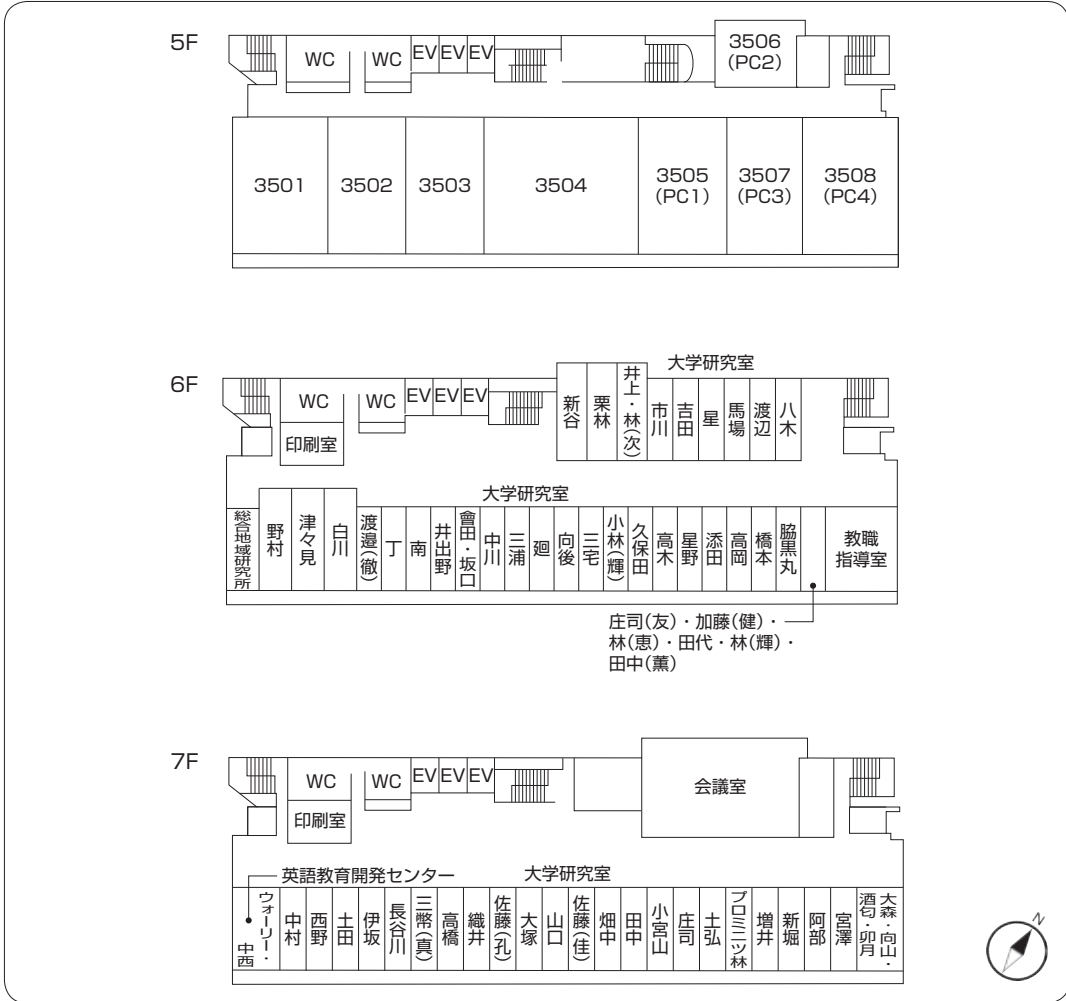


■大学2号館

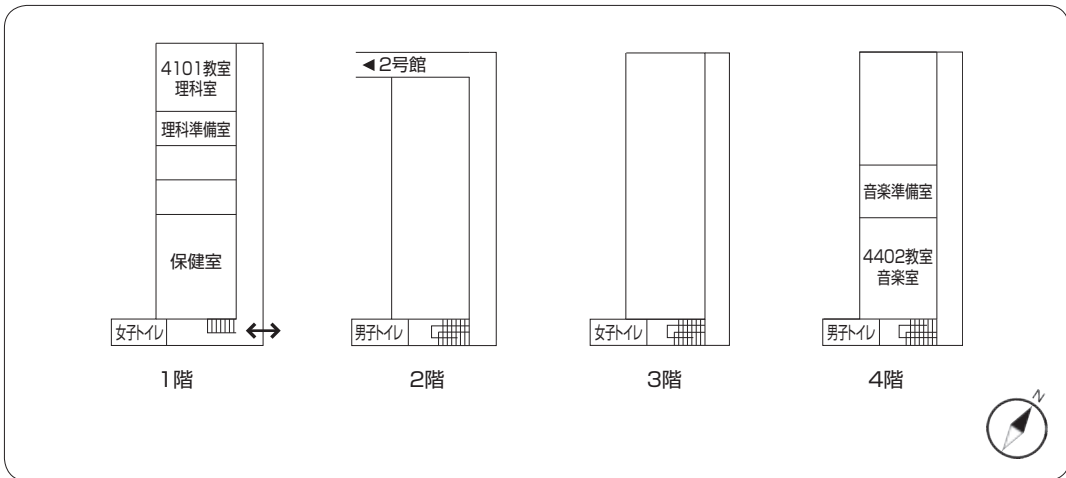


■大学3号館



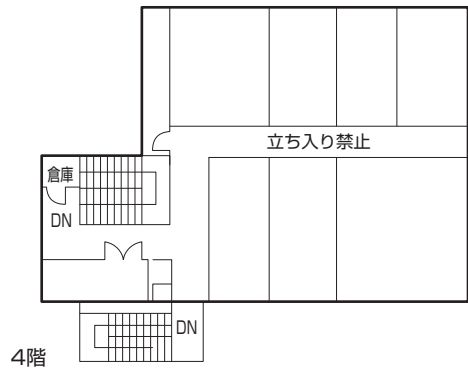
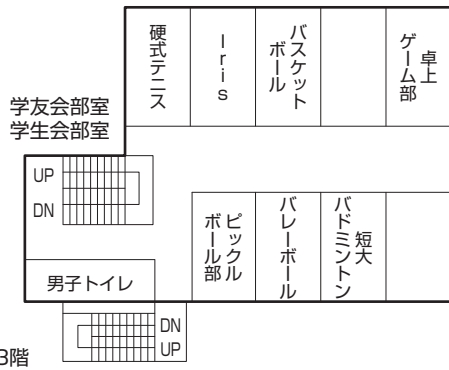
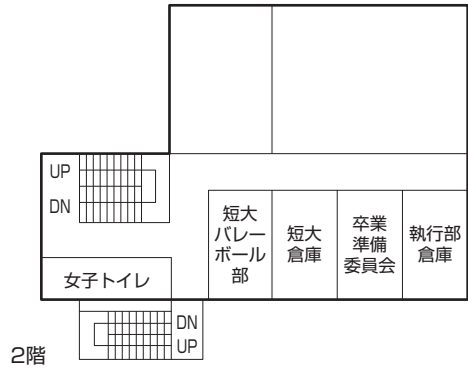
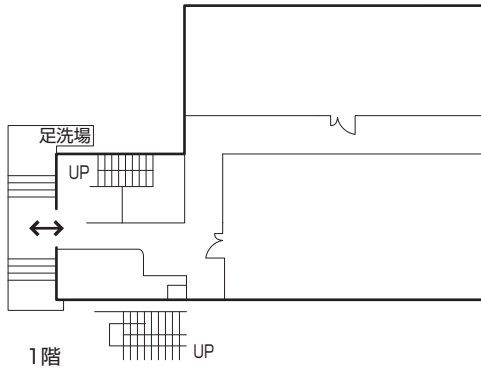


■ 大学4号館

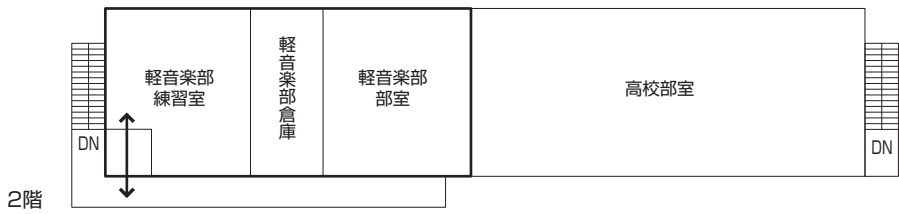


■ クラブハウス

クラブハウス ~2026年9月工事中



第2クラブハウス



3

学園歌

松村清三郎 作詞
鈴木 松竹 作曲

1. てんちを つらぬく まごころを
2. そーでが うらわの あさかぜに

とーわに まもりて うごきなーく
あーおげ ふがくの ゆうしをーば

やーまと だましい おおしくも
あ おぎて うたえ もろとも に

ふ るいーてー た たん わが と も よ
て んにーもー ひ び け お た け び は

天にも響け 雄叫びは
仰ぎて歌へ 諸共に
仰げ富嶽の 雄姿をば
袖が浦曲の 朝風に

(二)

奮ひて立たん 我が友よ
大和魂 雄々しくも
永久に守りて動きなく
天地を貫く 真心を

(一)

V

資料編

3 学園歌

4

2026年度 学事日程

2026年 4月			2026年 5月			2026年 6月		
1	水	入学式	1	金		1	月	
2	木	新入生健康診断・学生生活ガイダンス	2	土		2	火	
3	金	在学生健康診断・新入生ガイダンス	3	日	憲法記念日	3	水	敬愛の日 授業日
4	土		4	月	学園創立記念日・みどりの日	4	木	
5	日		5	火	こどもの日	5	金	
6	月	授業開始 在学生健康診断	6	水	振替休日	6	土	
7	火		7	木		7	日	
8	水	奨学金予約採用説明会	8	金		8	月	
9	木	留学生（在学生）ガイダンス	9	土		9	火	
10	金		10	日		10	水	
11	土		11	月		11	木	
12	日		12	火		12	金	
13	月		13	水	学生総会	13	土	
14	火		14	木		14	日	
15	水	奨学金定期採用説明会	15	金		15	月	
16	木	第1回リーダーズ研修会	16	土		16	火	
17	金		17	日	教育後援会役員会・総会	17	水	
18	土		18	月		18	木	
19	日		19	火		19	金	
20	月		20	水		20	土	
21	火		21	木		21	日	
22	水		22	金		22	月	
23	木		23	土		23	火	
24	金		24	日		24	水	
25	土		25	月		25	木	
26	日		26	火		26	金	
27	月		27	水		27	土	
28	火		28	木		28	日	
29	水	昭和の日 授業日	29	金		29	月	
30	木	前期学費等納入期限	30	土		30	火	
			31	日				

2026年 7月			2026年 8月			2026年 9月		
1	水		1	土		1	火	
2	木		2	日		2	水	
3	金		3	月		3	木	
4	土		4	火		4	金	
5	日		5	水		5	土	
6	月		6	木		6	日	教育後援会役員会
7	火		7	金		7	月	
8	水		8	土		8	火	
9	木		9	日		9	水	
10	金		10	月		10	木	
11	土		11	火	山の日	11	金	
12	日		12	水	学園一斉休業	12	土	
13	月		13	木	↓	13	日	
14	火		14	金	↓	14	月	
15	水		15	土		15	火	後期ガイダンス(資料配信)
16	木	第2回リーダーズ研修会	16	日		16	水	
17	金		17	月		17	木	
18	土		18	火		18	金	前期末卒業式
19	日		19	水	成績発表 (WEB)	19	土	
20	月	海の日 授業日	20	木		20	日	
21	火		21	金		21	月	敬老の日
22	水	前期授業終了日	22	土		22	火	国民の休日
23	木		23	日		23	水	秋分の日
24	金		24	月		24	木	
25	土		25	火		25	金	後期授業開始
26	日		26	水		26	土	
27	月		27	木		27	日	
28	火		28	金		28	月	
29	水		29	土		29	火	
30	木		30	日		30	水	
31	金		31	月				

※日程の詳細や変更・追加は、その都度KCN掲示・メール等で周知します。

2026年 10月			2026年 11月			2026年 12月		
1	木		1	日		1	火	
2	金		2	月		2	水	
3	土		3	火	文化の日	3	木	
4	日		4	水		4	金	
5	月		5	木		5	土	
6	火		6	金		6	日	
7	水		7	土		7	月	
8	木		8	日		8	火	
9	金		9	月		9	水	
10	土		10	火		10	木	第3回リーダーズ研修会
11	日		11	水		11	金	
12	月	スポーツの日 授業日	12	木		12	土	
13	火		13	金		13	日	
14	水		14	土		14	月	
15	木		15	日		15	火	
16	金	臨時休講(敬愛フェスティバル準備)	16	月		16	水	
17	土	敬愛フェスティバル	17	火		17	木	
18	日	敬愛フェスティバル	18	水		18	金	
19	月	オンデマンド授業(敬愛フェスティバル後片付け)	19	木		19	土	
20	火		20	金		20	日	
21	水		21	土		21	月	
22	木		22	日		22	火	年内最終授業日
23	金		23	月	勤労感謝の日 授業日	23	水	
24	土		24	火		24	木	
25	日		25	水		25	金	
26	月		26	木		26	土	
27	火		27	金		27	日	
28	水		28	土		28	月	
29	木		29	日	スポーツ大会	29	火	年末年始一斉休業(～1/3)
30	金		30	月		30	水	
31	土	後期学費等納入期限				31	木	

2027年 1月			2027年 2月			2027年 3月		
1	金	年末年始一斉休業 (~1/3)	1	月		1	月	
2	土		2	火		2	火	
3	日		3	水		3	水	
4	月		4	木		4	木	卒業者発表
5	火		5	金		5	金	
6	水		6	土		6	土	
7	木		7	日		7	日	教育後援会役員会
8	金		8	月		8	月	
9	土		9	火		9	火	
10	日		10	水		10	水	
11	月	成人の日	11	木	建国記念の日	11	木	
12	火	授業再開	12	金	成績発表 (WEB)	12	金	
13	水		13	土		13	土	
14	木		14	日		14	日	
15	金	学内入構禁止・オンデマンド授業	15	月		15	月	
16	土	学内入構禁止(大学入学共通テスト)	16	火		16	火	
17	日	学内入構禁止(大学入学共通テスト)	17	水		17	水	
18	月		18	木		18	木	
19	火		19	金		19	金	
20	水		20	土		20	土	
21	木	第4回リーダーズ研修会	21	日		21	日	春分の日
22	金		22	月		22	月	振替休日
23	土		23	火	天皇誕生日	23	火	卒業証書・学位記授与式
24	日		24	水		24	水	
25	月		25	木	第5回リーダーズ研修会	25	木	
26	火		26	金		26	金	
27	水		27	土		27	土	
28	木		28	日		28	日	
29	金	後期授業終了	/			29	月	
30	土					30	火	
31	日					31	水	

※日程の詳細や変更・追加は、その都度KCN掲示・メール等で周知します。

シンボルマーク・デザインコンセプト



外側の大きな円は、「敬天愛人」の理念の中にある天、或いは、天性 (natural abilities) を表わし、その中の楕 (だ) 円は、そうした天性からほとぼしる子供たちのパーソナリティやエネルギーを表現しています。

全体一色で表わされた赤 (パッションレッド) は、躍動・情熱・積極性・発展性を意図するとともにコミュニケーション上におけるインパクトを狙ったものです。

全体に丸いカタチは、スローガンの“未来へ、君へ”と相乗して、ここにも千葉敬愛学園の建学の精神「敬天愛人」の大いなる愛や暖かさを概念したものです。

敬愛大学 公式SNS

X(旧Twitter)



Instagram



CAMPUS LIFE 2026

2026年4月1日 発行

敬愛大学 学生支援室・修学支援室

千葉県千葉市稲毛区穴川1-5-21 〒263-8588

電話 (043) 284-2381 (学生支援室直通)

(043) 284-2253 (修学支援室直通)

(043) 251-6363 (代表)